病 院 年 報

令和４年

日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第一病院

理　　念

皆さまとの出会いを一期のことと心得、その痛みを分かちあい、苦しみを共にしつつ、一日も早く健康の幸せを喜びあえるよう努めます。

基　本　方　針

1．皆さまが安心できる癒しの森といたします。
2．高度・良質で安全な医療をいたします。
3．災害救護活動を積極的に行います。
4．周産期・小児及び救急医療を充実します。
5．医療連携を密にして地域完結型の医療を目指します。
6．職員の教育・研修を推進します。
7．健全経営を維持するように努めます。

ミッションステートメント

リーダーシップを発揮しよう	Leadership
チームワークを大切にしよう	Teamwork
互いにリスペクトする心を持とう	Respect
最高の医療レベルを目指そう	Best Quality
安全第一に心がけよう	Safety

患者さんの権利と責務

当院は、患者さんやご家族のご意向を尊重し、医療者と患者さんとのより良いパートナーシップ（対等な協力関係）を築くため、「患者さんの権利と責務」を明示し、患者さん中心の医療を行うことに最大の努力をいたします。

患者さんの権利

1．人としての尊厳が保たれた最善の医療を受けることができます。
2．病気の内容、治療方法、今後の見通しなどについて十分な説明を受け、自らの意思に基づいて医療を受け、あるいは拒否することができます。
3．患者さんが受けたい診療内容を病院や医師に伝えることができます。また、何らかの理由でご自分の意思を表示できない場合には、ご家族の方や適切な代理人を指定して判断を依頼することができます。なお、依頼した人の方針を拒否することもできます。
4．ご自身の病気の診断や治療について、他の医師や病院を自由に選択し意見（セカンドオピニオン）を求めることができます。
5．所定の手続きを経て、ご自分の診療記録の開示を求めることができます。
6．当院は、患者さんに関する情報を承諾なしに第三者に知らせることはありません。

７．臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうか、自らの意思に基づき決めることができます。
８．診療内容や入院中の生活において問題や不満がある場合には、医療者にそのことを伝えることができます。このことにより、患者さんの診療に関してなんら不利益を被ることはありません。

医療は、患者さんと医療者が信頼関係を築き協同することが肝要です。
この精神にのっとり患者さんに以下の点を望みます。

患　者　さ　ん　の　責　務

１．患者さんご自身の病気について、病状、経過、服用している薬など、正確にお伝えください。
２．検査や治療の内容を十分理解し、合意のうえでお受けください。
３．すべての患者さんが適切な医療を受けられるよう、他の方々の治療や病院職員による医療提供に支障が生ずる行為をしないでください。
４．医療者に対して、暴力的な振る舞いや言動はしないでください。
５．入院中は、病院の規則を守ってください。
６．適切な医療を維持するために、医療費をお支払いいただくことが必要です。支払い請求を受けたら、速やかにお支払いください。
７．当院は臨床研修指定病院（基幹型）で、研修医が直接医療に従事します。また、医学生、看護学生などの臨床実習施設でもありますので、臨床教育にご理解とご協力をお願いします。

巻頭言

令和４年の病院年報をお届けします。

2023 年 5 月に新型コロナ感染症の行政上の取り扱いが２類から５類に変更され、数年間リモートを中心に行われた学会・研究会も、恐る恐るではありますが参集型に戻って来ています。「業績」のページ数は以前の 2/3 以下になっていますが、年報としては 2022 年分の纏めになるので、復活途上のようです。

新型コロナ感染症の取り扱いが変われば、基調は少子高齢化ですが、入院患者数はコロナ前近くに戻ってくるであろうと期待していました。今後の人口減少対応は新型コロナ感染症患者用に確保病床として提供した病床数を減じることを念頭におき、高い症度で維持されていた一般病棟をハイケアユニットに変更し、他の病棟は混合病床にして看護必要度の均てん化を図りました。先取りして高齢患者さんの療養環境を整えるため、相談支援センター１階を整備しました。内視鏡センターも、鎮静下に行う複雑な治療内視鏡等を外来で対応できるよう、回復室を装備しました。これらによりコロナ後の人口減少に対応できる病院機能を備えたと考えていました。しかし入院患者数は回復せず、復旧にはほど遠い病床稼働率です。以前は入院して行っていた内視鏡治療を外来でできる様になったことも幾ばくかは寄与しています。

愛知県人口は 2040 年までは減少しないと推計されていましたが、当院周辺の名古屋市各区および周辺市町村の推計では、少子「少」高齢者化が進んでいます。平均在院日数を減らすように各診療科にお願いして、この数年で 1.5 日程度減らしていただけましたが、それに見合った新規入院が得られていません。当院は、地域医療構想で高度急性期に特化した役割を求められています。急性期病院、回復期病院との地域連携を弱めること無く、必要とされる役割に注力してそれに見合った病床数（=費用）にする方向で、2024 年 1 月には急性期一般床 34 床を非稼働として届けました。

来年の年報では、これらの少子少高齢者化対応の良い結果をご報告できる事を希求しています。

令和６年３月　院長　錦見　尚道

目　　次

Ⅰ．業務概要

１．医事業務管理課

(1) 病院年度別患者数 …… 2
(2) 病院年度別稼働状況 …… 2
(3) 令和４年度診療科別・月別患者数 …… 3
(4) 令和４年度診療科別・月別稼働状況 …… 5
(5) 令和４年度科別救急患者数 …… 7
(6) 令和４年度曜日別救急患者数 …… 7
(7) 令和４年度月別救急患者数 …… 8
(8) 令和４年度地域別救急患者数 …… 8

２．栄養課

令和４年度栄養指導集計表 …… 9

３．診療情報管理課

(1) 大分類別退院患者数 …… 10
(2) 大分類別退院患者数の推移 …… 11
(3) 住所別退院患者数 …… 12
(4) 主要疾患別退院患者数の推移 …… 13
(5) 診療科別上位疾患別科別退院患者数及び平均在院日数 …… 15

４．放射線科部

(1) 令和４年度診療科別被検者数 …… 17
(2) 年度別検査項目別件数 …… 19
(3) 年度別放射線治療患者数 …… 19

５．病理部・細胞診分子病理診断部

(1) 診療科別生検検体数 …… 20
(2) 病理特殊検査検体数 …… 20
(3) 院外受託検査 …… 20
(4) 剖検検体数（科別検体数、月別検体数） …… 21
(5) 細胞診件数（検体種別検体数） …… 21
(6) 遺伝子件数 …… 21

６．輸血部

(1) 令和４年度検査年報集計 …… 22
(2) 令和４年度院内廃棄血集計（輸血管理室） …… 22
(3) 令和４年度造血幹細胞移植症例数（分子細胞検査室） …… 23
(4) 令和４年度成分採血室稼働状況 …… 23

７．健診部

令和４年度健診実績 …… 24

８．薬剤部
(1) 入院・外来処方せん枚数 …… 25
(2) 入院薬剤管理指導料算定数 …… 25
(3) 妊娠と薬外来の相談件数 …… 25
(4) 薬学生実務実習受け入れ人数 …… 25
(5) 抗がん剤調製延患者数 …… 25
(6) 新規の治験・製造販売後調査受託件数 …… 25
(7) 専門薬剤師資格取得薬剤師数 …… 25

９．検査部
(1) 令和４年度検査種別稼動集計 …… 26
(2) 令和４年度判断料 …… 28
(3) 令和４年度検査加算・管理料 …… 29

10. 看護部
(1) 看護部の理念 …… 30
(2) 基本方針 …… 30
(3) 看護部目標 …… 30
(4) 専門分野と人数 …… 30
(5) 令和４年度看護部行事・看護職員対象研修等一覧 …… 31

11. リハビリテーション科部
(1) リハビリ依頼件数 …… 33
(2) 令和４年度診療科別依頼件数 …… 33
(3) PT/OT/ST 別　処方件数 …… 33
(4) 令和４年度リハビリ延べ実施件数 …… 33
(5) 令和４年度リハビリ稼働集計 …… 34
(6) 令和４年度 ADL の改善状況 …… 34

12. 総務課
(1) 令和４年度災害救護訓練・研修派遣実績 …… 35
(2) 令和４年度　災害救護活動　派遣実績 …… 38
(3) 病院ボランティア活動状況 …… 39
(4) 地域福祉活動状況 …… 40

Ⅱ．業績

１．著書 …… 42

２．論文 …… 45

３．学会 …… 65

４．学術講演等記録 …… 92

Ⅲ．医療社会事業部

１．地域医療連携室

(1) 地域医療支援病院　【紹介・逆紹介件数と率】(年度別推移) ･････････････････ 96
(2) 地域医療支援病院 【紹介率・逆紹介率】(年度月別推移) ･････････････････････ 96
(3)【診療科別】 紹介件数 (過去５年度比較) ･････････････････････････････････ 97
(4)【診療科別】 逆紹介件数 (過去５年度比較) ･････････････････････････････････ 97
(5)【診療科別】 初診件数 (過去５年度比較) ･････････････････････････････････ 98
(6)【診療科別】 紹介・逆紹介率 (令和４年度) ･････････････････････････････････ 98
(7)【地域、医療圏別】 ２次医療圏別紹介元動向 (過去５年度比較) ･････････････････ 99
(8)【地域、医療圏別】 ２次医療圏別逆紹介先動向 (過去５年度比較) ･････････････ 99
(9) 令和４年度医療機器等の共同利用の実績･････････････････････････････････ 100
(10) 病診連携システム学術セミナー開催状況･････････････････････････････････ 101
(11) 令和４年度地域医療研修プログラム実績･････････････････････････････････ 109

２．医療社会事業課

(1) 令和４年度年間援助件数 ･･･ 119
(2) 令和４年度科別援助件数 ･･･ 120
(3) 令和４年度がん相談支援センター援助件数･････････････････････････････････ 121

Ⅰ. 業　務　概　要

１．医事業務管理課

（１）病院年度別患者数

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
外来	新患者数	36,474	36,932	36,141	25,519	27,674	31,060
	患者延数	399,482	402,895	395,359	377,062	339,098	346,477
	1日平均	1,644.0	1,658.0	1,647.3	1,352.3	1,401.2	1,425.8
入院	入院患者数	21,237	21,853	21,516	18,614	18,926	19,208
	退院患者数	21,311	21,855	21,507	18,679	18,878	19,300
	在院患者延数	260,833	261,682	259,859	219,640	226,520	218,351
	入院患者延数	282,144	283,537	281,366	238,319	245,398	237,187
	1日平均	773.0	776.8	768.8	652.9	672.3	649.8

※平成20年4月1日以降　許可病床数852床（一般病床）

（２）病院年度別稼働状況（単位：千円）

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
外来	外来診療	7,781,271	8,172,840	8,834,291	8,624,390	9,341,933	9,966,265
入院	包括評価	8,523,999	8,713,029	8,630,039	7,632,381	7,712,454	7,594,783
	出来高	12,736,568	12,995,132	13,090,987	12,254,138	13,145,254	13,251,474
	合計	21,260,567	21,708,161	21,721,026	19,886,519	20,857,708	20,846,257

（３）令和４年度診療科別・月別患者数（患者延数）

	各　　科	4月	5月	6月	7月	8月	9月
外来	内科	46	42	56	60	75	53
	腎臓内科	624	605	647	633	621	626
	内分泌内科	1,347	1,240	1,386	1,311	1,366	1,336
	血液内科	1,416	1,452	1,583	1,517	1,612	1,537
	化学療法内科	2	2	3	1	1	1
	総合診療科	34	48	74	69	90	73
	精神科	30	25	34	33	23	29
	脳神経内科	1,157	1,156	1,298	1,274	1,190	1,324
	呼吸器内科	1,833	1,806	1,726	2,178	3,075	1,841
	消化器内科	2,938	2,775	3,227	3,073	3,082	3,073
	循環器内科	1,616	1,507	1,594	1,570	1,488	1,546
	小児科	1,422	1,585	1,751	2,251	2,063	1,800
	一般・消化器外科	1,113	1,048	1,239	1,108	1,088	1,189
	乳腺外科	869	863	967	903	985	980
	整形外科	1,992	2,101	2,352	2,102	2,169	1,995
	形成外科	201	228	232	196	227	235
	脳神経外科	630	618	710	658	677	650
	呼吸器外科	339	322	364	359	304	343
	心臓血管外科	443	379	425	394	456	366
	血管外科	283	260	322	304	236	262
	小児外科	130	112	128	142	127	191
	皮膚科	975	963	1,193	1,116	1,082	1,089
	泌尿器科	1,275	1,329	1,541	1,378	1,365	1,472
	女性泌尿器科	503	511	540	515	535	493
	産婦人科	1,778	1,772	1,960	1,811	1,882	1,909
	眼科	604	577	608	552	501	553
	耳鼻咽喉科	1,499	1,519	1,616	1,588	1,601	1,495
	放射線科	633	773	939	817	745	738
	リハビリ	393	382	443	357	431	453
	歯科口腔外科	1,702	1,522	1,799	1,670	1,616	1,634
	合計	27,827	27,522	30,757	29,940	30,713	29,286

	各　　科	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入院	内科	0	0	0	0	0	0
	腎臓内科	597	578	371	411	538	326
	内分泌内科	190	273	382	116	126	176
	血液内科	2,001	1,912	1,976	1,865	1,600	1,717
	化学療法内科	0	0	0	0	0	0
	総合診療科	0	0	0	0	0	0
	精神科						
	脳神経内科	1,237	1,176	1,204	1,593	1,182	1,023
	呼吸器内科	1,895	1,886	2,019	2,096	1,648	1,758
	消化器内科	2,164	2,174	2,132	2,625	2,236	2,266
	循環器内科	969	1,255	1,083	1,033	1,012	1,141
	小児科	2,407	2,406	2,434	2,615	2,305	2,413
	一般・消化器外科	1,793	1,816	1,627	1,639	1,420	1,594
	乳腺外科	450	329	403	419	400	489
	整形外科	1,174	1,111	1,202	1,150	989	1,156
	形成外科	50	133	77	76	53	52
	脳神経外科	500	727	673	638	679	864
	呼吸器外科	532	360	470	438	438	416
	心臓血管外科	554	563	547	588	574	428
	血管外科	241	173	180	243	206	200
	小児外科	78	31	65	75	63	69
	皮膚科	101	17	66	149	70	63
	泌尿器科	955	994	747	636	777	728
	女性泌尿器科	171	169	165	162	144	132
	産婦人科	1,968	2,032	2,070	2,124	2,153	2,020
	眼科	2	2	0	2	22	4
	耳鼻咽喉科	624	590	647	695	607	579
	放射線科						
	リハビリ						
	歯科口腔外科	214	214	166	319	331	217
	合計	20,867	20,921	20,706	21,707	19,573	19,831

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	各　　科
35	35	51	26	45	56	580	内科
603	575	621	565	515	670	7,305	腎臓内科
1,365	1,305	1,364	1,263	1,240	1,366	15,889	内分泌内科
1,500	1,529	1,520	1,419	1,316	1,622	18,023	血液内科
0	1	1	1	4	2	19	化学療法内科
84	72	92	78	86	108	908	総合診療科
21	29	25	23	24	34	330	精神科
1,230	1,287	1,296	1,098	1,224	1,456	14,990	脳神経内科
1,867	1,936	2,464	1,911	1,578	1,791	24,006	呼吸器内科
2,944	3,111	3,057	2,600	2,823	3,217	35,920	消化器内科
1,486	1,515	1,508	1,447	1,335	1,736	18,348	循環器内科
1,573	1,545	1,693	1,556	1,493	1,939	20,671	小児科
1,182	1,098	1,130	1,011	980	1,157	13,343	一般・消化器外科
986	939	950	931	939	1,095	11,407	乳腺外科
1,920	1,987	1,997	1,833	1,850	2,473	24,771	整形外科
266	164	175	212	183	286	2,605	形成外科
658	637	601	553	595	740	7,727	脳神経外科
310	283	325	303	289	360	3,901	呼吸器外科
404	444	437	414	422	437	5,021	心臓血管外科
289	240	244	259	204	278	3,181	血管外科
118	130	132	126	132	193	1,661	小児外科
1,000	963	1,006	1,021	1,048	1,300	12,756	皮膚科
1,413	1,336	1,478	1,345	1,301	1,573	16,806	泌尿器科
516	593	511	466	488	467	6,138	女性泌尿器科
1,838	1,709	1,822	1,758	1,774	2,044	22,057	産婦人科
521	565	568	412	491	606	6,558	眼科
1,386	1,407	1,477	1,336	1,321	1,706	17,951	耳鼻咽喉科
713	818	778	685	715	925	9,279	放射線科
407	371	324	327	348	441	4,677	リハビリ
1,612	1,635	1,571	1,398	1,566	1,924	19,649	歯科口腔外科
28,247	28,259	29,218	26,377	26,329	32,002	346,477	合計

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	各　　科
0	0	0	0	0	0	0	内科
398	347	300	281	251	372	4,770	腎臓内科
268	144	140	176	151	149	2,291	内分泌内科
1,698	1,739	1,579	1,440	1,566	1,648	20,741	血液内科
0	0	0	0	0	0	0	化学療法内科
0	0	0	0	0	0	0	総合診療科
							精神科
1,006	1,183	1,223	1,112	1,424	1,437	14,800	脳神経内科
1,595	1,845	1,746	1,510	1,575	1,665	21,238	呼吸器内科
2,009	2,056	1,882	1,580	1,673	1,961	24,758	消化器内科
1,379	1,161	1,061	914	1,190	1,193	13,391	循環器内科
2,354	2,327	2,213	1,965	1,900	2,014	27,353	小児科
1,713	1,680	1,477	1,363	1,303	1,492	18,917	一般・消化器外科
539	412	427	356	398	401	5,023	乳腺外科
1,242	1,239	1,032	1,080	1,317	1,228	13,920	整形外科
37	30	62	51	72	42	735	形成外科
838	630	687	683	567	587	8,073	脳神経外科
456	528	490	306	391	451	5,276	呼吸器外科
496	586	657	457	455	646	6,551	心臓血管外科
132	117	152	170	226	260	2,300	血管外科
91	70	53	44	51	72	762	小児外科
97	154	151	145	111	77	1,201	皮膚科
744	718	690	640	661	848	9,138	泌尿器科
169	154	157	125	192	192	1,932	女性泌尿器科
1,923	1,914	1,872	1,834	1,821	1,927	23,658	産婦人科
8	0	3	0	6	5	54	眼科
657	659	639	564	588	719	7,568	耳鼻咽喉科
							放射線科
							リハビリ
191	193	169	216	223	284	2,737	歯科口腔外科
20,040	19,886	18,862	17,012	18,112	19,670	237,187	合計

（４）令和４年度診療科別・月別稼働状況（単位：千円）

	各　　科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
外来	内科	435	278	456	930	611	595	254
	腎臓内科	9,319	10,189	9,962	10,087	9,161	10,167	9,080
	内分泌内科	38,990	36,353	39,445	37,431	38,518	37,666	38,839
	血液内科	166,876	148,273	156,622	157,878	178,873	186,924	154,012
	化学療法内科	7	54	931	8	33	8	31
	総合診療科	443	747	1,083	891	1,166	973	1,075
	精神科	168	171	193	213	134	202	156
	脳神経内科	22,366	24,806	28,856	26,624	27,358	26,569	31,337
	呼吸器内科	98,982	101,193	95,622	98,023	126,605	101,007	102,798
	消化器内科	91,568	92,411	100,008	91,197	99,014	97,307	90,007
	循環器内科	26,486	26,172	29,437	27,346	25,497	24,860	26,605
	小児科	28,657	40,883	41,948	53,751	54,740	48,127	47,008
	一般・消化器外科	39,159	39,056	48,098	44,704	44,115	41,647	43,973
	乳腺外科	54,350	58,032	63,897	53,751	61,919	61,531	63,540
	整形外科	26,856	27,147	29,735	30,300	24,767	25,910	24,363
	形成外科	1,204	1,293	1,116	1,169	1,296	1,301	1,530
	脳神経外科	10,310	10,795	10,808	9,774	11,173	10,494	10,508
	呼吸器外科	12,244	13,355	14,835	14,715	12,496	13,651	13,982
	心臓血管外科	5,273	4,772	5,337	4,693	5,340	4,619	4,897
	血管外科	2,671	2,448	3,361	2,785	2,127	2,643	2,577
	小児外科	895	740	900	1,008	826	1,101	717
	皮膚科	10,419	10,763	16,007	12,902	9,701	12,398	10,158
	泌尿器科	38,764	35,257	39,227	38,879	40,577	49,938	42,065
	女性泌尿器科	5,332	7,780	7,886	7,455	6,829	7,157	6,982
	産婦人科	33,884	34,024	37,882	31,488	36,736	34,725	32,276
	眼科	7,785	8,988	9,699	7,470	7,229	8,253	8,219
	耳鼻咽喉科	18,233	19,619	19,150	20,188	18,235	16,930	16,912
	放射線科	17,352	22,606	25,425	21,866	20,422	20,733	19,052
	リハビリ	2,813	2,533	2,814	2,218	2,966	3,091	2,699
	歯科口腔外科	11,840	11,951	15,192	12,603	12,445	12,109	11,636
	合計	783,681	792,688	855,930	822,348	880,911	862,638	817,289

	各　　科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
入院	内科	1,196	1,023	1,757	916	1,864	919	1,987
	腎臓内科	29,093	26,556	18,575	23,413	28,835	18,303	26,977
	内分泌内科	9,083	13,608	18,326	5,630	5,891	10,003	14,098
	血液内科	205,032	191,955	177,503	186,533	175,717	167,696	151,689
	化学療法内科	0	0	0	0	0	0	0
	総合診療科	0	0	0	0	0	0	0
	精神科							
	脳神経内科	66,897	61,965	68,894	85,768	60,112	56,503	54,629
	呼吸器内科	102,029	104,257	111,324	125,080	106,536	103,912	93,518
	消化器内科	121,583	114,940	124,615	140,834	122,112	130,388	111,651
	循環器内科	120,085	122,572	143,988	141,510	119,567	133,103	160,763
	小児科	196,945	204,411	210,762	206,581	208,143	195,247	200,526
	一般・消化器外科	130,715	130,367	130,277	126,568	107,193	120,315	125,630
	乳腺外科	41,089	28,485	36,822	34,774	37,851	46,227	47,081
	整形外科	104,900	99,474	117,322	90,247	85,228	105,673	104,433
	形成外科	4,161	7,932	4,918	4,781	3,000	3,971	3,163
	脳神経外科	73,315	89,378	76,302	66,707	67,327	81,004	79,992
	呼吸器外科	72,340	56,429	70,579	65,073	65,796	57,825	61,599
	心臓血管外科	137,219	161,495	162,550	153,639	136,106	122,687	121,426
	血管外科	33,357	31,100	36,855	36,447	30,056	32,812	27,418
	小児外科	11,935	6,579	12,141	12,645	11,054	11,864	13,368
	皮膚科	3,797	765	3,305	6,463	2,616	3,432	5,787
	泌尿器科	67,580	68,549	56,953	51,968	62,331	53,052	53,985
	女性泌尿器科	18,815	17,615	18,104	18,279	16,072	16,154	17,774
	産婦人科	182,287	179,714	179,414	189,582	197,384	184,164	171,418
	眼科	224	312	0	158	1,043	436	1,776
	耳鼻咽喉科	39,443	35,745	46,624	42,022	40,483	35,209	38,947
	放射線科							
	リハビリ							
	歯科口腔外科	15,270	17,312	12,452	21,040	23,081	17,672	13,058
	合計	1,788,390	1,772,536	1,840,363	1,836,657	1,715,399	1,708,572	1,702,694

11月	12月	1月	2月	3月	合計	各　　科
332	455	347	686	676	6,053	内科
8,746	9,465	8,389	8,646	9,434	112,644	腎臓内科
37,272	37,894	37,683	35,886	38,320	454,297	内分泌内科
181,494	160,084	165,070	146,587	175,796	1,978,489	血液内科
9	8	13	89	128	1,319	化学療法内科
1,137	1,210	1,189	1,161	1,555	12,631	総合診療科
180	175	148	169	242	2,150	精神科
25,139	28,708	25,377	30,146	39,789	337,075	脳神経内科
96,101	103,092	89,461	82,384	93,139	1,188,407	呼吸器内科
102,590	98,454	90,462	99,936	107,804	1,160,757	消化器内科
26,590	26,262	24,453	23,609	30,467	317,784	循環器内科
50,628	54,893	29,973	28,343	34,551	513,502	小児科
45,910	38,509	46,518	42,663	49,697	524,049	一般・消化器外科
59,720	64,861	62,052	63,193	76,947	743,794	乳腺外科
24,202	26,332	23,651	25,252	29,882	318,398	整形外科
1,022	902	1,314	1,214	1,824	15,186	形成外科
9,848	10,195	9,030	9,486	11,703	124,125	脳神経外科
9,239	15,884	10,351	10,930	11,100	152,783	呼吸器外科
5,565	5,692	5,679	5,266	5,688	62,821	心臓血管外科
2,869	2,636	2,653	2,220	2,465	31,454	血管外科
840	916	870	932	1,128	10,872	小児外科
11,779	11,354	12,847	10,703	16,097	145,127	皮膚科
40,360	43,069	38,704	40,801	51,625	499,266	泌尿器科
7,880	8,721	6,810	6,867	5,235	84,934	女性泌尿器科
33,035	30,774	31,187	30,817	37,512	404,339	産婦人科
9,416	8,945	6,974	7,785	10,222	100,985	眼科
16,778	16,622	17,725	19,165	21,103	220,661	耳鼻咽喉科
23,983	21,232	19,614	21,668	27,103	261,056	放射線科
2,654	2,378	2,265	2,257	3,107	31,796	リハビリ
11,667	11,971	10,536	11,193	16,368	149,508	歯科口腔外科
846,982	841,692	781,342	770,055	910,710	9,966,265	合計

11月	12月	1月	2月	3月	合計	各　　科
1,608	604	398	1,057	2,296	15,624	内科
21,490	18,386	17,927	18,448	22,023	270,027	腎臓内科
7,608	7,487	8,923	7,665	8,429	116,751	内分泌内科
156,696	140,567	137,016	153,288	166,451	2,010,144	血液内科
0	0	0	0	0	0	化学療法内科
0	0	0	0	0	0	総合診療科
						精神科
62,435	68,287	62,689	75,446	80,890	804,516	脳神経内科
112,547	106,087	87,120	92,518	98,326	1,243,253	呼吸器内科
121,822	105,666	98,973	102,287	120,755	1,415,626	消化器内科
135,484	113,505	121,005	162,994	152,393	1,626,970	循環器内科
199,052	187,266	190,843	172,611	197,758	2,370,146	小児科
134,203	110,020	111,557	112,680	126,374	1,465,899	一般・消化器外科
42,488	42,678	37,829	41,124	45,511	481,958	乳腺外科
114,827	94,020	104,746	115,367	111,726	1,247,963	整形外科
2,687	5,261	3,998	4,431	3,187	51,489	形成外科
54,520	67,249	66,917	60,775	74,390	857,878	脳神経外科
69,721	58,692	51,202	61,238	67,702	758,197	呼吸器外科
145,575	175,764	123,417	145,497	168,768	1,754,141	心臓血管外科
26,026	19,167	37,035	35,116	40,716	386,105	血管外科
10,868	9,257	6,246	10,146	11,098	127,201	小児外科
7,095	7,592	6,446	4,671	3,111	55,079	皮膚科
54,344	54,725	55,461	54,867	58,816	692,631	泌尿器科
17,113	16,607	14,647	18,503	19,642	209,324	女性泌尿器科
188,814	173,640	179,570	170,609	181,316	2,177,913	産婦人科
0	288	0	789	378	5,403	眼科
41,382	41,587	42,781	42,284	46,199	492,706	耳鼻咽喉科
						放射線科
						リハビリ
13,683	12,900	18,149	22,021	22,675	209,314	歯科口腔外科
1,742,089	1,637,301	1,584,896	1,686,432	1,830,931	20,846,257	合計

（５） 令和４年度科別救急患者数

	入院	外来	計	%
内科	0	206	206	1.3
腎臓内科	122	101	223	1.4
内分泌内科	84	96	180	1.1
血液内科	176	160	336	2.1
消化器内科	758	1,159	1,917	11.9
呼吸器内科	500	858	1,358	8.4
脳神経内科	573	861	1,434	8.9
循環器内科	567	767	1,334	8.3
一般消化器外科	309	258	567	3.5
呼吸器外科	52	35	87	0.5
心臓血管外科	123	79	202	1.3
血管外科	26	26	52	0.3
乳腺外科	34	56	90	0.6
小児外科	4	11	15	0.1
整形外科	355	1,057	1,412	8.8
リハビリ科	0	0	0	0.0
脳神経外科	312	758	1,070	6.6
産婦人科	446	548	994	6.2
小児科	557	2,115	2,672	16.6
耳鼻咽喉科	97	539	636	4.0
皮膚科	28	379	407	2.5
形成外科	3	57	60	0.4
泌尿器科	207	430	637	4.0
女性泌尿器科	2	6	8	0.0
眼科	0	40	40	0.2
歯科口腔外科	13	141	154	1.0
精神科	0	1	1	0.0
総合診療科	0	4	4	0.0
化学療法内科	0	1	1	0.0
放射線科	0	0	0	0.0
救急科	0	0	0	0.0
計	5,348	10,749	16,097	100.0

（６） 令和４年度曜日別救急患者数

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日、休日	計	１日平均
４月	180	171	144	143	158	234	224	1,254	41.8
５月	220	183	134	134	190	222	493	1,576	50.8
６月	212	181	231	250	187	222	246	1,529	51.0
７月	197	202	219	217	248	298	473	1,854	59.8
８月	199	191	191	84	148	161	245	1,219	39.3
９月	137	155	160	170	166	228	285	1,301	43.4
１０月	171	158	143	154	171	250	267	1,314	42.4
１１月	166	204	159	124	162	152	275	1,242	41.4
１２月	150	121	135	134	134	198	205	1,077	34.7
１月	115	128	145	118	147	126	264	1,043	33.6
２月	180	144	149	118	172	198	276	1,237	44.2
３月	174	116	223	223	226	231	258	1,451	46.8
合計	2,101	1,954	2,033	1,869	2,109	2,520	3,511	16,097	
平均	175.1	162.8	169.4	155.8	175.8	210.0	292.6	1,341.4	44.1
%	13.1	12.1	12.6	11.6	13.1	15.7	21.8	100.0	

（７） 令和４年度月別救急患者数

	入　院			外　来			合　計
	時間内	時間外	深　夜	時間内	時間外	深　夜	
４月	(99) 138	(137) 223	(74) 107	(99) 172	(188) 475	(71) 139	(668) 1,254
５月	(85) 118	(130) 248	(90) 131	(92) 198	(216) 652	(74) 229	(687) 1,576
６月	(92) 137	(125) 200	(69) 127	(127) 257	(183) 525	(102) 283	(698) 1,529
７月	(106) 148	(145) 240	(76) 118	(109) 258	(250) 799	(109) 291	(795) 1,854
８月	(101) 145	(103) 167	(47) 66	(105) 261	(172) 449	(74) 131	(602) 1,219
９月	(95) 137	(138) 224	(66) 87	(104) 199	(184) 483	(88) 171	(675) 1,301
１０月	(100) 149	(141) 226	(48) 84	(89) 198	(196) 468	(103) 189	(677) 1,314
１１月	(98) 145	(142) 218	(66) 96	(98) 219	(183) 420	(86) 144	(673) 1,242
１２月	(76) 116	(99) 170	(50) 72	(75) 180	(144) 410	(73) 129	(517) 1,077
１月	(88) 133	(122) 193	(58) 86	(70) 159	(130) 362	(48) 110	(516) 1,043
２月	(82) 120	(114) 199	(50) 87	(73) 179	(135) 475	(71) 177	(525) 1,237
３月	(98) 150	(120) 232	(80) 111	(104) 229	(181) 504	(88) 225	(671) 1,451
合計	(1,120) 1,636	(1,516) 2,540	(774) 1,172	(1,145) 2,509	(2,162) 6,022	(987) 2,218	(7,704) 16,097
１日平均	(3.1) 4.5	(4.2) 7.0	(2.1) 3.2	(3.1) 6.9	(5.9) 16.5	(2.7) 6.1	(21.1) 44.1

※（　　）内、救急車及びパトカーでの搬入件数再掲

（８） 令和４年度地域別救急患者数

地域		患者数	地域		患者数
名古屋市内	中村区	4,911	名古屋市以外	清須市	944
	中川区	2,445		津島市	249
	西区	1,094		北名古屋市	127
	北区	342		稲沢市	132
	中区	345		愛西市	147
				あま市	1,927
	その他	1,225		その他	651
	小計	10,362		小計	4,177
海部郡	大治町	1,033	西春日井郡	豊山町	4
	蟹江町	123		その他	0
	その他	1		小計	4
			その他	県外	396
	小計	1,157		不明	1

２．　栄養課

令和４年度栄養指導集計表

【 個人指導 】　　［ 単位＝件 ］

		糖尿病食	心臓病食	脂質異常症	腎臓病食	胃切術後食	潰瘍食	低残渣食	痛風食	肝臓食	その他	合計
入　院	３年度	329	345	128	109	132	100	0	0	15	595	1,753
	４年度	408	322	97	92	153	93	11	1	36	965	2,178
外　来	３年度	315	95	61	65	35	1	8	0	3	319	902
	４年度	267	61	43	119	63	0	2	1	5	383	944
合　計	３年度	644	440	189	174	167	101	8	0	18	914	2,655
	４年度	675	383	140	211	216	93	13	2	41	1,348	3,122

【 集団指導 】　　［ 単位＝人 ］

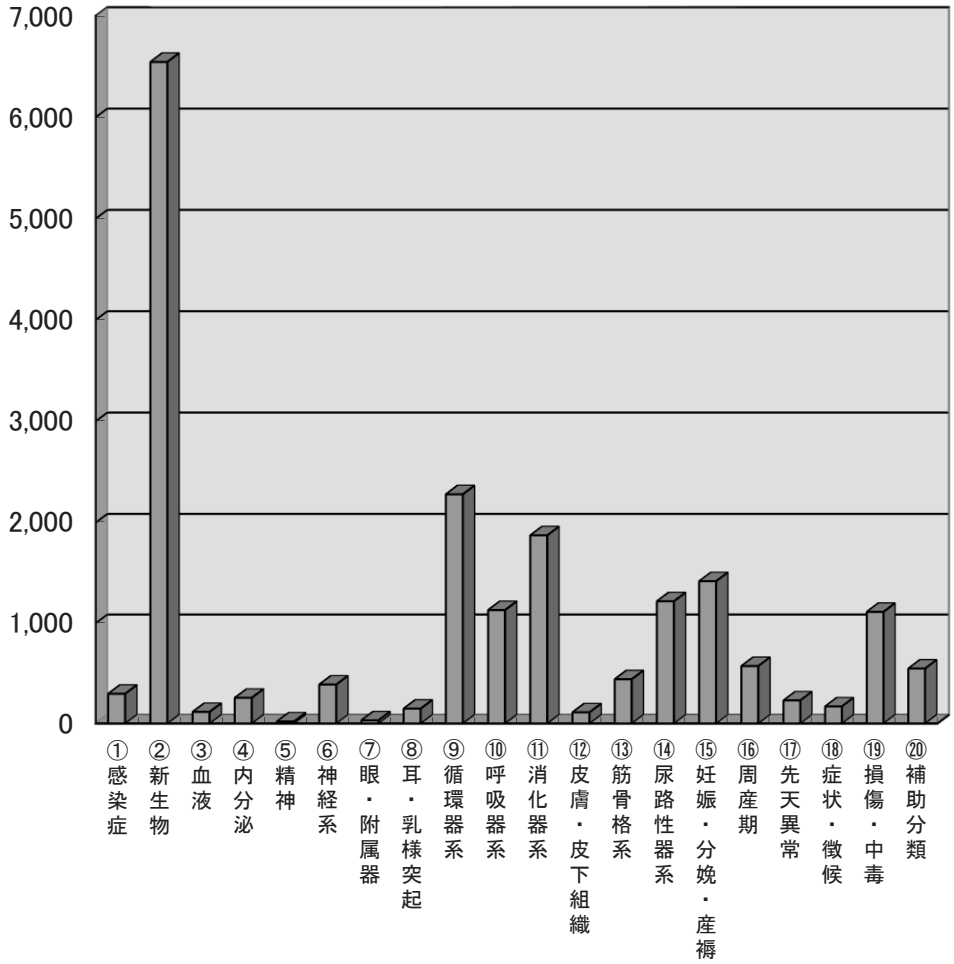
		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
糖尿病	３年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	４年度	0	0	0	0	2	2	3	0	0	0	0	0	7

3. 診療情報管理課

令和４年退院患者に関する諸統計

（１）　大分類別退院患者数

＜基準＞
・2022/1/1～2022/12/31　退院
・患者数 ⇒ 延人数
・退院時診療科



国際大分類	患者数	国際大分類	患者数
①感染症	296	⑪消化器系	1,875
②新生物	6,547	⑫皮膚・皮下組織	111
③血液	115	⑬筋骨格系	441
④内分泌	256	⑭尿路性器系	1,219
⑤精神	20	⑮妊娠・分娩・産褥	1,419
⑥神経系	388	⑯周産期	573
⑦眼・附属器	31	⑰先天異常	230
⑧耳・乳様突起	148	⑱症状・徴候	170
⑨循環器系	2,280	⑲損傷・中毒	1,113
⑩呼吸器系	1,131	⑳補助分類	548
合計		18,911	

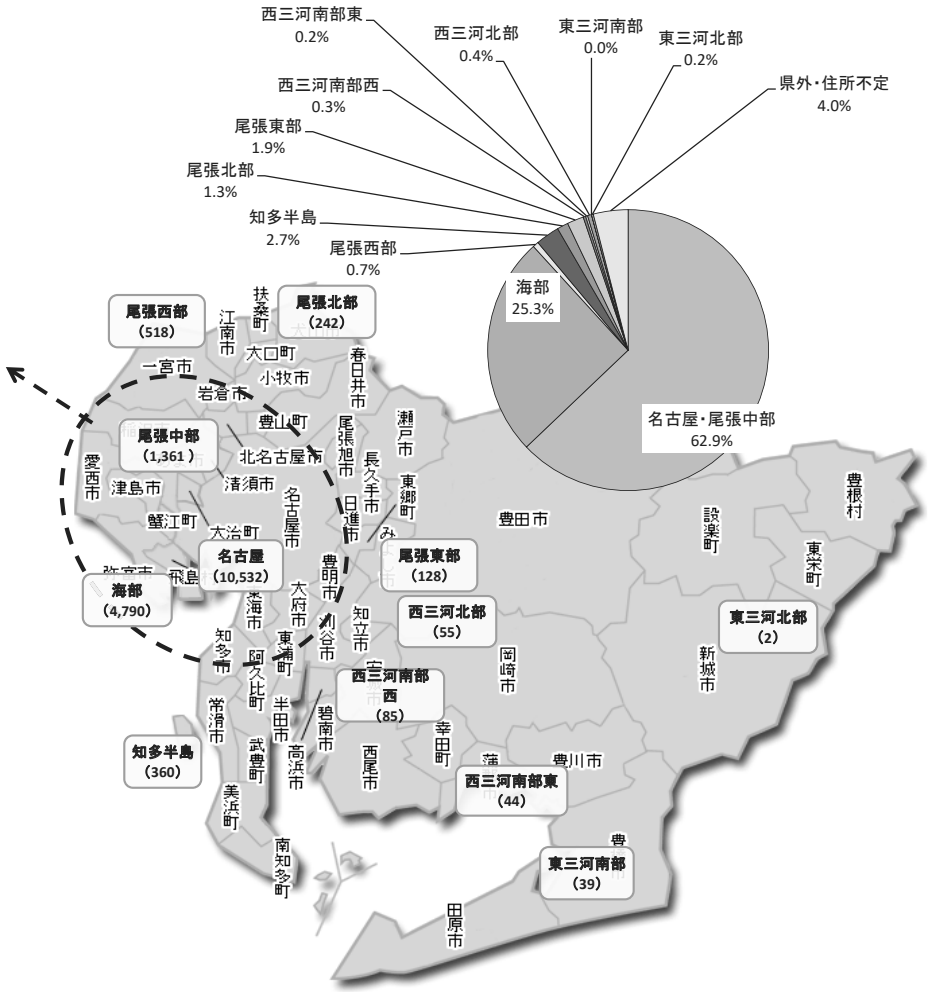
（２）大分類別退院患者数の推移（2013年～2022年）

大 分 類 / 年	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
①感染症	501	511	463	429	390	369	410	324	289	296
②新生物	5,874	5,841	6,557	6,786	6,758	7,088	6,879	6,413	6,575	6,547
③血液	163	196	175	182	164	167	159	121	133	115
④内分泌	285	322	306	342	346	331	321	259	277	256
⑤精神	16	13	6	19	20	16	17	17	14	20
⑥神経系	544	510	463	422	432	493	521	463	366	388
⑦眼および附属器	101	76	27	48	40	56	53	31	27	31
⑧耳・乳様突起	164	162	177	154	148	155	151	139	157	148
⑨循環器系	2,625	2,634	2,738	2,799	2,826	2,762	2,661	2,511	2,397	2,280
⑩呼吸器系	1,784	1,707	1,811	1,708	1,747	1,842	1,754	1,138	1,196	1,131
⑪消化器系	1,970	2,040	2,043	2,033	1,993	2,142	2,066	1,913	2,050	1,875
⑫皮膚・皮下組織	164	165	197	165	155	180	175	154	125	111
⑬筋骨格系	519	519	496	518	514	553	604	574	462	441
⑭尿路性器系	1,131	1,195	1,233	1,292	1,254	1,198	1,330	1,214	1,176	1,219
⑮妊娠・分娩・産褥	1,896	2,007	2,044	2,013	1,841	1,771	1,729	1,540	1,460	1,419
⑯周産期	626	621	659	629	543	643	641	554	551	573
⑰先天異常	217	206	223	221	261	256	244	194	216	230
⑱症状・診断不明確	53	81	93	138	135	198	214	123	173	170
⑲損傷・中毒	1,064	1,184	1,083	1,148	1,173	1,309	1,261	1,079	1,076	1,113
⑳補助分類	534	560	545	437	460	419	357	430	520	548
合　　計	20,231	20,550	21,339	21,483	21,200	21,948	21,547	19,191	19,240	18,911

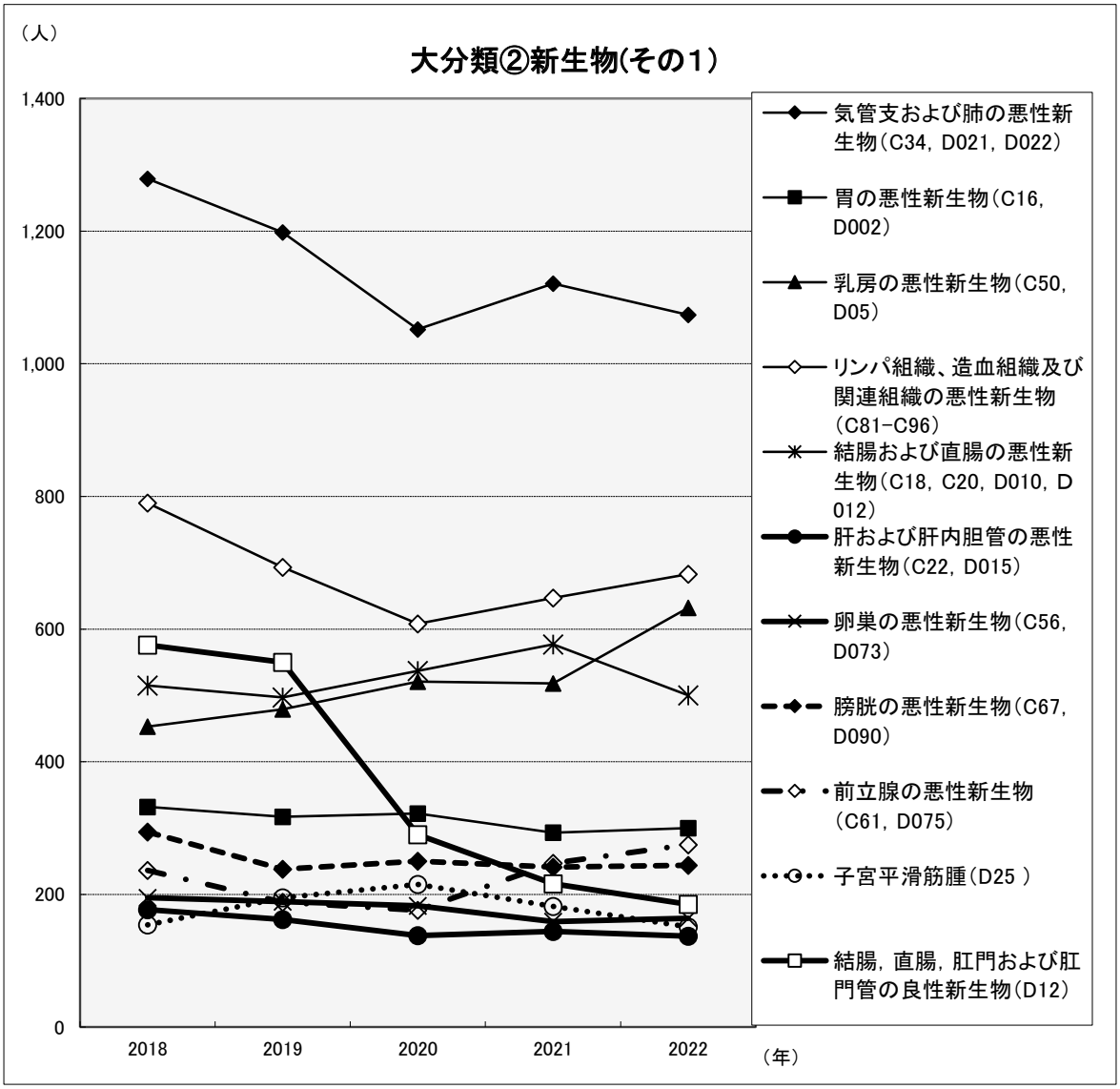
（３）住所別退院患者数

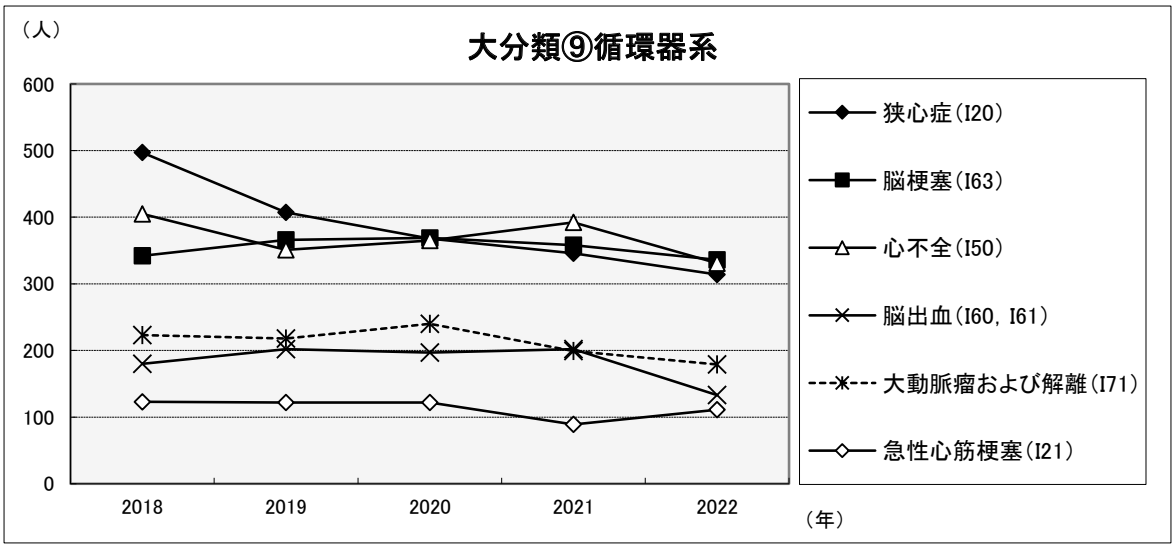
県内・外	二次医療圏	合計	①感染症	②新生物	③血液	④内分泌	⑤精神	⑥神経系	⑦眼および附属器	⑧耳・乳様突起	⑨循環器系	⑩呼吸器系	⑪消化器系	⑫皮膚・皮下組織	⑬筋骨格系	⑭尿路性器系	⑮妊娠・分娩・産褥	⑯周産期	⑰先天異常	⑱症状・診断不明確	⑲損傷・中毒	⑳補助分類
県内	名古屋・尾張中部	11,893	209	3,861	68	174	17	266	25	97	1,413	790	1,257	81	262	717	878	347	130	123	801	377
	海部	4,790	79	1,904	33	67	2	75	5	27	637	267	477	17	139	301	224	102	44	34	232	124
	尾張東部	128		52	1	2		3			12	3	5		3	16	13	2	7	1	6	2
	尾張西部	518	3	213	2	6		12		8	45	19	55	3	10	43	32	16	10	1	29	11
	尾張北部	242		80	2	2		10			17	5	22	2	7	28	30	20	5		9	3
	知多半島	360	3	112	5	1	1	1	1		71	7	10	4	5	18	71	26	7	2	6	9
	西三河北部	55		28		1				1		1	2	1	1	4	6	2	2	1	2	3
	西三河南部東	44	1	7		1		1			2	2	3		2	7	12	4	2			
	西三河南部西	85		15		1		2			3	6	7		1	7	26	8	4		2	3
	東三河北部	2											1			1						
	東三河南部	39		12							1		2			9	7	3	3			2
	小計	18,156	295	6,284	111	255	20	370	31	133	2,201	1,100	1,841	108	430	1,151	1,299	530	214	162	1,087	534
県外	岐阜	261	1	113	1	1		10			23	6	15	1	3	27	26	11	6	2	9	6
	三重	264		121				4		15	32	10	11		4	29	17	4	7	2	7	1
	静岡	27		6	1						2				1	4	8	1	1		1	2
	その他	199		23	2			4			21	15	8	2	3	7	69	26	2	4	8	5
	住所不定	4									1					1		1			1	
	小計	755	1	263	4	1	0	18	0	15	79	31	34	3	11	68	120	43	16	8	26	14
総計		18,911	296	6,547	115	256	20	388	31	148	2,280	1,131	1,875	111	441	1,219	1,419	573	230	170	1,113	548

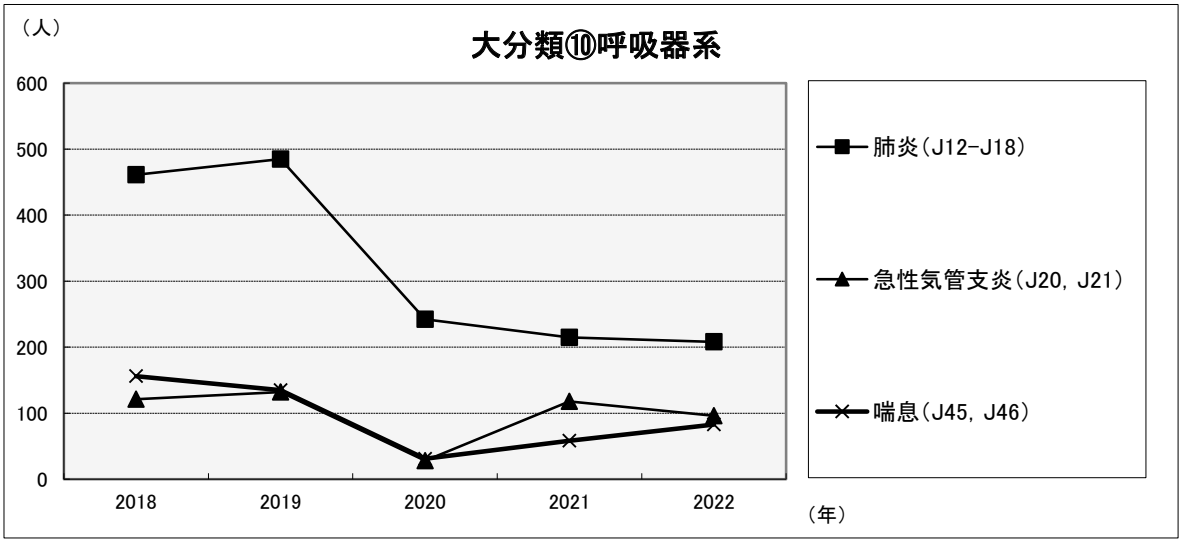
二次医療圏	地区	延人数
名古屋尾張中部	中村区	4,746
	中川区	2,776
	西区	1,074
	港区	359
	中区	287
	北区	256
	緑区	108
	千種区	169
	熱田区	123
	守山区	82
	名東区	117
	南区	99
	東区	147
	瑞穂区	62
	天白区	42
	昭和区	85
	清須市	1,129
	北名古屋市	220
	豊山町	12
海部	あま市	2,506
	大治町	1,185
	津島市	460
	愛西市	305
	蟹江町	256
	弥富市	71
	飛島村	7

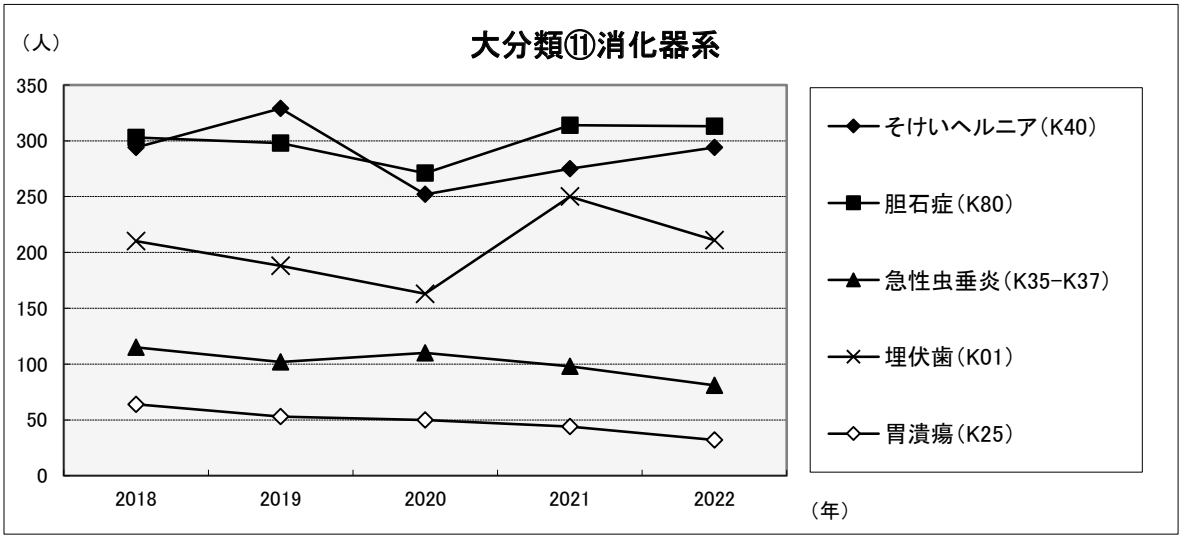


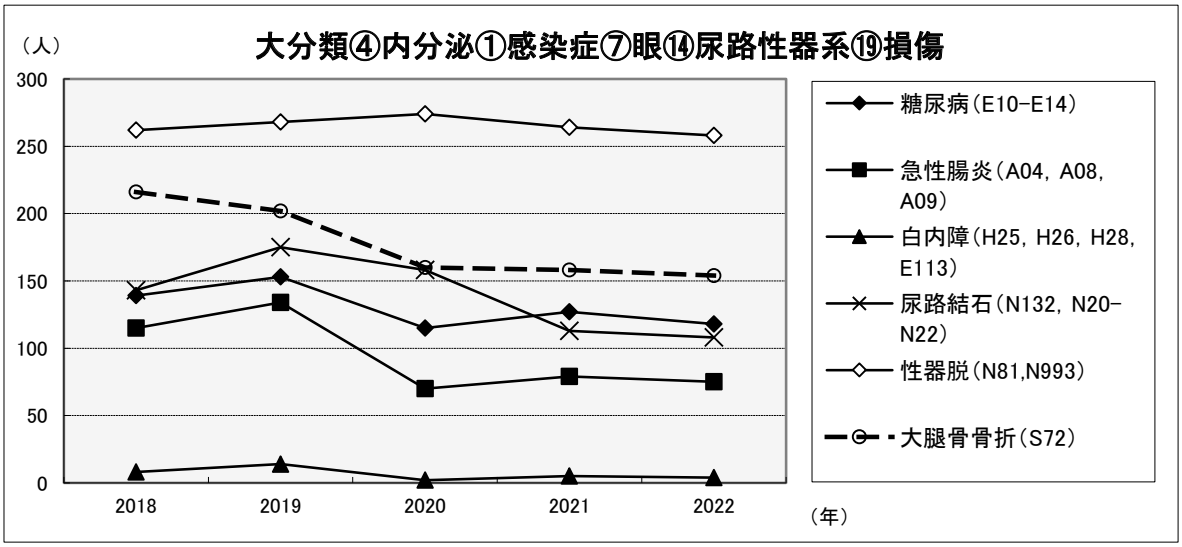
（４） 主要疾患別退院患者数の推移（2018年～2022年）






大分類⑩呼吸器系
（人）
600
500
400
300
200
100
0
2018
2019
2020
2021
2022
（年）
肺炎（J12-J18）
急性気管支炎（J20, J21）
喘息（J45, J46）


大分類⑪消化器系
（人）
350
300
250
200
150
100
50
0
2018
2019
2020
2021
2022
（年）
そけいヘルニア（K40）
胆石症（K80）
急性虫垂炎（K35-K37）
埋伏歯（K01）
胃潰瘍（K25）


大分類④内分泌①感染症⑦眼⑭尿路性器系⑲損傷
（人）
300
250
200
150
100
50
0
2018
2019
2020
2021
2022
（年）
糖尿病（E10-E14）
急性腸炎（A04, A08, A09）
白内障（H25, H26, H28, E113）
尿路結石（N132, N20-N22）
性器脱（N81,N993）
大腿骨骨折（S72）

（５） 診療科別上位疾患別科別退院患者数及び平均在院日数

（上段：患者数，下段：平均在院日数）

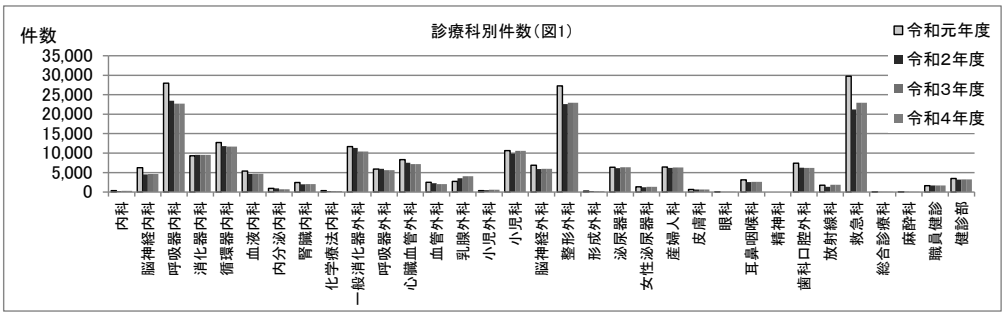
診療科	1病名		2 病名		3 病名		4 病名		5 病名	
総合診療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
内　科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0		0.0		0		0		0
化学療法内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
呼吸器内科	C34：気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	801	J84：その他の間質性肺疾患	93	U07：エマージェンシーコードU07	89	J15：細菌性肺炎，他に分類されないもの	50	J93：気胸	47
		13.3		15.9		17.9		15.6		12.0
循環器内科	I50：心不全	288	I20：狭心症	218	I48：心房細動及び粗動	154	I21：急性心筋梗塞	109	I47：発作性頻拍(症)	39
		20.6		4.4		6.1		15.1		6.3
消化器内科	C25：膵の悪性新生物＜腫瘍＞	198	D12：結腸，直腸，肛門及び肛門管の良性新生物＜腫瘍＞	181	K80：胆石症	167	C16：胃の悪性新生物＜腫瘍＞	152	C22：肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞	117
		16.7		2.7		12.6		15.9		14.8
脳神経内科	I63：脳梗塞	300	I61：脳内出血	73	G40：てんかん	54	G23：基底核のその他の変性疾患	24	J69：固形物及び液状物による肺臓炎	19
		18.1		22.5		18.2		19.4		36.9
血液内科	C92：骨髄性白血病	162	C83：非ろ＜濾＞胞性リンパ腫	130	C91：リンパ性白血病	80	D46：骨髄異形成症候群	67	C84：成熟T/NK細胞リンパ腫	29
		45.3		22.1		40.2		32.2		20.4
内分泌内科	E11：２型＜インスリン非依存性＞糖尿病＜NIDDM＞	85	E10：１型＜インスリン依存性＞糖尿病＜IDDM＞	11	E05：甲状腺中毒症［甲状腺機能亢進症］	8	E16：その他の膵内分泌障害	7	E87：その他の体液，電解質及び酸塩基平衡障害	7
		15.3		12.5		16.4		11.3		22.3
腎臓内科	N18：慢性腎不全	142	N02：反復性及び持続性血尿	37	N04：ネフローゼ症候群	30	N10：急性尿細管間質性腎炎	24	I50：心不全	17
		11.6		3.6		12.3		13.6		20.9
一般消化器外科	C18：結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	232	K40：そけい＜鼠径＞ヘルニア	203	C16：胃の悪性新生物＜腫瘍＞	148	K80：胆石症	145	C20：直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	115
		13.5		2.7		16.3		7.5		17.6
血管外科	I70：アテローム＜じゅく＜粥＞状＞硬化(症)	96	I71：大動脈瘤及び解離	70	I83：下肢の静脈瘤	35	I72：その他の動脈瘤及び解離	16	T82：心臓及び血管のプロステーシス，挿入物及び移植片の合併症	13
		11.3		11.0		3.1		6.9		4.9
乳腺外科	C50：乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	580	D05：乳房の上皮内癌	44	D24：乳房の良性新生物＜腫瘍＞	19	C73：甲状腺の悪性新生物＜腫瘍＞	18	E04：その他の非中毒性甲状腺腫	11
		7.0		6.5		3.4		6.2		5.4
呼吸器外科	C34：気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	240	J93：気胸	79	C78：呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	44	D02：中耳及び呼吸器系の上皮内癌	23	C37：胸腺の悪性新生物＜腫瘍＞	15
		10.7		7.9		7.2		7.3		8.0
小児外科	K40：そけい＜鼠径＞ヘルニア	90	K42：臍ヘルニア	36	Q53：停留精巣＜睾丸＞	21	Q43：腸のその他の先天奇形	5	K35：急性虫垂炎	5
		2.4		2.9		3.3		16.6		10.0
心臓血管外科	I34：非リウマチ性僧帽弁障害	102	I20：狭心症	96	I71：大動脈瘤及び解離	90	I35：非リウマチ性大動脈弁障害	85	I08：連合弁膜症	18
		10.3		12.3		21.5		12.4		13.2
産婦人科	O70：分娩における会陰裂傷＜laceration＞	434	O34：既知の母体骨盤臓器の異常又はその疑いのための母体ケア	170	C54：子宮体部の悪性新生物＜腫瘍＞	166	C56：卵巣の悪性新生物＜腫瘍＞	163	C53：子宮頚部の悪性新生物＜腫瘍＞	150
		7.2		9.5		8.2		9.9		11.5
小児科	P07：妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害，他に分類されないもの	298	T78：有害作用，他に分類されないもの	102	P59：その他及び詳細不明の原因による新生児黄疸	88	C91：リンパ性白血病	88	J20：急性気管支炎	75
		37.8		1.2		3.3		41.7		5.4
整形外科	S72：大腿骨骨折	153	Z47：その他の整形外科的経過観察＜フォローアップ＞ケア	145	S52：前腕の骨折	110	S42：肩及び上腕の骨折	91	M48：その他の脊椎障害	86
		16.5		2.8		2.6		5.7		13.0
脳神経外科	S06：頭蓋内損傷	112	I67：その他の脳血管疾患	37	I63：脳梗塞	34	I60：くも膜下出血	31	C71：脳の悪性新生物＜腫瘍＞	27
		14.9		7.4		23.6		30.8		39.7
泌尿器科	C61：前立腺の悪性新生物＜腫瘍＞	260	C67：膀胱の悪性新生物＜腫瘍＞	133	D09：その他及び部位不明の上皮内癌	89	Z03：疾病及び病態の疑いに対する医学的観察及び評価	85	N20：腎結石及び尿管結石	80
		7.2		12.2		5.4		2.3		7.1
女性泌尿器科	N81：女性性器脱	222	N99：腎尿路生殖器系の処置後障害，他に分類されないもの	37	N39：尿路系のその他の障害	36	C67：膀胱の悪性新生物＜腫瘍＞	15	C61：前立腺の悪性新生物＜腫瘍＞	12
		5.3		5.2		3.2		4.2		2.3
耳鼻咽喉科	J32：慢性副鼻腔炎	48	J35：扁桃及びアデノイドの慢性疾患	45	H71：中耳真珠腫	45	C32：喉頭の悪性新生物＜腫瘍＞	37	H81：前庭機能障害	30
		7.3		8.2		13.8		25.1		6.2
眼科	T85：その他の体内プロステーシス，挿入物及び移植片の合併症	2	H35：その他の網膜障害	2	E11：２型＜インスリン非依存性＞糖尿病＜NIDDM＞	2	H25：老人性白内障	2	H00：麦粒腫及びさん＜霰＞粒腫	1
		2.0		12.5		4.0		2.0		3.0
皮膚科	B02：帯状疱疹［帯状ヘルペス］	18	L03：蜂巣炎＜蜂窩織炎＞	18	C44：皮膚のその他の悪性新生物＜腫瘍＞	17	D04：皮膚の上皮内癌	6	L63：円形脱毛症	5
		10.5		15.2		6.4		4.5		3.2
形成外科	H02：眼瞼のその他の障害	18	L72：皮膚及び皮下組織の毛包のう＜嚢＞胞	17	D17：良性脂肪腫性新生物＜腫瘍＞(脂肪腫を含む)	17	D23：皮膚のその他の良性新生物＜腫瘍＞	8	C50：乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	6
		3.2		4.0		3.9		4.0		7.3
歯科口腔外科	K01：埋伏歯	211	K05：歯肉炎及び歯周疾患	37	K09：口腔部のう＜嚢＞胞，他に分類されないもの	23	C02：舌のその他及び位不明の悪性新生物＜腫瘍＞	23	K07：歯顎顔面(先天)異常［不正咬合を含む］	22
		2.1		2.1		3.7		14.7		9.9

診療科	6 病名		7 病名		8 病名		9 病名		10 病名	
総合診療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0		0.0		0.0		0.0		0
内　科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0		0		0		0		0
化学療法内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
呼吸器内科	J18：肺炎，病原体不詳	43	J44：その他の慢性閉塞性肺疾患	41	Z03：疾病及び病態の疑いに対する医学的観察及び評価	41	J69：固形物及び液状物による肺臓炎	38	A31：その他の非結核性抗酸菌による感染症	29
		15.4		13.6		2.5		20.2		10.1
循環器内科	I44：房室ブロック及び左脚ブロック	32	T82：心臓及び血管のプロステーシス，挿入物及び移植片の合併症	32	I49：その他の不整脈	28	I35：非リウマチ性大動脈弁障害	25	I71：大動脈瘤及び解離	19
		14.8		10.8		12.6		9.6		22.3
消化器内科	K57：腸の憩室性疾患	103	C15：食道の悪性新生物＜腫瘍＞	88	C18：結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	71	C24：その他及び部位不明の胆道の悪性新生物＜腫瘍＞	50	D01：その他及び部位不明の消化器の上皮内癌	40
		9.5		13.6		16.6		18.5		4.5
脳神経内科	G45：一過性脳虚血発作及び関連症候群	18	G20：パーキンソン＜Parkinson＞病	17	G04：脳炎，脊髄炎及び脳脊髄炎	15	G70：重症筋無力症及びその他の神経筋障害	13	G12：脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	12
		10.8		23.8		45.9		19.4		15.8
血液内科	C90：多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物＜腫瘍＞	29	D69：紫斑病及びその他の出血性病態	23	C93：単球性白血病	23	C82：ろ＜濾＞胞性リンパ腫	22	D47：リンパ組織，造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明のその他の新生物＜腫瘍＞	18
		29.8		19.1		38.3		17.0		20.6
内分泌内科	E83：ミネラル＜鉱質＞代謝障害	6	J69：固形物及び液状物による肺臓炎	6	E23：下垂体機能低下症及びその他の下垂体障害	4	E27：その他の副腎障害	3	U07：エマージェンシーコードU07	3
		17.8		29.0		5.8		8.0		15.0
腎臓内科	M31：その他のえ＜壊＞死性血管障害	11	J69：固形物及び液状物による肺臓炎	10	N39：尿路系のその他の障害	8	N17：急性腎不全	7	Q61：のう＜嚢＞胞性腎疾患	5
		12.2		38.1		19.1		17.9		10.2
一般消化器外科	K35：急性虫垂炎	61	C19：直腸Ｓ状結腸移行部の悪性新生物＜腫瘍＞	55	C25：膵の悪性新生物＜腫瘍＞	52	K91：消化器系の処置後障害，他に分類されないもの	49	C15：食道の悪性新生物＜腫瘍＞	48
		9.1		13.3		15.2		11.5		15.9
血管外科	I74：動脈の塞栓症及び血栓症	6	T81：処置の合併症，他に分類されないもの	3	R11：悪心及び嘔吐	1	R63：食物及び水分摂取に関する症状及び徴候	1	U07：エマージェンシーコードU07	1
		16.7		21.0		7.0		11.0		42.0
乳腺外科	D35：その他及び部位不明の内分泌腺の良性新生物＜腫瘍＞	8	E05：甲状腺中毒症［甲状腺機能亢進症］	6	C82：ろ＜濾＞胞性リンパ腫	3	U07：エマージェンシーコードU07	2	I61：脳内出血	1
		4.9		5.2		2.3		6.0		2.0
呼吸器外科	S27：その他及び詳細不明の胸腔内臓器の損傷	11	J86：膿胸(症)	7	J84：その他の間質性肺疾患	6	E32：胸腺の疾患	5	Z03：疾病及び病態の疑いに対する医学的観察及び評価	4
		16.2		34.9		10.2		5.2		5.8
小児外科	Q40：上部消化管のその他の先天奇形	3	Q33：肺の先天奇形	3	K43：腹壁ヘルニア	3	K56：麻痺性イレウス及び腸閉塞，ヘルニアを伴わないもの	3	Q55：男性生殖器のその他の先天奇形	2
		5.7		4.3		3.0		15.3		3.0
心臓血管外科	Q21：心(臓)中隔の先天奇形	14	I50：心不全	11	T82：心臓及び血管のプロステーシス，挿入物及び移植片の合併症	9	I33：急性及び亜急性心内膜炎	7	T81：処置の合併症，他に分類されないもの	4
		6.9		15.4		40.6		19.4		28.0
産婦人科	D25：子宮平滑筋腫	148	O60：切迫早産及び早産	115	O68：胎児ストレス［仮死＜ジストレス＞］を合併する分娩	113	D27：卵巣の良性新生物＜腫瘍＞	98	D06：子宮頚(部)の上皮内癌	75
		7.6		27.8		12.1		5.9		4.5
小児科	P22：新生児の呼吸窮＜促＞迫	67	R56：けいれん＜痙攣＞，他に分類されないもの	58	J12：ウイルス肺炎，他に分類されないもの	45	G40：てんかん	39	J46：喘息発作重積状態	39
		8.3		3.6		6.6		4.9		5.5
整形外科	S82：下腿の骨折，足首を含む	71	S32：腰椎及び骨盤の骨折	38	M16：股関節症［股関節部の	35	M47：脊椎症	33	S83：膝の関節及び靭帯の脱臼，捻挫及びストレイン	30
		14.7		14.3		18.7		17.2		12.3
脳神経外科	I61：脳内出血	27	I65：脳実質外動脈(脳底動脈，頚動脈，椎骨動脈)の閉塞及び狭窄，脳梗塞に至らなかったもの	17	G40：てんかん	12	I62：その他の非外傷性頭蓋内出血	11	G95：その他の脊髄疾患	9
		29.1		13.3		16.2		6.7		6.2
泌尿器科	N10：急性尿細管間質性腎炎	72	C65：腎盂の悪性新生物＜腫瘍＞	48	C64：腎盂を除く腎の悪性新生物＜腫瘍＞	47	N40：前立腺肥大(症)	36	N13：閉塞性尿路疾患及び逆流性尿路疾患	27
		13.4		9.2		11.4		10.8		9.9
女性泌尿器科	Z03：疾病及び病態の疑いに対する医学的観察及び評価	11	D09：その他及び部位不明の上皮内癌	11	N40：前立腺肥大(症)	6	N36：尿道のその他の障害	4	N21：下部尿路結石	4
		2.3		4.1		5.0		5.0		4.8
耳鼻咽喉科	D11：大唾液腺の良性新生物＜腫瘍＞	26	J36：扁桃周囲膿瘍	24	J34：鼻及び副鼻腔のその他の障害	21	C13：下咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞	21	G51：顔面神経障害	21
		7.7		7.6		6.5		35.8		10.6
眼科	H50：その他の斜視	1	0	0	0	0	0	0	0	0
		2.0		0.0		0.0		0.0		0.0
皮膚科	D17：良性脂肪腫性新生物＜腫瘍＞(脂肪腫を含む)	4	L10：天疱瘡	4	B00：ヘルペスウイルス［単純ヘルペス］感染症	2	L40：乾せん＜癬＞	2	L89：じょく＜褥＞瘡性潰瘍及び圧迫領域	1
		3.3		46.0		8.5		13.0		66.0
形成外科	D16：骨及び関節軟骨の良性新生物＜腫瘍＞	5	D22：メラニン細胞性母斑	4	M67：滑膜及び腱のその他の障害	3	Q69：多指＜趾＞(症)	3	Q17：耳のその他の先天奇形	3
		3.8		3.0		3.0		4.7		3.0
歯科口腔外科	K10：顎骨のその他の疾患	19	K04：歯髄及び根尖部歯周組織の疾患	18	D16：骨及び関節軟骨の良性新生物＜腫瘍＞	15	C03：歯肉の悪性新生物＜腫瘍＞	12	C06：その他及び部位不明の口腔の悪性新生物＜腫瘍＞	10
		20.1		2.7		4.5		24.8		18.0

４．放射線科部

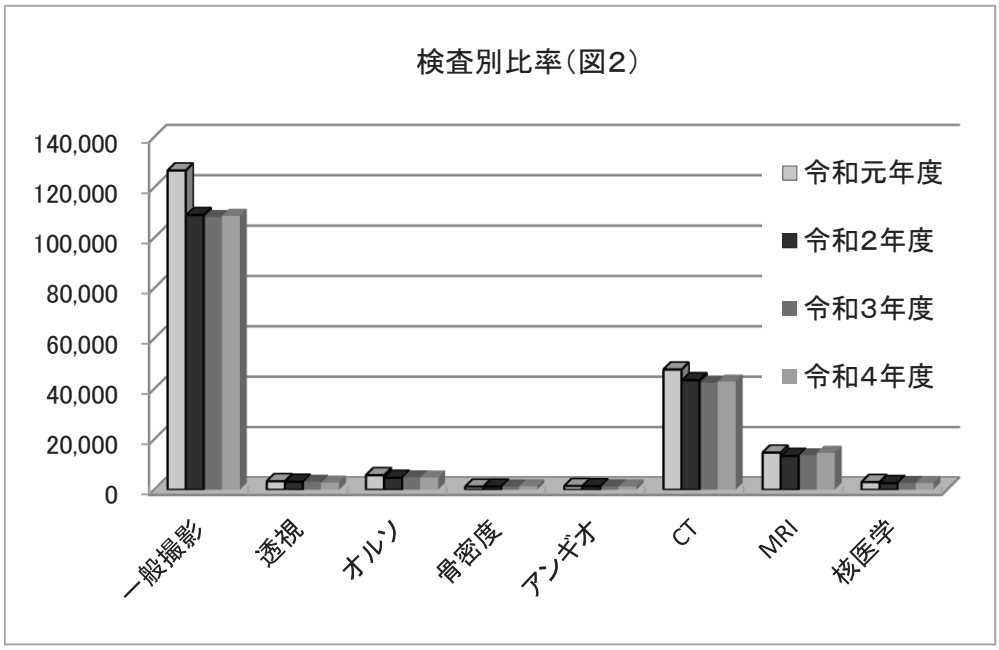
（１） 令和４年度診療科別被検者数（外来＋入院）

検査種	一般撮影				透視撮影				オルソ／断層撮影				骨密度／破砕				血管／心カテ			
科名／年度	R1	R2	R3	R4	R1	R2	R3	R4	R1	R2	R3	R4	R1	R2	R3	R4	R1	R2	R3	R4
内科	241	168	141	156	1			2								1				9
脳神経内科	1,847	1,413	1,215	1,156	9	6	9	6	1	5		1	12	9	13	32				
呼吸器内科	20,298	16,463	16,434	15,564	72	60	83	38					18	11	10	10	1			2
消化器内科	2,128	2,360	2,330	2,350	400	353	315	329		1	1		3	6	6	6	63	33	22	25
循環器内科	9,164	9,108	8,820	9,171	2	3	2	2					3	1	3	3	997	976	924	810
血液内科	3,117	2,631	2,507	2,563	280	221	269	192		1			176	211	151	159				
内分泌内科	336	364	305	232	2	4	4			2	3		30	23	44	35				
腎臓内科	1,884	1,705	1,450	1,524	10	14	13	16					32	38	57	61	4	6	11	5
化学療法内科	257	256	199	165																
一般消化器外科	6,790	7,175	6,593	6,176	717	746	844	689					37	7			2	3	3	11
呼吸器外科	3,961	3,555	4,064	3,772	4	8	14	10												
心臓血管外科	7,108	6,527	6,437	6,093		1	3										63	45	77	63
血管外科	1,349	844	1,079	888	19	9	13	2						1			200	198	198	179
乳腺外科	1,992	2,166	2,355	2,667	1	1	2						26	99	233	335				1
小児外科	284	448	391	533	49	61	65	75												
小児科	9,406	8,302	8,645	9,209	51	32	34	37		3	2	12	58	79	67	66	13	13	9	19
脳神経外科	1,638	1,586	1,510	1,427	3	9	12	9									133	128	95	135
整形外科	22,125	18,572	18,804	19,232	374	346	216	202					643	613	534	519				1
形成外科	114	125	116	87			1			1										
泌尿器科	3,282	2,861	2,724	2,789	599	620	695	675					9	2	2	1	1	2	1	1
女性泌尿器科	1,028	992	912	988	47	26	42	27					11	8	4	1				
産婦人科	4,303	3,985	4,121	4,027	42	27	33	34					22	27	27	13	5	3	2	12
皮膚科	314	272	311	293						1			23	17	20	18				
眼科	10	8	5	9																
耳鼻咽喉科	1,136	922	910	899	9	7	6	12	1	1										
精神科																				
歯科口腔外科	1,055	759	773	753	69	32	40	27	5,683	4,644	4,882	4,804								
放射線科	22	54	54	44				3				1				1				5
救急科	17,929	12,061	11,493	12,308	28	12	15	11	85	63	38	29					12	11	14	23
総合診療科	10	7	11	56									1	2	1	3				
麻酔科	81	51	68	52																
職員健診	1,646	1,706	1,705	1,682																
健診部	1,920	1,629	1,818	1,897	600	555	469	469					115	93	125	102				
合計	126,775	109,075	108,300	108,762	3,388	3,153	3,199	2,867	5,770	4,722	4,926	4,847	1,219	1,247	1,297	1,366	1,494	1,418	1,356	1,301



CT				MRI				核医学（RI）				核医学（PET）				合計				検査種
R1	R2	R3	R4	R1	R2	R3	R4	R1	R2	R3	R4	R1	R2	R3	R4	R1	R2	R3	R4	科名／年度
115	99	106	124	5	6	8	4									362	273	255	296	内科
1,687	1,388	1,151	1,161	2,208	2,008	1,795	1,980	458	335	348	320	3	4	2	4	6,225	5,168	4,533	4,660	脳神経内科
6,147	5,670	5,392	5,533	998	1,001	1,046	1,056	1		1	2	426	429	506	485	27,961	23,634	23,472	22,690	呼吸器内科
5,233	5,235	5,260	5,116	1,352	1,241	1,520	1,594	12	11	8	13	119	87	100	89	9,310	9,327	9,562	9,522	消化器内科
1,996	1,922	1,636	1,395	96	92	97	51	438	404	298	256	6	7	4	2	12,702	12,513	11,784	11,690	循環器内科
1,500	1,355	1,385	1,445	93	102	132	119	2	2	1		239	182	202	199	5,407	4,705	4,647	4,677	血液内科
445	399	457	360	106	92	114	77	47	39	40	29	1	2			967	925	967	733	内分泌内科
460	339	396	405	41	43	54	20		1	1	2	2	1			2,433	2,147	1,982	2,033	腎臓内科
80	60	61	52	1			1			1	1	3		1	1	341	316	262	220	化学療法内科
3,715	3,756	3,629	3,350	146	124	159	133	160	8	2	6	82	84	96	56	11,649	11,903	11,326	10,421	一般消化器外科
1,715	1,689	1,741	1,685	134	101	84	100	2	4			101	101	80	58	5,917	5,458	5,983	5,625	呼吸器外科
1,110	1,011	1,011	994	13	10	8	13	6	11	1	3	1				8,301	7,605	7,537	7,166	心臓血管外科
900	828	956	930	23	33	43	22			1						2,491	1,913	2,290	2,021	血管外科
474	484	586	673	121	112	103	98	73	202	222	289	17	23	19	20	2,704	3,087	3,520	4,083	乳腺外科
7	15	10	6	5	10	7	7									345	534	473	621	小児外科
365	461	396	464	658	668	668	672	56	47	43	65	25	16	20	14	10,632	9,621	9,884	10,558	小児科
2,290	1,861	1,790	1,600	2,819	2,595	2,508	2,789	15	11	9	10	7	6	3	1	6,905	6,196	5,927	5,971	脳神経外科
2,087	1,737	1,386	1,296	2,016	1,587	1,662	1,663	2	4	1	1	10	2	2	1	27,257	22,861	22,605	22,915	整形外科
61	30	36	29	73	97	102	79									248	253	255	195	形成外科
2,052	2,019	2,091	2,155	289	340	435	522	147	162	189	214	16	16	26	15	6,395	6,022	6,163	6,372	泌尿器科
167	170	194	224	78	87	69	81	8	6	25	18	1				1,340	1,289	1,246	1,339	女性泌尿器科
1,242	1,226	1,182	1,325	767	721	785	840	2	2	2	1	22	28	20	29	6,405	6,019	6,172	6,281	産婦人科
252	216	215	221	49	70	92	113					1			1	639	576	638	646	皮膚科
19	7	7	11	30	22	36	47									59	37	48	67	眼科
1,596	1,231	1,278	1,268	294	263	304	374	1		3	1	88	59	73	49	3,125	2,483	2,574	2,603	耳鼻咽喉科
																0	0	0	0	精神科
497	457	483	530	24	19	26	34	1	2	1		57	50	37	42	7,386	5,963	6,242	6,190	歯科口腔外科
1,055	1,061	914	1,192	621	506	351	574	3	4	1	13	48	27	24	47	1,749	1,652	1,344	1,880	放射線科
10,339	8,641	8,522	9,259	1,346	1,170	1,141	1,281									29,739	21,958	21,223	22,911	救急科
10	15	14	14	1		3	2									22	24	29	75	総合診療科
			1													81	51	68	53	麻酔科
																1,646	1,706	1,705	1,682	職員健診
118	99	120	121	355	274	321	309					358	256	311	341	3,466	2,906	3,164	3,239	健診部
47,734	43,481	42,405	42,939	14,762	13,394	13,673	14,655	1,434	1,255	1,198	1,244	1,633	1,380	1,526	1,454	204,209	179,125	177,880	179,435	合計

（２）年度別検査項目別件数



年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
一般撮影	126,775	109,075	108,300	108,762
透視	3,388	3,153	3,199	2,867
オルソ	5,770	4,722	4,926	4,847
骨密度	1,219	1,247	1,297	1,366
アンギオ	1,494	1,418	1,356	1,301
CT	47,734	43,481	42,405	42,939
MRI	14,762	13,394	13,673	14,655
核医学	3,067	2,635	2,724	2,698

（３）年度別放射線治療患者数

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
3DCRT	577	514	541	551
強度変調放射線治療（IMRT）	30	58	24	96
定位照射（SRS, SRT）	76	56	17	56
全身照射（TBI）	37	40	35	27

※　「令和４年　病院年報」から集計項目を変更しました。

5. 病理部・細胞診分子病理診断部

（1）診療科別生検検体数

診療科名	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
内科	67	1	12	0
消化器内科	3,242	3,227	3,512	3,510
血液内科	2,050	1,831	1,053	972
呼吸器内科	646	563	584	526
循環器内科	36	39	24	20
内分泌内科	0	1	0	1
脳神経内科	1	0	0	1
腎臓内科	58	51	50	30
小児科	753	780	399	376
一般・消化器外科	1,081	635	621	653
小児外科	36	40	28	42
心臓血管外科	17	17	22	37
呼吸器外科	499	443	526	499
乳腺外科	602	880	924	1229
産婦人科	1,868	1,736	1,801	1,755
泌尿器科	592	566	518	564
女性泌尿器科	163	118	152	217
脳神経外科	170	160	126	144
整形外科	125	90	79	66
皮膚科	1,185	881	791	882
形成外科	278	224	242	171
耳鼻咽喉科	615	457	544	546
歯科口腔外科	547	381	410	487
血管外科	9	7	3	2
眼科	0	3	2	1
救急科	6	2	1	6
総合診療科	0	0	0	0
健診部	0	0	0	0
化学療法内科	0	0	0	0
合計	14,646	13,133	12,424	12,737

（2）病理特殊検査検体数

特殊検査	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
免疫染色	4,411	4,121	3,496	4,096
コンサルテーション症例数	555	532	113	154

（3）院外受託検査

受託検査	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
骨髄病理検査	1,480	1,361	121	168
テレパソロジー検査	6	6	5	0

（4）剖検検体数（科別検体数、月別検体数）

科別検体数

診療科名	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
一般消化器外科	1	2	0	0
血液内科	6	5	8	6
呼吸器内科	7	1	2	4
循環器内科	1	1	0	0
小児科	6	0	1	1
消化器内科	1	2	3	0
脳神経内科	19	6	5	5
呼吸器外科	0	1	0	1
内分泌内科	1	0	0	0
産婦人科	2	1	0	1
心臓血管外科	0	0	1	0
脳神経外科	1	0	0	0
腎臓内科	1	0	0	0
整形外科	0	0	0	0
耳鼻科	0	0	0	0
救急科	1	3	0	1
泌尿器科	0	1	0	0
合計	47	23	20	19

月別検体数

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
4月	5	1	1	3
5月	4	3	2	1
6月	2	5	3	6
7月	6	2	0	1
8月	6	0	5	1
9月	3	2	2	0
10月	2	1	0	0
11月	3	2	0	1
12月	4	2	1	2
1月	2	3	3	3
2月	5	0	1	1
3月	5	2	2	0
合計	47	23	20	19

（5）細胞診件数（検体種別検体数）

細胞診件数	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
一般細胞診	4,331	4,144	4,728	4,530
婦人科細胞診	3,859	3,565	3,319	3,346
ドック細胞診	430	452	429	460
合計	8,620	8,161	8,476	8,336

（6）遺伝子件数

特殊検査	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
FISH・遺伝子検査	6,848	10,367	21,238	25,834
受託遺伝子検査	137	147	62	101

６．輸血部

（１）令和４年度検査年報集計

		件　数			点　数		
		当年度	前年度	比（%）	当年度	前年度	比（%）
輸血管理	入院	9,553	13,030	-26.7	393,920	407,114	-3.2
	外来	13,752	14,522	-5.3	358,697	402,441	-10.9
	他	126	134	-6.0	0	0	-
	小計	23,431	27,686	-15.4	752,617	809,555	-7.0
分子細胞検査	入院	884	1,007	-12.2	1,376,360	1,557,334	-11.6
	外来	997	1,033	-3.5	949,096	1,008,198	-5.9
	小計	1,881	2,040	-7.8	2,325,456	2,565,532	-9.4
合　計	入院	10,437	14,037	-25.6	1,770,280	1,964,448	-9.9
	外来	14,749	15,555	-5.2	1,307,793	1,410,639	-7.3
	他	90	150	-40.0	0	0	-
総　合　計		25,276	29,742	-15.0	3,078,073	3,375,087	-8.8

上の表に含まれる輸血管理時間外検査（入院、外来）

件数	点数
3,453	56,170

加算・管理料

	件　数			点　数		
	入院	外来	件数合計	当年度	前年度	比（%）
輸血管理料Ｉ	2,264	687	2,951	989,420	954,540	3.7
不規則抗体検査加算	1,839	613	2,452	483,044	475,164	1.7
輸血に伴う血液型加算	952	69	1,021	55,134	56,376	-2.2
総　合　計	5,055	1,369	6,424	1,527,598	1,486,080	2.8

（２）令和４年度院内廃棄血集計（輸血管理室）

血液製剤総購入額　504,973,374円の　0.033%
血液製剤総使用数　12,248バッグの　0.041%

品　　名	略　　号	廃棄数（本）	薬　価（円）	合　計（円）	処理日	廃棄理由
照射赤血球液-ＬＲ「日赤」	IrRBC-LR－2	1	18,132	18,132	7月14日	ルート接続時に破損
照射赤血球液-ＬＲ「日赤」	IrRBC-LR－2	1	18,132	18,132	11月8日	ルート接続時に破損
新鮮凍結血漿「日赤」	FFP-LR-480	2	24,210	48,420	12月13日	融解中に手術が終了しICUへ出庫したが使用せず
新鮮凍結血漿「日赤」	Ir-PC-LR-10	1	81,744	81,744	1月6日	外来で使用予定のため取り寄せたが、前日に患者死亡
総　計		5		166,428		

（３）令和４年度造血幹細胞移植症例数（分子細胞検査室）

造血幹細胞移植関連

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
細胞保存	68	66	62	51	57	53	44	38	42	39	47	48	615
ＰＢＳＣ保存	4	3	0	4	1	1	1	1	0	2	2	3	22
ＢＭ保存	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ＤＬＩ保存	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
ＣＤ34測定	15	6	15	17	10	2	8	5	3	11	12	11	115
ＢＭＳＣ輸注	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	1	1	5
ＰＢＳＣ輸注	3	3	2	0	3	0	2	0	1	0	1	3	18
ＣＢＳＣ輸注	2	0	2	5	3	0	1	4	1	2	2	3	25
ＤＬＩ輸注	3	3	2	3	0	0	1	0	0	1	0	2	15
テムセル	7	7	0	0	8	4	0	0	0	0	0	8	34
クリオ調整	10	2	10	12	10	2	8	10	8	2	2	4	80
ＰＢＳＣ採取	6	2	0	3	1	1	1	1	0	1	2	3	21
合　計	118	92	97	95	93	63	66	60	55	58	69	87	953

	移 植 症 例 数				保険点数小計
	内科	小児科	合計	保険点数	
血縁者間骨髄移植	2	1	3	65,600	196,800
非血縁者間骨髄移植	6	1	7	65,600	459,200
血縁間末梢血幹細胞移植	5	0	5	65,600	328,000
自家末梢血幹細胞移植	8	0	8	30,000	240,000
非血縁間末梢血幹細胞移植	5	0	5	65,600	328,000
臍帯血	18	7	25	44,300	1,107,500
自家骨髄移植	0	2	2	25,000	50,000
骨髄採取術	10	6	16	21,640	346,240
合　　計	54	17	71		3,055,740

	症例数		保険点数	保険点数小計
ドナーリンパ球輸注	1回目	1	750	750
	2回目以降	14	760	10,640
合　計		15		11,390

（４）令和４年度成分採血室稼動状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
自己血採取	2	3	3	4	1	2	2	0	0	4	3	2	26
末梢血幹細胞採取	6	2	0	3	0	1	1	1	0	1	2	4	21
骨髄濃縮	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	1	0	5
リンパ球採取	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	1	0	4
顆粒球採取	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
バンク確認検査	9	5	5	6	8	4	8	5	5	4	5	5	69
最終同意	5	3	2	2	3	0	1	0	3	1	0	4	24
術前検査	6	4	5	1	2	3	0	5	2	6	2	4	40
術後検診	2	3	1	5	2	2	0	2	0	0	1	5	23
骨髄引き渡し	1	1	2	2	1	2	1	0	0	1	1	1	13
HLA検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　計	31	21	21	24	17	14	13	14	10	19	16	25	225

７．健診部

（１）令和４年度健診実績

（人）/（千円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一日ドック	35	44	51	61	53	67	58	70	49	48	36	42	614
	2,492	2,972	3,669	4,260	3,833	4,601	4,119	4,970	3,699	3,188	2,572	2,811	43,186
総合ドック	21	18	24	16	19	18	24	25	24	18	20	24	251
	4,030	3,730	4,461	2,673	3,521	2,975	4,409	4,586	4,619	3,546	3,594	4,157	46,301
PETドック	4	7	3	4	5	7	6	3	8	11	4	7	69
	512	919	404	523	610	858	762	398	986	1,363	504	886	8,725
脳ドック（単独）	2	2	1	0	4	2	0	0	1	3	0	2	17
	122	119	59	0	238	134	0	0	59	182	0	119	1,032
宿泊ドック												1	1
												438	438
企業健診	21	52	64	60	52	31	60	68	46	55	72	33	614
	1,311	3,314	3,446	3,803	3,772	1,721	3,564	3,820	2,813	3,076	3,783	1,707	36,130
日赤健保	3	6	2	3	1	10	8	3	7	4	7	7	61
	114	248	57	109	36	402	365	131	255	240	354	292	2,603
福島県民健康診査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
HBOC検診	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	0	5
	13	0	0	26	50	0	0	0	0	0	26	0	115
特定保健指導	0	2	1	2	2	0	1	1	0	0	0	0	9
	0	13	10	8	9	0	15	2	0	0	0	0	57
令和４年度合計（人）	**87**	**131**	**146**	**147**	**138**	**135**	**157**	**170**	**135**	**139**	**140**	**116**	**1,641**
令和４年度合計（千円）	**8,594**	**11,315**	**12,106**	**11,402**	**12,069**	**10,691**	**13,234**	**13,907**	**12,431**	**11,595**	**10,833**	**10,410**	**138,587**

8. 薬剤部

(1)入院・外来処方せん枚数

	入院		外来		合計総枚数	
	３年度	４年度	３年度	４年度	３年度	４年度
月平均枚数	14,203	13,872	14,522	14,742	28,724	28,614
年間合計枚数	170,430	166,469	174,258	176,903	344,688	343,372
院外処方せん発行率			74.80%	72.70%		

(2)入院薬剤管理指導料算定数

	薬剤管理指導料算定数	
	３年度	４年度
月平均人数（名）	1,253.30	1,455.83
月平均件数（件）	2,065.25	1,846.83
年間合計人数（名）	15,040	17,470
年間合計件数（件）	24,783	22,162

(3) 妊娠と薬外来の相談件数

	相談件数(件)	
	３年度	４年度
妊娠前	2	2
妊娠後	1	2
授乳	0	0

(4)薬学生実務実習受け入れ人数

	受け入れ人数(人)	
	３年度	４年度
第二期	0	0
第三期	4	4
第四期	4	4

(5)抗がん剤調製延患者数

	延調製患者数(人)	
	３年度	４年度
外来	10,030	10,595
入院	7,051	6,162

(6) 新規の治験・製造販売後調査受託件数

	新規の受託件数（件）	
	３年度	４年度
治　験	7	3
製造販売後調査	23	16
臨床試験	105	190

(7) 専門薬剤師資格取得薬剤師数

	取得薬剤師数（人）	
	４年度	
日本薬剤師研修センター　認定実務実習指導薬剤師	11	
日本病院薬剤師会　認定実務実習指導薬剤師	16	
日本病院薬剤師会　日本病院薬学認定薬剤師	14	
日本病院薬剤師会　妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師	2	
日本病院薬剤師会　感染制御専門薬剤師	1	
日本医療薬学会　専門・指導薬剤師	専門：4	指導：1
日本医療薬学会　薬物療法専門・指導薬剤師	専門：2	指導：2
日本医療薬学会　がん専門・指導薬剤師	専門：5	指導：4
日本緩和医療薬学会　緩和薬物療法認定薬剤師	2	
日本緩和医療薬学会　緩和医療暫定指導薬剤師	1	
日本臨床救急医学会　救急認定薬剤師	1	
日本腎臓学会　腎臓病療養指導士	2	
日本循環器学会　心不全療養指導士	2	
日本糖尿病療養指導士認定機構　糖尿病療養指導士	6	
日本静脈経腸栄養学会NST専門療養士	5	

９．検査部

（１）令和４年度検査種別稼動集計

臨床検査		件数			点数		
		当年度	前年度	比（%）	当年度	前年度	比（%）
血液	入院	56,151	62,260	-9.8	2,021,250	2,396,155	-15.6
	外来	263,055	256,671	2.5	6,091,529	5,941,638	2.5
	その他	6,011	5,823	3.2	0	0	-
	時間外入院	147,846	158,749	-6.9	3,729,937	3,953,674	-5.7
	時間外外来	55,174	53,726	2.7	1,341,453	1,266,356	5.9
	小計	528,237	537,229	-1.7	13,184,169	13,557,823	-2.8
一般	入院	9,668	10,553	-8.4	275,458	299,773	-8.1
	外来	56,737	58,866	-3.6	1,619,211	1,694,607	-4.4
	その他	5,916	5,849	1.1	0	0	-
	時間外入院	7,360	8,553	-13.9	221,506	251,882	-12.1
	時間外外来	16,151	16,944	-4.7	511,804	581,478	-12.0
	小計	95,832	100,765	-4.9	2,627,979	2,827,740	-7.1
生化学	入院	279,419	282,216	-1.0	3,844,062	4,053,965	-5.2
	外来	1,781,246	1,741,183	2.3	16,439,458	16,502,623	-0.4
	その他	56,622	55,281	2.4	0	0	-
	時間外入院	863,840	940,995	-8.2	8,948,554	9,797,911	-8.7
	時間外外来	401,972	405,549	-0.9	3,883,204	4,105,551	-5.4
	小計	3,383,099	3,425,224	-1.2	33,115,278	34,460,050	-3.9
薬物血中濃度	入院	3,566	4,132	-13.7	特定薬剤治療管理料として算出		
	外来	2,024	1,857	9.0			
	その他	0	0	-			
	小計	5,590	5,989	-6.7			
免疫血清	入院	20,374	20,483	-0.5	3,630,059	2,987,954	21.5
	外来	176,941	175,376	0.9	23,949,056	22,131,532	8.2
	その他	10,569	10,272	2.9	0		-
	時間外入院	22,524	24,739	-9.0	3,806,238	3,927,181	-3.1
	時間外外来	29,750	27,834	6.9	6,699,897	5,406,761	23.9
	小計	260,158	258,704	0.6	38,085,250	34,453,428	10.5
細菌	入院	36,678	38,545	-4.8	5,967,293	6,246,707	-4.5
	外来	27,095	26,062	4.0	4,085,059	3,864,400	5.7
	その他	393	374	5.1	0	0	-
	時間外入院	0	0	-	0	0	-
	時間外外来	0	0	-	0	0	-
	小計	64,166	64,981	-1.3	10,052,352	10,111,107	-0.6

☆細菌検査は、平成24年度から件数の集計方法が変わりました。
☆生化学検査は、平成29年度から件数の集計方法が変わりました。
☆その他の内訳（心カテ・ECG、聴力、血流検査以外のドック検査・職員健診・当院健診等）
☆血液、一般、生化学、薬物血中濃度、免疫血清検査は、令和５年１月から件数の集計方法が変わりました。

生理検査		件数			点数		
		当年度	前年度	比（%）	当年度	前年度	比（%）
脳波	入院	871	773	12.7	737,930	667,260	10.6
	外来	1,103	920	19.9	1,065,910	891,400	19.6
	小計	1,974	1,693	16.6	1,803,840	1,558,660	15.7
筋電図	入院	501	468	7.1	413,570	374,460	10.4
	外来	1,242	1,205	3.1	1,089,860	1,077,010	1.2
	小計	1,743	1,673	4.2	1,503,430	1,451,470	3.6
心電図	入院	7,810	7,831	-0.3	1,706,440	1,531,720	11.4
	外来	26,830	28,293	-5.2	5,242,010	5,268,360	-0.5
	その他	1,642	1,745	-5.9	0	0	-
	小計	36,282	37,869	-4.2	6,948,450	6,800,080	2.2
心大血管リハビリ	入院	23	32	-28.1	26,160	37,760	-30.7
	外来	1,058	1,295	-18.3	918,950	1,090,180	-15.7
	小計	1,081	1,327	-18.5	945,110	1,127,940	-16.2
肺機能	入院	759	876	-13.4	81,630	95,090	-14.2
	外来	5,063	4,152	21.9	562,250	460,460	22.1
	その他	0	0	-	0	0	-
	小計	5,822	5,028	15.8	643,880	555,550	15.9
超音波	入院	8,693	8,735	-0.5	7,102,220	7,065,050	0.5
	外来	17,737	17,865	-0.7	11,548,770	11,757,010	-1.8
	その他	1,860	1,823	2.0	0	0	-
	小計	28,290	28,423	-0.5	18,650,990	18,822,060	-0.9
ドック（ECG･聴力）検査	その他	3,087	2,975	3.8	0	0	-

		件数			点数		
		当年度	前年度	比%	当年度	前年度	比%
総合計	入院	424,513	436,904	-2.8	25,806,072	25,755,894	0.2
	外来	2,360,131	2,313,745	2.0	72,612,063	70,679,220	2.7
	その他	86,100	84,142	2.3	0	0	-
	時間外入院	1,041,570	1,133,036	-8.1	16,706,235	17,930,648	-6.8
	時間外外来	503,047	504,053	-0.2	12,436,358	11,360,146	9.5
	合計	4,415,361	4,471,880	-1.3	127,560,728	125,725,908	1.5

（２）令和４年度判断料

１．包括前後

保険点数	項目	件数		点数		
		包括前	包括後	包括前	包括後	比（%）
34	尿・糞便検査判断料	21,330	18,694	725,220	635,596	-12.4
125	血液学的判断料	106,285	93,193	13,285,625	11,649,125	-12.3
144	生化学的判断料Ⅰ	107,226	93,821	15,440,544	13,510,224	-12.5
144	生化学的判断料Ⅱ(RI)	33,056	28,906	4,760,064	4,162,464	-12.6
144	免疫血清学的判断料	84,736	75,226	12,201,984	10,832,544	-11.2
150	微生物学的判断料	29,273	24,698	4,390,950	3,704,700	-15.6
130	病理学的判断料	2,872	2,872	393,200	393,200	0.0
140	呼吸機能学的判断料	1,685	1,464	235,900	204,960	-13.1
350	脳波検査判断料Ⅰ	1,330	1,102	465,500	385,700	-17.1
180	神経・筋検査判断料	794	607	142,920	109,260	-23.6
100	遺伝子関連・染色体検査判断料	3,662	3,234	366,200	323,400	-11.7
	合計	392,249	343,817	52,408,107	45,911,173	-12.4

２．包括後前年比

保険点数	項目	件数		点数		
		当年度	前年度	当年度	前年度	比（%）
34	尿・糞便検査判断料	18,694	18,236	635,596	620,024	2.5
125	血液学的判断料	93,193	93,379	11,649,125	11,672,375	-0.2
144	生化学的判断料Ⅰ	93,821	93,928	13,510,224	13,525,632	-0.1
144	生化学的判断料Ⅱ(RI)	28,906	27,889	4,162,464	4,016,016	3.6
144	免疫血清学的判断料	75,226	70,587	10,832,544	10,164,528	6.6
150	微生物学的判断料	24,698	21,580	3,704,700	3,237,000	14.4
130	病理学的判断料	2,872	2,863	393,200	429,450	-8.4
140	呼吸機能学的判断料	1,464	1,354	204,960	189,560	8.1
350	脳波検査判断料Ⅰ	1,102	964	385,700	337,400	14.3
180	神経・筋検査判断料	607	567	109,260	102,060	7.1
100	遺伝子関連・染色体検査判断料	3,234	3,058	323,400	305,800	5.8
	合計	343,817	334,405	45,911,173	44,599,845	2.9

（３）令和４年度検査加算・管理料（検査部）

１．包括前

加算・管理料点数	加算項目	件数		合計	点数		合計
		入院	外来		入院	外来	
470・740	特定薬剤治療管理料	3,050	1,988	5,038	1,435,930	934,630	2,370,560
280	薬剤初回算定月加算	196	116	312	54,880	32,480	87,360
2740	臓器移植後免疫抑制剤加算	117	0	117	320,580	0	320,580
20	血液化学入院初回加算	10,667	0	10,667	213,340	0	213,340
10	外来迅速検体検査加算	14,450	414,110	428,560	144,500	4,141,100	4,285,600
200	時間外緊急院内検査加算	2,825	5,161	7,986	565,000	1,032,200	1,597,200
240	骨髄像診断加算	648	373	1,021	155,520	89,520	245,040
500	検体検査管理加算Ⅳ	17,055	0	17,055	8,527,500	0	8,527,500
40	検体検査管理加算Ⅰ	141	107,349	107,490	5,640	4,293,960	4,299,600
	総合計	49,149	529,097	578,246	11,422,890	10,523,890	21,946,780

２．包括後

加算・管理料点数	加算項目	件数		合計	点数		合計
		入院	外来		入院	外来	
470・740	特定薬剤治療管理料	775	1,949	2,724	366,680	916,300	1,282,980
280	薬剤初回算定月加算	0	0	0	0	0	0
2740	臓器移植後免疫抑制剤加算	0	0	0	0	0	0
20	血液化学入院初回加算	805	0	805	16,100	0	16,100
10	外来迅速検体検査加算	680	414,110	414,790	6,800	4,141,100	4,147,900
200	時間外緊急院内検査加算	79	5,137	5,216	14,400	919,800	934,200
240	骨髄像診断加算	124	4	128	28,280	108,560	136,840
500	検体検査管理加算Ⅳ	2,303	0	2,303	1,151,500	0	1,151,500
40	検体検査管理加算Ⅰ	5	107,302	107,307	200	4,292,080	4,292,280
	総合計	4,771	528,502	533,273	1,583,960	10,377,840	11,961,800

10. 看護部

（１）看護部の理念

赤十字の看護師として、おひとりおひとりの患者さんを大切にした看護を目指します

（２）基本方針

１．　安全で安楽な看護技術を提供します
２．　継続教育を充実させ看護の専門性を追及します
３．　地域のみなさまの健康保持増進を支援します
４．　他部門と協動し、病院の健全な運営に取組みます
５．　救護活動や赤十字の講習会の普及に取組みます

（３）看護部目標

１．看護業務の効率化を推進する

（４）専門分野と人数

専門分野		人数
専門看護師	精神看護専門看護師	1
	母性看護専門看護師	1
	がん看護専門看護師	2
	小児看護専門看護師	3
	家族支援専門看護師	2
認定看護師	皮膚・排泄ケア看護認定看護師	3
	集中ケア認定看護師	2
	がん化学療法看護認定看護師	4
	新生児集中ケア認定看護師	2
	緩和ケア認定看護師	2
	救急看護認定看護師	4
	摂食・嚥下障害看護認定看護師	2
	感染管理認定看護師	2
	手術看護認定看護師	2
	がん性疼痛看護認定看護師	3
	認知症看護認定看護師	2
	透析看護認定看護師	1
	がん放射線療法看護認定看護師	1
	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	1
	慢性呼吸器疾患看護認定看護師	1
	慢性心不全看護認定看護師	1
その他	認定看護管理者	4

（５）令和４年度　看護部行事・看護職員対象研修等一覧

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院　看護部　令和4年4月22日

開催月	研修会・勉強会・実践委員会等	開催日	会場	参加者
4月	新入看護職員採用時研修会Ⅰ	4/6（水）～4/11（月）終日	演習室1　他	新入看護職員
	赤十字概論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	4/5（日）終日、4/11（月）　13:30～17:00	名古屋市公会堂、演習室1	新入看護職員・未受講者
	病院説明会・インターンシップ	4/16（土）・4/29（金）　8:30～16:00	演習室1	看護師
5月	新入看護職員採用時研修Ⅱ	5/9（月）・5/10（火）終日	演習室1・演習室2・研修室3	新入看護職員
	NST勉強会［栄養評価法について」	5/9（月）　17:45～18:45	内ヶ島講堂	全職員
	ナーシング リサーチカフェⅠ	5/16(月）　17:00～17:30	研修室2	看護職員
	空気感染防止対策研修会＋フィットテスト	5/16(月）11:00～12:00、5/17（火）～5/20（金）13:00～15:00	演習室2	ER/救命A/救命B/西9B/西7/内視鏡/耳鼻科/口腔外科/OP室、新採用看護師
	看護業務実践委員会	5/19（木）　16:30～17:30	研修室3	実践委員
	病院説明会・インターンシップ	5/21（土）　8:30～16:00	演習室1	看護師
	経験者語り合う会①	5/20（金）13:30～17:00	研修室1	新入看護職員（経験者）
	新人語り合う会①	5/23（月）・24（火）　13:30～17:00	演習室1	新入看護職員（新卒者）
	看護事務・助手・介護士研修会　①	5/30（月）・6/6（月）　15:30～16:30	演習室1	看護事務・助手・介護士
6月	プリセプターシップ振り返りの会	6/2（木）・6/3（金）13:30～17:00	演習室1	プリセプター（レベルⅡ相当）
	褥瘡勉強会「ｽｷﾝｹｱﾅｰｽの役割・褥瘡診療予防計画書の記入法」	6/2（木）　16:30～18:00	内ヶ島講堂	新スキンケアナース
	ICM研修会	6/7（火）　16:30～17:10	演習室1	ICM
	赤十字救急法	6/7（火）・6/8（水）・6/9（木）	内ヶ島講堂	レベルⅠ・Ⅱ・Ⅲ
	新入看護職員研修会Ⅰ（呼吸管理・廃用症候群の予防ケア・DM基礎・褥瘡予防）	6/10(金）・6/13（月）・6/14（火）終日	演習室1	新入看護職員
	看護記録効率化実践委員会　①	6/13（月）　16:30～17:30	演習室2・研修室3	実践委員
	ナーシング リサーチカフェⅠ	6/20（月）　17:00～17:30	研修室2	看護職員
	RST勉強会「酸素療法とデバイス」	6/21（火）　18:00～19:00	内ヶ島講堂	全職員
	看護協会等総会報告会	6/22(水）　13:00～17:00	ウインク愛知	実践委員・看護職員
	防災備品説明会	6/24（金）15:00～16:30	内ヶ島講堂	防災係・業務担当係長
	リーダーシップ研修会	6/30（木）・7/1（金）　終日	演習室1	レベルⅢ
7月	医療安全・感染対策研修会①	7/1（金）～7/8（金）	内ヶ島講堂	全職員
	病院見学会・インターンシップ	7/2（土）　8:30～16:00	演習室1	看護師
	新入看護職員研修会Ⅱ（心電図Ⅰ・救命救急処置・新人語り合う会）	7/8（金）・7/11（月）・7/12（火）　8:30～15:00	演習室1	新入看護職員
	新人語り合う会①	7/8（金）・7/11（火）・7/12（月）　15:00～17:00	演習室1	新入看護職員（新卒者）
	RST勉強会「人工呼吸器の構造（NKV-550）と基本」	7/12（火）18:00～19:00	内ヶ島講堂	全職員
	看護技術研修（口腔ケア）	7/15（金）・7/27（水）　17:15～18:30	演習室2・研修室3	看護職員
	ナーシングスキル活用実践委員会①	7/22（金）16:30～17:30	研修室3	実践委員
	院内看護研究発表会	7/25（月）18:00～19:00	演習室1	看護職員
	日常生活援助技術指導者研修会	7/26（火）13:00～17:00	演習室1	レベルⅢ
	意識向上実践委員会　①	7/28（木）16:30～17:30	演習室2・研修室3	実践委員
	防災訓練（東5・東6・東7・東8・西2・西3・緩和C）	7/22(金）　15:00～16:00	各看護単位	新人・レベルⅠ・レベルⅡ
	事例で学ぶ対象理解	7/30（土）　9:00～17:10	演習室1	レベルⅠ・Ⅱ
8月	病院見学会・インターンシップ	8/2（火）　8:30～16:00	演習室1	看護師
	各看護単位BLS技術指導者講習会	8/5(金）　13:00～17:00	演習室1	レベルⅡ・ⅢかつICLS受講者・今年度受講予定者
	摂食嚥下勉強会	8/9（火）　17:30～18:30	演習室1	摂食嚥下リンクナース・看護職員
	看護技術研修（導尿）	8/12（金）・8/23（火）17:15～18:30	演習室2・研修室3	看護職員
	ナーシングリサーチカフェⅠ	8/15（月）17:00～17:30	研修室2	看護職員
	臨地実習指導者研修会	8/15（月）　8:30～17:00	演習室1	レベルⅡ・Ⅲ
	RST勉強会「人工呼吸器グラフィックモニタとトラブルシューティング」	8/19（火）18:00～19:00	内ヶ島講堂	全職員
	緩和ケアチーム勉強会	日未定　18:00～19:00	未定	全職員
	家族看護研修会	8/25（木）13:00～17:00	演習室1	レベルⅡ・Ⅲ
	防災訓練(西7・西8A・西8B・西9A・西9B・OPE・NICU)	8/26（金）15:00～16:00	各看護単位	新人・レベルⅠ・レベルⅡ
	排尿ケアに関する勉強会	8/31（水）17:45～18:45	演習室2・研修室3	全職員
	救護員養成研修(初級）	8/16（火）・8/30（火）・8/31（水）13:00～17:00	内ヶ島講堂	レベルⅡ・Ⅲ

開催月	研修会・勉強会・実践委員会等	開催日	会場	参加者
9月	2年目研修（痛みのケア・看取りの看護・症状観察・PPE技術・看護倫理Ⅱ）	9/2（金）・9/5（月）・9/9（金） 8:30～17:00	演習室1	2年目
	感染対策研修会Ⅱ「医療器具関連感染防止対策」	9/12（月）・9/22（木） 16:00～17:00	演習室1	レベルⅠ・Ⅱ
	RST勉強会「呼吸音の聴取」	9/13（火） 18:00～19:00	演習室2	看護職員
	摂食嚥下勉強会	9/13（火） 17:30～18:30	演習室1	摂食嚥下リンクナース・看護職員
	看護技術研修（摘便・浣腸）	9/15（木）・9/27（火） 17:15～18:30	演習室2・研修室3	看護職員
	防災備品説明会	9/16（金） 15:00～16:00	内ヶ島講堂	防災係・業務担当係長
	心電図Ⅱ	9/20(火)　17:30～18:30	演習室1	看護職員
	経験者語り合う会②	9/26(月)　15:00～17:00	演習室1	新入看護職員（経験者）
	第1回　認知症の基礎講座「認知症の原因疾患と病態治療」	9/29（木） 17:30～18:30	内ヶ島講堂	全職員対象
10月	看護技術研修（吸引：開放式・閉鎖式）	10/4（火）・10/12（水） 17:30～18:30	演習室2・研修室3	看護職員
	災害看護論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	10/13(木)　13:00～17:00	演習室1	未受講者
	摂食嚥下勉強会	10/11（火） 17:30～18:30	演習室1	摂食嚥下リンクナース・看護職員
	病院見学会・インターンシップ	10/15（土）　8:30～16:00	演習室1	看護師
	事例検討会	10/17（月）・10/18（火）　8:30～17:00	演習室1	「令和4年度　事例で学ぶ対象理解」受講者
	ナーシング リサーチカフェ 「文献検索ワークショップ」	10/17（月） 16:30～17:30	研修室1	レベルⅡ・Ⅲ
	RST勉強会「人工呼吸器装着中の看護、VAP予防と口腔ケア」	10/18（火） 18:00～19:00	内ヶ島講堂	全職員
	看護記録効率化実践委員会②	10/24（月） 16:30～17:30	演習室2・研修室3	実践委員
	第2回　認知症の基礎講座「認知症ケアのポイント」	10/27（木）　17:30～18:30	内ヶ島講堂	全職員対象
	感染対策研修会Ⅲ「注意すべき病原体の感染防止対策」	10/25（火）　16:00～17:00	演習室1	レベルⅡ以上
	防災訓練(西10A・西10B・西11A・西11B・西12A・西12B・化療C)	10/28（金）　15:00～16:00	各看護単位	新人・レベルⅠ・レベルⅡ
	看護助手・介護士研修会②	10/21（月）・10/24（月）・11/8（火）　15:00～17:00	演習室1・2・研修室3	看護助手・介護士
11月	医療安全・感染対策研修会②	11/1（火）～11/10（木）	内ヶ島講堂	全職員
	災害看護論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	11/15（火） 13:00～17:00	演習室1	未受講者
	看護技術研修（死後処置）	11/9（水）・15（火）　17:15～18:30	演習室1・2・研修室3	看護職員
	RST勉強会「呼吸リハビリ」	11/1（火）　18:00～19:00	内ヶ島講堂	全職員
	ナーシング リサーチカフェⅡ	11/21（月） 17:00～17:30	研修室2	看護職員
	新入看護職員研修Ⅲ（静脈注射STEP3，4・認知症とせん妄症状アセスメントと看護ケア・症状観察）	11/22（火）・11/24（木）・11/25（金） 8:30～15:30	演習室1	新入看護職員
	新人語り合う会②	11/22（火）・11/24（木）・11/25（金） 15:30～17:00	演習室1	新入看護職員（新卒者）
	防災訓練(西5A・救命A・救命B・ICU・MFICU・西6・バースセンター・西1・初療室)	11/25（金） 15:00～16:00	各看護単位	新人・レベルⅠ・レベルⅡ
	排尿ケアに関する勉強会	11/30（水） 17:45～18:45	内ヶ島講堂	全職員
12月	看護技術研修（気管挿管介助）	12/5（月）・12/15（木）　17:15～18:30	演習室2・研修室3	看護職員
	RST勉強会「NPPVとV60」	12/6（火）　18:00～19:00	内ヶ島講堂	全職員
	トリアージブラッシュ研修	12/8（木）　17:30～18:30	研修室1	救急外来トリアージナース
	摂食嚥下勉強会	12/13（火） 17:30～18:30	演習室1	摂食嚥下リンクナース・看護職員
	ナーシングリ サーチカフェⅡ	12/19（月） 17:00～17:30	研修室2	看護職員
	意識向上実践委員会　②	12/22（木） 16:30～17:30	研修室3	実践委員
1月	摂食嚥下勉強会	1/10（火）　17:30～18:30	演習室1	摂食嚥下リンクナース・看護職員
	ナーシング リサーチカフェⅠ	1/16（月）　17:00～17:30	研修室2	看護職員
	リーダーシップ実践報告会	1/23（月） 10:00～17:00	演習室1	令和4年度リーダーシップ研修会受講者
2月	看護技術研修（包帯法）	2/7（（火）・2/20（月） 17:30～18:30	演習室2・研修室3	看護職員
	後輩指導Ⅲ　OJTリーダー養成研修会	2/10（金）　8:30～17:00	演習室1	令和5年度　OJTリーダー予定者
	心電図Ⅲ	2/16（木）　17:30～18:30	演習室1	看護職員
	ナーシング リサーチカフェⅡ	2/20(月)　17:00～17:30	研修室2	看護職員
	ナーシングスキル活用実践委員会②	2/24（金）　16:30～17:30	研修室3	実践委員
	赤十字救急法	2/24（金）・2/27（月）・2/28（火）　終日	演習室1	レベルⅠ・Ⅱ・Ⅲ
3月	後輩指導Ⅰ　プリセプター研修会	3/2（木）・3/3（金）　13:30～17:00	演習室1	令和5年度　プリセプター予定者
	後輩指導Ⅱ　新人指導者研修会	3/13（月）・3/14（火） 13:00～17:00	演習室1	令和5年度　新人指導者予定者
	赤十字フォローアップ研修	日未定　終日	内ヶ島講堂	レベルⅢ
	病院見学会・インターンシップ	調整中　8:30～16:00	演習室1	看護師
	ウォーミングアップ研修	3回　日未定	演習室1	令和5年度　新入看護職員

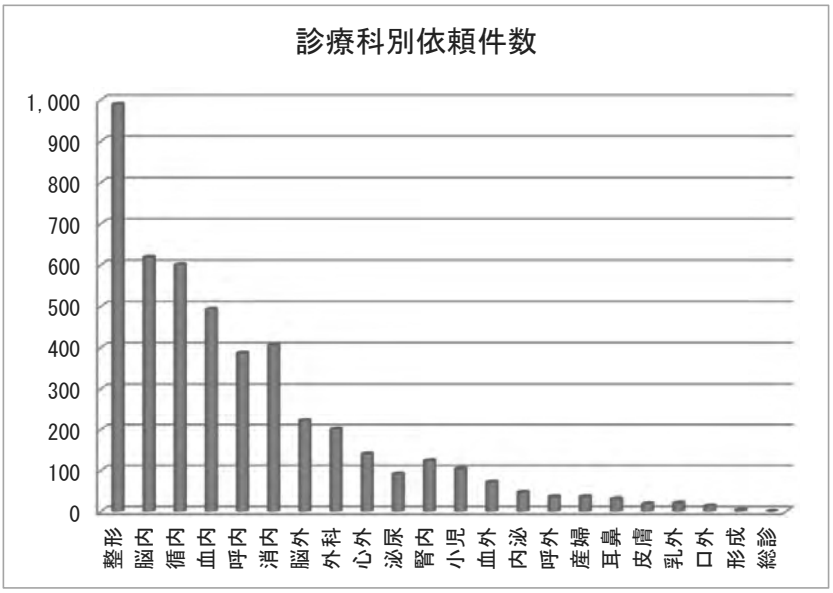
11. リハビリテーション科部

（１）リハビリ依頼件数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
入院	4,050	3,791	4,322	4,480
外来	280	268	184	182

（２）令和４年度診療科別依頼件数

整形	989
脳内	619
循内	601
血内	493
呼内	387
消内	406
脳外	223
外科	201
心外	141
泌尿	92
腎内	124
小児	104
血外	72
内泌	47
呼外	36
産婦	36
耳鼻	31
皮膚	19
乳外	21
口外	14
形成	4
総診	0



（３）PT/OT/ST別 処方件数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
PT	3,987	3,637	4,055	4,274
OT	998	999	1,069	1,029
ST	761	710	779	691

（４）令和４年度リハビリ延べ実施件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
脳血管疾患等リハ料	2,445	2,415	2,910	2,666	1,926	2,104	2,198	2,161	2,251	2,001	2,235	2,647	27,959
廃用症候群リハ料	1,015	1,006	1,076	921	886	827	879	939	763	647	781	1,009	10,749
運動器リハ料（Ⅰ）	898	918	1,050	880	763	1,026	934	916	783	934	960	1,106	11,168
呼吸器リハ料	620	470	547	430	517	660	568	588	479	503	571	581	6,534
心大血管疾患リハ料	447	467	487	422	489	424	548	464	466	393	504	441	5,552
がん患者	1,180	887	978	945	774	962	799	784	854	736	698	865	10,462
基本診療	147	150	143	135	98	115	177	155	19	118	138	137	1,532
緩和ケア	12	9	14	0	0	0	9	0	2	3	0	3	52
緩和ケア(基本診療)	4	2	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	11
早期加算（14日）	3,378	3,062	4,143	3,597	2,602	3,244	3,534	3,106	3,137	3,040	3,213	3,952	40,008
早期加算（30日）	1,665	1,802	1,658	1,663	1,602	1,548	1,680	1,578	1,519	1,454	1,624	1,583	19,376
退院時リハビリ指導料	162	135	144	183	128	180	144	144	181	118	161	193	1,873
リハ総合計画評価料	309	294	330	310	248	308	259	272	266	226	262	301	3,385
リハ総合計画評価料(介護へ)	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	4
精密知覚機能検査	25	25	21	17	13	20	8	13	20	16	16	16	210
目標設定加算（初回）	1	4	4	1	1	4	1	1	2	5	3	0	27
目標設定加算（２回目以降）	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	3
摂食機能療法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

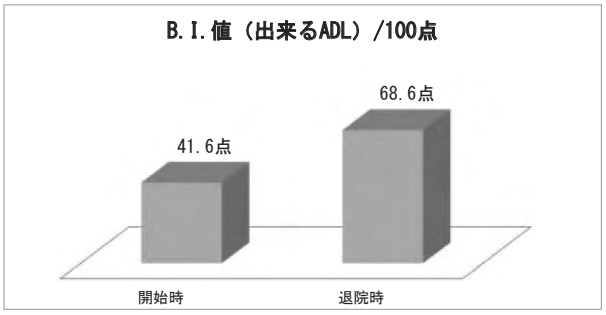
（５）令和４年度リハビリ稼働集計（点数）

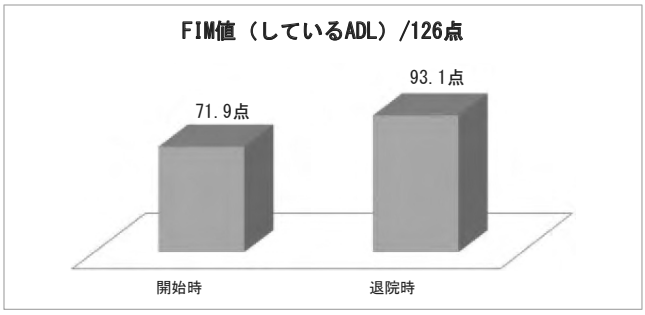
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
脳血管疾患等リハ料	1,013,026	960,939	1,155,420	987,105	896,945	889,105	916,055	893,515	962,115	863,625	863,870	1,040,515	11,442,235
廃用症候群リハ料	270,936	277,200	285,480	259,740	248,040	209,520	247,320	252,360	201,960	182,700	199,800	272,340	2,907,396
運動器リハ料（Ⅰ）	368,866	356,217	392,218	327,376	348,780	458,060	396,695	370,980	329,781	374,680	374,736	447,071	4,545,460
呼吸器リハ料	295,636	127,750	141,575	115,850	144,200	191,800	161,875	156,800	126,700	156,800	149,800	145,250	1,914,036
心大血管疾患リハ料	254,576	147,395	161,745	144,320	174,455	147,805	164,000	160,720	165,025	133,660	156,415	146,370	1,956,486
がん患者	291,136	275,000	320,400	300,600	235,800	314,000	277,800	248,200	281,800	256,600	225,800	265,600	3,292,736
基本診療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緩和ケア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緩和ケア(基本診療)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
早期加算（14日）	282,900	261,000	345,975	295,650	220,350	282,600	308,250	265,350	274,050	265,050	278,250	344,625	3,424,050
早期加算（30日）	57,180	63,750	56,730	56,220	56,610	53,220	58,200	56,340	55,110	55,410	57,000	54,510	680,280
退院時リハビリ指導料	48,600	40,500	43,200	54,900	38,400	54,000	43,200	43,200	54,300	35,400	48,300	57,900	561,900
リハ総合計画評価料	92,700	88,200	99,000	93,000	74,400	92,400	77,700	81,600	79,800	68,400	78,600	90,300	1,016,100
リハ総合計画評価料(介護へ)	0	0	0	0	0	240	0	0	720	0	0	0	960
精密知覚機能検査	7,000	7,000	5,880	4,760	3,640	5,600	2,240	3,640	5,600	4,480	4,480	4,480	58,800
目標設定加算（初回）	250	1,000	1,000	250	250	1,000	250	250	500	1,250	750	0	6,750
目標設定加算（２回目以降）	0	0	100	0	0	100	0	0	100	0	0	0	300
摂食機能療法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計（点）	2,982,806	2,605,951	3,008,723	2,639,771	2,441,870	2,699,450	2,653,585	2,532,955	2,537,561	2,398,055	2,437,801	2,868,961	31,807,489

（６）令和４年度 ＡＤＬの改善状況　　（開始時 ⇒ 退院時）

入院患者 4,320人の平均

B.I.値（出来るADL）	開始時	41.6 点 /100点
	退院時	68.6 点 /100点
FIM値（しているADL）	開始時	71.9 点 /126点
	退院時	93.1 点 /126点





病棟	B.I.（100点）		FIM（126点）	
	初期	退院時	初期	退院時
西棟12階Ａ	38.9	64.6	71.0	89.1
西棟12階Ｂ	30.6	54.4	64.9	82.6
西棟11階Ａ	36.0	59.1	69.5	85.1
西棟11階Ｂ	29.5	67.4	62.3	92.2
西棟10階Ａ	32.7	55.3	58.6	77.3
西棟10階Ｂ	47.6	66.1	71.5	88.1
西棟９階Ａ	33.7	73.1	65.7	97.0
西棟９階Ｂ	27.8	52.9	59.1	80.2
西棟８階Ａ	29.8	57.7	60.9	85.6
西棟８階Ｂ	39.1	72.1	74.4	99.0
西棟５階Ａ	39.3	78.5	71.1	104.1
東棟８階	86.2	94.9	115.3	120.5
東棟７階	57.7	71.2	84.1	97.8
東棟６階	56.3	73.6	84.3	96.4
東棟５階	48.6	67.8	77.4	91.2

12. 総務課

（１）令和４年度災害救護訓練・研修派遣実績（派遣者一覧）

Ⅰ.臨時救護・行政訓練等への協力事業

NO.	区分	事業名	実施日（予定）	場所	職種	人数
1	臨時救護	中村公園夏まつり	7/27（水）	中村公園	看護師	2
			7/28（木）			2
			7/29（金）			2
2	行政等訓練	中部国際空港消火救難総合訓練 （情報管理とトリアージについてのオンライン説明会）	8/4（木）	常滑市	医師	1
					主事	1
3	行政等訓練	愛知県・豊川市総合防災訓練 （地震想定）	12/17（土）	豊川市	医師	1
					看護師長	1
					看護師	2
					主事	2
4	臨時救護	中村区区民まつり	10/22（土）	中村公園一帯	看護師	2
5	第3 ブロック 支部	第3ブロック支部 災害救護訓練	11/3（祝） ～ 11/4（金）	長野県	災害医療ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ	1
					支部ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄｽﾀｯﾌ	3
6	臨時救護	マラソンフェスティバル　ナゴヤ・愛知	3/12（日）	名古屋市	医師	1
					看護師	2
					主事	1
7	行政等訓練	第四管区海上保安本部 旅客船事故対応訓練	11/22（火）	名古屋市	医師	1
					看護師長	1
					看護師	2
					主事	2
8	行政等訓練	愛知県医師会無線訓練	8/2（火）、 12/7（水）	当院		2
9	行政等訓練	あいちシェイクアウト訓練	9/1（木）	当院		1,500
10	行政訓練	令和4年度大規模災害時 医療活動訓練（政府訓練）	9/30（金） ～ 10/1（土）	愛知県	インストラクター	1
					災害ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄﾁｰﾑ 及び ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄｽﾀｯﾌ	5
			10/1（土）		プレイヤー	5
					補助スタッフ	5

Ⅱ.赤十字救護員としての研修

No.	区分	事業名	実施日	会場	職種	人数
1	院内研修	救護員養成研修	8/16（火）、8/30（火）～8/31（水）	当院	参加者及びスタッフ合計	64名
2	支部研修	支部救護班要員養成研修	6/27（月）～6/29（水）	当院	災害医療ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ	1
					災害医療ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄｽﾀｯﾌ(看護師)	1
					災害医療ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄｽﾀｯﾌ(事務系)	2
					企画運営スタッフ医師	1
					企画運営スタッフ看護師	1
					総務課	1
					医師	2
					研修医	2
					看護師長	2
					看護師	2
						2
					助産師	1
					薬剤師	2
					主事	6
3	支部研修	支部救護班要員養成研修	12/5（月）～12/7（水）	名二病院	災害医療ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ	1
					災害医療ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄｽﾀｯﾌ(看護師)	1
					災害医療ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄｽﾀｯﾌ(事務系)	2
4	本社研修	全国赤十字救護班研修会	2/11（祝）～2/12（日）	日赤愛知災害管理センター棟	指導スタッフ	3
					研修生	2
5	支部研修	こころのケア研修会	2/17（金）	支部	指導者	3
					救護員登録者	7

No.	区分	事業名	実施日	会場	職種	人数
5	支部研修	こころのケア研修会	2/24（金）	支部	指導者	4
					救護員登録者	9

Ⅲ.病院訓練

No.	区分	事業名	実施日	会場	職種	人数
1	院内訓練	大規模地震時医療救護活動訓練	12/1（木）	当院	参加者及びスタッフ合計	147名
2	院内訓練	災害対策本部 机上シミュレーション訓練	2/3（金）	当院	参加者及びスタッフ合計	25名

Ⅳ.日本DMAT・愛知DMAT隊員養成研修

No.	区分	事業名	実施日	会場	職種	人数
1	研修	日本DMAT隊員養成研修	10/30（日） ～ 11/1（月）	石川県	看護師	1
2	研修	愛知DMAT隊員養成研修	3/25（土） ～ 3/26（日）	愛知医科大学	看護師	1
3	研修	中部ブロック統括DMAT登録者 技能維持・ロジスティクス研修	8/1（月） ～ 8/2（火）	ウインクあいち	医師	該当者
					業務調整員	
		中部ブロックDMAT技能維持研修	8/1（月）		看護師	
4	研修	新興感染症クラスター対応研修	2/25（土） ～ 2/26（日）	大阪市内	医師	1

Ⅴ.日本DMAT隊員研修・訓練

No.	区分	事業名	実施日	会場	職種	人数
参加見送り						

Ⅵ.その他

No.	区分	事業名	実施日	会場	職種	人数
1	研修	愛知県災害医療コーディネート研修	1/22（日）	日赤愛知災害管理センター棟	主事	2
			1/29（日）		主事	1
					看護師	1

（２）令和４年度　災害救護活動　派遣実績

DMAT等の派遣について

派遣日	救護名	場所	派遣者	
			職種	人数
令和4年4月14日（木）	新型コロナウイルス感染症関係	愛知県名古屋市（老人ホーム）	愛知県災害医療コーディネーター	1
令和4年4月30日（土）	新型コロナウイルス感染症関係	愛知県知立市（グループホーム）	愛知県災害医療コーディネーター	1
令和4年5月12日（木）	新型コロナウイルス感染症関係	愛知県日進市（高齢者向け住宅）	愛知県災害医療コーディネーター	1
令和4年7月14日（木）	新型コロナウイルス感染症関係	愛知県名古屋市（高齢者向け住宅）	愛知県災害医療コーディネーター	1
令和4年7月30日（土）	新型コロナウイルス感染症関係	愛知県名古屋市（老人ホーム）	愛知県災害医療コーディネーター	1
令和4年8月5日（金）	新型コロナウイルス感染症関係	愛知県安城市（高齢者向け住宅）	愛知県災害医療コーディネーター	1
令和4年8月31日（水）	新型コロナウイルス感染症関係	愛知県豊橋市（病院）	愛知県災害医療コーディネーター	1
令和4年11月16日（水）	新型コロナウイルス感染症関係	愛知県豊田市（グループホーム）	愛知県災害医療コーディネーター	1
令和4年12月28日（水）	新型コロナウイルス感染症関係	愛知県豊田市（老人ホーム）	愛知県災害医療コーディネーター	1

（３）病院ボランティア活動状況

１．病院ボランティア活動状況（その１）

活動項目	令和４年度活動報告	
	具体的活動内容〔主催者等〕	備考
広報媒体等を活用した地域住民に対する共生意識・ノーマライゼーション理念の普及啓発	１．名古屋第一赤十字病院奉仕団 （１）病院内 ①玄関案内業務(再来受付機、自動精算機含) ②入院患者案内、付き添い ③患者サロンにおける本の整理整頓 ④慢性疾患児家族宿泊施設(めばえ)清掃整理 ⑤衛生材料作成 ⑥チラシ発送作業 ⑦当院機関紙等発送作業 ⑧車椅子点検整備 （２）役員会等活動 ①総会　書面にて開催 ②役員会・委員会　随時 ③勉強会 （３）関係各機関への協力（病院外） ①日本病院ボランティア協会との連携 ・活動時間等の報告 ②中部善意銀行との連携 ・チャリティーバザーの協力（中止） ③名古屋市社会福祉協議会との連携 ・団員募集の掲示とボランティア保険加入	新型コロナウイルス感染症流行中のため一部活動中止
	２．同朋大学学生　「あんぱんまんサークル」 保育指導ボランティア	新型コロナウイルス感染症流行中のため活動中止
	３．日本ホスピタルクラウン協会 ホスピタルクラウンボランティア	新型コロナウイルス感染症流行中のため活動中止
	４．特定非営利活動法人「ぷくぷくばるーん」 ばるーんで遊ぼう！ボランティア	新型コロナウイルス感染症流行中のため活動中止
	５．緩和ケアセンターボランティア 個人ボランティア、音楽療法、日常生活支援 喫茶、ハンドマッサージ、傾聴ボランティア等	新型コロナウイルス感染症流行中のため活動中止

２．患者慰問活動

活動項目	令和４年度活動報告	
	具体的活動内容〔主催者等〕	備考
その他地域福祉活動に関すること	１．小児医療センター慰問 ・ハロウィンパーティー　令和４年10月26日（水） ・クリスマス会　令和４年12月22日（木） ２．緩和ケアセンター慰問 ・夏まつり　令和４年８月25日（木） ・クリスマス会　令和４年12月21日（水） ・お花ウィーク　令和５年３月16日（木）	

（４）地域福祉活動状況

１．令和４年度赤十字健康教室開催状況

回　数	開催日	講演テーマ	講師 （職名）	参加 人員
第　182　回	令和4年 5月25日(水)	【がんの化学療法】	【座長】山口　丈夫 （副院長兼内視鏡センター長）	40名
		講演１　がん薬物療法の最近の話題、新規薬剤や遺伝子パネル検査について	中野　祐往 化学療法内科部長	
		講演２　治療中の生活で気をつけること	大路　小千代 がん化学療法看護認定看護師　看護師長	
		講演３　がんと薬物療法について	櫛原　秀之 調剤臨床業務課長	
		講演４　がん治療と食事について	伴野　広幸 栄養課長	
第　183　回	令和4年 7月19日(火)	【緩和ケア　～心と身体のつらさを和らげる医療～】	【座長】河合　奈津子 （緩和ケア科副部長）	26名
		講演１　緩和ケアとは・緩和ケアチームについて	平野　美枝子 緩和ケア認定看護師 看護師長	
		講演２　診断された時からの緩和ケア	八木 美樹 がん看護専門看護師	
		講演３　緩和ケアセンターについて	武藤　直美 緩和ケア認定看護師 看護師長	
第　184　回	令和4年 9月8日(木)	【救急医療　こんなとき、どうする？ ～社会で共有する緊急度・重症度の判定】	【座長】都築 通孝 （集中治療部長兼救急部長）	18名
		講演１　熱が出ないかもしれない重症感染症！？敗血症のはなし	都築 通孝 集中治療部長兼救急部長	
		講演２　もし熱が出たら…	高坂 久美子 感染管理認定看護師　看護副部長	
第　185　回	令和4年 11月21日(月)	【糖尿病】	【座長】尾﨑　信暁 （内分泌内科部長兼検査部長）	52名
		講演１　糖尿病の新しいお薬について	太田 美穂子 内分泌内科医師	
		講演２　気になるお食事 －糖尿病の食事療法－	奥村 佳純 糖尿病療養指導士 管理栄養士	
第　186　回	令和5年 2月7日(火)	【ACP　～人生の最期をどう迎えたいかを考える～ （アドバンス・ケア・プランニング）】	【座長】湯浅 典博 （緩和ケアセンター長）	45名
		講演　人生会議してみませんか？	河合 奈津子 緩和ケア科副部長 平野 美枝子 緩和ケア認定看護師 看護師長	

２．令和４年度慢性疾患児家族宿泊施設「めばえ」利用状況

利用月 部屋号	月別利用日数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1													0
2												2	2
3												2	2
5												2	2
6													0
合　計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6

備　考　総日数　365　日　×　5　=　1,825
利用日数　6　日　利用率　0.003　%

Ⅱ．業　　績

１．著　書

令和４年１月～令和４年 12 月

消化器内科

メタボリックシンドロームと細胞死

吉岡直輝[1-3],田中都[1],菅波孝祥[1]

1:名古屋大学環境医学研究所分子代謝医学分野　2:名古屋大学院医学系研究科消化器内科学　3:消化器内科

医学のあゆみ 第 5 土曜特集「細胞死のすべて」医歯薬出版株式会社　283(5):488-493

精神科

親と子のはじまりを支える

丹羽早智子

PP37-52, 56-61, 123-128, 191-196, 2022　永田雅子　編著　遠見書房発行

小児科

with NEO　第 3 章新生児の代表的疾患　6－03 新生児敗血症

大城誠

2022 年秋季増刊　新生児の生理・徴候と代表的疾患まるごとガイド 258-263, 2022 内山温　編著　株式会社メディカ出版

先天性造血不全症(Diamond-Blackfan 貧血)

濱麻人

専門医のための血液病学　112-114, 2022　鈴木隆浩, 竹中克斗, 池添隆之編　医学書院　発行

小児造血細胞移植総論

濱麻人

小児血液・腫瘍学　191-193, 2022　日本小児血液・がん学会編　診断と治療社　発行

先天性骨髄不全症候群(Fanconi 貧血および Diamond-Blackfan 貧血)

濱麻人

小児疾患診療のための病態生理 3(第 6 版)　「小児内科」「小児外科」編集委員会共編　小児内科　54(増刊号), 852-857, 2022, 東京医学社　発行

再生不良性貧血　血液疾患のすべて

吉田奈央

日本医師会雑誌　151(特別号):192-193, 2022, 日本医師会(血液)

移植後合併症:生着不全　小児血液・腫瘍学(改訂第 2 版)日本小児血液・がん学会編集

吉田奈央

診断と治療社, 208-211, 2022(血液)

再生不良性貧血　小児疾患診療のための病態生理 3(改訂第 6 版)

吉田奈央

小児内科　54(増刊号):847-851, 2022, 東京医学社(血液)

造血細胞移植ガイドライン:臍帯血移植

内田直之[1], 賀古真一[2], 山本久史[3], **吉田奈央**[4],金兼弘和[5],西村聡[6],宮本智史[7]

1:虎の門病院・血液内科　2:自治医科大学附属さいたま医療センター・血液科　3:虎の門病院・血液内科　4:小児科　5:東京医科歯科大学・小児地域成育医療学講座　6:東京医科歯科大学発生発達病態学分野　7:聖路加国際病院小児科

令和 4 学会年度日本造血・免疫細胞療法学会ガイドライン委員会編集　JSTCT monograph 87, 2022(血液)

貧血・骨髄不全　特集　小児科学レビュー

吉田奈央

小児科臨床　75(5):717-723, 2022, 総合医学社(血液)

泌尿器科

尿失禁の治療. VII 章

加藤久美子

女性泌尿器科学　ベッドサイド泌尿器科学(改訂第 5 版), 南江堂, 2022.

耳鼻咽喉科

特集　人工感覚器の最新情報「最新の気導補聴器」

柘植勇人

耳鼻咽喉科　2(2),2022　科学評論社

特集　真珠腫まるわかり！あなたの疑問にお答えします「外耳道入口部拡大　いる？　いらない？」

柘植勇人

耳喉頭頸　94(10),2022　医学書院

耳鳴り

柘植勇人

中日新聞　2022 年 04 月 05 日朝刊

耳鳴り

柘植勇人

週間朝日　2022 年 4 月 12 日号掲載

いい病院 2023 「難聴、耳鳴り」
柘植勇人
朝日新聞出版　396-398　2022 年 11 月発行

産婦人科

項目 9　妊娠中の子宮筋腫の変性に抗菌薬は使うべきなの？
津田弘之
産科と婦人科　2022　診断と治療社

歯科口腔外科

腸骨による下顎再建（Bare Bone Graft）と広範囲顎骨支持型補綴
佐藤春樹, 大岩伊知郎
顎骨再建とインプラントによる治療指針―広範囲顎骨支持型装置治療マニュアル―　177-183, 2022　公益社団法人日本学顔面インプラント学会編　ゼニス出版　発行

臨床工学技術課

え？知らないの？人工呼吸器の closed loop control（part1）
開正宏
INTENSIVIST vol.14(3) p620-624　2020 年 7 月　メディカル・サイエンス・インターナショナル

え？知らないの？人工呼吸器の closed loop control（part2）
開正宏
INTENSIVIST vol.14(4) p852-860　2020 年 10 月　メディカル・サイエンス・インターナショナル

HFNC： 酸素投与にまつわるトラブル
開正宏
Respica2022 年冬期増刊　人工呼吸ケアトラブル回避力アップガイド　p28-33　2022 年 12 月　メディカ出版社

人工呼吸器 :気道内圧低下にまつわるトラブル
開正宏
Respica2022 年冬期増刊　人工呼吸ケアトラブル回避力アップガイド　p88-95　2022 年 12 月　メディカ出版社

酸素療法 ： 酸素ボンベにまつわるトラブル
中井悠二
Respica2022 年冬期増刊　人工呼吸ケアトラブル回避力アップガイド　p128-134　2022 年 12 月　メディカ出版社

栄養課

超実践的ゆる食事療法
伴野広幸
透析ケア　2022 vol28 no.1 46-51,2022　メディカ出版　発行

看護部

通所型介護予防事業に通う高齢者の人生の最終段階における希望に関する意識と関連要因
松井咲樹,金盛琢也[1],井上真智子[1],**鈴木みずえ**
1:浜松医科大学
日本老年医学会雑誌　59(3)7:323-330, 2022

急性期医療における家族支援
中村剛士
急性期ケア専門士　230-240,2022　株式会社アステッキ

Ⅱ．業　　績

２．論　文

令和４年１月～令和４年 12 月

腎臓内科

寒冷刺激への曝露を誘因として特発性寒冷凝集素症に伴う溶血性貧血により急性腎障害を発症した１例

川副智宏,清水仁美,平松絵美子,渡邉智治,遠藤信英

日本腎臓学会誌 64(4),2022

血液内科

Dasatinib-based 2-step induction for adults with Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia

Sugiura I[1], Doki N[2], Hata T[3], Cho R[4], Ito T[5], Suehiro Y[6], Tanaka M[7], Kako S[8], Matsuda M[9], Yokoyama H[10], Ishikawa Y[11], Taniguchi Y[12], Hagihara M[13], **Ozawa Y**[14], Ueda Y[15], Hirano D[16], Sakura T[17], Tsuji M[18], Kamae T[19], Fujita H[20], Hiramoto N[21], Onoda M[22], Fujisawa S[23], Hatta Y[24], Dobashi N[25], Nishiwaki S[26], Atsuta Y[27,28], Kobayashi Y[29], Hayakawa F[30], Ohtake S[31], Naoe T[16], Miyazaki Y[3]

1: Division of Hematology and Oncology, Toyohashi Municipal Hospital 2: Division of Hematology, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center 3: Department of Hematology, Atomic Bomb Disease Institute, Nagasaki University 4: Department of Hematology, Saiseikai Narashino Hospital 5: Department of Hematology, National Hospital Organization Matsumoto Medical Center 6: Department of Hematology, National Hospital Organization Kyushu Cancer Center 7: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center 8: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center 9: Department of Hematology, PL General Hospital 10: Department of Hematology, Sendai Medical Center 11: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine 12: Department of Hematology and Rheumatology, Kindai University Hospital 13: Department of Hematology and Clinical Immunology, Yokohama City University Hospital 14: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 15: Department of Hematology/Oncology, Kurashiki Central Hospital 16: Department of Hematology, National Hospital Organization Nagoya Medical Center 17: Leukemia Research Center, Saiseikai Maebashi Hospital 18: Department of Hematology and Immunology, Otsu Red Cross Hospital 19: Department of Hematology, Otemae Hospital 20: Department of Hematology, Saiseikai Yokohama Nanbu Hospital 21: Department of Hematology, Kobe City Medical Center General Hospital 22: Department of Hematology, Chiba Aoba Municipal Hospital 23: Department of Hematology, Yokohama City University Medical Center 24: Department of Hematology and Rheumatology, Nihon University School of Medicine 25: Division of Clinical Oncology/Hematology, Department of Internal Medicine, Jikei University School of Medicine 26: Department of Hematology, Nagoya University Hospital 27: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation 28: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine 29: Department of Hematology, National Cancer Center Hospital 30: Division of Cellular and Genetic Sciences, Department of Integrated Health Sciences, Nagoya University Graduate School of Medicine 31: Department of Hematology, Kanazawa University

Blood Advances 6(2):624-636, 2022

Novel risk assessment for the intensity of conditioning regimen in elderly patients

Akahoshi Y[1], Tada Y[2], Sakaida E[3], Kusuda M[4], Doki N[5], Uchida N[6], Fukuda T[7], Tanaka M[8], Sawa M[9], Katayama Y[10], Matsuoka K[11], **Ozawa Y**[12], Onizuka M[13], Kanda J[14], Kanda Y[15], Atsuta Y[16], Nakasone H[17]

1: Icahn School of Medicine at Mount Sinai, United States 2: Osaka International Cancer Institute, Osaka, Japan 3: Chiba University Hospital, Chiba, Japan 4: Saitama Medical Center, Jichi Medical University, Saitama city, Japan 5: Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 6: Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 7: National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 8: Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 9: Anjo Kosei Hospital, Anjo Aichi, Japan 10: Hiroshima Red-Cross Hospital, Hiroshima, Japan 11: Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama, Japan 12: Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan, Nagoya, Japan 13: Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 14: Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 15: Jichi Medical University, Japan 16: Aichi Medical University School of Medicine, Japan 17: Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama-shi, Japan

Blood Advances Online ahead of print, 2022

Improvements in allogeneic hematopoietic cell transplantation outcomes for adults with ALL over the past 3 decades

Nishiwaki S[1], Akahoshi Y[2,3], Morita-Fujita M[4], Shimizu H[5], Uchida N[6], **Ozawa Y**[7], Fukuda T[8], Tanaka M[9], Ikegame K[10], Ota S[11], Katayama Y[12], Takahashi S[13], Kawakita T[14], Ara T[15], Onizuka M[16], Kimura T[17], Tanaka J[18], Atsuta Y[19,20], Arai Y[4]

1: Department of Advanced Medicine, Nagoya University Hospital, Nagoya, Japan 2: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 3: Tisch Cancer Institute, Icahn School of Medicine at Mount Sinai, New York, NY 4: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 5: Division of Hematology, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 6: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 7: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 8: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 9: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 10: Department of Hematology, Hyogo College of Medicine Hospital, Nishinomiya, Japan 11: Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan 12: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-Bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 13: Division of Clinical Precision Research Platform, the Institute of Medical Science, the University of Tokyo, Tokyo, Japan 14: Department of Hematology, National Hospital Organization Kumamoto Medical Center, Kumamoto, Japan 15: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan 16: Department of Hematology/Oncology, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 17: Preparation Department, Japanese Red Cross Kinki Block Blood Center, Ibaraki, Japan 18: Department of Hematology, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan 19: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagakute, Japan 20: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan

Blood Advances 6(15):4558-4569, 2022

Comparison of clonal architecture between primary and immunodeficient mouse-engrafted acute myeloid leukemia cells

Kawashima N[1], Ishikawa Y[1], Kim JH[1], Ushijima Y[1], Akashi A[1], Yamaguchi Y[1], Hattori H[1], Nakashima M[1], Ikeno S[1], Kihara R[2], Nishiyama T[3], Morishita T[4], Watamoto K[2], **Ozawa Y**[1], Kitamura K[3], Kiyoi H[5]

1: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine 2: Department of Hematology, Komaki City Hospital 3: Division of Hematology, Ichinomiya Municipal Hospital 4: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 5: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine

Nature Communications 13(1):1624, 2022

Downregulation of HLA class II is associated with relapse after allogeneic stem cell transplantation and alters recognition by antigen-specific T cells

Adachi Y[1], Sakai T[1], Terakura S[2], Shiina T[3], Suzuki S[4], Hamana H[5], Kishi H[5], Sasazuki T[6], Arase H[7,8,9], Hanajiri R[1], **Goto T**[10], Nishida T[1], Murata M[11], Kiyoi H[1]

1: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine 2: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine 3: Department of Molecular Life Science, Tokai University School of Medicine 4: Department of Molecular Life Science, Tokai University School of Medicine 5: Department of Immunology, University of Toyama 6: Institute for Advanced Study, Kyushu University 7: Department of Immunochemistry, Research Institute for Microbial Diseases, Osaka University 8: Laboratory of Immunochemistry, World Premier International Immunology Frontier Research Centre, Osaka University 9: Center for Infectious Disease Education and Research, Osaka University 10: Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Department of Hematology 11: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of

Medicine
International Journal of Hematology 115(3):371-381, 2022

Effect of the COVID-19 pandemic on allogeneic stem cell transplantation in Japan

Shimomura Y[1,2], Kitamura T[3], Nishikubo M[4], Sobue T[3], Uchida N[5], Doki N[6], Tanaka M[7], Ito A[8], Ishikawa J[9], Ara T[10], Ota S[11], Onizuka M[12], Sawa M[13], **Ozawa Y**[14], Maruyama Y[15], Ikegame K[16], Kanda Y[17], Ichinohe T[18], Fukuda T[8], Okamoto S[19], Teshima T[20], Atsuta Y[21,22]
1: Department of Hematology, Kobe City Hospital Organization Kobe City Medical Center General Hospital, Kobe, Japan 2: Department of Environmental Medicine and Population Science, Graduate School of Medicine, Osaka University, Suita, Japan 3: Department of Environmental Medicine and Population Science, Graduate School of Medicine, Osaka University, Suita, Japan 4: Department of Hematology, Kobe City Hospital Organization Kobe City Medical Center General Hospital, Minamimati 2-1-1, Minatojima, Chuo-Ku, Kobe, 650-0047, Japan 5: Department of Hematology, Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 6: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 7: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Kanagawa, Japan 8: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 9: Department of Hematology, Osaka International Cancer Institute, Osaka, Japan 10: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan 11: Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan 12: Department of Hematology, Tokai University School of Medicine, Kanagawa, Japan 13: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan 14: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 15: Department of Hematology, University of Tsukuba Hospital, Tsukuba, Japan 16: Department of Hematology, Hyogo Medical University Hospital, Nishinomiya, Japan 17: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 18: Department of Hematology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 19: Division of Hematology, Department of Medicine, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan 20: Department of Hematology, Faculty of Medicine, Hokkaido University, Sapporo, Japan 21: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagakute, Japan 22: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan
International Journal of Hematology 117(4):590-597, 2022

Age and allogeneic hematopoietic cell transplantation outcomes in acute myeloid leukemia

Yanada M[1], Yamasaki S[2], Konuma T[3], Mizuno S[4], Uchida N[5], Onai D[6], Fukuda T[7], Tanaka M[8], **Ozawa Y**[9], Eto T[10], Ikegame K[11], Sawa M[12], Katayama Y[13], Kawakita T[14], Onizuka M[15], Kanda Y[16], Ichinohe T[17], Atsuta Y[4,18], Yano S[19]
1: Department of Hematology and Cell Therapy, Aichi Cancer Center, Nagoya, Japan 2: Kyusyu University Beppu Hospital, Beppu, Japan 3: The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan 4: Aichi Medical University, Nagakute, Japan 5: Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 6: Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 7: National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 8: Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 9: Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 10: Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 11: Hyogo College of Medicine, Nishinomiya, Japan 12: Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan 13: Hiroshima Red Cross Hospital and Atomic-Bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 14: National Hospital Organization Kumamoto Medical Center, Kumamoto, Japan 15: Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 16: Jichi Medical University, Shimotsuke, Japan 17: Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 18: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagakute, Japan 19: The Jikei University School of Medicine, Tokyo, Japan
International Journal of Hematology 117(3):398-408, 2022

Risk factors and prognosis of non-infectious pulmonary complications after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation

Onizuka M[1], Fujii N[2], Nakasone H[3], Ogata M[4], Atsuta Y[5,6], Suzuki R[7], Uchida N[8], Ohashi K[9], **Ozawa Y**[10], Eto T[11], Ikegame K[12], Nakamae H[13], Inoue M[14], Fukuda T[15]
1: Department of Hematology/Oncology, Tokai University School of Medicine, Kanagawa, Japan 2: Department of Hematology and Oncology, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama, Japan 3: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 4: Department of Hematology, Oita University Hospital, Oita, Japan 5: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan 6: Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 7: Department of Oncology/Hematology, Shimane University Hospital, Izumo, Japan 8: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 9: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 10: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 11: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 12: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Hyogo College of Medicine, Hyogo, Japan 13: Department of Hematology, Graduate School of Medicine, Osaka City University, Osaka, Japan 14: Department of Hematology/Oncology, Osaka Women's and Children's Hospital, Osaka, Japan 15: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan
International Journal of Hematology 115(4):534-544, 2022

Mutated KIT Tyrosine Kinase as a Novel Molecular Target in Acute Myeloid Leukemia

Katagiri S[1], Chi S[2], Minami Y[2], Fukushima K[3], Shibayama H[3], Hosono N[4], Yamauchi T[4], **Morishita T**[5], Kondo T[6], Yanada M[7], Yamamoto K[7], Kuroda J[8], Usuki K[9], Akahane D[1], Gotoh A[1]
1: Department of Hematology, Tokyo Medical University, Tokyo, Japan 2: Department of Hematology, National Cancer Center Hospital East, Chiba, Japan 3: Department of Hematology and Oncology, Osaka University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan 4: Department of Hematology and Oncology, University of Fukui Hospital, Fukui, Japan 5: Division of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 6: Blood Disorders Center, Aiiku Hospital, Sapporo, Japan 7: Department of Hematology and Cell Therapy, Aichi Cancer Center, Nagoya, Japan 8: Division of Hematology and Oncology, Kyoto Prefectural University of Medicine, Kyoto, Japan 9: Department of Hematology, NTT Medical Center Tokyo, Japan.
International Journal of Molecular Sciences 23(9):4694, 2022

Impact of HLA Epitope Matching on Outcomes After Unrelated Bone Marrow Transplantation

Iwasaki M[1], Kanda J[1], Tanaka H[2], Shindo T[1], Sato T[3], Doki N[4], Fukuda T[5], **Ozawa Y**[6], Eto T[7], Uchida N[8], Katayama Y[9], Kataoka K[10], Ara T[11], Ota S[12], Onizuka M[13], Kanda Y[14], Ichinohe T[15], Atsuta Y[16,17], Morishima S[18]
1: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University 2: HLA Foundation Laboratory 3: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine 4: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital 5: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital 6: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital 7: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital 8: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations, Toranomon Hospital 9: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital and Atomic-bomb Survivors Hospital 10: Division of Hematology, Department of Medicine, Keio University School of Medicine 11: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital 12:Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo 13: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine 14: Division of Hematology, Jichi Medical University 15: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University 16: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation 17: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine 18: Division of Endocrinology, Diabetes and Metabolism, Hematology, Rheumatology (Second Department of Internal Medicine), Graduate School of Medicine, University of the Ryukyus
Frontiers in Immunology 13:811733

Human leukocyte antigen (HLA) haplotype matching in unrelated single HLA allele mismatch bone marrow transplantation

Kawajiri A[1], Kawase T[2], Tanaka H[3], Fukuda T[4], Mukae J[5], **Ozawa Y**[6], Eto T[7], Uchida N[8], Mori T[9,10], Ashida T[11], Kondo T[12], Onizuka M[13], Ichinohe T[14], Atsuta Y[15,16], Morishima S[17], Kanda

J[12]; HLA Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation

1: Department of Hematology and Rheumatology, Tohoku University Graduate School of Medicine 2: Department of Immune Regenerative Medicine, International Center for Cell and Gene Therapy, Research Promotion And Support Headquarters, Fujita Health University 3: HLA Foundation Laboratory 4: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital 5: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital 6: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital 7: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital 8: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital 9: Division of Hematology, Department of Medicine, Keio University School of Medicine 10: Department of Hematology, Tokyo Medical and Dental University 11: Division of Hematology and Rheumatology, Department of Internal Medicine, Kindai University Hospital 12: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University 13: Department of Hematology/Oncology, Tokai University School of Medicine 14: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University 15: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation 16: Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine 17: Division of Endocrinology, Diabetes and Metabolism, Hematology, Rheumatology (Second Department of Internal Medicine), Graduate School of Medicine, University of the Ryukyus

Bone Marrow Transplantation 57(3):407-415, 2022

Comparable survival outcomes with haploidentical stem cell transplantation and cord blood transplantation

Sugita J[1], Atsuta Y[2,3], Nakamae H[4], Maruyama Y[5], Ishiyama K[6], Shiratori S[1], Fukuda T[7], Kurata M[2], Shingai N[8], **Ozawa Y**[9], Masuko M[10], Nagafuji K[11], Uchida N[12], Tanaka M[13], Onizuka M[14], Kanda J[15], Kimura T[16], Ichinohe T[17], Teshima T[18]

1: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan 2: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagakute, Japan 3: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 4: Hematology, Osaka City University Hospital, Osaka, Japan 5: Department of Hematology, University of Tsukuba Hospital, Tsukuba, Japan 6: Department of Hematology, Kanazawa University Hospital, Kanazawa, Japan 7: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 8: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 9: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 10: Department of Hematopoietic Cell Therapy, Niigata University Medical and Dental Hospital, Niigata, Japan 11: Division of Hematology and Oncology, Department of Medicine, Kurume University Hospital, Kurume, Japan 12: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 13: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Kanagawa, Japan 14: Department of Hematology/Oncology, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 15: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 16: Preparation Department, Japanese Red Cross Kinki Block Blood Center, Ibaraki, Japan 17: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 18: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan

Bone Marrow Transplantation 57(11):1681-1688, 2022

Disease-specific impact of anti-thymocyte globulin in allogeneic hematopoietic cell transplantation: a nationwide retrospective study on behalf of the JSTCT, transplant complications working group

Fuji S[1], Hirakawa T[2], Takano K[3], Doki N[4], Sawa M[5], Kanda Y[6], Uchida N[7], Ara T[8], Miyamoto T[9], Eto T[10], Matsuoka KI[11], Kawakita T[12], **Ozawa Y**[13], Katayama Y[14], Onizuka M[15], Fukuda T[16], Atsuta Y[17,18], Nakasone H[6]

1: Department of Hematology, Osaka International Cancer Institute 2: Department of Hematology and Oncology, St. Marianna University School of Medicine 3: Department of Medical Oncology and Hematology, Oita University Faculty of Medicine 4: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital 5: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital 6: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center 7: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital 8: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital 9: Hematology, Oncology & Cardiovascular medicine, Kyushu University Hospital 10: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital 11: Department of Hematology and Oncology, Okayama University Hospital 12: Department of Hematology, National Hospital Organization Kumamoto Medical Center 13: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital 14: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-bomb Survivors Hospital 15: Department of Hematology/Oncology, Tokai University School of Medicine 16: Hematopoietic Stem Cell Transplantation Division, National Cancer Center Hospital 17: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation 18: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine

Bone Marrow Transplantation 57(3):479-486, 2022

Comparable survival outcomes with haploidentical stem cell transplantation and unrelated bone marrow transplantation

Atsuta Y[1,2], Sugita J[3], Nakamae H[4], Maruyama Y[5], Ishiyama K[6], Shiratori S[3], Fukuda T[7], Kurata M[1], Shingai N[8], **Ozawa Y**[9], Masuko M[10], Nagafuji K[11], Takada S[12], Kako S[13], Kanda Y[14], Kanda J[15], Ichinohe T[16], Teshima T[17]

1: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagakute, Japan 2: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 3: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan 4: Hematology, Osaka City University Hospital, Osaka, Japan 5: Department of Hematology, University of Tsukuba Hospital, Tsukuba, Japan 6: Department of Hematology, Kanazawa University Hospital, Kanazawa, Japan 7: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 8: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 9: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 10: Department of Hematopoietic Cell Therapy, Niigata University Medical and Dental Hospital, Niigata, Japan 11: Division of Hematology and Oncology, Department of Medicine, Kurume University Hospital, Kurume, Japan 12: Leukemia Research Center, Saiseikai Maebashi Hospital, Maebashi, Japan 13: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 14: Division of Hematology, Jichi Medical University, Shimotsuke, Japan 15: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 16: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 17: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan

Bone Marrow Transplantation 57(12):1781-1787, 2022

Improved outcomes of single-unit cord blood transplantation for acute myeloid leukemia by killer immunoglobulin-like receptor 2DL1-ligand mismatch

Yokoyama H[1], Kanaya M[2], Iemura T[3], Hirayama M[4], Yamasaki S[5], Kondo T[3], Uchida N[6], Takahashi S[7], Tanaka M[8], Onizuka M[9], **Ozawa Y**[10], Kozai Y[11], Eto T[12], Sugio Y[13], Hamamura A[14], Kawakita T[15], Aotsuka N[16], Takada S[17], Wake A[18], Kimura T[19], Ichinohe T[20], Atsuta Y[21,22], Yanada M[23], Morishima S[24]

1: Department of Hematology, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai, Japan 2: Department of Cancer Immunology, Institute for Cancer Research, Oslo University Hospital, Oslo, Norway 3: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 4: Department of Pediatrics, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan 5: Department of Internal Medicine, Kyushu University Beppu Hospital, Beppu, Japan 6: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 7: Division of Clinical Precision Research Platform, the Institute of Medical Science, the University of Tokyo, Tokyo, Japan 8: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 9: Department of Hematology/Oncology, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 10: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 11: Department of Transfusion Medicine, Tokyo Metropolitan Tama Medical Center, Tokyo, Japan 12: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 13: Department of Hematology, Kitakyushu City Hospital Organization, Kitakyushu Municipal Medical Center, Kitakyushu, Japan 14: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 15Department of Hematology, National Hospital Organization Kumamoto Medical Center, Kumamoto, Japan 16: Division of Hematology-Oncology, Japanese Red Cross Society Narita

Hospital, Narita, Japan 17: Leukemia Research Center, Saiseikai Maebashi Hospital, Maebashi, Japan 18: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations, Toranomon Hospital, Kajigaya, Japan 19: Preparation Department, Japanese Red Cross Kinki Block Blood Center, Ibaraki, Japan 20: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 21: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan 22: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagoya, Japan 23: Department of Hematology and Cell Therapy, Aichi Cancer Center, Nagoya, Japan 24: Division of Endocrinology, Diabetes and Metabolism, Hematology, Rheumatology (Second Department of Internal Medicine), Graduate School of Medicine, University of the Ryukyus, Nishihara, Japan

Bone Marrow Transplantation 57(7):1171-1179, 2022

Salvage single-unit unrelated cord blood transplantation for graft failure following initial allogeneic transplantation in adult acute myeloid leukemia: trends in outcomes over the past 20 years

Konuma T[1], Harada K[2], Kondo T[3], Masuko M[4], Uchida N[5], Yano S[6], Kawakita T[7], Onizuka M[2], Ota S[8], Sakaida E[9], Miyakoshi S[10], **Ozawa Y**[11], Imamura Y[12], Kimura T[13], Kanda Y[14], Fukuda T[15], Atsuta Y[16,17], Yanada M[18]

1: Department of Hematology/Oncology, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan 2: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 3: Department of Hematology, Kobe City Medical Center General Hospital, Kobe, Japan 4: Department of Hematopoietic Cell Therapy, Niigata University Medical and Dental Hospital, Niigata, Japan 5: Department of Hematology, Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 6: Clinical Oncology and Hematology, The Jikei University School of Medicine, Tokyo, Japan 7: Department of Hematology, National Hospital Organisation Kumamoto Medical Center, Kumamoto, Japan 8: Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan 9: Department of Hematology, Chiba University Hospital, Chiba, Japan 10: Department of Hematology, Tokyo Metropolitan Geriatric Hospital, Tokyo, Japan 11: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 12: Division of Hematology, Our Lady of the Snow Social Medical Corporation St. Mary's Hospital, Fukuoka, Japan 13: Preparation Department, Japanese Red Cross Kinki Block Blood Center, Osaka, Japan 14: Division of Hematology, Jichi Medical University, Tochigi, Japan 15: Hematopoietic Stem Cell Transplantation Division, National Cancer Hospital, Tokyo, Japan 16: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan 17: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 18: Department of Hematology and Cell Therapy, Aichi Cancer Center, Nagoya, Japan

Bone Marrow Transplantation 57(12):1848-1850, 2022

Identifying the optimal conditioning intensity for stem cell transplantation in patients with myelodysplastic syndrome: a machine learning analysis

Shimomura Y[1,2], Komukai S[3], Kitamura T[4], Sobue T[4], Kurosawa S[5], Doki N[6], Katayama Y[7], **Ozawa Y**[8], Matsuoka K[9], Tanaka T[10], Kako S[11], Sawa M[12], Kanda Y[13], Nakamae H[14], Nakazawa H[15], Ueda Y[16], Kanda J[17], Fukuda T[10], Atsuta Y[18,19], Ishiyama K[20]

1: Department of Hematology, Kobe City Hospital Organization Kobe City Medical Center General Hospital, Kobe, Japan 2: Department of Environmental Medicine and Population Science, Graduate School of Medicine, Osaka University, Osaka, Japan 3: Division of Biomedical Statistics, Department of Integrated Medicine Osaka University, Graduate School of Medicine, Osaka, Japan 4: Department of Environmental Medicine and Population Science, Graduate School of Medicine, Osaka University, Osaka, Japan 5: Division of Stem Cell and Molecular Medicine, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan 6: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 7: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 8: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 9: Department of Hematology and Oncology, Okayama University Hospital, Okayama, Japan 10: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 11: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 12: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Aichi, Japan 13: Division of Hematology, Jichi Medical University, Tochigi, Japan 14: Department of Hematology, Graduate School of Medicine, Osaka City University, Osaka, Japan 15: Department of Hematology, Shinshu University School of Medicine, Nagano, Japan 16: Department of Hematology/Oncology and Transfusion and Hemapheresis Center, Kurashiki Central Hospital, Okayama, Japan 17: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 18: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagakute, Japan 19: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 20: Department of Hematology, Kanazawa University Hospital, Ishikawa, Japan

Bone Marrow Transplantation 58(2):186-194, 2022

Prognostic impact of complex karyotype on post-transplant outcomes of myelofibrosis

Okada Y[1], Takenaka K[2], Murata M[3], Shimazu Y[4], Tachibana T[5], **Ozawa Y**[6], Uchida N[7], Wakayama T[8], Doki N[9], Sugio Y[10], Tanaka M[5], Masuko M[11], Kobayashi H[12], Ino K[13], Ishikawa J[14], Nakamae H[15], Matsuoka K[16], Kanda Y[17], Fukuda T[18], Atsuta Y[19,20], Nagamura-Inoue T[21]

1: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 2: Department of Hematology, Ehime University Graduate School of Medicine, Clinical Immunology, and Infectious Diseases, Toon, Ehime, Japan 3: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 4: Department of Hematology, Kyoto University Hospital, Kyoto, Japan 5: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 6: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Aichi, Japan 7: Department of Hematology, Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 8: Department of Hematology and Oncology, Shimane Prefectural Central Hospital, Shimane, Japan 9: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 10: Department of Hematology, Kitakyushu City Hospital Organization, Kitakyushu Municipal Medical Center, Fukuoka, Japan 11: Department of Hematopoietic Cell Therapy, Niigata University Medical and Dental Hospital, Niigata, Japan 12: Department of Hematology, Nagano Red Cross Hospital, Nagano, Japan 13: Department of Hematology and Oncology, Mie University Hospital, Mie, Japan 14: Department of Hematology, Osaka International Cancer Institute, Osaka, Japan 15: Department of Hematology, Osaka City University Hospital, Osaka, Japan 16: Department of Hematology and Oncology, Okayama University Hospital, Okayama, Japan 17: Division of Hematology, Jichi Medical University, Tochigi, Japan 18: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 19: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Aichi, Japan 20: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Aichi, Japan 21: Department of Cell Processing and Transfusion, Dep. of Laboratory Medicine, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan

Hematological Oncology 40(5):1076-1085, 2022

Outcome of therapy-related myelodysplastic syndrome and oligoblastic acute myeloid leukemia after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation: A propensity score matched analysis

Itonaga H[1], Kida M[2], Hamamura A[3], Uchida N[4], **Ozawa Y**[5], Fukuda T[6], Ueda Y[7], Kataoka K[8,9], Katayama Y[10], Ota S[11], Matsuoka K[12], Kondo T[13], Eto T[14], Kanda J[15], Ichinohe T[16], Atsuta Y[17,18], Miyazaki Y[1,19], Ishiyama K[20]

1: Department of Hematology, Nagasaki University Hospital, Nagasaki, Japan 2: Department of Hematology, NTT Medical Center Tokyo, Tokyo, Japan 3: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 4: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 5: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 6: Department of Haematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 7: Department of Hematology/Oncology and Transfusion and Hemapheresis Center, Kurashiki Central Hospital, Okayama, Japan 8: Department of Medicine, Division of Hematology, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan 9: Division of Molecular Oncology, National Cancer Center Research Institute, Tokyo, Japan 10: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 11: Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan 12: Department of Hematology and Oncology, Okayama University Hospital, Okayama, Japan 13: Department of Hematology, Kyoto University Hospital, Kyoto, Japan 14: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 15: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 16: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan

17: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan 18: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagoya, Japan 19: Department of Hematology, Atomic Bomb Disease and Hibakusha Medicine Unit, Atomic Bomb Disease Institute, Nagasaki University, Nagasaki, Japan 20: Department of Hematology, Kanazawa University Hospital, Kanazawa, Japan

Hematological Oncology 40(4):752-762, 2022

Adult patients with Ph+ ALL benefit from conditioning regimen of medium-dose VP16 plus CY/TBI

Morita-Fujita M[1], Arai Y[1,2], Kondo T[1], Harada K[3], Uchida N[4], Toya T[5], **Ozawa Y**[6], Fukuda T[7], Ota S[8], Onizuka M[3], Kanda Y[9], Maruyama Y[10], Takada S[11], Kawakita T[12], Ara T[13], Ichinohe T[14], Kimura T[15], Atsuta Y[16,17], Kako S[9]

1: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 2: Department of Clinical Laboratory Medicine, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 3: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 4: Department of Hematology, Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 5: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 6: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 7: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 8: Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan 9: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 10: Department of Hematology, University of Tsukuba Hospital, Ibaraki, Japan 11: Leukemia Research Center, Saiseikai Maebashi Hospital, Maebashi, Japan 12: Department of Hematology, National Hospital Organization Kumamoto Medical Center, Kumamoto, Japan 13: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan 14: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 15: Preparation Department, Japanese Red Cross Kinki Block Blood Center, Osaka, Japan 16: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagakute, Japan 17: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan

Hematological Oncology 40(5):1041-1055, 2022

The new generation tyrosine kinase inhibitor improves the survival of chronic myeloid leukemia patients after allogeneic stem cell transplantation

Shimazu Y[1], Murata M[2], Kondo T[3], Minami Y[4], Tachibana T[5], Doki N[6], Uchida N[7], **Ozawa Y**[8], Yano S[9], Fukuda T[10], Kato J[11], Ara T[12], Eto T[13], Ishikawa J[14], Nakamae H[15], Tanaka J[16], Ichinohe T[17], Atsuta Y[18,19], Nagamura-Inoue T[20]

1: Department of Hematology, Kyoto University Hospital, Kyoto, Japan 2: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Aichi, Japan 3: Department of Hematology, Aiiku Hospital, Sapporo, Hokkaido, Japan 4: Department of Hematology, National Cancer Center Hospital East, Kashiwa, Chiba, Japan 5: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Kanagawa, Japan 6: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 7: Department of Hematology, Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 8: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Aichi, Japan 9: Department of Internal Medicine, Division of Clinical Oncology and Hematology, the Jikei University School of Medicine, Tokyo, Japan 10: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 11: Department of Medicine, Division of Hematology, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan 12: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Hokkaido, Japan 13: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 14: Department of Hematology, Osaka International Cancer Institute, Osaka, Japan 15: Department of Hematology, Osaka City University Hospital, Osaka, Japan 16: Department of Hematology, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan 17: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 18: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Aichi, Japan 19: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagoya, Aichi, Japan 20: Department of Cell Processing and Transfusion, Department of Hematology/Oncology, Institute of Medical Science, the University of Tokyo, Tokyo, Japan.

Hematological Oncology 40(3):442-456, 2022

Risk factors for fatal cardiac complications after allogeneic hematopoietic cell transplantation: Japanese Society for Transplantation and Cellular Therapy transplant complications working group

Yanagisawa R[1], Tamaki M[2], Tanoshima R[3], Misaki Y[2], Uchida N[4], Koi S[5], Tanaka T[6], **Ozawa Y**[7], Matsuo Y[8], Tanaka M[9], Ikegame K[10], Katayama Y[11], Matsuoka K[12], Ara T[13], Kanda Y[2], Matsumoto K[14], Fukuda T[6], Atsuta Y[15,16], Kato M[17], Nakasone H[2]

1: Division of Blood Transfusion, Shinshu University Hospital, Matsumoto, Japan 2: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 3: Department of Pediatrics, Yokohama City University Hospital, Yokohama, Japan 4: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 5: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 6: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 7: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 8: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 9: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 10: Department of Hematology, Hyogo College of Medicine Hospital, Nishinomiya, Japan 11: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 12: Department of Hematology and Oncology, Okayama University Hospital, Okayama, Japan 13: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan 14: Children's Cancer Center, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan 15: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagakute, Japan 16: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 17: Department of Pediatrics, The University of Tokyo Hospital, Tokyo, Japan

Hematological Oncology Online ahead of print,2022

Intensified conditioning regimens improved disease-free survival and engraftment after unrelated single-unit cord blood transplantation but not after matched sibling or matched unrelated donor allogeneic hematopoietic cell transplantation

Konuma T[1], Kanda J[2], Uchida N[3], Nishijima A[4], Tanaka M[5], **Ozawa Y**[6], Sawa M[7], Onizuka M[8], Ota S[9], Maruyama Y[10], Kanda Y[11], Kawakita T[12], Ara T[13], Eto T[14], Nakamae H[15], Kimura T[16], Fukuda T[17], Atsuta Y[18,19]

1: Department of Hematology/Oncology, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan 2: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 3: Department of Hematology, Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 4: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 5: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 6: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 7: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan 8: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 9: Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan 10: Department of Hematology, University of Tsukuba Hospital, Tsukuba, Japan 11: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 12: Department of Hematology, National Hospital Organisation Kumamoto Medical Center, Kumamoto, Japan 13: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan 14: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan.

15Hematology, Graduate School of Medicine, Osaka City University, Osaka, Japan 16: Preparation Department, Japanese Red Cross Kinki Block Blood Center, Osaka, Japan 17: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 18: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan 19: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan

Hematological Oncology 41(1):147-158, 2022

Antithymocyte Globulin Potentially Could Overcome an Adverse Effect of Acute Graft-versus-Host Disease in Matched-Related Peripheral Blood Stem Cell Transplantation

Miyao K[1], Kuwatsuka Y[2], Murata M[3], Nagafuji K[4], Teshima T[5], Takeuchi Y[6], Shiratori S[5], Najima Y[7], Uchida N[8], Tanaka M[9], Sawa M[6], Ota S[10], Fukuda T[11], **Ozawa Y**[12], Kako S[13], Kawakita T[14], Ara T[5], Tanaka J[15], Kanda Y[13], Atsuta Y[16], Kanda J[17], Terakura S[3]; GVHD Working Group and Donor/Source Working Group of the Japanese Society for Transplantation and Cellular Therapy

1: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital 2: Department of Advanced Medicine, Nagoya University Hospital 3: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine 4: Division of Hematology and Oncology, Kurume University School of Medicine 5: Department of Hematology, Hokkaido University Faculty of Medicine 6: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital 7: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital 8: Department of Hematology, Toranomon Hospital 9: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center 10: Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital 11: Division of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital 12: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital 13: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center 14: Department of Hematology, National Hospital Organization Kumamoto Medical Center 15: Department of Hematology, Tokyo Women's Medical University 16: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan; Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine 17: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine

Transplantation Cellular Therapy 28(3):153.e1-153.e11, 2022

Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation for Adult Philadelphia Chromosome-Negative B-Cell Acute Lymphoblastic Leukemia in Second Complete Remission

Kaito S[1], Kurosawa S[2], Najima Y[3], Sakaida E[4], Shingai N[3], Fukuda T[5], Tachibana T[6], Uchida N[7], **Ozawa Y**[8], Sawa M[9], Nakazawa H[10], Ota S[11], Kato J[12], Nakamae H[13], Katayama Y[14], Eto T[15], Tanaka J[16], Kanda Y[17], Atsuta Y[18], Arai Y[19], Kako S[20]; Adult Acute Lymphoblastic Leukemia Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation

1: Division of Stem Cell and Molecular Medicine, Center for Stem Cell Biology and Regenerative Medicine, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo 2: Division of Stem Cell and Molecular Medicine, Center for Stem Cell Biology and Regenerative Medicine, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo 3: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital 4: Department of Hematology, Chiba University Hospital 5: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital 6: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center 7: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital 8: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 9: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital 10: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Shinshu University School of Medicine 11: Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital 12: Division of Hematology, Department of Medicine, Keio University School of Medicine 13: Hematology, Osaka City University Graduate School of Medicine 14: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-Bomb Survivors Hospital 15: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital 16: Department of Hematology, Tokyo Women's Medical University 17: Division of Hematology, Jichi Medical University 18: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation; Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine 19: Department of Hematology, Kyoto University Hospital 20: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center

Transplantation and Cellular Therapy 17:S2666-6367(22)01162-9, 2022

Myeloablative Versus Reduced-Intensity Conditioning With Fludarabine/Busulfan for Myelodysplastic Syndrome: A Propensity Score-Matched Analysis

Kurosawa S[1], Shimomura Y[2], Itonaga H[3], Najima Y[4], Kobayashi T[4], **Ozawa Y**[5], Kanda Y[6], Kako S[7], Kawakita T[8], Matsuoka KI[9], Maruyama Y[10], Ota S[11], Nakazawa H[12], Imada K[13], Kimura T[14], Kanda J[15], Fukuda T[16], Atsuta Y[17], Ishiyama K[18]

1: Division of Stem Cell and Molecular Medicine, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo 2: Department of Hematology, Kobe City Hospital Organization, Kobe City Medical Centre General Hospital; Department of Environmental Medicine and Population Science, Graduate School of Medicine, Osaka University 3: Department of Hematology, Nagasaki University Hospital 4: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital 5: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 6: Division of Hematology, Jichi Medical University 7: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center 8: Department of Hematology, National Hospital Organization Kumamoto Medical Center 9: Department of Hematology and Oncology, Okayama University Hospital 10: Department of Hematology, University of Tsukuba Hospital 11: Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital 12: Department of Hematology, Shinshu University School of Medicine 13: Department of Hematology, Japanese Red Cross Osaka Hospital 14: Preparation Department, Japanese Red Cross Kinki Block Blood Center 15: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University 16: Hematopoietic Stem Cell Transplantation Division, National Cancer Center Hospital 17: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation; Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine 18: Department of Hematology, Kanazawa University Hospital

Transplantation and Cellular Therapy S2666-6367(22)00159-2, 2022

Risk and Predictive Factors for Candidemia After Allogeneic Hematopoietic Cell Transplantation: JSTCT Transplant Complications Working Group

Kimura S[1], Kameda K[2], Harada K[3], Saburi M[4], Okinaka K[5], Shinohara A[6], Uchida N[7], Nishijima A[8], **Ozawa Y**[9], Tanaka M[10], Kuriyama T[11], Katayama Y[12], Sawa M[13], Ikegame K[14], Kawakita T[15], Kanda Y[16], Nakamae H[17], Ara T[18], Kimura T[19], Sato A[20], Fukuda T[21], Atsuta Y[22], Nakasone H[2]

1: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan; Transplant Complications Working Group of the Japan Society for Transplantation and Cellular Therapy (JSTCT) 2: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan; Transplant Complications Working Group of the Japan Society for Transplantation and Cellular Therapy (JSTCT) 3: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine, Kanagawa, Japan; Transplant Complications Working Group of the Japan Society for Transplantation and Cellular Therapy (JSTCT) 4: Department of Hematology, Oita Prefectural Hospital, Oita, Japan; Transplant Complications Working Group of the Japan Society for Transplantation and Cellular Therapy (JSTCT) 5: Department of General Medicine and Infectious Diseases, National Cancer Center Hospital East, Chiba, Japan; Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan; Transplant Complications Working Group of the Japan Society for Transplantation and Cellular Therapy (JSTCT) 6: Department of Hematology, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan; Transplant Complications Working Group of the Japan Society for Transplantation and Cellular Therapy (JSTCT) 7: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 8: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 9: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Aichi, Japan 10: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Kanagawa, Japan 11: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan.

12Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 13: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Aichi, Japan 14: Department of Hematology, Hyogo College of Medicine Hospital, Hyogo, Japan 15: Department of Hematology, National Hospital Organization Kumamoto Medical Center, Kumamoto, Japan 16: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan; Division of Hematology, Jichi Medical University, Tochigi, Japan 17: Hematology, Graduate School of Medicine, Osaka City University, Osaka, Japan 18: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital, Hokkaido, Japan 19: Preparation Department, Japanese Red Cross Kinki Block Blood Center, Osaka, Japan 20: Department of Hematology and Oncology, Miyagi Children's Hospital, Miyagi, Japan 21: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 22: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Aichi, Japan; Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Aichi, Japan

Transplantation and Cellular Therapy 28(4):209.e1-209.e9, 2022

Favorable Outcome with Conditioning Regimen of Flu/Bu4/Mel in Acute Myeloid Leukemia Patients in Remission Undergoing Cord Blood Transplantation

Mizuno S[1], Takami A[2], Kawamura K[3], Shimomura Y[4], Arai Y[5], Konuma T[6], **Ozawa Y**[7], Sawa M[8], Ota S[9], Takahashi S[10], Anzai N[11], Hiramoto N[12], Onizuka M[13], Nakamae H[14], Tanaka M[15], Murata M[16], Kimura T[17], Kanda J[5], Fukuda T[18], Atsuta Y[19], Yanada M[20]

1: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 2: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 3: Department of Hematology, Tottori University Hospital, Yonago, Japan 4: Department of Hematology, Kobe City Medical Center General Hospital, Kobe, Japan; Department of Environmental Medicine and Population Science, Graduate School of Medicine, Osaka University, Suita, Japan 5: Department of Hematology and Oncology, Kyoto University Hospital, Kyoto, Japan 6: Department of Hematology/Oncology, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan 7: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 8: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan 9: Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan 10: Division of Clinical Precision Research Platform, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan 11: Department of Hematology, Takatsuki Red Cross Hospital, Takatsuki, Japan 12: Department of Hematology, Kobe City Medical Center General Hospital, Kobe, Japan 13: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 14: Department of Hematology, Osaka City University Hospital, Osaka, Japan 15: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 16: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 17: Preparation Department, Japanese Red Cross Kinki Block Blood Center, Ibaraki, Japan 18: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 19: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan; Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 20: Department of Hematology and Cell Therapy, Aichi Cancer Center, Nagoya, Japan

Transplantation and Cellular Therapy 28(11):775.e1-775.e9, 2022

Decision Analysis for Unrelated Bone Marrow Transplantation or Immediate Cord Blood Transplantation for Patients with Philadelphia Chromosome-Negative Acute Lymphoblastic Leukemia in First Complete Remission

Kako S[1], Hayakawa F[2], **Miyamura K**[3], Tanaka J[4], Imai K[5], Kanda J[6], Morishima S[7], Uchida N[8], Doki N[9], Ikegame K[10], **Ozawa Y**[3], Takada S[11], Usui N[12], Ohtake S[13], Kiyoi H[14], Matsumura I[15], Miyazaki Y[16], Ichinohe T[17], Fukuda T[18], Atsuta Y[19], Kanda Y[20]

1: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama Japan 2: Department of Cellular and Genetic Sciences, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 3: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 4: Department of Hematology, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan 5: Department of Hematology, Otaru General Hospital, Otaru, Japan 6: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 7: Division of Endocrinology, Diabetes and Metabolism, Hematology, Rheumatology, Graduate School of Medicine, University of the Ryukyu, Nishihara, Japan 8: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 9: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 10: Department of Hematology, Hyogo College of Medicine Hospital, Nishinomiya, Japan 11: Leukemia Research Center, Saiseikai Maebashi Hospital, Maebashi, Japan 12: Division of Clinical Oncology and Hematology, Department of Internal Medicine, The Jikei University School of Medicine, Tokyo, Japan 13: Kanazawa University, Kanazawa, Japan 14: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 15: Department of Hematology/Rheumatology, Kindai University Faculty of Medicine, Osaka-Sayama, Japan 16: Atomic Bomb Disease Institute, Nagasaki University, Nagasaki, Japan 17: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 18: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 19: Department of Healthcare Administration, Nagoya University, Nagoya, Japan; Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan 20: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama Japan

Transplantation and Cellular Therapy 28(3):161.e1-161.e10, 2022

Neurolymphomatosis in follicular lymphoma: an autopsy case report

Ando T[1,2], Kamoshita S[3], Riku Y[1,2], Ito A[4], **Ozawa Y[3], Miyamura K**[3], Fujino M[4], Ito M[4], Goto Y[5], Mano K[5], Akagi A[2], Miyahara H[2], Katsuno M[1], Yoshida M[2], Iwasaki Y[2]

1: Department of Neurology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 2: Department of Neuropathology, Institute for Medical Science of Aging, Aichi Medical University, Nagakute, Japan 3: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 4: Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 5: Department of Neurology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan

Case Reports Neuropathology 42(4):295-301, 2022

Predictive value of surveillance cultures for bacteremia caused by extended-spectrum beta-lactamase (ESBL)-producing Enterobacterales among patients with hematological diseases

Hattori T[1], **Goto T**[2], Osaki M[1], **Ozawa Y[2], K Miyamura[2]**

Hematology Infection 50:753-759, 2022

Adenovirus disease after hematopoietic cell transplantation: A Japanese transplant registry analysis

Inamoto Y[1], Takeda W[1], Hirakawa T[2], Sakaguchi H[3], Nakano N[4], Uchida N[5], Doki N[6], Ikegame K[7], Katayama Y[8], Sawa M[9], Kuriyama T[10], Hiramoto N[11], Ota S[12], **Ozawa Y**[13], Kataoka K[14,15], Kanda Y[16], Hino M[17], Kimura T[18], Atsuta Y[19,20], Fukuda T[1], Nagafuji K[21]

1: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 2: Department of Hematology, Nippon Medical School, Tokyo, Japan 3: Children's Cancer Center, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan 4: Department of Hematology, Imamura General Hospital, Kagoshima, Japan 5: Department of Hematology, Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 6: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 7: Department of Hematology, Hyogo Medical University Hospital, Nishinomiya, Japan 8: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-Bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 9: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan 10: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 11: Department of Hematology, Kobe City Medical Center General Hospital, Kobe, Japan 12: Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan 13: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 14: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan 15: Division of Molecular Oncology, National Cancer Center Research Institute, Tokyo, Japan 16: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 17: Department of Pediatrics, Graduate School of Medicine, Chiba University, Chiba, Japan 18: Preparation Department, Japanese Red Cross Kinki Block Blood Center, Osaka, Japan 19: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagakute, Japan 20: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 21: Department of Hematology and Oncology, Kurume University School of Medicine, Kurume, Japan

American Journal of Hematology 97(12):1568-1579, 2022

Comparison of clonal architecture between primary and immunodeficient mouse-engrafted acute myeloid leukemia cells

Kawashima N[1], Ishikawa Y[1], Hui Kim J[1], Ushijima Y[1], Akashi A[1], Yamaguchi Y[1], Hattori H[1], Nakashima M[1], Ikeno S[1], Kihara R[2], Nishiyama T[3], **Morishita T**[1], Watamoto K[2], **Ozawa Y**[1], Kitamura K[3], Kiyoi H[5]

1: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 2: Department of Hematology, Komaki City Hospital, Komaki, Japan 3: Division of Hematology, Ichinomiya Municipal Hospital, Ichinomiya, Japan 4: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 5: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan

Nature Communications 25;13(1):1624 2022

Advantages of peripheral blood stem cells from unrelated donors versus bone marrow transplants in outcomes of adult acute myeloid leukemia patients

Jo T[1], Arai Y[2], Kondo T[3], Mizuno S[4], Hirabayashi S[5], Inamoto Y[6], Doki N[7], Fukuda T[6], **Ozawa Y**[8], Katayama Y[9], Kanda Y[10], Fukushima K[11], Matsuoka K[12], Takada S[13], Sawa M[14], Ashida T[15], Onizuka M[16], Ichinohe T[17], Atsuta Y[18], Kanda J[3], Yanada M[19]

1: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan; Center for Research and Application of Cellular Therapy, Kyoto University Hospital, Kyoto, Japan 2: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan; Center for Research and Application of Cellular Therapy, Kyoto University Hospital, Kyoto, Japan 3: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 4: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Aichi Medical University, Nagakute, Japan 5: Division of Precision Medicine, Kyusyu University School of Medicine, Fukuoka, Japan 6: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 7: Hematology Division, Komagome Hospital, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Tokyo, Japan 8: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 9: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital and Atomic-Bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 10: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 11: Department of Hematology and Oncology, Osaka University Hospital, Osaka, Japan 12: Department of Hematology and Oncology, Okayama University Hospital, Okayama, Japan 13: Leukemia Research Center, Saiseikai Maebashi Hospital, Maebashi, Japan 14: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan 15: Division of Hematology and Rheumatology, Department of Internal Medicine, Kindai University Hospital, Osakasayama, Japan 16: Department of Hematology/Oncology, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 17: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 18: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan; Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 19: Department of Hematology and Cell Therapy, Aichi Cancer Center, Nagoya, Japan

Cytotherapy 24(10):1013-1025, 2022

Overcoming minimal residual disease using intensified conditioning with medium-dose etoposide, cyclophosphamide and total body irradiation in allogeneic stem cell transplantation for Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia in adults

Harada K[1], Morita-Fujita M[2], Fukuda T[3], **Ozawa Y**[4], Doki N[5], Toyosaki M[1], Maruyama Y[6], Kanda Y[7], Ashida T[8], Eto T[9], Takada S[10], Uchida N[11], Ichinohe T[12], Kanda J[2], Onizuka M[1], Atsuta Y[13], Kako S[7], Arai Y[14]

1: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine, Kanagawa, Japan 2: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 3: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 4: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Aichi, Japan 5: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 6: Department of Hematology, University of Tsukuba Hospital, Ibaraki, Japan 7: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 8: Division of Hematology and Rheumatology, Department of Internal Medicine, Kindai University Hospital, Osaka, Japan 9: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 10: Leukemia Research Center, Saiseikai Maebashi Hospital, Gunma, Japan 11: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 12: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 13: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Aichi, Japan; Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Aichi, Japan 14: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan; Department of Clinical Laboratory Medicine, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan

Cytotherapy 24(9):954-961, 2022

Improved trends in survival and engraftment after single cord blood transplantation for adult acute myeloid leukemia

Konuma T[1], Mizuno S[2], Kondo T[3], Arai Y[3], Uchida N[4], Takahashi S[5], Tanaka M[6], Kuriyama T[7], Miyakoshi S[8], Onizuka M[9], Ota S[10], Sugio Y[11], Kouzai Y[12], Kawakita T[13], Kobayashi H[14], **Ozawa Y**[15], Kimura T[16], Ichinohe T[17], Atsuta Y[18,19], Yanada M[20]

1: Department of Hematology/Oncology, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan 2: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Aichi Medical University, Nagakute, Japan 3: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 4: Department of Hematology, Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 5: Division of Clinical Precision Research Platform, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan 6: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 7: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 8: Department of Hematology, Tokyo Metropolitan Geriatric Hospital, Tokyo, Japan 9: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 10: Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan 11: Department of Internal Medicine, Kitakyushu City Hospital Organization, Kitakyushu Municipal Medical Center, Kitakyushu, Japan 12: Department of Transfusion Medicine, Tokyo Metropolitan Tama Medical Center, Tokyo, Japan 13: Department of Hematology, National Hospital Organisation Kumamoto Medical Center, Kumamoto, Japan 14: Department of Hematology, Nagano Red Cross Hospital, Nagano, Japan 15: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 16: Preparation Department, Japanese Red Cross Kinki Block Blood Center, Osaka, Japan 17: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 18: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan 19: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 20: Department of Hematology and Cell Therapy, Aichi Cancer Center, Nagoya, Japan

Blood Cancer Journal 25;12(5):81, 2022

Essential Roles of the Transcription Factor NR4A1 in Regulatory T Cell Differentiation under the Influence of Immunosuppressants

Sekiya T[1,2], Kasahara H[3,4,5], Takemura R[6], Fujita S[4,5], Kato J[4], Doki N[7], Katayama Y[8], **Ozawa Y**[9], Takada S[10], Eto T[11], Fukuda T[12], Ichinohe T[13], Takanashi M[14], Onizuka M[15], Atsuta Y[16,17], Okamoto S[4], Yoshimura A[18], Takaki S[2], Mori T[19,20]

1: Section of Immune Response Modification, Department of Immune Regulation, The Research Center for Hepatitis and Immunology, National Center for Global Health and Medicine, Ichikawa, Chiba, Japan 2: Department of Immune Regulation, The Research Center for Hepatitis and Immunology, National Center for Global Health and Medicine, Ichikawa, Chiba, Japan

3: Department of Pathology, New York University School of Medicine, New York, NY 4: Division of Hematology, Department of Medicine, Keio University School of Medicine, Shinjuku-ku, Tokyo, Japan 5: Department of Stem Cell Biology, Research Institute, National Center for Global Health and Medicine, Shinjuku-ku, Tokyo, Japan 6: Clinical and Translational Research Center, Keio University Hospital, Shinjuku-ku, Tokyo, Japan 7: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 8: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-Bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 9: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Aichi, Japan 10: Leukemia Research Center, Saiseikai Maebashi Hospital, Gunma, Japan 11: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 12: Hematopoietic Stem Cell Transplantation Division, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 13: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 14: Technical Department, Japanese Red Cross Society Blood Service Headquarters, Tokyo, Japan 15: Department of Hematology/Oncology, Tokai University School of Medicine, Kanagawa, Japan 16: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Aichi, Japan 17: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Aichi, Japan 18: Department of Microbiology and Immunology, Keio University School of Medicine, Shinjuku-ku, Tokyo, Japan 19Division of Hematology, Department of Medicine, Keio University School of Medicine, Shinjuku-ku, Tokyo, Japan 20: Department of Hematology, Tokyo Medical and Dental University School of Medicine, Bunkyo-ku, Tokyo, Japan

Journal of Immunology 208(9):2122-2130, 2022

Outcomes after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in acute myeloid leukemia patients with der(1;7)(q10;p10)

Mizumaki H[1], Ishiyama K[1], Aoki J[2], Mori J[3], Mizuno S[4], Doki N[5], Fukuda T[2], Uchida N[6], Onizuka M[7], Tanaka M[8], Katayama Y[9], **Ozawa Y**[10], Ikegame K[11], Takada S[12], Kawakita T[13], Aotsuka N[14], Atsuta Y[15,16], Yanada M[17]

1: Department of Hematology Kanazawa University Hospital Kanazawa Japan 2: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation National Cancer Center Hospital Tokyo Japan 3: Department of Hematology Jyoban Hospital of Tokiwa Foundation Fukushima Japan 4: Division of Hematology Department of Internal Medicine Aichi Medical University Nagakute Japan 5: Hematology Division Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center Komagome Hospital Tokyo Japan 6: Department of Hematology Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital Tokyo Japan 7: Department of Hematology and Oncology Tokai University School of Medicine Isehara Japan 8: Department of Hematology Kanagawa Cancer Center Yokohama Japan 9: Department of Hematology Hiroshima Red Cross Hospital and Atomic-bomb Survivors Hospital Hiroshima Japan 10: Department of Hematology Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital Nagoya Japan 11: Department of Hematology Hyogo Medical University Hospital Hyogo Japan 12: Leukemia Research Center Saiseikai Maebashi Hospital Maebashi Japan 13: Department of Hematology National Hospital Organization Kumamoto Medical Center Kumamoto Japan 14: Division of Hematology-Oncology Japanese Red Cross Society Narita Hospital Narita Japan 15: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation Nagoya Japan 16: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy Aichi Medical University School of Medicine Nagakute Japan 17: Department of Hematology and Cell Therapy Aichi Cancer Center Nagoya Japan

EJHaem 6;4(1):251-257, 2022

Predictive value of surveillance cultures for bacteremia caused by extended-spectrum beta-lactamase (ESBL)-producing Enterobacterales among patients with hematological diseases

Hattori T[1], **Goto T[2], Osaki M[2], Ozawa Y[2], Miyamura K**[2]

1: Department of Clinical Laboratory, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 2: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan

Infection 50(3):753-759, 2022

Asciminib vs bosutinib in CML patients pretreated with ≥2 tyrosine kinase inhibitors: Results from the Japanese subgroup analysis of ASCEMBL study

Yuda J[1], Doki N[2], Matsuoka H[3], Yokota T[4], Tomita A[5], Takahashi N[6], Matsumura I[7], Kubo K[8], **Goto T**[9], Kirito K[10], Maki A[11], Aoki M[11], Allepuz A[12], Minami Y[1]

1: National Cancer Center Hospital East, Chiba, Japan 2: Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center Komagome Hospital, Tokyo, Japan 3: Kobe University Hospital, Kobe, Japan 4: Osaka University Hospital, Osaka, Japan 5: Fujita Health University School of Medicine, Toyoake, Japan 6: Akita University Hospital, Akita, Japan 7: Kindai University Hospital, Osaka, Japan 8: Aomori Prefectural Central Hospital, Aomori, Japan 9: Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 10: University of Yamanashi Hospital, Yamanashi, Japan 11: Novartis Pharma KK, Tokyo, Japan 12: Novartis Pharma AG, Basel, Switzerland

Cancer Medicine 12(3):2990-2998, 2022

造血幹細胞移植後の合併症と長期フォローアップ

西田徹也

日本内科学会雑誌 111(7), 1392-1398, 2022

脳神経内科

Neurolymphomatosis in follicular lymphoma: an autopsy case report

Ando T[1,2], Kamoshita S[3], Riku Y[1,2], Ito A[4], Ozawa Y[3], Miyamura K[3], Fujino M[4], Ito M[4], **Goto Y**[5], **Mano K**[5], Akagi A[2], Miyahara H[2], Katsuno M[1], Yoshida M[2], Iwasaki Y[2]

1: Department of Neurology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 2: Department of Neuropathology, Institute for Medical Science of Aging, Aichi Medical University, Nagakute, Japan 3: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 4: Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 5: Department of Neurology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan

Case Reports Neuropathology 42(4):295-301, 2022

エタネルセプト投与中に発症したリウマチ性髄膜炎の一症例

三澤尚史,本田大祐,高阪勇輔,小森祥太,渡邊はづき,馬渕直紀,後藤洋二,真野和夫

臨床神経学 61(11):769,2022

片側延髄外側梗塞の急性期に中枢性低換気を呈した 1 例

伊藤理樹,渡邊はづき,大河内建,石原佑次,谷本由佳,近藤隼人,高阪勇輔,本田大祐,後藤洋二,真野和夫

臨床神経学 62(6):503, 2022

循環器内科

Association of Redox State of Human Serum Albumin with Severity in Patients with Heart Failure

Nishikawa T[1], Shimizu S[2], **Kamiya H**[3], Ueyama J[4], Yamada S[5]

1:リハビリテーション科 2: Department of Cardiology, Fujita Health University Bantane Hospital 3: Department of Cardiology, Japan Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital 4:Department of Biomolecular Sciences, Field of Omics Health Sciences, Nagoya University Graduate School of Medicine 5: Department of Cardiology, Aichi Medical University

International Heart Journal. 63(6):1107-1114 2022

Midterm results after seamless patch mitral reconstruction

Hosoba S[1], Ito T[1], Mori M[2], Kato R[1], Kobayashi M[1], **Nakai Y[3], Morishita Y[4]**

1: Department of Cardiovascular Surgery, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 2: Division of Cardiothoracic Surgery, Yale School of Medicine, New Haven, Conn 3: Department of Clinical Engineering, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 4: Department of Cardiology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan

JTCVS Techniques 13 Oct 2022 16:35-42

呼吸器内科

両側副腎転移による Addison 病を契機に発見された原発性肺腺癌の 1 例

小玉勇太,廣島正雄,都島悠佑,後藤希,中瀬敦,田中麻里,稲垣雅康,伊藤亮太,高納崇,横山俊彦

肺癌 62(3):216-220,2022

大動脈解離後に肺アスペルギルス症を合併した肺動脈肉腫の1剖検例
町井春花 [1],**横山俊彦,谷本光希,横山佑衣子,稲垣雅康,都島悠佑**
1:名古屋掖済会病院
日本呼吸器学会誌 11(2):87-91,2022

Prognostic laboratory score to predict 14-day moratality in terminally ill patients with respiratory malignancy
Tanaka M, Kawai N[1], Yuasa N[1]
1:緩和ケア科
International Journal of Clinical Oncology 27(4):655-664 ,2022

Clinical efficacy of osimertinib in EGFR-mutant non-small cell lung cancer with distant metastasis
Gen S[1], Tanaka I[1], Morise M[1], Koyama J[1], **Kodama Y,** Matsui A[2], Miyazawa A[3], Hase T[1], Hibino Y[3], **Yokoyama T**, Kimura T[4], Yoshida N[2], Sato M[1], Hashimoto N[1]
1:名古屋大学大学院医学系研究科呼吸器内科 2:刈谷豊田総合病院 3:江南厚生病院 4:公立陶生病院
BMC Cancer 22(1):654,2022

妊娠後期の女性に合併した進行 ALK 陽性肺腺癌の 1 例
小玉勇太,高納崇,廣島正雄,都島悠佑,後藤希,中瀬敦,田中麻里,稲垣雅康,伊藤亮太,横山俊彦
肺癌 62(7):1009-1013,2022

消化器内科
【消化管 EUS のすべて】EUS エラストグラフィーによる上部消化管疾患の診断(解説)
丸川高弘,古川和宏 [1],中村正直 [1],川嶋啓揮 [1]
1:名古屋大学医学部附属病院消化器内科学
消化器内視鏡 34(9):1497-1499 2022

Superficial spreading type of early gastric cancer with diagnosticdifficulty and positive surgical margin: a case report
Ikeda K[1], Nagai H[1], Miyake H[1], Yoshioka Y[1] Katayama M[1] Yuasa N[1], **Marukawa T**[2], Ito M[3], Fujino M[3], Murakami H[3], Kiriyama A[3]
1:一般消化器外科 2:消化器内科 3:病理部
Clinical Journal of Gastroenterology 15:537-546, 2022

Non-tumor forming and diffusely spreading invasive pancreatic cancer
Arakawa T[1], Miyake H[1], Nagai H[1], Yoshioka Y[1], Shibata K[1], Takahashi D[1], Yuasa N[1,4], **Sumi H**[2], Yoshikawa K[3], Kiriyama A[3], Fujino M[3]
1:一般消化器外科 2:消化器内科 3:病理部 4:緩和ケア科
Clinical Journal of Gastroenterology s12328-022-01705-6, 2022

精神科
周産期心理士ネットワークの実態調査によりコロナ禍での面会とケアの変化
蟻川麻紀[1,5],加治佐めぐみ[2,5],吉元なるよ[3,5],**丹羽早智子**[5],永田雅子[4,5]
1:産業医科大学病院医療支援課 2:鹿児島市立病院 3:沖縄科学技術大学院大学発達神経生物学ユニットこども研究所 4:名古屋大学心の発達支援研究実践センター 5:周産期心理士ネットワーク
周産期医学 52(6):895-897, 2022

我が学究彷徨の記 ～精神医学と睡眠研究の狭で～
太田龍朗
仁明会精神医学研究 20(1):2-12, 2022

身体疾患の入院治療における精神科チームの関与の現状と課題―心理士の立場から―
丹羽早智子
日本アルコール関連問題学会雑誌 24(1):21-24, 2022

小児科
Unrelated cord blood transplantation with myeloablative conditioning for pediatric acute lymphoblastic leukemia in remission: prognostic factors
Kawahara Y[1], Morimoto A[2], Inagaki J[3], Koh K[4], Noguchi M[5], Goto H[6], **Yoshida N**[7], Cho Y[8], Hori T[9], Hiwatari M[10], Kato K[11], Ogawa A[12], Hashii Y[13], Inoue M[14], Kato K[15], Atsuta Y[16,17], F Kimura Y[18], Kato M[19]
1: Department of Pediatrics, Jichi Medical University School of Medicine, Shimotsuke, Japan 2: Department of Pediatrics, Jichi Medical University School of Medicine, Shimotsuke, Japan 3: Department of Pediatrics, Kitakyushu City Yahata Hospital, Kitakyushu, Japan 4: Department of Hematology/Oncology, Saitama Children's Medical Center, Saitama, Japan 5: Department of Pediatrics, National Kyushu Cancer Center, Fukuoka, Japan 6: Division of Hematology/Oncology, Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama, Japan 7: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 8: Department of Pediatrics, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan 9: Department of Pediatrics, Sapporo Medical University Hospital, Sapporo, Japan 10: Department of Pediatrics, The University of Tokyo Hospital, Tokyo, Japan 11: Division of Pediatric Hematology and Oncology, Ibaraki Children's Hospital, Mito, Japan 12: Department of Pediatrics, Niigata Cancer Center Hospital, Niigata, Japan 13: Department of Cancer Immunotherapy/Pediatrics, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita, Japan 14: Department of Hematology/Oncology, Osaka Women's and Children's Hospital, Izumi, Japan. 15: Central Japan Cord Blood Bank, Seto, Japan 16: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan 17: Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 18: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, National Defense Medical College, Tokorozawa, Japan
9: Children's Cancer Center, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan.
Bone Marrow Transplantation 56(2):357-367, 2022

A retrospective analysis of azacitidine treatment for juvenile myelomonocytic leukemia
Honda Y[1], Muramatsu H[2], Nanjo Y[3], Hirabayashi S[4], Meguro T[5], **Yoshida N**[6], Kakuda H[7], Ozono S[8], Wakamatsu M[2], Moritake H[9], Yasui M[10,11], Sano H[12], Manabe A[4], Sakashita K[13]
1: Department of Pediatrics, School of Medicine, University of Occupational and Environmental Health, Kitakyushu, Japan 2: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 3: Department of Hematology and Oncology, Miyagi Children's Hospital, Sendai, Japan 4: Department of Pediatrics, Hokkaido University Hospital,

Sapporo, Japan 5: Department of Pediatrics, Yamagata University School of Medicine, Yamagata, Japan 6: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 7: Department of Hematology/Oncology, Chiba Children's Hospital, Chiba, Japan 8: Department of Pediatrics and Child Health, Kurume University School of Medicine, Kurume, Fukuoka, Japan 9: Division of Pediatrics, Faculty of Medicine, University of Miyazaki, Miyazaki, Japan 10: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Kitakyushu City Yahata Hospital, Kitakyushu, Japan 11: Department of Hematology/Oncology, Osaka Women's and Children's Hospital, Izumi, Japan 12: epartment of Pediatric Oncology, Fukushima Medical University Hospital, Fukushima, Japan 13: Department of Pediatric Hematology and Oncology, Nagano Children's Hospital, Azumino, Japan

International Journal of Hematology 115(2):263-268, 2022

Recent advances in hematopoietic cell transplantation for inherited bone marrow failure syndromes

Sakaguchi H[1], **Yoshida N**[2]

1: Department of Transplantation and Cellular Therapy, Children's Cancer Center, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan 2: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan

International Journal of Hematology 116(1):16-27, 2022

Clinical Impact of Melphalan Pharmacokinetics on Transplantation Outcomes in Children Undergoing Hematopoietic Stem Cell Transplantation.

Maemura R[1,2], Wakamatsu M[1,2], Matsumoto K[3], **Sakaguchi H[2], Yoshida N**[2], Hama A[2], Yoshida T[1], Miwata S[1], Kitazawa H[1], Narita K[1], Kataoka S[1], Ichikawa D[1], Hamada M[1], Taniguchi R[1], K Suzuki R[1], Kawashima N[1], Nishikawa E[1], Narita A[1], Okuno Y[4], Nishio N[1,4], Kato K[2], Kojima S[1], Morita K[3], Muramatsu H[1], Takahashi Y[1]

1: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 2: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 3: Department of Clinical Pharmaceutics, Faculty of Pharmaceutical Sciences, Doshisha Women's College of Liberal Arts, Kyotanabe, Japan 4:Center for Advanced Medicine and Clinical Research, Nagoya University Hospital, Nagoya, Japan

Cell Transplantation 31:9636897221143364

Impact of human leukocyte antigen mismatch on outcomes after unrelated bone marrow transplantation in paediatric patients: A retrospective analysis by the JSTCT HLA working group

Kato I[1], Sakaguchi H[2], Kato S[3], Sato M[4], Noguchi M[5], **Yoshida N[6],** Koh K[7], Koike T[8], Yanagimachi M[9], Kato K[10], Takahashi Y[11], Fujita N[12], Sato A[13], Hashii Y[14], Tabuchi K[15], Atsuta Y[16,17], Morishima S[18], Kanda J[19]

1: Department of Pediatrics, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 2: Children Cancer Center, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan 3: Department of Innovative Medicine, Division of Stem Cell Transplantation, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 4: Department of Hematology/Oncology, Osaka Women's and Children's Hospital, Osaka, Japan 5: Department of Pediatrics, National Hospital Organization Kyushu Cancer Center, Fukuoka, Japan 6: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 7: Department of Hematology/Oncology, Saitama Children's Medical Center, Saitama, Japan 8: Department of Pediatrics, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 9: Division of Hematology/Oncology, Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama, Japan 10: Division of Pediatric Hematology and Oncology, Ibaraki Children's Hospital, Ibaraki, Japan 11: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 12: Department of Pediatrics, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 13: Department of Hematology and Oncology, Miyagi Children's Hospital, Sendai, Japan 14: Department of pediatrics, Osaka International Cancer Institute, Osaka, Japan 15: Division of Pediatrics, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Disease Center Komagome Hospital, Bureau of Social Welfare and Public Health, Tokyo Metropolitan Government, Tokyo, Japan 16: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan 17: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 18: Division of Endocrinology, Diabetes and Metabolism, Hematology, Rheumatology (Second Department of Internal Medicine), Graduate School of Medicine, University of the Ryukyus, Nishihara-cho, Japan 19: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan

British Journal Haematology 199(3):392-400, 2022

Prospective validation of the provisional entity of refractory cytopenia of childhood, proposed by the World Health Organization

Hama A[1,2], Hasegawa D[3], Manabe A[3,4], Nozawa K[5], Narita A[1], Muramatsu H[1], Kosaka Y[6], Kobayashi M[7], Koh K[8], Takahashi Y[1], Watanabe K[9], Ohara A[10], Ito M[11], Kojima S[1]

1: Department of Paediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 2: Department of Haematology and Oncology, Children's Medical Centre, Japanese Red Cross Aichi Medical Centre Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 3Department of Paediatrics, St. Luke's International Hospital, Tokyo, Japan 4: Department of Paediatrics, Hokkaido University Graduate School of Medicine, Sapporo, Japan 5: Department of Laboratory Medicine, St. Luke's International Hospital, Tokyo, Japan 6: Department of Haematology/Oncology, Hyogo Prefectural Kobe Children's Hospital, Kobe, Japan 7: Department of Paediatrics, Hiroshima University Graduate School of Biomedical & Health Sciences, Hiroshima, Japan 8: Department of Haematology/Oncology, Saitama Children's Medical Centre, Saitama, Japan 9: Department of Haematology and Oncology, Shizuoka Children's Hospital, Shizuoka, Japan 10: Department of Paediatrics, Toho University School of Medicine, Tokyo, Japan 11: Department of Pathology, Japanese Red Cross Aichi Medical Centre Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan

British Journal of Haematology 196(4):1031-1039, 2022

Pulmonary hypertension with bronchopulmonary dysplasia: Aichi cohort study

Kawai Y[1], Hayakawa M[2], Tanaka T[3], Yamada Y[4], **Nakayama A**[5], Kato Y[6], Kouwaki M[7], Kato T[7,8], Tanaka R[2,5], Muramatsu K[7,9], Hayashi S[10], Yamamoto H[11], Takemoto K[12], Ieda K[13], Nagaya Y[14], Honda S[15], Shinohara O[16], Funato Y[1,17], Kokubo M[18], Imamine H[19], Miyata M[1]

1: Department of Pediatrics, Fujita Health University School of Medicine, Toyoake, Japan 2: Division of Neonatology, Center for Maternal-Neonatal Care, Nagoya University Hospital, Nagoya, Japan 3: Department of Pediatrics, Japanese Red Cross Nagoya Daini Hospital, Nagoya, Japan 4: Department of Perinatal and Neonatal Medicine, Aichi Medical University, Nagakute, Japan 5: Department of Pediatrics, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 6: Department of Pediatrics, Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan 7: Department of Pediatrics, Toyohashi Municipal Hospital, Toyohashi, Japan 8: Department of Pediatrics and Neonatology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya, Japan 9: Department of Pediatrics, Nagoya City West Medical Center, Nagoya, Japan 10: Department of Pediatrics, Okazaki City Hospital, Okazaki, Japan 11: Department of Pediatrics, Toyota Memorial Hospital, Toyota, Japan 12: Department of Pediatrics, Konan Kosei Hospital, Konan, Japan 13: Department of Pediatrics, Tosei General Hospital, Seto, Japan 14: Department of Pediatrics, Ichinomiya Municipal Hospital, Ichinomiya, Japan 15: Department of Pediatrics, Komaki City Hospital, Komaki, Japan 16: Department of Pediatrics, Handa City Hospital, Handa, Japan 17: Department of Pediatrics, Kariya Toyota General Hospital, Kariya, Japan 18: Department of Pediatrics, Kainan Hospital, Yatomi, Japan 19: Department of Pediatrics, Holy Spirit Hospital, Nagoya, Japan.

Pediatrics International 64(1):e15271, 2022

The clinical characteristics of pediatric coronavirus disease 2019 in 2020 in Japan

Katsuta T[1,2], Shimizu N[1,2], Okada K[1,3], Tanaka-Taya K[1,4], Nakano T[1,5], Kamiya H[1,6], Amo K[1,7], Ishiwada N[1,8], Iwata S[1,9], **Oshiro M**[1,10], Okabe N[1,11], Kira R[1,12], Korematsu S[1,13], Suga S[1,14], Tsugawa T[1,15], Nishimura N[1,16], Hishiki H[1,17], Fujioka M[1,18], Hosoya M[1,19], Mizuno Y[1,20], Mine M[1,21], Miyairi I[1,22], Miyazaki C[1,23], Morioka I[1,24], Morishima T[1,25], Yoshikawa T[1,26], Wada T[1,27], Azuma H[1,28], Kusuhara K[1,29], Ouchi K[1,5], Saitoh A[1,30], Moriuchi H[1,31]

1: The Committee on Immunization and Infectious Diseases, Japan Pediatric Society, Tokyo, Japan 2: Department of Pediatrics, St. Marianna University School of Medicine, Kawasaki, Japan 3: Department of Nursing, Fukuoka Nursing College, Fukuoka, Japan 4: Center for Surveillance, Immunization, and Epidemiologic Research, National Institute of Infectious

Diseases, Tokyo, Japan 5: Department of Pediatrics, Kawasaki Medical School, Okayama, Japan 6: Center for Field Epidemic Intelligence, Research and Professional Development, National Institute of Infectious Diseases, Tokyo, Japan 7: Department of Pediatric emergency, Osaka City General Hospital, Osaka, Japan 8: Department of Infectious Diseases, Medical Mycology Research Center, Chiba University, Chiba, Japan 9: Department of Infectious Diseases, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 10: Department of Pediatrics, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Aichi, Japan 11: Kawasaki City Institute for Public Health, Kanagawa, Japan 12: Department of Pediatric Neurology, Fukuoka Children's Hospital, Fukuoka, Japan 13: Department of Pediatrics, Nakatsu Municipal Hospital, Oita, Japan 14: Department of Clinical Research, Infectious Disease Center, National Hospital Organization Mie National Hospital, Mie, Japan 15: Department of Pediatrics, Sapporo Medical University School of Medicine, Hokkaido, Japan 16: Department of Pediatrics, Konan Kosei Hospital, Aichi, Japan 17: Department of Pediatrics, Chiba University Hospital, Chiba, Japan 18: Fujioka Pediatric Clinic, Osaka, Japan 19: Department of Pediatrics, Fukushima Medical University, Fukushima, Japan 20: Department of Pediatric infectious diseases and immunology, Fukuoka Children's Hospital, Fukuoka, Japan 21: Mine Pediatric Clinic, Saitama, Japan. 22: Division of Infectious Diseases, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan 23: Fukuoka-city Social Welfare Agency, Fukuoka, Japan 24: Department of Pediatrics and Child Health, Nihon University School of Medicine, Tokyo, Japan 25: Department of Pediatrics, Aichi Medical University, Aichi, Japan 26: Department of Pediatrics, Fujita Health University School of Medicine, Aichi, Japan 27: Department of Pediatrics, Kanazawa University, Ishikawa, Japan 28: Department of Pediatrics, Asahikawa Medical University, Hokkaido, Japan 29: Department of Pediatrics, University of Occupational and Environmental Health, Kitakyushu, Japan 30: Department of Pediatrics, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan 31: Department of Pediatrics, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki, Japan
Pediatrics International 64(1):e14912 2022

Discontinuation of tyrosine kinase inhibitors in pediatric chronic myeloid leukemia

Shima H[1], Kada A[2], Tanizawa A[3], Sato I[4], Tono C[5], Ito M[6], Yuza Y[7], Watanabe A[8], Kamibeppu K[4], Uryu H[9], Koh K[10], Imai C[11], **Yoshida N**[12], Koga Y[13], Fujita N[14], Saito A M[2], Adachi S[15], Ishii E[16], Shimada H[1]

1: Department of Pediatrics, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan 2: Clinical Research Center, National Hospital Organization Nagoya Medical Center, Aichi, Japan 3: Sugita Genpaku Memorial Obama Municipal Hospital, Fukui, Japan 4: Department of Family Nursing, Division of Health Sciences and Nursing, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo, Japan 5: Department of Pediatrics, Iwate Prefectural Chubu Hospital, Iwate, Japan 6: Department of Pediatrics, Soma General Hospital, Fukushima, Japan.
7Department of Hematology/Oncology, Tokyo Metropolitan Children's Medical Center, Tokyo, Japan 8: Department of Pediatrics, Niigata Cancer Center Hospital, Niigata, Japan 9: Department of Pediatrics, National Center for Global Health and Medicine, Tokyo, Japan 10: Department of Hematology/Oncology, Saitama Children's Medical Center, Saitama, Japan 11: Department of Pediatrics, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan 12: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Aichi, Japan 13: Department of Pediatrics, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka, Japan 14: Department of Pediatrics, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-Bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 15: Human Health Sciences, Kyoto University, Kyoto, Japan 16: Department of Pediatrics, Ehime University Graduate School of Medicine, Ehime, Japan
Pediatric Blood & Cancer 69(8):e29699, 2022

Pediatric Philadelphia chromosome-positive B-lymphoblastic lymphoma with testicular relapse: A case report

Maemura R[1], **Sakaguchi H**[1], **Yoshida N**[1], **Yamashita D**[1], Sajiki D[1], Murase N[2], Yasuda T[3], Ito T[4], **Hama A**[1]

1: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 2: Department of Pediatric Surgery, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 3: Clinical Research Center, National Hospital Organization Nagoya Medical Center, Nagoya, Japan 4: Department of Pediatrics, Toyohashi Municipal Hospital, Toyohashi, Japan
Pediatric Blood & Cancer 69(5):e29528,2022

Stem cell transplantation for pediatric patients with adrenoleukodystrophy: A nationwide retrospective analysis in Japan

Kato K[1], Yabe H[2], Shimozawa N[3], Adachi S[4], Kurokawa M[5], Hashii Y[6], Sato A[7], **Yoshida N**[1], Kaga M[8], Onodera O[9], Kato S[2], Atsuta Y[10,11], Morio T[12]

1: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 2: Division of Stem Cell Transplantation, Department of Innovative Medicine, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 3: Division of Genomics Research, Life Science Research Center, Gifu University, Gifu, Japan 4: Human Health Sciences, Kyoto University, Kyoto, Japan 5: Department of Cell Therapy and Transplantation Medicine, The University of Tokyo Hospital, Tokyo, Japan 6: Department of Pediatrics, Osaka International Cancer Institute, Osaka, Japan 7: Department of Hematology and Oncology, Miyagi Children's Hospital, Sendai, Japan 8: Department of Developmental Disorders, National Institute of Mental Health, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan 9: Department of Neurology, Clinical Neuroscience Branch, Brain Research Institute, Niigata University, Niigata, Japan 10: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan 11: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 12: Department of Pediatrics and Developmental Biology, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo, Japan
Pediatric Transplantation 26(1):e14125, 2022

Three-year outcome following neonatal encephalopathy in a high-survival cohort

Tsuda K[1], Shibasaki J[2], Isayama T[3], Takeuchi A[4], Mukai T[5], **Sugiyama Y**[6], Ioroi T[7], Takahashi A[8], Yutaka N[9], Iwata S[10], Nabetani M[9], Iwata O[10]

1: Center for Human Development and Family Science, Department of Neonatology and Pediatrics, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Aichi, Nagoya, 467-8601, Japan. kentsuda@med.nagoya-cu.ac.jp 2: Department of Neonatology, Kanagawa Children's Medical Center, Kanagawa, Japan 3: Division of Neonatology, Center of Maternal-Fetal Neonatal and Reproductive Medicine, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan 4: Division of Neonatology, National Hospital Organization Okayama Medical Center, Okayama, Japan 5: Department of Pediatrics, The University of Tokyo Hospital, Tokyo, Japan 6: Department of Pediatrics, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Aichi, Japan 7: Department of Pediatrics, Perinatal Medical Center, Himeji Red Cross Hospital, Hyogo, Japan 8: Department of Pediatrics, Kurashiki Central Hospital, Okayama, Japan 9: Department of Pediatrics, Yodogawa Christian Hospital, Osaka, Japan 10: Center for Human Development and Family Science, Department of Neonatology and Pediatrics, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Aichi, Nagoya, 467-8601, Japan.
Scientific Reports 13;12(1):7945, 2022

Change Over Time in Seasonality and Severity of Children Hospitalized With Respiratory Syncytial Virus Infection in Japan

Ozeki S[1,2], Oshiro M[2], Fukumi D[2], Takeuchi T[2], Mii S[2], Nishikado Y[2]

1: Department of Pediatrics, Nagoya Memorial Hospital, Nagoya, Japan 2: Children's Medical Center, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan
The Pediatric Infectious Disease Journal 41(8):614-619. 2022

化膿性リンパ節炎から急速にフルニエ壊疽に伸展し緊急デブリードメントを要した乳児

青山里穂[1],三井さやか[1],水谷謙介[1],西門優一[1],秋田直洋[1],福見大地[1],村瀬成彦[2],藤野雅彦[3]

1:小児科 2:小児外科 3:病理部
日本小児科学会雑誌 126(7):1055-1061, 2022

Morphological diagnosis of childhood bone marrow failure syndromes

Hama A

Rinsho Ketsueki 63(9):1035-1041, 2022

Differential diagnosis of inherited bone marrow failure syndromes in erythrocyte disorders
Hama A
Rinsho Ketsueki 63(6):590-599, 2022

The incidence of symptomatic osteonecrosis is similar between Japanese children and children in Western countries with acute lymphoblastic leukaemia treated with a Berlin-Frankfurt-Münster (BFM)95-based protocol
Moriya K[1], Imamura T[2], Katayama S[1], Kaino A[1], Okamoto K[2], Yokoyama N[3], Uemura S[4], Kitazawa H[5], Sekimizu M[6], Hiramatsu H[7], Usami I[8], Ishida H[9,10], Hasegawa D[4], **Hama A**[5], Moriya-Saito A[10], Sato A[11], Sasahara Y[1], Suenobu S[12], Horibe K[6], Hara J[13]; Japan Association of Childhood Leukemia Study Group (JACLS)
1: Department of Pediatrics, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai, Japan 2: Department of Pediatrics, Graduate School of Medical Science, Kyoto Prefectural University of Medicine, Kyoto, Japan 3: Department of Pediatrics, Gifu City Hospital, Gifu, Japan 4: Department of Hematology/Oncology, Hyogo Prefectural Children's Hospital, Kobe, Japan 5: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 6: Department of Pediatrics, National Hospital Organization Nagoya Medical Center, Nagoya, Japan 7: Department of Pediatrics, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 8: Department of Pediatric Hematology and Oncology, Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center, Hyogo, Japan 9: Department of Pediatrics, Okayama University Hospital, Okayama, Japan 10: Clinical Research Center, National Hospital Organization Nagoya Medical Center, Nagoya, Japan 11: Department of Hematology/Oncology, Miyagi Children's Hospital, Sendai, Japan 12: Department of Pediatrics, Faculty of Medicine, Oita University, Yufu, Japan 13: Department of Pediatric Hematology/Oncology, Osaka City General Hospital, Osaka, Japan
British Journal of Haematology 196(5):1257-1261, 2022

Clinical parameter-based prediction of DNA methylation classification generates a prediction model of prognosis in patients with juvenile myelomonocytic leukemia
Imaizumi T[1], Meyer J[2], Wakamatsu M[3], Kitazawa H[3], Murakami N[3], Okuno Y[4], Yoshida T[3], Sajiki D[3], **Hama A**[5], Kojima S[3], Takahashi Y[3], Loh M[2], Stieglitz E[2], Muramatsu H[6]
1: Department of Advanced Medicine, Nagoya University Hospital, Nagoya, Japan 2: Department of Pediatrics, Benioff Children's Hospital, University of California, San Francisco, San Francisco, USA 3: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, 65 Tsurumai-cho, Showa-ku, Nagoya, Aichi, 466-8560, Japan 4: Department of Virology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya, Japan 5: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 6: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, 65 Tsurumai-cho, Showa-ku, Nagoya, Aichi, 466-8560, Japan. hideki-muramatsu@med.nagoya-u.ac.jp
Scientific Reports 12(1):14753, 2022

再生不良性貧血 血液疾患のすべて
吉田奈央
日本医師会雑誌 151(特別号):192-193, 2022

一般・消化器外科、緩和ケア科

Superficial spreading type of early gastric cancer with diagnosticdifficulty and positive surgical margin: a case report
Ikeda K[1], Nagai H[1], Miyake H[1], Yoshioka Y[1] Katayama M[1] Yuasa N[1], Marukawa T[2], Ito M[3], Fujino M[3], Murakami H[3], Kiriyama A[3]
1:一般消化器外科 2:消化器内科 3:病理部
Clinical Journal of Gastroenterology 15:537-546, 2022

Long-term survivor who underwent surgical resections of repeated peritoneal oligometastases from colon cancer : a rare case report
Minami T[1], Miyake H[1], Nagai H[1], Yoshioka Y[1], Shibata K[1], Takahashi D[1], Yuasa N[1], Fujino M[2]
1:一般消化器外科 2:病理部
The Journal of Medical Investigation 69:302-307, 2022

Development and internal validation of laboratory prognostic score to predict 14-day mortality in terminally ill patients with gastrointestinal malignancy
Nagai H, Kawai N, Yuasa N
Supportive Care in Cancer 30:4179-4187, 2022

Portal vein leiomyosarcoma invading the pancreatic head
Imataki H[1], Okuno M[1], Miyake H[1], Nagai H[1], Yoshioka Y[1], Yuasa N[1], Fujino M[2]
1:一般消化器外科 2:病理部
Clinical Journal of Gastroenterology 15:484-492, 2022

Non-tumor forming and diffusely spreading invasive pancreatic cancer
Arakawa T[1], Miyake H[1], Nagai H[1], Yoshioka Y[1], Shibata K[1], Takahashi D[1], Yuasa N[1,4], Sumi H[2], Yoshikawa K[3], Kiriyama A[3], Fujino M[3]
1:一般消化器外科 2:消化器内科 3:病理部 4:緩和ケア科
Clinical Journal of Gastroenterology s12328-022-01705-6, 2022

SMARCA4-deficient rectal carcinoma with a sarcomatoid component: a case report
Meda Y[1], Miyake H[1], Nagai H[1], Yoshioka Y[1], Yuasa N[1], Kiriyama A[2], Fujino M[2]
1:一般消化器外科 2:病理部
Clinical Journal of Gastroenterology 15(2):419-426, 2022

憩室内から発生したと思われるS状結腸癌の1例
荒川拓也[1],三宅秀夫[1],永井英雅[1],吉岡裕一郎[1],柴田耕治[1],湯浅典博[1],藤野雅彦[2]
1:一般消化器外科 2:病理部
日本臨床外科学会会誌 83(1)117-122, 2022

盲腸 MiNEN(mixed adenocarcinoma-NEC)の1 例
池田幸陽[1],三宅秀夫[1],永井英雅[1],吉岡裕一郎[1],湯浅典博[1],藤野雅彦[2]

1:一般消化器外科　2:病理部
日本臨床外科学会会誌　83(2):351-357, 2022

Significance of ultrasonography in the assessment of patients with a groin mass: a large, single-center case series
Kojima Y[1], Maeoka E[1], Nisaka Y[1], Hashimoto T[1], Sato A[1], Morimoto H[1], Nagai H, Yuasa N[1]
1:Clinical Laboratory
Journal of Medical Ultrasonics　24(3):314-322, 2022

Prognostic laboratory score to predict 14-day moratality in terminally ill patients with respiratory malignancy
Tanaka M, Kawai N, Yuasa N
International Journal of Clinical Oncology　27(4):655-664 ,2022

心臓血管外科

Midterm results after seamless patch mitral reconstruction
Hosoba S[1], Ito T[1], Mori M[2], Kato R[1], Kobayashi M[1], Nakai Y[3], Morishita Y[4]
1: Department of Cardiovascular Surgery, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan　2: Division of Cardiothoracic Surgery, Yale School of Medicine, New Haven, Conn　3: Department of Clinical Engineering, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan　4: Department of Cardiology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan
JTCVS Techniques　13 Oct 2022　16:35-42

Three-Dimensional Endoscopic-Assisted Concomitant Mitral and Aortic Valve Surgery
Hosoba S, Ito T, Orii M
The Annals of Thoracic Surgery　114(1):e63-e66,2022

Endoscopic mitral valve repair utilizing cavitron ultrasonic surgical aspirator for active endocarditis.
Soh H, Ito T, Kato R
Interactive Cardiovascar and Thoracic Surgery. 10;35(5): ivac259. 2022

Corrigendum to: Totally endoscopic aortic valve replacement via antero-lateral approach using a standard prosthesis
Masayoshi Tokoro 1, Sadanari Sawaki 1, Takahiro Ozeki 1, Mamoru Orii 1, Akihiko Usui 2, Toshiaki Ito 1
1Department of Cardiovascular Surgery, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan.
2Department of Cardiac Surgery, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
Interdisciplinary CardioVascular and Thoracic Surgery　34(6):1189

呼吸器外科

肺内孤立性線維性腫瘍の一例
後藤まどか,市川靖久,坪内秀樹,川角佑太,森正一
日本臨床外科学会雑誌, 83;654-9 2022

脳転移による痙攣を契機にたこつぼ型心筋症を発症した肺癌術後再発の 1 例
後藤まどか,市川靖久,坪内秀樹,川角佑太,福本紘一,内山美佳,森正一
肺癌, 62(5);377-381 2022

7 年間の経過観察中に緩徐増大を認めた胸膜発生脱分化型孤立性線維性腫瘍の 1 例
後藤まどか[1],高田莉央[2],市川靖久[1],坪内秀樹[1],川角佑太[1],森正一[1]
1:呼吸器外科　2:病理部
呼吸器外科, 36(7);101-106 2022

小児外科

化膿性リンパ節炎から急速にフルニエ壊疽に伸展し緊急デブリードメントを要した乳児
青山里穂[1],三井さやか[1],水谷謙介[1],西門優一[1],秋田直洋[1],福見大地[1],村瀬成彦[2],藤野雅彦[3]
1:小児科　2:小児外科　3:病理部
日本小児科学会雑誌　126(7):1055-1061, 2022

整形外科

骨髄炎と腸腰筋膿瘍を合併した化膿性仙腸関節炎の1例
伊藤史宙, 祖父江康司, 井上英則
中部日本整形外科災害外科学会雑誌　65:203-204 2022

Total hip arthroplasty and autologous bone grafting for treating bilateral osteonecrosis of the acetabulum: A case report
Otaka K, Osawa Y[1], Seki T[1], Inoue H, Imagama S[1]
1:名古屋大学整形外科
Journal of orthopaedic science, S0949-2658(22)00084-7. 11 May. 2022

【もう悩まない　こどもと思春期の整形外科診療】(6 章)外傷　小児肘周辺外傷の診断と治療
大塚純子,洪淑貴
臨床整形外科　57(5)666-673,2022

【女性によくみる手疾患】ばね指、ドゥ・ケルバン腱鞘炎の診断と治療
洪淑貴,大塚純子

Orthopaedics 35(4): 1-6,2022

【小児肘関節近傍骨折治療のコツと落とし穴】小児新鮮 Monteggia 脱臼骨折
洪淑貴,大塚純子
関節外科 41(6): 636-644,2022

Locomotive syndrome in rheumatoid arthritis patients during the COVID-19 pandemic
Sobue Y[1], Suzuki M[2,3], Ohashi Y[2,4], Koshima H[3], Okui N[4], Funahashi K[5], **Ishikawa H**[1], **Inoue H**[1], Kojima M[6], Asai S[2], Terabe K[2], Hattori K[2], Kishimoto K[2], Takahashi N[2], Imagama S[2], Kojima T[2]
1: Department of Orthopedic Surgery, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 2: Department of Orthopedic Surgery, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 3: Department of Orthopedic Surgery, Japan Community Health care Organization Kani Tono Hospital, Kani, Japan 4: Department of Orthopedic Surgery, Yokkaichi Municipal Hospital, Yokkaichi, Japan 5: Department of Orthopedic Surgery, Kariya Toyota General Hospital, Kariya, Japan 6: Department of Frailty Research, Center for Gerontology and Social Science, National Center for Geriatrics and Gerontology, Obu, Japan
Nagoya Journal of Medical Science 84(4):799-812.2022

Association between locomotive syndrome and methotrexate discontinuation due to adverse events in rheumatoid arthritis patients: A retrospective observational study
Sobue Y[1], Suzuki M[2,3], Ohashi Y[2,4], Koshima H[3], Okui N[4], Funahashi K[5], **Ishikawa H**[1], **Inoue H**[1], Kojima M[6], Asai S[2], Terabe K[2], Hattori K[2], Kishimoto K[2], Takahashi N[2], Imagama S[2], Kojima T[2,7]
1: Department of Orthopedic Surgery, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 2: Department of Orthopedic Surgery and Rheumatology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 3: Department of Orthopedic Surgery, Japan Community Health Care Organization Kani Tono Hospital, Gifu, Japan 4: Department of Orthopedic Surgery, Yokkaichi Municipal Hospital, Yokkaichi, Japan 5: Department of Orthopedic Surgery, Kariya Toyota General Hospital, Kariya, Japan 6: Center for Gerontology and Social Science, National Center for Geriatrics and Gerontology, Obu, Japan 7: Department of Orthopedic Surgery, National Hospital Organization Nagoya Medical Center, Nagoya, Japan
Geriatrics & Gerontology International 22(10):904-905.2022

Validation of grip strength as a measure of frailty in rheumatoid arthritis
Sobue Y[1], Suzuki M[2,3], Ohashi Y[2,4], Koshima H[3], Okui N[4], Funahashi K[5], **Ishikawa H**[1], **Inoue H**[1], Kojima M[6], Asai S[2], Terabe K[2], Kishimoto K[2], Maeda M[2], Kihira D[2], Imagama S[2], Kojima T[7,8]
1: Department of Orthopedic Surgery, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Aichi, Japan 2: Department of Orthopedic Surgery, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 3: Department of Orthopedic Surgery, Japan Community Health Care Organization Kani Tono Hospital, Kani, Gifu, Japan 4: Department of Orthopedic Surgery, Yokkaichi Municipal Hospital, 2-2-37 Shibata, Yokkaichi, Mie, 510-8567, Japan 5: Department of Orthopedic Surgery, Kariya Toyota General Hospital, Kariya, Aichi, Japan 6: Department of Frailty Research, Center for Gerontology and Social Science, National Center for Geriatrics and Gerontology, Obu, Aichi, Japan 7: Department of Orthopedic Surgery, Nagoya University Graduate School of Medicine, Showa, Nagoya, Aichi, Japan 8: Department of Orthopedic Surgery, National Hospital Organization Nagoya Medical Center, Nagoya, Aichi, Japan
Scientific Report 6;12(1):21090,2022

泌尿器科

Transvaginal repair of a rectovaginal fistula caused by transvaginal mesh prolapse surgery
Matsuyama A, Kato K, Sai H, Ishiyama A, Kato T, Inoue S, Hirabayashi H, Suzuki S
International Journal of Urology Case Reports 5(4): 255-258, 2022

Post-bath incontinence (bathwater incontinence) can be managed with behavioral therapy
Kato K, Hirabayashi H, Matsuyama A, Sai H, Ishiyama A, Kurosu H, Kato T, Inoue S, Suzuki S
International Journal of Urology Case Reports 5:203-206, 2022

Editorial Comment to Visualization of mesh on computed tomographic images after pelvic organ prolapse surgery
Kato K
International Journal of Urology 29: 361-362, 2022

Impact of Histological Variants on Clinical Responses to Pembrolizumab in Patients With Metastatic Urothelial Cancer
Inoue S[1], Sassa N[2], Kawanishi H[2], Yuguchi Y[3], Suzuki T[4], Nagayama J[5], Matsui H[6], Miyata Y[7], Soeda Y[8], Tochigi K[9], Yamauchi Y[10], Maeda M[11], Kobayashi I[2], **Hattori R**[12], Matsukawa Y[9], Kato M[9]
1: Department of Urology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center, Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 2: Department of Urology, Aichi Medical University, Faculty of Medicine, Nagakute, Japan 3: Department of Urology, Chukyo Hospital, Nagoya, Japan 4: Department of Urology, Nagoya Medical Center, Nagoya, Japan 5: Department of Urology, Toyohashi Municipal Hospital, Toyohashi, Japan 6: Department of Urology, Narita Memorial Hospital, Toyohashi, Japan 7: Department of Urology, Yokkaichi Municipal Hospital, Yokkaichi, Japan 8: Department of Urology, Komaki City Hospital, Komaki, Japan 9: Department of Urology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 10: Department of Urology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center, Nagoya Daini Hospital, Nagoya, Japan 11: Department of Urology, Kariya Toyota General Hospital, Kariya, Japan 12: Department of Urology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center, Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan
Anticancer Research 42(7):3627-3636,2022

七転び八起き、泌尿器科を目指す若者へのエール
加藤久美子
日本泌尿器科学会広報誌「 News Newsletter for Next Uro-Generation」第 7 号 2022 年 1 月

【特集：下部尿路機能障害（排尿障害）へのアプローチ】女性尿失禁（腹圧性尿失禁と切迫性尿失禁）
加藤久美子,鈴木省治
診断と治療 110: 753-757, 2022

【Female Urology の蘊奥-積み重ねられた知恵と技術の活かし方】各種尿失禁および尿失禁様現症の診断
加藤久美子,鈴木省治,平林裕樹

臨床泌尿器科 76: 218-223, 2022.

小さな工夫 過活動膀胱ボツリヌス療法の導入 次亜塩素酸ナトリウム溶液による失活と廃棄の簡便化
加藤久美子
臨床泌尿器科 76: 756-757, 2022

産婦人科

自己卵子を用いた生殖補助医療により妊娠・分娩に至った Turner 症候群の一例
齋藤愛,江口智子,安藤智子
日本受精着床学会雑誌 39(1):103-106,2022

ロボット(RPA)による画像診断報告書確認漏れ防止対策の実効性
水野公雄
新医療 566(2):22-25,2022

同側腎無形成を伴う片側閉塞性重複子宮合併妊娠 7 例の周産期経過
中村侑実,安藤智子,中村拓斗,上田真子,鈴木美帆,伊藤由美子,手塚敦子,齋藤愛,坂堂美央子,廣村勝彦,津田弘之,水野公雄
日本周産期・新生児医学会雑誌 58(2):369-373,2022

Impact of the interpregnancy interval after cesarean delivery on subsequent perinatal risks: A retrospective study
Nakamura Y, Tsuda H, Masahashi Y, Nakamura T, Suzuki M, Fukuhara N, Ito Y, Tezuka A, Ando T, Mizuno K
Archives of Gynecology and Obstetrics In Press 2022

Maternal renal dysfunctin in late pregnancy in twin and singleton pregnancies: Retrospective study
Minoda A, Tsuda H, Masahashi Y, Nakamura T, Suzuki M, Fukuhara N, Ito Y, Tezuka A, Ando T, Mizuno K
Journal of Clinical Medicine 22(12):90, 2022

化学療法内科

A phase II study to explore biomarkers for the use ofmFOLFOX6/XELOX plus bevacizumab as a first-linechemotherapy in patients with metastatic colorectalcancer (WJOG7612GTR)
colorectalcancer (WJOG7612GTR)
W Okamoto[1], K Sakai[2], A Makiyama[3], Y Yamamoto[4], K Shitara[5], T Denda[6], N Izawa[7], Y Nakano[8], T Nishina[9], T Esaki[10], H Hara[11], Y Miura[12], N Boku[13], K Yamazaki[14], S Hironaka[15], T Misumi[16], I Hyodo[9], K Muro[9], K Nishio[18]
1: Department of Medical Oncology, Kindai University Faculty of Medicine, Osakasayama;Translational Research Support Section, National Cancer Center Hospital East, Kashiwa;Department of Gastroenterology and Gastrointestinal Oncology, National Cancer CenterHospital East, Kashiwa; Cancer Treatment Center, Hiroshima University Hospital, Hiroshima 2: Department of Genome Biology, Kindai University Faculty of Medicine, Osakasayama 3: Department of Hematology/Oncology, Japan Community Healthcare Organization KyushuHospital, Kitakyushu; Cancer Center, Gifu University Hospital, Gifu 4: Department of Gastroenterology, University of Tsukuba Hospital, Tsukuba 5:Department of Gastroenterology and Gastrointestinal Oncology, National Cancer CenterHospital East, Kashiwa; Department of Immunology, Nagoya University Graduate School ofMedicine, Nagoya 6: Division of Gastroenterology, Chiba Cancer Center, Chiba 7:Department of Clinical Oncology, St. Marianna University School of Medicine, Kawasaki 8:Department of Medical Oncology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya DaiichiHospital, Nagoya 9:Department of Gastrointestinal Medical Oncology, National Hospital Organization ShikokuCancer Center, Matsuyama 10: Department of Gastrointestinal and Medical Oncology, National Hospital Organization KyushuCancer Center, Fukuoka 11: Department of Gastroenterology, Saitama Cancer Center, Kitaadachi-gun 12: Department of Medical Oncology, Toranomon Hospital, Minato-ku 13: Department of Gastrointestinal Medical Oncology, National Cancer Center Hospital, Tokyo 14: Division of Gastrointestinal Oncology, Shizuoka Cancer Center, Sunto-gun 15: Department of Medical Oncology and Hematology, Oita University Faculty of Medicine, Yufu 16: Department of Biostatistics, Yokohama City University School of Medicine, Yokohama 17: Department of Clinical Oncology, Aichi Cancer Center Hospital, Nagoya, Japan 18: Department of Genome Biology, Kindai University Faculty of Medicine, Osakasayama. Electronicaddress: knishio@med.kindai.ac.jp
ESMO Open (6):100592,2022

リハビリテーション科部

Association of Redox State of Human Serum Albumin with Severity in Patients with Heart Failure
Nishikawa T[1], Shimizu S[2], Kamiya H[3], Ueyama J[4], Yamada S[5]
1:リハビリテーション科 2: Department of Cardiology, Fujita Health University Bantane Hospital 3: Department of Cardiology, Japan Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital 4:Department of Biomolecular Sciences, Field of Omics Health Sciences, Nagoya University Graduate School of Medicine 5: Department of Cardiology, Aichi Medical University
International Heart Journal. 63(6):1107-1114 2022

歯科口腔外科

下顎枝部の異所性下顎埋伏第三大臼歯に対して High perimandibular approach を応用して抜歯した 1 例
仲谷佐奈子 [1],**佐藤春樹,長縄憲亮,早川泰平,上田整,神谷雄二郎,大岩伊知郎**
1:愛知学院大学歯学部顎顔面外科学講座
愛知学院大学歯学会誌, 60(3):228-232 2022

Multicenter retrospective study of nivolumab therapy for recurrent or metastatic oral squamous cell carcinoma
Yamakawa N[1], Umeda M[2], Yoshii Y[3], Mitsudo K[4], Noguchi M[5], Kusukawa J[6], Katakura A[7], Nakayama H[8], Sasaki M[9], Mori Y[10], Ueda M[11], Bukawa H[12], Yagihara K[13], Horie A[14], Miyazaki A[15], Chikazu D[16], Tomihara K[17], Mishima K[18], Otsuru M[2], Asoda S[19], Fujiwara S[20], Ohyama Y[21], Kurita H[22], Kawamata H[23], Fukuda M[24], Tojyo I[25], Iida A[26], Kanno T[27], **Oh-iwa I**, Kawano K[28], Yamashita Y[29], Kobayashi W[30], Ohiro Y[31], Uzawa K[32], Y Ota[9], Kirita T[1]
1: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, School of Medicine, Nara Medical University 2: Department of Clinical Oral Oncology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences 3: Department of Cancer Genomics and Medical Oncology, School of Medicine, Nara Medical University 4: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Yokohama, City University Graduate School of Medicine 5: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Faculty of Medicine, Academic Assembly, University of Toyama 6: Dental and Oral Medical Center, Kurume University School of Medicine 7: Department of Oral Pathobiological Science and Surgery, Tokyo Dental College 8: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University 9: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Tokai University School of Medicine 10: Department of Dentistry, Oral and Maxillofacial Surgery, Jichi Medical University 11: Department of Oral Surgical Oncology, Hokkaido Cancer Center 12: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Faculty of Medicine, University

of Tsukuba 13: Department of Oral Surgery, Saitama Cancer Center 14: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Kanto Rosai Hospital 15: Department of Oral Surgery, Sapporo Medical University School of Medicine 16: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Tokyo Medical University 17: Division of Oral Pathology, Department of Tissue Regeneration and Reconstruction, Niigata University, Graduate School of Medical and Dental Sciences 18: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine 19: Department of Dentistry and Oral Surgery, Keio University School of Medicine 20: Department of Dentistry and Oral Surgery, Japanese Red Cross Society Himeji Hospital 21: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Shizuoka City Shizuoka Hospital 22: Department of Dentistry and Oral Surgery, Shinshu University School of Medicine 23: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Dokkyo Medical University School of Medicine 24: Department of Dentistry and Oral Surgery, Akita University Graduate School of Medicine 25: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Wakayama Medical University 26: Department of Dentistry and Oral Surgery, Nagaoka Red Cross Hospital 27: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Shimane University Faculty of Medicine 28: Department of Dentistry and Oral-Maxillo-Facial Surgery, Faculty of Medicine, Oita University 29: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Faculty of Medicine, Saga University 30: Department of Dentistry and Oral Surgery, Hirosaki University Graduate School of Medicine 31: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Division of Oral Pathobiological Science, Faculty of Dental Medicine and Graduate School of Dental Medicine 32: Department of Oral Science, Graduate School of Medicine, Chiba University
Oral Diseases, Online ahead of print 2022

病理部、細胞診分子病理診断部

Prospective validation of the provisional entity of refractory cytopenia of childhood, proposed by the World Health Organization

Hama A[1,2], Hasegawa D[3], Manabe A[3,4], Nozawa K[5], Narita A[1], Muramatsu H[1], Kosaka Y[6], Kobayashi M[7], Koh K[8], Takahashi Y[1], Watanabe K[9], Ohara A[10], **Ito M**[11], Kojima S[1]
1: Department of Paediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 2: Department of Haematology and Oncology, Children's Medical Centre, Japanese Red Cross Aichi Medical Centre Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 3Department of Paediatrics, St. Luke's International Hospital, Tokyo, Japan 4: Department of Paediatrics, Hokkaido University Graduate School of Medicine, Sapporo, Japan 5: Department of Laboratory Medicine, St. Luke's International Hospital, Tokyo, Japan 6: Department of Haematology/Oncology, Hyogo Prefectural Kobe Children's Hospital, Kobe, Japan 7: Department of Paediatrics, Hiroshima University Graduate School of Biomedical & Health Sciences, Hiroshima, Japan 8: Department of Haematology/Oncology, Saitama Children's Medical Centre, Saitama, Japan 9: Department of Haematology and Oncology, Shizuoka Children's Hospital, Shizuoka, Japan 10: Department of Paediatrics, Toho University School of Medicine, Tokyo, Japan 11: Department of Pathology, Japanese Red Cross Aichi Medical Centre Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan
British Journal of Haematology 196(4):1031-1039, 2022

BCR::ABL1-positive histiocytic sarcoma of the small intestine in a patient with chronic myeloid leukaemia

Minato H[1], Okayama Y[1], Katayanagi K[1], Futatsuya C[1], Kurumaya H[1], Sakimura Y[2], Yamamoto D[2], Bando H[2], Yamaguchi M[3], **Ito M**[4]
1: Department of Diagnostic Pathology, Japan 2: Department of Gastroenterological Surgery, Japan 3: Department of Haematology, Ishikawa Prefectural Central Hospital, Ishikawa, Japan 4: Department of Pathology, Japanese Red Cross, Aichi Medical Centre Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan
Histopathology . 2022 Apr;80(5):869-871

7 年間の経過観察中に緩徐増大を認めた胸膜発生脱分化型孤立性線維性腫瘍の 1 例

後藤まどか[1],**高田莉央**[2],市川靖久[1],坪内秀樹[1],川角佑太[1],森正一[1]
1:呼吸器外科 2:病理部
呼吸器外科, 36(7);101-106 2022

化膿性リンパ節炎から急速にフルニエ壊疽に伸展し緊急デブリードメントを要した乳児

青山里穂[1],三井さやか[1],水谷謙介[1],西門優一[1],秋田直洋[1],福見大地[1],村瀬成彦[2],**藤野雅彦**[3]
1:小児科 2:小児外科 3:病理部
日本小児科学会雑誌 126(7):1055-1061, 2022

Neurolymphomatosis in follicular lymphoma: an autopsy case report

Ando T[1,2], Kamoshita S[3], Riku Y[1,2], Ito A[4], Ozawa Y[3], Miyamura K[3], **Fujino M[4], Ito M**[4], Goto Y[5], Mano K[5], Akagi A[2], Miyahara H[2], Katsuno M[1], Yoshida M[2], Iwasaki Y[2]
1: Department of Neurology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 2: Department of Neuropathology, Institute for Medical Science of Aging, Aichi Medical University, Nagakute, Japan 3: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 4: Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 5: Department of Neurology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan
Case Reports Neuropathology 42(4):295-301, 2022

Portal vein leiomyosarcoma invading the pancreatic head

Imataki H[1], Okuno M[1], Miyake H[1], Nagai H[1], Yoshioka Y[1], Yuasa N[1], **Fujino M**[2]
1:一般消化器外科 2:病理部
Clinical Journal of Gastroenterology 15:484-492, 2022

Superficial spreading type of early gastric cancer with diagnosticdifficulty and positive surgical margin: a case report

Ikeda K[1], Nagai H[1], Miyake H[1], Yoshioka Y[1] Katayama M[1] Yuasa N[1], Marukawa T[2], **Ito M[3], Fujino M[3], Murakami H[3], Kiriyama A[3]**
1:一般消化器外科 2:消化器内科 3:病理部
Clinical Journal of Gastroenterology 15:537-546, 2022

Non-tumor forming and diffusely spreading invasive pancreatic cancer

Arakawa T[1], Miyake H[1], Nagai H[1], Yoshioka Y[1], Shibata K[1], Takahashi D[1], Yuasa N[1,4], Sumi H[2], **Yoshikawa K[3], Kiriyama A[3], Fujino M[3]**
1:一般消化器外科 2:消化器内科 3:病理部 4:緩和ケア科
Clinical Journal of Gastroenterology s12328-022-01705-6, 2022

Long-term survivor who underwent surgical resections of repeated peritoneal oligometastases from colon cancer : a rare case report

Minami T[1], Miyake H[1], Nagai H[1], Yoshioka Y[1], Shibata K[1], Takahashi D[1], Yuasa N[1], **Fujino M**[2]
1:一般消化器外科 2:病理部
The Journal of Medical Investigation 69:302-307, 2022

盲腸 MiNEN（mixed adenocarcinoma-NEC）の1例

池田幸陽[1],三宅秀夫[1],永井英雅[1],吉岡裕一郎[1],湯浅典博[1],**藤野雅彦**[2]
1:一般消化器外科 2:病理部

日本臨床外科学会会誌 83(2):351-357, 2022

憩室内から発生したと思われるS状結腸癌の1例

荒川拓也[1],三宅秀夫[1],永井英雅[1],吉岡裕一郎[1],柴田耕治[1],湯浅典博[1],**藤野雅彦**[2]

1:一般消化器外科 2:病理部

日本臨床外科学会会誌 83(1)117-122, 2022

Diagnosis and clinical implication of collision gastric adenocarcinomas: a case report

Imataki H[1], Miyake H[1], Nagai H[1], Yoshioka Y[1], Yuasa N[1], Takamizawa J[2], **Kiriyama A[3], Fujino M[3]**

1:一般消化器外科 2:検査部 3:病理部

Surgical Case Reports 7;8(1):193, 2022

SMARCA4-deficient rectal carcinoma with a sarcomatoid component: a case report

Meda Y[1], Miyake H[1], Nagai H[1], Yoshioka Y[1], Yuasa N[1], **Kiriyama A[2], Fujino M[2]**

1:一般消化器外科 2:病理部

Clinical Journal of Gastroenterology 15(2):419-426, 2022

悪性腫瘍の早期発見に必要な細胞診の目を養う 2. 早期発見に必要な目の付け所 3)唾液腺

坂本真一[1],安藤俊範[2],**安村奈緒子**,齋藤彰久[3],倉岡和矢[3],河本涼助[4],山本利枝[4],西阪隆[4],宮内睦美[5],小川郁子[2]

1:明海大学歯学部 病態診断治療学講座病理学分野 2:広島大学病院 口腔検査センター 3:呉医療センター・中国がんセンター 病理診断科 4:県立広島病院 臨床研究検査科・病理診断科

Medical technology 50(6):568-571, 2022

ENTREP/FAM189A2 encodes a new ITCH ubiquitin ligase activator that is downregulated in breast cancer

Tsunoda T[1], Riku M[1], Yamada N[1], Tsuchida H[2], Tomita T[2], Suzuki M[1], Kizuki M[1], Inoko A[1,3], Ito H[1], Murotani K[4], **Murakami H**[1], Saeki Y[2], Kasai K[1]

1: Department of Pathology, Aichi Medical University School of Medicine 2:Protein Metabolism Project, Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science 3: Division of Cancer Epidemiology and Prevention, Aichi Cancer Center Research Institute 4: Biostatistics Center, Kurume University

EMBO reports 3;23(2):e51182, 2022

薬剤部

日本人高齢がん患者における化学療法の重篤な副作用予測ツールの有用性の評価

佐々木俊則[1], 藤村浩司[2], 伊藤夕貴[2], **向山直樹**[3], 大島有美子[4], 山口智江[5], 堀田和男[6], 佐藤由美子[7], 久田達也[2], 宮崎雅之[8]

1:三河乳がんクリニック薬剤部 2:トヨタ記念病院薬剤科 3:日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院薬剤部 4:一宮市立市民病院薬剤局 5:中部労災病院薬剤部 6:愛知医科大学病院薬剤部 7:名古屋市立大学医学部附属西部医療センター薬剤科 8:名古屋大学医学部附属病院薬剤部

日本病院薬剤師会雑誌, 58(9):1037-1043 2022

臨床工学技術課

Midterm results after seamless patch mitral reconstruction

Hosoba S[1], Ito T[1], Mori M[2], Kato R[1], Kobayashi M[1], **Nakai** Y[3], Morishita Y[4]

1: Department of Cardiovascular Surgery, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 2: Division of Cardiothoracic Surgery, Yale School of Medicine, New Haven, Conn 3: Department of Clinical Engineering, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 4: Department of Cardiology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan

JTCVS Techniques 13 Oct 2022 16:35-42

検査部、輸血部

幼若血小板比率とその変化による血小板数増減の予測

山中泰子,伊藤衣里子,遠藤美紀子,郡司昌治,湯浅典博

医療検査と自動化 47(5):562-568, 2022

Significance of ultrasonography in the assessment of patients with a groin mass: a large, single-center case series

Kojima Y, Maeoka E, Nisaka Y, Hashimoto T, Sato A, Morimoto H, Nagai H[1], **Yuasa N**

1:一般消化器外科

Journal of Medical Ultrasonics 24(3):314-322, 2022

Clinico-bacterial and prognostic factors in patients with suspected blood stream infection and elevated serum procalcitonin levels

Osamura Y, Nishiyama H, Hattori T, Gunji M, Yuasa N

Nagoya Journal of Medcial Science 84, 230-246

Predictive value of surveillance cultures for bacteremia caused by extended-spectrum beta-lactamase (ESBL)-producing Enterobacterales among patients with hematological diseases

Hattori T[1], Goto T[2], **Osaki M[1]**, Ozawa Y[2], K Miyamura[2]

Hematology Infection 50:753-759, 2022

Diagnosis and clinical implication of collision gastric adenocarcinomas: a case report

Imataki H[1], Miyake H[1], Nagai H[1], Yoshioka Y[1], Yuasa N[1], **Takamizawa J[2]**, Kiriyama A[3], Fujino M[3]

1:一般消化器外科 2:検査部 3:病理部

Surgical Case Reports 7;8(1):193, 2022

看護部

病院の看護管理者の仕事経験による成長に関する文献レビュー

大島和美

愛知県立大学看護学部紀要　28(1)1-11,2022

Ⅱ．業　　績

３．学　会

令和４年１月～令和４年 12 月

腎臓内科

レジオネラ肺炎による横紋筋融解症、急性腎不全に対し血液浄化療法を施行し、回復期に高 Ca 血症をきたした一例

鈴木彰,清水仁美,川副智宏,平松絵美子,渡邊智治,遠藤信英

第 67 回日本透析医学会　2022 年 7 月　横浜

低カリウム血症と代謝性アシドーシスを繰り返しきたしトルエン中毒と診断された 1 例

鈴木彰,粕谷怜那,田口貴士,清水仁美,平松絵美子,横江優貴,遠藤信英

第 248 回日本内科学会東海地方会　2022 年 10 月　浜松

内分泌内科

低血糖を契機に診断された肺腺癌両側副腎転移によるアジソン病の一例

太田美穂子,今瀧柚衣,伊藤大貴,土田真梨子,清田篤志,渡邊保子,尾崎信暁

第 95 回日本内分泌学会学術総会　2022 年 6 月　大分(Web)

骨盤臓器脱による排尿障害を契機に腎膿瘍を形成した 2 例

佐井裕紀[1],加藤久美子[1],**伊藤大貴[2],清田篤志**[2],百田絢子[1],松山愛佳[1],黒須春香[1],加藤隆[1],井上聡[1],平林裕樹[1],鈴木省治[1]

1:泌尿器科　2:内分泌内科

第 24 回日本女性骨盤底医学会　2022 年 7 月　さいたま市

入院外来支援における急性合併症(低血糖)に対する NST 専門薬剤師の挑戦

野村浩夫[1], 山本侑佳[1], 服部哲幸[1], 櫛原朋恵[1], 櫛原秀之[1], **清田篤志[2]**, 吉岡裕一郎[3], 春田純一[4]

1:薬剤部　2:内分泌内科　3:一般消化器外科　4:消化器内科

第 16 回日本臨床栄養代謝学会中部支部学術集会　2022 年 8 月　富山市(WEB)

レンバチニブにより良好な経過をたどった甲状腺濾胞癌の一例

白川晶,清田篤志,土田真梨子,太田美穂子,尾崎信暁

第 65 回日本甲状腺学会学術集会　2022 年 11 月　大阪

高エネルギー外傷による右副腎損傷、副腎皮質機能低下症の一例

太田美穂子,清田篤志,白川晶,今瀧柚衣,土田真梨子,渡邊保子,尾崎信暁

第 32 回臨床内分泌代謝 Update　2022 年 11 月　東京

遺伝性コプロポルフィリン症に対するギボシランの投与経験

尾崎信暁,土田真梨子,太田美穂子,今瀧柚衣,白川晶,渡邊保子,清田篤志

第 32 回臨床内分泌代謝 Update　2022 年 11 月　東京

血液内科

同種造血幹細胞移植前後の性差による筋力、身体機能の変化

小川祐美[1],**森下喬允**,中村和司[1],松永佑哉[1],小川綾太[1],中山靖唯[1],早川勝[1]

1:リハビリテーション科

第 48 回日本赤十字リハビリテーション協会学術集会 2022 年 2 月　名古屋市(WEB)

同種造血幹細胞移植前後の筋力、身体機能の経時的変化－性差に着目して－

小川祐美[1],**森下喬允**[2],中村和司[1],松永佑哉[1],小川綾太[1],中山靖唯[1],早川勝[1],**小澤幸泰[2],西田徹也[2]**

1:リハビリテーション科　2:血液内科

第 44 回日本造血・免疫細胞療法学会総会 2022 年 5 月　横浜市(WEB)

微小血管障害が併存するステロイド抵抗性腸管急性 GVHD に対する間葉系幹細胞の有効 性の検討

内藤知希,後藤辰徳,田原玄寛,石際康平,武田健一郎,土門洋祐,一木朝絵,江口基紀,川口裕佳,大引真理恵,森下喬允,小澤幸泰,西田徹也

第 44 回日本造血・免疫細胞療法学会総会　2022 年 5 月　横浜市(WEB)

同種造血幹細胞移植後中枢神経再発についての後方視的検討

一木朝絵,田原玄寛,内藤知希,石際康平,土門洋祐,武田健一郎,江口基紀,川口裕佳,大引真理恵,後藤辰徳,森下喬允,小澤幸泰,西田徹也

第 44 回日本造血・免疫細胞療法学会総会　2022 年 5 月　横浜市(WEB)

当院における同種造血細胞移植後再発 AML に対するベネトクラクスを用いた治療成績

後藤辰徳,田原玄寛,内藤知希,石際康平,武田健一郎,土門洋祐,一木朝絵,江口基紀,川口裕佳,大引真理恵,森下喬允,小澤幸泰,西田徹也

第 44 回日本造血・免疫細胞療法学会総会　2022 年 5 月　横浜市(WEB)

同種造血細胞移植における予防的抗生剤としてのポリミキシン B とレボフロキサシンと の比較検討

川口裕佳,後藤辰徳,田原玄寛,内藤知希,石際康平,武田健一郎,土門洋祐,一木朝絵,江口基紀,大引真理恵,森下喬允,小澤幸泰,西田徹也

第 44 回日本造血・免疫細胞療法学会総会　2022 年 5 月　横浜市(WEB)

当院における肝類洞閉塞症候群の治療成績

土門洋祐,森下喬允,田原玄寛,内藤知希,石際康平,武田健一郎,一木朝絵,江口基紀,川口裕佳,大引真理恵,後藤辰徳,小澤幸泰,西田徹也

第 44 回日本造血・免疫細胞療法学会総会　2022 年 5 月　横浜市(WEB)

原発性骨髄線維症に対する同種造血幹細胞移植後にルキソリチニブを使用し肺胞蛋白症 を発症した一例

田原玄寛[1],大引真理恵[1],青山大輔[2],**内藤知希[1],石際康平[1],武田健一郎[1],土門洋祐[1],一木朝絵[1],江口基紀[1],川口裕佳[1],後藤辰徳[1],森下喬允[1],小澤幸泰[1],西田徹也[1]**

1:血液内科　2:呼吸器内科

第 44 回日本造血・免疫細胞療法学会総会　2022 年 5 月　横浜市(WEB)

造血細胞移植前の血清フェリチンおよび BNP 高値は移植後の心駆出率低下と全生存率低下のリスク因子である
武田健一郎,田原玄寛,内藤知希,石際康平,土門洋祐,一木朝絵,江口基紀,川口裕佳, 大引真理恵,後藤辰徳,森下喬允,小澤幸泰,西田徹也
第 70 回日本輸血・細胞治療学会学術総会　2022 年 5 月　名古屋市(WEB)

同種移植後再発に対してベネトクラクス＋アザシチジン療法及びドナーリンパ球輸注が奏功した AML の 1 例
田原玄寛,後藤辰徳,石際康平,武田健一郎,土門洋祐,一木朝絵,江口基紀,川口裕佳,森下喬允,小澤幸泰,西田徹也
第 11 回日本血液学会東海地方会　2022 年 6 月　WEB

PET-CT にてマントル細胞リンパ腫の腸管早期再発を疑う像を呈した Campylobacter jejuni 腸炎の 1 例(口演)
久保篤史,森下喬允,武田健一郎,後藤辰徳,小澤幸泰,西田徹也
第 247 回日本内科学会東海地方会　2022 年 6 月　WEB

非定型慢性骨髄性白血病の骨髄移植後再発に対してアザシチジン・ドナーリンパ球 輸注が有効であった 1 例
武田健一郎,久保篤史,田原玄寛,内藤知希,石際康平,土門洋祐,一木朝絵,後藤辰徳,森下喬允,小澤幸泰,西田徹也
第 5 回東海北陸 HLA 研究会　2022 年 8 月　WEB 開催

WITH コロナ時代の造血細胞移植(シンポジウム)
西田徹也
第 5 回東海北陸 HLA 研究会　2022 年 8 月 7 日　WEB 開催

Retrospective analysis of haploidentical stem cell transplantation and cord blood transplantation
Takeda K, Kubo A, Tahara H, Naito T, Ishigiwa K, Domon Y, Fukuoka S, Ichiki T, Eguchi M, Kawaguchi Y, Goto T, Morishita T, Ozawa Y, Nishida T
第 84 回日本血液学会学術集会　2022 年 10 月　福岡市(WEB)

Risk factors for delayed methotrexate clearance among patients who received high dose methotrexate
Ishigiwa K, Morishita T, Tahara H, Naito T, Takeda K, Domon Y, Ichiki T, Eguchi M, Kawaguchi Y, Goto T, Ozawa Y, Nishida T
第 84 回日本血液学会学術集会　2022 年 10 月　福岡市(WEB)

A prospective observational study on late complications after hematopoietic cell transplantations
Ohbiki M[1,2], Kohno A[3], Terakura S[2], Fujieda A[4,5], Iida H[6], Inagaki Y[7], Sato T[1,2], Goto T[1,2], Nishida T[1,2], Ozawa Y[1], Miyamura K[1], Ozeki K[3], Fukushima N[3], Oi M [3], Kuwatsuka Y[2], Kiyoi H[2], Ino K[4], Seto A[1,8], Atsuta Y[9], Murata M[2]
1: Hematology, JRC Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan　2: Hematology and Oncology, Nagoya Univ., Nagoya, Japan　3: Hematology and Oncology, JA Aichi Konan Kosei Hospital, Konan, Japan　4: Hematology, Mie University Hospital, Tsu, Japan　5: Hematology, Japanese Red Cross Ise Hospital, Ise, Japan　6: Cell Therapy / Hematology, Nagoya Medical Center, Nagoya, Japan　7: Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan　8: Internal Medicine, Tokyo Adventist Hospital, Tokyo, Japan　9: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagakute, Japan
第 84 回日本血液学会学術集会　2022 年 10 月　福岡市(WEB)

脳神経内科

片側延髄外側梗塞の急性期に中枢性低換気を呈した 1 例
伊藤理樹,渡邊はづき,大河内建,石原佑次,谷本由佳,近藤隼人,高阪勇輔,本田大祐,後藤洋二,真野和夫
令和 3 年度日本神経学会東海北陸地区生涯教育講演会　2022 年 3 月　WEB

動作緩慢で発症し両側基底核病変を呈した irAE 脳炎の 1 例
谷本由佳,伊藤理樹,加藤暉康,大河内建,福野貴仁,三澤尚文,近藤隼人,本田大祐,渡邊はづき,後藤洋二,真野和夫
第 163 回日本神経学会東海北陸地方会　2022 年 7 月　Web

腫瘍の自然退縮後に再増大を来たした肺小細胞癌合併抗 CV2 抗体陽性傍腫瘍性神経症候群の 1 例
加藤暉康,伊藤理樹,大河内建,福野貴仁,三澤尚文,谷本由佳,近藤隼人,本田大祐,渡邊はづき,後藤洋二,真野和夫
第 163 回日本神経学会東海北陸地方会　2022 年 7 月　Web

胸腺腫摘出後に神経症状の増悪と落葉状天疱瘡の発症をきたした Morvan 症候群の一症例
三澤尚史,伊藤理樹,加藤暉康,大河内建,福野貴仁,三澤尚文,谷本由佳,近藤隼人,本田大祐,渡邊はづき,後藤洋二,真野和夫
第 164 回日本神経学会東海北陸地方会　2022 年 11 月　金沢市

免疫チェックポイント阻害薬投与から 1 年以上後に辺縁系脳炎と脊髄炎を発症した一例
伊藤理樹,渡邊はづき,加藤暉康,大河内建,石原佑次,谷本由佳,近藤隼人,高阪勇輔,本田大祐,後藤洋二,真野和夫
第 164 回日本神経学会東海北陸地方会　2022 年 11 月　金沢市

間質性肺炎を合併した視神経脊髄炎の 1 例
大河内建,本田大祐,渡邊はづき,後藤洋二,真野和夫
第 164 回日本神経学会東海北陸地方会　2022 年 11 月　金沢市

循環器内科

長期臥床後の離床と軽症脳梗塞発症後の運動負荷に苦慮した低心機能重症心不全の一例
桐山紗矢香 [1],藍澤洋介 [1],黒田真之
1:リハビリテーション科
第 30 回愛知県理学療法学術大会　2022 年 4 月　名古屋市(WEB)

心不全患者における還元型アルブミン比とフレイルカテゴリーとの関連：記述的研究
西川大樹[1],上山純[2],清水真也[3],石丸曜[1],芦川博信[4],足立拓史[4],**神谷春雄**[5],山田純生[6]
1:リハビリテーション科　2:名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻オミックス科学生体分子情報科学　3:藤田医科大学ばんたね病院　循環器内科　4:名古屋大学大学院医学系研究科　総合保健学専攻予防・リハビリテーション科学　5:日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院　循環器内科　6:愛知医科大学　循環器内科
第 28 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会　2022 年 6 月　宜野湾市(WEB)

当院における高齢心不全患者の認知機能についての調査
藍澤洋介[1],西川大樹[1],松原修[1],名和森太郎[1],中山靖唯[1],**宮田紳治郎**[2]
1:リハビリテーション科　2:循環器内科
第 49 回日本赤十字リハビリテーション協会学術集会 2022 年 11 月　前橋市

Association of redox state of human serum albumin with severity in patients with heart failure: a cross-sectional study
Nishikawa T[1], **Shimizu S[2], Kamiya H[3]**, Ueyama J[4], Yamada S[5]
1: リハビリテーション科部 2: Department of Cardiology, Fujita Health University Bantane Hospital　3: Department of Cardiology, Japan Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital　4: Department of Biomolecular Sciences, Field of Omics Health Sciences, Nagoya University Graduate School of Medicine　5: Department of Cardiology, Aichi Medical University
9th Asian Preventive Cardiology & Cardiac Rehabilitation Conference　2022 年 11 月　Hong Kong (WEB)

呼吸器内科、感染制御部

重度の呼吸不全を呈した多発肺転移を伴う肺腺癌に対して，喀痰細胞診で診断し救命した一例
中瀬敦,都島悠佑,後藤希,田中麻里,稲垣雅康,小玉勇太,伊藤亮太,高納崇,青山大輔,横山俊彦
第 120 回日本肺癌学会中部支部学術集会　2022 年 2 月　WEB

新型コロナウイルスワクチン接種支援における病院薬剤師と保険薬局薬剤師の共同地域連携をした役割について
野村浩夫[1,2,4,5], 向山直樹[1], 成瀬徳彦[1], 水野恵司[1], 野村真理[2,4,5], 玉水誠[4], 深谷清次[4], 岩月進[5], 木村和哲[3], **横山俊彦**[6], 水野公雄[7], 春田純一[8], 錦見尚道[9]
1:薬剤部　2:野村薬局　3:名古屋市立大学医学部附属病院　薬剤部　4:名古屋市薬剤師会　5:愛知県薬剤師会　6:呼吸器内科　7:産婦人科/副院長　8:消化器内科/副院長　9:血管外科/院長
日本薬学会第 142 年会　2022 年 3 月　WEB

当院における Trousseau 症候群を合併した肺癌患者 21 例の臨床的特徴
中瀬敦,廣島正雄,都島悠佑,後藤希,稲垣雅康,田中麻里,小玉勇太,伊藤亮太,高納崇,青山大輔,横山俊彦
第 62 回日本呼吸器学会学術講演会　2022 年 4 月　京都市

当院で完全切除術を施行した小細胞肺癌 23 例の検討
後藤希,都島悠佑,中瀬敦,稲垣雅康,田中麻里,小玉勇太,伊藤亮太,高納崇,青山大輔,横山俊彦
第 62 回日本呼吸器学会学術講演会　2022 年 4 月　京都市

両側全肺洗浄を施行した自己免疫性肺胞蛋白症の一例
鵜飼陽一,白髭彩,松浦彰彦,都島悠佑,後藤希,中瀬敦,稲垣雅康,田中麻里,小玉勇太,伊藤亮太,高納崇,横山俊彦
第 121 回日本呼吸器学会東海地方会　2022 年 5 月　WEB

加湿器肺の一例
白髭彩,松浦彰彦,都島悠佑,後藤希,中瀬敦,稲垣雅康,田中麻里,小玉勇太,伊藤亮太,高納崇,横山俊彦
第 121 回日本呼吸器学会東海地方会　2022 年 5 月　WEB

甲陽線機能亢進症に合併した胸腺過形成の 1 例
松浦彰彦,白髭彩,都島悠佑,,後藤希中瀬敦,稲垣雅康,田中麻里,小玉勇太,伊藤亮太,高納崇,横山俊彦
第 121 回日本呼吸器学会東海地方会　2022 年 5 月　WEB

気道狭窄に対してステント挿入を要した腺様嚢胞癌の一例
都島悠佑,後藤希,中瀬敦,稲垣雅康,田中麻里,小玉勇太,伊藤亮太,高納崇,青山大輔,横山俊彦,沖昌英[1]
1:名古屋医療センター
第 45 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会　2022 年 5 月　岐阜市

タゾバクタム/ピペラシリンの腎障害発現頻度とリスク因子に関する後方視的検討
向山直樹[1], **伊藤亮太**[2], 向山麻衣子[1], 成瀬徳彦[1]
1:薬剤部　2:感染制御部
第 32 回日本医療薬学会年会　2022 年 9 月　高崎市(WEB)

二酸化窒素中毒による急性呼吸不全と考えられた 1 例
吉田健太,松浦彰彦,白髭彩,都島悠佑,中瀬敦,後藤希,田中麻里,稲垣雅康,小玉勇太,伊藤亮太,高納崇,横山俊彦
第 122 回日本呼吸器学会東海地方会　2022 年 11 月　津市

当院における胸腺癌 32 症例の臨床的検討
小玉勇太,松浦彰彦,白髭彩,都島悠佑,中瀬敦,後藤希,田中麻里,稲垣雅康,伊藤亮太,高納崇,横山俊彦
第 63 回日本肺癌学会学術集会　2022 年 12 月　福岡市

特発性気管狭窄症の 1 例
中瀬敦,松浦彰彦,白髭彩,都島悠佑,後藤希,田中麻里,稲垣雅康,小玉勇太,伊藤亮太,高納崇,横山俊彦
第 64 回日本呼吸器内視鏡学会中部支部会　2022 年 12 月　名古屋市

消化器内科

市中病院における炎症性腸疾患診療の現況

春田純一

第 83 回日本内科学会東海支部生涯教育講演会　2022 年 6 月　桑名市(WEB)

一過性に左室収縮能低下を認めたアルコール関連高乳酸アシドーシスの 1 例

都築通孝[1],**上田遼太**[2],森玲央那[3],開正宏[4],中井悠二[4],西川大樹[5],田辺由紀子[6],花木芳洋[1]

1:救急部　2:消化器内科　3:麻酔科　4:臨床工学技術課　5:リハビリテーション科部　6:看護部

日本集中治療医学会第 6 回東海北陸支部学術集会　2022 年 6 月　名古屋市(WEB)

入院外来支援における急性合併症（低血糖）に対する NST 専門薬剤師の挑戦

野村浩夫[1], 山本侑佳[1], 服部哲幸[1], 櫛原朋恵[1], 櫛原秀之[1], 清田篤志[2], 吉岡裕一郎[3], **春田純一**[4]

1:薬剤部　2:内分泌内科　3:一般消化器外科　4:消化器内科

第 16 回日本臨床栄養代謝学会中部支部学術集会　2022 年 8 月　富山市（WEB）

新型コロナウイルス感染症 UPDATE　－最新の情報や救急現場の対応、後遺症など－

春田純一（司会）

第 33 回教育セミナー　2022 年 10 月　浜松市

横行結腸脂肪腫が原因であった成人腸重積の一例

川瀬祐,藤吉俊尚,山口丈夫,土居崎正雄,鷲見肇,丸川高弘,吉岡直輝,上田遼太,松本悠平,春田純一

第 248 回日本内科学会東海地方会　2022 年 10 月　浜松市

非アルコール性脂肪性肝疾患－線維化リスク症例の拾い上げと早期介入の重要性－

吉岡直輝

令和 4 年中村区・海部医師会夜間研修会　2022 年 11 月　WEB

腹腔鏡下胆嚢摘出術時のクリップの迷入により術後 23 年目に総胆管結石性胆管炎をきたした一例

三木大地,鷲見肇,山口丈夫,土居崎正雄,藤吉俊尚,丸川高弘,吉岡直輝,上田遼太,松本悠平,堀田侑義,川瀬祐,原啓文,市川毅留,坂本旭美,野村真希,春田純一

日本消化器病学会東海支部第 137 回例会　2022 年 11 月　浜松市

直腸 MALT リンパ腫に対して PAEM を施行した一例

原啓文,丸川高弘,藤吉俊尚

第 597 回東海胃腸疾患研究会　2022 年 11 月　WEB

大腸憩室出血に対して内視鏡的止血術が必要となる臨床的特徴

原啓文,藤吉俊尚,春田純一

第 65 回日本消化器内視鏡学会東海支部例会　2022 年 12 月　静岡市

精神科

当院における 28 週未満の超早産児の就学状況について

近藤真生[1],杉山裕一朗[1],杉浦紀香[1],間宮野里花[1],濱崎咲也子[1],田中亮[1],浅田英之[1],齊藤明子[1],中山淳[1],大城誠[1],**丹羽早智子**[2]

1:小児科　2:精神科

第 285 回日本小児科学会東海地方会　2022 年7月　名古屋市（WEB）

超早産児の 3 歳発達指数から 6 歳予後を推定することの困難さについて

近藤真生[1],杉山裕一朗[1],神原紀香[1],間宮野里花[1],濱崎咲也子[1],田中亮[1],浅田英之[1],齊藤明子[1],中山淳[1],大城誠[1],**丹羽早智子**[2]

1:小児科　2:精神科

第 66 回日本新生児成育医学会学術集会　2022 年 11 月　横浜市（WEB）

心理士からみたコロナ禍の親子　―面会制限とこれから―

丹羽早智子

第 66 回日本新生児成育医学会・日本新生児看護学会学術集会　合同シンポジウム　2022 年 11 月　横浜市

超早産児のアイコンタクトに関する検討

三谷真優[1],**吉田翔子**,黒田美保[2],永田雅子[1,3]

1:名古屋大学心の発達支援研究実践センター　2:帝京大学文学部　3:名古屋大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター

第 128 回日本小児精神神経学会　2022 年 11 月　名古屋市（WEB）

小児科

Refractory cytopenia of childhood の臨床的意義についての検証

濱麻人

第 26 回小児 MDS 治療研究会　2022 年 1 月　WEB

Refractory cytopenia of childhood の臨床的意義についての検証

濱麻人[1],真部淳[2],長谷川大輔[3],高橋義行[4]

1:日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院小児医療センター血液腫瘍科　2:北海道大学小児科　3:聖路加国際病院小児科　4:名古屋大学小児科

特発性造血障害に関する調査研究（三谷班）令和 3 年度第 2 回班会議総会　2022 年 1 月　WEB

Optimizing the conditioning regimen of HSCT for acquired bone marrow failure in children
Yoshida N
The 2nd. Annual Meeting of Chinses Alliance for Society of Hematology 2022 年 1 月 WEB/Tianjin, China

後頭蓋窩退形成性上衣腫に対して術後化学療法を施行した一例
細川博紀[1],北澤宏展[1],菊井創[1],荒木未希絵[1],秋田直洋[1],吉田奈央[1]濱麻人[1],波多野寿[2]
1:小児科 2:脳神経外科
第 64 回東海小児がん研究会 2022 年 2 月 WEB

好中球減少および IgG・IgM 高値を呈する 12 歳女子
矢内里紗,北澤宏展,上田真菜,菊井創,秋田直洋,吉田奈央,濱麻人
第 87 回東海小児血液懇話会 2022 年 2 月 WEB

脳室内酵素補充療法併用下に施行したムコ多糖症 II 型に対する非血縁者間同種骨髄移植
菊井創,北澤宏展,水谷謙介,矢内里紗,秋田直洋,土居崎小夜子,吉田奈央,濱麻人
第 67 回東海小児造血細胞移植研究会 2022 年 3 月 WEB

新生児低体温療法を行った低酸素性虚血性脳症児の aEEG による 18 ヵ月予後予測能 BCJ2014-2017 年データ報告
杉山裕一朗,柴崎淳[1],津田兼之介[2],竹内章人[3],向井丈雄[4],五百蔵智明[5],高橋章仁[6],豊奈々絵[7],徳久琢也[8],諫山哲哉[9],鍋谷まこと[7],岩田欧介[2],低体温療法ワーキンググループ Baby Cooling Japan
1:神奈川県立こども医療センター 新生児科 2:名古屋市立大学 小児科 3:国立病院機構岡山医療センター 臨床研究部 成育医療推進室 4:東京大学医学部附属病院 小児科 5:日本赤十字社姫路医療センター 小児科 6:倉敷中央病院 小児科 7:淀川キリスト病院 小児科 8:鹿児島市立病院 新生児内科 9:国立成育医療センター 新生児科
第 125 回日本小児科学会学術集会 2022 年 4 月 郡山市(WEB)

後天性サイトメガロウイルス感染症と診断された超早産児の検討
白川雄一[1],**杉山裕一朗**,鈴木道雄[1],五十里東[1],片岡英里奈[1],棚橋義浩[1],兵藤玲奈[1],服部哲夫[1],深沢達也[1],久保田哲夫[1],宮島雄二[1],鳥居ゆか[2],伊藤嘉規[2],加藤有一[1]
1:安城更生病院 小児科 2:名古屋大学大学院医学研究科小児科学
第 125 回日本小児科学会学術集会 2022 年 4 月 郡山市(WEB)

Optimizing the conditioning therapy of HCT for acquired bone marrow failure in children
Yoshida N
The 2nd. International Bone Marrow Failure Symposium 2022 年 4 月 WEB/Vellore, India

在宅治療を目指し小児患者にベネトクラクスの投与に工夫をした一症例
小山佐知子[1], 向山直樹[1], 林博子[2], **北澤宏展[3], 吉田奈央[3], 濱麻人**[3], 水野恵司[1]
1:薬剤部 2:看護部 3:小児科
第 15 回日本緩和医療薬学会年会 2022 年 5 月 WEB

TCF3-ZNF384 陽性 B 前駆細胞性急性リンパ性白血病再発例に対する同種骨髄移植
荒木未希絵[1],山下大紀[1],北澤宏展[1],秋田直洋[1],吉田奈央[1],宮島雄二[2],**濱麻人[1]**
1:小児科 2:安城更生病院小児科
第 44 回日本造血・免疫細胞療法学会 2022 年 5 月 横浜市

EBV 関連血球貪食性リンパ組織症を発症した XLP1 に対する造血幹細胞移植
北澤宏展[1],平手友章[1],秋田直洋[1],吉田奈央[1],谷田けい[2],金兼弘和[2],**濱麻人[1]**
1:小児科 2:東京医科歯科大学小児科
第 44 回日本造血・免疫細胞療法学会 2022 年 5 月 横浜市

非腫瘍性疾患に対する造血細胞移植における一次性生着不全の後方視的検討
水谷謙介,吉田奈央,平手友章,北澤宏展,秋田直洋,濱麻人
第 44 回日本造血・免疫細胞療法学会 2022 年 5 月 横浜市

小児再生不良性貧血/骨髄異形成症候群における造血細胞移植研究
吉田奈央
第 44 回日本造血・免疫細胞療法学会総会・JSTCT Working Group Research Award 報告会 2022 年 5 月 横浜市

腸重積で発症した回盲部原発 Large B-cell lymphoma with IRF4 rearrangement
上田真菜[1],大竹輝[1],水谷謙介[1],矢内里紗[1],村瀬成彦[2],**北澤宏展[1],秋田直洋[1],吉田奈央[1],濱麻人[1]**
1:小児科 2:小児外科
第 88 回東海小児血液懇話会 2022 年 5 月 WEB

てんかん性無呼吸を呈した 3p-症候群の一例
土屋研人,田中雅大,竹内智哉
第 64 回日本小児神経学会学術集会 2022 年 6 月 群馬(WEB)

当院における 28 週未満の超早産児の就学状況について
近藤真生[1],杉山裕一朗[1],杉浦紀香[1],間宮野里花[1],濱崎咲也子[1],田中亮[1],浅田英之[1],齊藤明子[1],中山淳[1],大城誠[1],丹羽早智子[2]
1:小児科 2:精神科
第 285 回日本小児科学会東海地方会 2022 年7月 名古屋市(WEB)

Thompson score による新生児脳症の退院時予後予測　Baby Cooling Japan 低体温療法登録事業からの報告

青木宏諭[1],柴崎淳[1],津田兼之介[2],竹内章人[3],**杉山裕一朗**,向井丈雄[4],五百蔵智明[5],高橋章仁[6],豊奈々絵[7],徳久琢也[8],諫山哲哉[9],鍋谷まこと[7],岩田欧介[2],Baby Cooling Japan 新生児低体温療法登録事業プロジェクトチーム

1:神奈川県立こども医療センター　新生児科　2:名古屋市立大学　小児科　3:国立病院機構岡山医療センター　臨床研究部　成育医療推進室　4:東京大学医学部附属病院　小児科　5:日本赤十字社姫路医療センター　小児科　6:倉敷中央病院　小児科　7:淀川キリスト病院　小児科　8:鹿児島市立病院　新生児内科　9:国立成育医療センター　新生児科

第 58 回日本周産期・新生児医学会学術集会　2022 年 7 月　横浜市(WEB)

極低出生体重児の暦 3 歳時神経発達と母親の妊娠前 BMI との関連性

大城誠[1],神原紀香[1],近藤真生[1],間宮野里花[1],藤城尚純[1],濱崎咲也子[1],田中亮[1],杉山裕一朗[1],浅田英之[1],中山淳[1],津田弘之[2],手塚敦子[2],伊藤由美子[2]

1:小児科　2:産婦人科

第 58 回日本周産期・新生児医学会学術集会　2022 年 7 月　横浜市(WEB)

母児共に GBS 菌血症を発症した症例

上田真菜[1],神原紀香[1],近藤真生[1],間宮野里花[1],藤城尚純[1],濱崎咲也子[1],田中亮[1],杉山裕一朗[1],浅田英之[1],中山淳[1],大城誠[1],手塚敦子[2],伊藤由美子[2],津田弘之[2],脇本寛子[3]

1:小児科　2:産婦人科　3:名古屋市立大学大学院看護学研究科

第 58 回日本周産期・新生児医学会学術集会　2022 年 7 月　横浜市(WEB)

外科疾患の出生前診断　新生児科医の立場から見た外科症例の出生前診断

田中亮,神原紀香,近藤真生,間宮野里花,藤城尚純,濱崎咲也子,杉山裕一朗,浅田英之,中山淳,大城誠,伊藤美春[1],早川昌弘[1]

1:名古屋大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター

第 58 回日本周産期・新生児医学会学術集会　2022 年 7 月　横浜市(WEB)

当院の新生児スクリーニング心エコーの変遷

三井さやか,福見大地

第 58 回日本小児循環器学会総会・学術集会　2022 年 7 月　札幌市

不全型川崎病に先行した白質脳症

片山美花,田中雅大,竹内智哉

第 56 回日本小児神経学会東海地方会　2022 年 7 月　名古屋市

小児科領域におけるペランパネルの有効性と安全性

竹内智哉,田中雅大

第 14 回日本てんかん学会東海北陸地方会　2022 年 7 月　名古屋市(WEB)

再発急性前骨髄球性白血病に対する同種骨髄移植

大竹輝,北澤宏展,上田真菜,水谷謙介,矢内里沙,秋田直洋,吉田奈央,濱麻人

第 67 回東海小児造血細胞移植研究会　2022 年 7 月　WEB

小児造血不全症に対する造血細胞移植:up to date

吉田奈央

第 67 回東海小児造血細胞移植研究会　2022 年 7 月　WEB

小児骨髄不全症の骨髄形態診断

濱麻人[1],岩淵英人[2],伊藤雅文[3]

1:小児科　2:静岡県立こども病院病理診断科　3:病理部

第 17 回小児 AA・MDS web 講演会　2022 年 8 月　WEB

臍帯血移植後に一次性生着不全を来たし, HHV-6 再活性化の関与が考えられた女児例

矢内里紗[1],秋田直洋[1],大竹輝[1],上田真菜[1],水谷謙介[1],北澤宏展[1],鈴木高子[2],鳥居ゆか[2],川田潤一[2],**吉田奈央[1],濱麻人[1]**

1:名古屋大学大学院医学系研究科小児科

第 57 回中部日本小児科学会　2022 年 8 月　WEB

てんかん性スパズムに対してペランパネルが著効した 2 例

森島宏,田中雅大,竹内智哉

第 55 回日本てんかん学会学術集会　2022 年 9 月　宮城(Web)

胚細胞系列に SDHB 変異を伴うパラガングリオーマの 1 例

秋田直洋[1],大竹輝[1],上田真菜[1],水谷謙介[1],矢内里紗[1],北澤宏展[1],村瀬成彦[2],藤野雅彦[3],**吉田奈央[1],濱麻人[1]**

1:小児科　2:小児外科　3:病理部

第 81 回東海小児がん研究会　2022 年 9 月　WEB

小児骨髄不全症の形態診断

濱麻人

第 84 回日本血液学会学術集会　2022 年 10 月　福岡市

早産児後天性気道病変と黄色ブドウ球菌の関連について

中山淳,神原紀香,近藤真生,間宮野里花,濱崎咲也子,田中亮,杉山裕一朗,浅田英之,齊藤明子,大城誠

第 66 回日本新生児成育医学会学術集会　2022 年 11 月　横浜市(WEB)

超早産児の 3 歳発達指数から 6 歳予後を推定することの困難さについて

近藤真生[1],杉山裕一朗[1],神原紀香[1],間宮野里花[1],濱崎咲也子[1],田中亮[1],浅田英之[1],齊藤明子[1],中山淳[1],大城誠[1],丹羽早智子[2]

1:小児科　2:精神科
第 66 回日本新生児成育医学会学術集会　2022 年 11 月　横浜市(WEB)

新生仔豚仮死モデルにおける短時間水素ガス吸入は低酸素虚血後の脳波抑制からの回復時間を短縮するか?
土屋冬威[1],井上依里[2],**杉山裕一朗**,中尾泰浩[2],光家努[3],阪本浩助[4],横田崇之[2],井上公太[2],中村信嗣[2],森田啓督[2],小谷野耕佑[5],日下隆[2]
1:小豆島中央病院　小児科　2:香川大学医学部　小児科　3:香川大学医学部附属病院　臨床工学部　4:香川大学医学部　心臓血管外科　5:香川大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター
第 66 回日本新生児成育医学会学術集会　2022 年 11 月　横浜市(WEB)

発作性の腹痛、背部痛を契機に発見された小児後腹膜パラガングリオーマの 1 例
西門優一[1],土屋研人[1],北澤宏展[1],秋田直洋[1],吉田奈央[1],濱麻人[1],村瀬成彦[2],志村和浩[3],本田美紗[3],佐藤武志[3],長谷川泰延[3]
1:小児科　2:小児外科　3:慶應義塾大学医学部小児科
第 55 回日本小児内分泌学会学術集会　2022 年 11 月　横浜市(WEB)

無痛性甲状腺炎に伴う甲状腺クリーゼの 1 小児例
井上学,田中雅大,西門優一,三井さやか,竹内智哉,牧野篤司,福見大地
第 32 回臨床内分泌代謝 Update　2022 年 11 月　東京都(WEB)

新生児黄疸の再燃を繰り返し、遺伝子解析で Gilbert 症候群の診断に至った症例
森島宏,田中雅大,西門優一,三井さやか,竹内智哉,牧野篤司,福見大地,丸尾良浩[1]
1:滋賀医科大学医学部附属病院
第 286 回日本小児科学会東海地方会　2022 年 11 月　愛知

胚細胞系列に SDHB 変異を伴うパラガングリオーマの 1 例
秋田直洋[1],大竹輝[1],上田真菜[1],水谷謙介[1],矢内里紗[1],北澤宏展[1],村瀬成彦[2],藤野雅彦[3],**吉田奈央[1],濱麻人[1]**
1:小児科　2:小児外科　3:病理部
第 64 回日本小児血液・がん学会学術集会　2022 年 11 月　東京

バーキットリンパ腫に対する化学療法終了 5 年後に脈絡叢腫瘍を診断した Li-Fraumeni 症候群の 1 例
水谷謙介[1],秋田直洋[1],大竹輝[1],上田真菜[1],矢内里紗[1],北澤宏展[1],服部浩佳[2],波多野寿[3],**吉田奈央[1],濱麻人[1]**
1:小児科　2:国立病院機構名古屋医療センター　遺伝診療科　3:脳神経外科
第 64 回日本小児血液・がん学会学術集会　2022 年 11 月　東京

Large B-cell lymphoma with IRF4 rearrangement primary in the ileocecal region developed in intussusception
上田真菜[1],秋田直洋[1],大竹輝[1],水谷謙介[1],矢内里紗[1],村瀬成彦[2],**北澤宏展[1],吉田奈央[1],濱麻人**[1]
1:小児科　2:小児外科
第 64 回日本小児血液・がん学会学術集会　2022 年 11 月　東京

SIL::TAL1 キメラ遺伝子と t(11;14)染色体異常を有する T 細胞性急性リンパ性白血病
細川博紀,北澤,宏展,大竹輝,水谷謙介,矢内里紗,秋田直洋,吉田奈央,濱麻人
第 64 回日本小児血液・がん学会学術集会　2022 年 11 月　東京

小児血液疾患の鑑別診断
濱麻人
第 12 回若手臨床血液学セミナー　2022 年 11 月　WEB

臍帯血移植後早期に新型コロナウイルスに感染した TCF::SPI1 陽性 T-ALL の一例
片山美花,矢内里沙,大竹輝,水谷謙介,北澤宏展,秋田直洋,吉田奈央,濱麻人
第 68 回東海小児造血細胞移植研究会　2022 年 11 月　WEB

造血不全症の移植
吉田奈央
令和4年度 国立成育医療研究センター小児がん拠点病院機能強化事業「非悪性疾患の造血細胞移植の TIPS」 2022 年 11 月　WEB

「教育セッション」小児再生不良性貧血における造血細胞移植の進歩
吉田奈央
第 64 回日本小児血液・がん学会学術集会　2022 年 11 月　東京(WEB)

一般・消化器外科

管理栄養士による、食餌性腸閉塞症例本邦報告 105 例の検討
荒川登紀子[1],伴野広幸[1],**湯浅典博**[2]
1:栄養課　2:一般消化器外科
第 23 回・第 24 回　日本病態栄養学会年次学術集会　2022 年 1 月　京都市(WEB)

非典型的な浸潤形式を呈した肝内胆管癌の 1 例
熊澤秀亮[1],伊藤茂樹[1],河合雄一[1],館靖[1],森雄司[1],鈴木啓史[1],高田莉央[2],藤野雅彦[2],**荒川拓也**[3]
1:放射線診断科　2:病理部　3:一般消化器外科
第 170 回日本医学放射線学会中部地方会　2022 年 2 月　Web

表在型 Barrett 食道癌の 1 例
吉田詢,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,高橋大五郎,浅井宗一郎,湯浅典博

第 57 回愛知臨床外科学会　2022 年 2 月　名古屋市

同時性 3 多発胃粘膜内印環細胞癌の 1 例
鵜飼陽一,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,高橋大五郎,浅井宗一郎,荒川拓也,湯浅典博
第 57 回愛知臨床外科学会　2022 年 2 月　名古屋市

虫垂神経腫と腸間膜の癒着が原因となった絞扼性腸閉塞の 1 例
成田祐一郎,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,今瀧裕允,湯浅典博
第 57 回愛知臨床外科学会　2022 年 2 月　名古屋市

前立腺癌に合併し著明な虫垂腫大を伴った LAMN の 1 例
野口正宗,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,高橋大五郎,浅井宗一郎,湯浅典博
第 57 回愛知臨床外科学会　2022 年 2 月　名古屋市

子宮、肝、小腸に異時性転移を伴いつつ長期生存を得ている S 状結腸癌の 1 例
長野菜月,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,高橋大五郎,浅井宗一郎,湯浅典博
第 57 回愛知臨床外科学会　2022 年 2 月　名古屋市

EOB-MRI の肝細胞相で腫瘤周囲に広範な低信号域を呈した肝内胆管癌の 1 例
熊澤秀亮[1],伊藤茂樹[1],加賀谷理紗[1],河合雄一[1],館靖[1],森雄司[1],鈴木啓史[1],**荒川拓也**[2],高田莉央[3],藤野雅彦[3]
1:放射線診断科　2:一般消化器外科　3:病理部
第 35 回日本腹部放射線学会　2022 年 6 月　高知市(WEB)

IPMN 由来の浸潤癌と鑑別困難であった Follicular pancreatitis の 2 例
熊澤秀亮[1],伊藤茂樹[1],加賀谷理紗[1],河合雄一[1],館靖[1],森雄司[1],桐山理美[2],藤野雅彦[2],鈴木啓史[1],**柴田耕治**[3],**三宅秀夫**[3]
1:放射線診断科　2:病理部　3:一般消化器外科
第 35 回日本腹部放射線学会　2022 年 6 月　高知市(WEB)

胆管細胞癌と鑑別困難であった前立腺癌肝転移の 1 例
花木俊介,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,川合亮佑,高橋大五郎,湯浅典博
第 58 回愛知臨床外科学会　2022 年 7 月　名古屋市

腎細胞癌膵転移に対して膵体尾部切除を行った 1 例
百田浩太郎,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,川合亮佑,高橋大五郎,加藤麻予,荒川拓也,関本晃裕,浅井周平,青木優大
第 58 回愛知臨床外科学会　2022 年 7 月　名古屋市

悪性リンパ腫と術前鑑別診断が困難であった小腸未分化型 short-spindle cell carcinoma の一例
小林幹典,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,川合亮佑,高橋大五郎,荒川拓也,湯浅典博
第 58 回愛知臨床外科学会　2022 年 7 月　名古屋市

保存的治療が奏功した魚骨による回腸穿孔の 1 例
吉田健太,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,川合亮佑,高橋大五郎,青木優大,湯浅典博
第 58 回愛知臨床外科学会　2022 年 7 月　名古屋市

横行結腸の腹膜垂の癒合が原因となった絞扼性腸閉塞の 1 例
二村健太,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,川合亮佑,高橋大五郎,今瀧裕允,湯浅典博
第 58 回愛知臨床外科学会　2022 年 7 月　名古屋市

傍乳頭憩室からの落石が示唆された腸石による腸閉塞の 1 例
関本晃裕,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,川合亮佑,高橋大五郎,加藤麻予,荒川拓也,浅井周平,池田幸陽,青木優大,百田浩太郎
第 58 回愛知臨床外科学会　2022 年 7 月　名古屋市

長期生存している大腸腺扁平上皮癌の 1 例
宇野友梨,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,川合亮佑,高橋大五郎,加藤麻予
第 58 回愛知臨床外科学会　2022 年 7 月　名古屋市

移動性腹腔内腫瘤を呈した、大網に発生した硬化性腸間膜炎の 1 例
隅田裕美子,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,高橋大五郎,浅井宗一郎,加藤麻予
第 58 回愛知臨床外科学会　2022 年 7 月　名古屋市

入院外来支援における急性合併症(低血糖)に対する NST 専門薬剤師の挑戦
野村浩夫[1], 山本侑佳[1], 服部哲幸[1], 櫛原朋恵[1], 櫛原秀之[1], 清田篤志[2], **吉岡裕一郎**[3], 春田純一[4]
1:薬剤部　2:内分泌内科　3:一般消化器外科　4:消化器内科
第 16 回日本臨床栄養代謝学会中部支部学術集会　2022 年 8 月　富山市(WEB)

膵癌と術前鑑別が困難であった膵結節性リンパ組織過形成の 1 例
相川拓哉,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,川合亮佑,高橋大五郎
第 302 回東海外科学会　2022 年 10 月　浜松市

虫垂根部に噴火口様所見を呈した虫垂上皮過形成の 1 例
近藤春菜,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,川合亮佑,高橋大五郎,浅井周平

第 302 回東海外科学会　2022 年 10 月　浜松市

神経内分泌腫瘍（NET-G1）を併存した低異型度虫垂粘液性腫瘍の 1 例
近藤友宏,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,川合亮佑,高橋大五郎
第 302 回東海外科学会　2022 年 10 月　浜松市

胃癌根治切除例における術前呼吸機能と短期・長期予後との関連
関本晃裕,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,川合亮佑,高橋大五郎,加藤麻予,荒川拓也,浅井周平,青木優大,百田浩太郎,湯浅典博
第 84 回日本臨床外科学会総会　2022 年 11 月　福岡市

多職種連携による術前一時中断薬再開確認～RPA（robotic process automation）導入による効率化～
櫛原秀之 [1],近森清美 [2],作間千夏 [2],久保敦史 [3],**永井英雅** [4],水野公雄 [5],成瀬徳彦 [1]
1:薬剤部　2:看護部　3:事務部　4:一般消化器外科　5:産婦人科
第 16 回日本医療マネジメント学会愛知県支部学術集会　2022 年 12 月　名古屋市

心臓血管外科

Uncomplicated B 型解離に対する preemptive TEVAR の中期成績
澤木完成
第 52 回心臓血管外科学会学術集会　2022 年 3 月　横浜市

完全鏡視下弁膜症手術における上行大動脈送血
折居衛
第 52 回心臓血管外科学会学術集会　2022 年 3 月　横浜市

大腿静脈一本脱血による低侵襲心臓手術　パネルディスカッション
蜂須賀章友 [1],**細羽創宇** [2],**伊藤敏明** [2],開正宏 [1]
1:臨床工学科　2:心臓血管外科
第 6 回日本低侵襲心臓手術学会　2022 年 7 月　福島市

心臓手術周術期や補助循環に NO 療法を用いる　講演
開正宏 [1],**伊藤敏明** [2]
1:臨床工学科　2:心臓血管外科
NO Seminar　2022 年 7 月　名古屋市

MICS 特有の体外循環にまつわるトラブルとその対応方法を共有する　パネルディスカッション
開正宏 [1],**細羽創宇** [2],**伊藤敏明** [2]
1:臨床工学科　2:心臓血管外科
第 75 回日本胸部外科学会定期学術集会　2022 年 10 月　横浜市（WEB）

ここまで出来る 3D 胸腔鏡下心臓手術
伊藤敏明
第 75 回日本胸部外科学会定期学術集会　2022 年 10 月　東京都

TEVAR 後の再人工血管置換術
澤木完成
第 75 回日本胸部外科学会定期学術集会　2022 年 10 月　東京都

鏡視下 MICS
伊藤敏明
第 75 回日本胸部外科学会定期学術集会　2022 年 10 月　東京都

僧帽弁と共通アプローチで行う鏡視下 AVR
伊藤敏明
第 75 回日本胸部外科学会定期学術集会　2022 年 10 月　東京都

後尖逸脱に対する人工腱索長決定方法の検討
加藤陸
第 75 回日本胸部外科学会定期学術集会　2022 年 10 月　東京都

SITA の適応症例
細羽創宇
第 75 回日本胸部外科学会定期学術集会　2022 年 10 月　東京都

呼吸器外科

たこつぼ型心筋症を併発した肺癌術後再発の1例
後藤まどか,市川靖久,坪内秀樹,川角佑太,内山美佳 [1],**森正一**
1:内山クリニック
第 120 回日本肺癌学会中部支部学術集会　2022 年 2 月　WEB

ロボット支援下右中葉切除術の検討
川角佑太,後藤まどか,市川靖久,坪内秀樹,内山美佳,森正一
第 39 回日本呼吸器外科学会総会学術集会　2022 年 5 月　東京都

包丁による穿通性肺損傷・血気胸に対し穿通状態のままで緊急開胸手術を開始し救命し得た2例
市川靖久,後藤まどか,坪内秀樹,川角佑太,内山美佳,森正一
第 39 回日本呼吸器外科学会学術集会　2022 年 5 月　WEB

早期肺癌術中に胸膜播種と誤認されたが、偶発的に発見し胸膜切除術を施行した上皮型悪性胸膜中皮腫の 1 例
後藤まどか,市川靖久,坪内秀樹,川角佑太,内山美佳,森正一
第 39 回日本呼吸器外科学会学術集会　2022 年 5 月　東京(WEB)

オシメルチニブが著効し多発脳転移に対する放射線治療を回避できた肺癌術後再発の一例
川角佑太,後藤まどか,市川靖久,坪内秀樹,内山美佳,森正一
第 123 回中部肺癌学会　2022 年 9 月　松本市

医師労務負担軽減目的に呼吸器外科診療における術前手術説明ビデオ導入の試み
森正一[1],後藤まどか[1],市川靖久[1],坪内秀樹[1],川角佑太[1],内山美佳[1],加藤淳稔[2],水野公雄[3]
1:呼吸器外科　2:診療業務支援課　3:産婦人科
第 58 回日本赤十字社医学会総会　2022 年 10 月　旭川市

当施設におけるロボット支援下区域切除と胸腔鏡下区域切除との比較
川角佑太,後藤まどか,市川靖久,坪内秀樹,内山美佳,森正一
第 75 回胸部外科学会定期学術集会　2022 年 10 月　横浜市

膿胸・心不全を併発し、二度の手術・長期の絶飲食など治療に難渋した成人特発性乳糜胸の一例
坪内秀樹,後藤まどか,市川靖久,川角佑太,内山美佳,森正一
第 84 回日本臨床外科学会総会　2022 年 11 月　福岡市

術後乳糜胸に対する保存的加療の経験
川角佑太,後藤まどか,市川靖久,坪内秀樹,内山美佳,森正一
呼吸器外科学会　若手教育部会　東海北陸支部会　2022 年 11 月　名古屋市

ロボット支援内視鏡手術における術中合併症の検討
市川靖久,後藤まどか,坪内秀樹,川角佑太,内山美佳,森正一
第 63 回日本肺癌学会学術集会　2022 年 12 月　福岡市

緩徐増大を認めた臓側胸膜発生脱分化型孤立性線維性腫瘍の 1 切除例
後藤まどか,市川靖久,坪内秀樹,川角佑太,内山美佳,森正一
第 63 回日本肺癌学会学術集会　2022 年 12 月　福岡市

当院におけるロボット支援下肺葉切除術の周術期成績
川角佑太,後藤まどか,市川靖久,坪内秀樹,内山美佳,森正一
第 63 回日本肺癌学会学術集会　2022 年 12 月　福岡市

小児外科

腸重積で発症した回盲部原発 Large B-cell lymphoma with IRF4 rearrangement
上田真菜[1],大竹輝[1],水谷謙介[1],矢内里紗[1],**村瀬成彦**[2],北澤宏展[1],秋田直洋[1],吉田奈央[1],濱麻人[1]
1:小児科　2:小児外科
第 88 回東海小児血液懇話会　2022 年 5 月　WEB

胚細胞系列に SDHB 変異を伴うパラガングリオーマの 1 例
秋田直洋[1],大竹輝[1],上田真菜[1],水谷謙介[1],矢内里紗[1],北澤宏展[1],**村瀬成彦**[2],藤野雅彦[3],吉田奈央[1],濱麻人[1]
1:小児科　2:小児外科　3:病理部
第 81 回東海小児がん研究会　2022 年 9 月　WEB

胚細胞系列に SDHB 変異を伴うパラガングリオーマの 1 例
秋田直洋[1],大竹輝[1],上田真菜[1],水谷謙介[1],矢内里紗[1],北澤宏展[1],**村瀬成彦**[2],藤野雅彦[3],吉田奈央[1],濱麻人[1]
1:小児科　2:小児外科　3:病理部
第 64 回日本小児血液・がん学会学術集会　2022 年 11 月　東京

Large B-cell lymphoma with IRF4 rearrangement primary in the ileocecal region developed in intussusception
上田真菜[1],秋田直洋[1],大竹輝[1],水谷謙介[1],矢内里紗[1],**村瀬成彦**[2],北澤宏展[1],吉田奈央[1],濱麻人[1]
1:小児科　2:小児外科
第 64 回日本小児血液・がん学会学術集会　2022 年 11 月　東京

発作性の腹痛、背部痛を契機に発見された小児後腹膜パラガングリオーマの 1 例
西門優一[1],土屋研人[1],北澤宏展[1],秋田直洋[1],吉田奈央[1],濱麻人[1],**村瀬成彦**[2],志村和浩[3],本田美紗[3],佐藤武志[3],長谷川奉延[3]
1:小児科　2:小児外科　3:慶應義塾大学医学部小児科
第 55 回日本小児内分泌学会学術集会　2022 年 11 月　神奈川(Web)

形成外科

必要栄養量を大幅に上回る栄養投与により褥瘡・栄養状態が改善した 1 例

荒川登紀子[1],**菱田雅之**[2]
1:栄養課　2:形成外科
第 17 回日本褥瘡学会中部地方会学術集会　2022 年 6 月　名古屋市

整形外科

若年者と高齢者の人工股関節置換術後のスポーツ参加と影響する不安因子の比較検討

大高圭司,関泰輔[1],竹上靖彦[1],大澤郁介[1],竹本元大[1],加藤大策[1],岡本昌典[1],飯田浩貴[1],船橋洋人[1],小澤悠人[1],**井上英則**,今釜史郎[1]
1:名古屋大学整形外科
第 52 回日本人工関節学会　2022 年 2 月　京都市

良好な結果が得られた月状骨脱臼の治療経験

奥田祐加[1],服部亜衣[1],西之園智子[1],**洪淑貴**
1:リハビリテーション科
第 48 回日本赤十字リハビリテーション協会学術集会　2022 年 2 月　名古屋市(WEB)

小児橈骨骨折術後合併症と成長障害

大塚純子,洪淑貴,堀井恵美子[1]
1:関西医科大学附属病院　整形外科
第 65 回日本手の外科学会　2022 年 4 月　北九州市(WEB)

コロナ禍における関節リウマチ患者のロコモティブシンドローム

祖父江康司,井上英則,今釜史郎[1],小嶋俊久[1]
1:名古屋大学医学部附属病院整形外科
第 138 回中部日本整形外科災害外科学会・学術総会　2022 年 4 月　名古屋市

関節リウマチ患者の握力低下はフレイルを反映するか

祖父江康司,石川尚人,鈴木望人[1],大橋禎史[1],小嶋俊久[1]
1:名古屋大学医学部附属病院整形外科
第 66 回日本リウマチ学会総会・学術総会　2022 年 4 月　横浜市

コロナ禍における関節リウマチ患者の身体機能の変化―ロコモティブシンドロームに着目して―

祖父江康司,石川尚人,鈴木望人[1],大橋禎史[1],小嶋俊久[1]
1:名古屋大学医学部附属病院整形外科
第 66 回日本リウマチ学会総会・学術総会　2022 年 4 月　横浜市

軸後性多合趾症の臨床像

大塚純子,堀井恵美子[1],**洪淑貴**
1:関西医科大学附属病院　整形外科
第 95 回日本整形外科学会学術集会　2022 年 5 月　神戸市(WEB)

小児新鮮 Monteggia 脱臼骨折の治療戦略

洪淑貴,堀井恵美子[1],**大塚純子**
1:関西医科大学附属病院　整形外科
第 95 回日本整形外科学会学術集会　2022 年 5 月　神戸市

関節リウマチ患者のロコモティブシンドロームがメトトレキサート有害事象の発生に影響を与えているか

祖父江康司,石川尚人,鈴木望人[1],大橋禎史[1],小嶋俊久[1]
1:名古屋大学医学部附属病院整形外科
第 95 回日本整形外科学会学術集会　2022 年 5 月　神戸市

コロナ禍における関節リウマチ患者のロコモティブシンドロームについて―1 年間の縦断的観察研究―

祖父江康司,石川尚人,鈴木望人[1],大橋禎史[1],小嶋俊久[1]
1:名古屋大学医学部附属病院整形外科
第 95 回日本整形外科学会学術集会　2022 年 5 月　神戸市

関節リウマチ患者のロコモティブシンドロームと薬物治療との関連について

祖父江康司,石川尚人,鈴木望人[1],大橋禎史[1],小嶋俊久[1]
1:名古屋大学医学部附属病院整形外科
第 95 回日本整形外科学会学術集会　2022 年 5 月　神戸市

関節リウマチ患者の握力低下はロコモティブシンドロームを反映するか

祖父江康司,石川尚人,鈴木望人[1],大橋禎史[1],小嶋俊久[1]
1:名古屋大学医学部附属病院整形外科
第 95 回日本整形外科学会学術集会　2022 年 5 月　神戸市

関節リウマチ患者の新型コロナウイルスワクチン接種状況

祖父江康司,石川尚人,鈴木望人[1],大橋禎史[1],小嶋俊久[1]
1:名古屋大学医学部附属病院整形外科

第 95 回日本整形外科学会学術集会　2022 年 5 月　神戸市

当院における triplane 骨折の検討
藤田友樹
第 48 回日本骨折治療学会学術集会　2022 年 6 月　横浜市

大腿骨頭軟骨下骨折に対して弯曲内反骨切り術を施行した 2 例
大高圭司[1],関泰輔[2],竹上靖彦[2],大澤郁介[2],加藤大策[2],竹本元大[2],岡本昌典[2],飯田浩貴[2],小澤悠人[2],船橋洋人[2]
1:日本赤十字社名愛知医療センター名古屋第一病院　整形外科　2:名古屋大学　整形外科
第 49 回日本股関節学会学術集会　2022 年 10 月　山形市

運搬作業を契機に発症した急性腎障害を伴う急性傍脊柱筋コンパートメント症候群の1例
伊藤史宙,井上英則,洪淑貴,石川尚人,八木秀樹,祖父江康司,上見亮太,藤田友樹
第 139 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会　2022 年 10 月　大阪市

砕石位術後に生じた well-leg compartment syndrome の 1 例
藤田友樹
第 139 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会　2022 年 10 月　大阪市

第5CM 関節掌尺側脱臼骨折の1例
島本裕哉,洪淑貴,大塚純子,井上英則
第 139 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会　2022 年 10 月　大阪市

コロナ禍においてロコモティブシンドロームとなった関節リウマチ患者の特徴
祖父江康司,石川尚人,井上英則
第 58 回日本赤十字社医学会総会　2022 年 10 月　旭川市

関節リウマチ患者のロコモティブシンドロームとフレイルの相違点―1 年間の縦断的観察研究―
祖父江康司,石川尚人,鈴木望人[1],大橋禎史[1]
1:名古屋大学医学部附属病院整形外科
第 37 回日本臨床リウマチ学会　2022 年 10 月　札幌市

当院における JAK 阻害薬使用患者の副作用、効果無効における薬剤変更
石川尚人
第 37 回日本臨床リウマチ学会　2022 年 10 月　札幌市

膝前十字靭帯再建術後 1 年時における膝蓋大腿関節軟骨損傷と膝機能評価の関連性
打田健人[1],高木寛人[2],山川桂子[1],石川将己[1],**山本英樹**[3]
1:リハビリテーション科　2:日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院　リハビリテーション科　3:整形外科
第 33 回日本臨床スポーツ医学会学術集会　2022 年 11 月　札幌市

軸後性多合趾症の新しい分類と治療成績
大塚純子,堀井恵美子[1],**洪淑貴**
1: 関西医科大学附属病院　整形外科
第 33 回日本小児整形外科学会学術集会　2022 年 12 月　横浜市

脳神経外科

後頭蓋窩退形成性上衣腫に対して術後化学療法を施行した一例
細川博紀[1],北澤宏展[1],菊井創[1],荒木未希絵[1],秋田直洋[1],吉田奈央[1]濱麻人[1],**波多野寿**[2]
1:小児科　2:脳神経外科
第 64 回東海小児がん研究会　2022 年 2 月　WEB

包丁による経眼窩的頭部穿通外傷と経胸部穿通外傷を同時に来たし救命しえた 1 例
Wada K, Kubo H, Wakabayashi M, Ito R, Fujitani S, Hattori K, Hatano H
第 45 回日本脳神経外科外傷学会　2022 年 2 月　奈良

CASPER ステント初期成績の検討
服部健一
Stroke 2022　2022 年 3 月　大阪

脳動静脈奇形塞栓術における中間カテーテルの有用性について
服部健一
第 81 回日本脳神経外科学会総会　2022 年 9 月　横浜

高度動脈硬化性変化を伴う椎骨動脈起始部における Navien の有用性
伊藤里紗,服部健一,久保裕昭,若林正浩,和田健太郎,藤谷繁,波多野寿
日本脳神経外科学会第 81 回学術総会　2022 年 9 月　横浜

A case of glioblastoma diagnosed one year after onset of congenital hydrocephalus
久保裕昭,波多野寿,伊藤里紗,若林正浩,和田健太郎,藤谷繁,服部健一
日本脳神経外科学会第 81 回学術総会　2022 年 9 月　横浜

急に発症したパーキンソニズムと認知症状に 20 年以上内服したバルプロ酸が関与していた1例
藤谷繁
第 55 回日本てんかん学会学術集会　2022 年 9 月　仙台

脳卒中患者における早期栄養介入管理の効果
林衛[1],**和田健太郎**[2],伴野広幸[1],都築通孝[3]
1:栄養課　2:脳神経外科　3:集中治療部
第 58 回日本赤十字社医学会総会　2022 年 10 月　旭川市

脳動静脈奇形塞栓術における中間カテーテルの有用性について
服部健一
第 38 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術集会　2022 年 11 月　大阪

当院における動脈瘤治療のダブルカテーテルテクニックの検討とその有用性
Wada K, Hattori K, Kubo H, Ito R, Fujitani S, Hattori K, Hatano H
第 38 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術集会　2022 年 11 月　大阪

バーキットリンパ腫に対する化学療法終了 5 年後に脈絡叢腫瘍を診断した Li-Fraumeni 症候群の 1 例
水谷謙介[1],秋田直洋[1],大竹輝[1],上田真菜[1],矢内里紗[1],北澤宏展[1],服部浩佳[2],**波多野寿**[3],吉田奈央[1],濱麻人[1]
1:小児科　2:国立病院機構名古屋医療センター　遺伝診療科　3:脳神経外科
第 64 回日本小児血液・がん学会学術集会　2022 年 11 月　東京

皮膚科

ラムシルマブ投与中に生じた多発性毛細血管拡張性肉芽腫の一例
犬飼実紗子,大見修也,石原麻衣子,吉川真人,井上優貴
第 302 回日本皮膚科学会東海地方会　2022 年 12 月　WEB

泌尿器科

シストポートをなくした 3 ポート式ロボット支援仙骨腟固定術（RSC）
鈴木省治,加藤久美子,佐井裕紀,黒須春香,石山顕信,加藤隆,井上聡,平林裕樹
第 14 回日本ロボット外科学会学術集会　2022 年 2 月　WEB

腹圧性尿失禁 TVT 手術後 15 年をへて診断された腟壁メッシュ露出の 1 例
佐井裕紀,加藤久美子,清水絢子,石山顕信,黒須春香,加藤隆,平林裕樹,鈴木省治
第 289 回日本泌尿器科学会東海地方会　2022 年 3 月　名古屋市

難治性の全腟脱に 3 ポート式ロボット支援仙骨腟固定術（RSC）を施行した一例
黒須春香,鈴木省治,佐井裕紀,石山顕信,加藤隆,井上聡,平林裕樹,加藤久美子
第 289 回日本泌尿器科学会東海地方会　2022 年 03 月　名古屋市

POP に伴う女性下部尿路症状（FLUTS）：どう治療するか
加藤久美子
第 15 回日本骨盤臓器脱手術学会教育講演 1　2022 年 4 月　横浜市

女性過活動膀胱に対するボツリヌス療法：次亜塩素酸ナトリウム廃棄の工夫と初期経験
加藤久美子,鈴木省治,石山顕信,佐井裕紀,黒須春香,加藤隆,井上聡,平林裕樹
第 35 回日本老年泌尿器科学会　2022 年 6 月　甲府市

高齢女性の骨盤臓器脱の手術．シンポジウム「高齢女性の骨盤底機能障害の治療とケア」
加藤久美子,鈴木省治,松山愛佳,佐井裕紀,百田絢子,黒須春香,加藤隆,井上聡,平林裕樹
第 35 回日本老年泌尿器科学会　2022 年 6 月　甲府市

尿失禁と骨盤臓器脱～ケア・薬からボトックス注射・手術まで
加藤久美子
第 35 回日本老年泌尿器科学会県民公開講座「排尿トラブルを防ぎ気持ち良い生活を」 2022 年 6 月　甲府市

女性泌尿器科・ウロギネ外来に紛れ込んだ腫瘍性疾患
加藤久美子,鈴木省治,松山愛佳,佐井裕紀,百田絢子,黒須春香,加藤隆,井上聡,平林裕樹
第 24 回日本女性骨盤底医学会　2022 年 7 月　さいたま市

骨盤臓器脱による排尿障害を契機に腎膿瘍を形成した 2 例
佐井裕紀[1],加藤久美子[1],伊藤大貴[2],清田篤志[2],**百田絢子[1],松山愛佳[1],黒須春香[1],加藤隆[1],井上聡[1],平林裕樹[1],鈴木省治[1]**
1:泌尿器科　2:内分泌内科
第 24 回日本女性骨盤底医学会　2022 年 7 月　さいたま市

尿道平滑筋腫　尿道カルンクルとの鑑別を要した症例と腹圧性尿失禁に合併した症例
黒須春香,加藤久美子,百田絢子,松山愛佳,佐井裕紀,加藤隆,井上聡,平林裕樹,鈴木省治
第 24 回日本女性骨盤底医学会　2022 年 7 月　さいたま市

特別企画「骨盤底リハビリテーションの理論と実践」骨盤底リハビリテーション本邦事始めと医師の限界
加藤久美子
第 24 回日本女性骨盤底医学会　2022 年 7 月　さいたま市

第 14 回経腟メッシュ講習会「合併症」
加藤久美子
第 24 回日本女性骨盤底医学会　2022 年 7 月　さいたま市

女性腹圧性尿失禁患者を対象とした TAS-303 の第 II 相ランダム化プラセボ対照二重盲検比較試験
後藤百万[1],**加藤久美子**,高橋悟[2],武井実根雄[3],横山修[4]
1:中京病院　2:日本大学医学部　3:原三信病院　4:福井大学医学部
第 29 回日本排尿機能学会　2022 年 9 月　札幌市

女性泌尿器科外来におけるボツリヌス療法．パネルディスカッション「難治性 OAB の治療戦略」
加藤久美子
第 29 回日本排尿機能学会　2022 年 9 月　札幌市

不易流行「女性泌尿器」腹圧性尿失禁手術の不易流行
加藤久美子,鈴木省治,松山愛佳,佐井裕紀,黒須春香,加藤隆,井上聡,平林裕樹
第 72 回日本泌尿器科学会中部総会　2022 年 10 月　和歌山市

Von Hippel-Lindau 病を疑う褐色細胞腫に対してコロナ感染で延期した手術を施行した 1 例
鈴木省治,黒須春香,加藤隆,井上聡,平林裕樹
第 36 回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会　2022 年 11 月　神戸市

ロボット支援仙骨腟固定術（RSC）後に認めた遅延性尿管損傷を保存的に治療した 1 例
鈴木省治,井上聡
第 35 回日本内視鏡外科学会総会　2022 年 12 月　名古屋市

産婦人科

妊娠中に乳癌の診断に至った症例の周産期予後と癌治療に関する検討
齋藤愛,江口智子,安藤智子
第 12 回日本がん・生殖医療学会学術集会　2022 年 2 月　名古屋市（WEB）

同側腎無形成を伴う片側閉塞重複子宮合併妊娠 7 例の周産期経過
中村侑実,安藤智子,寺沢直浩,簑田章,田中梨紗子,告野絵里,正橋佳樹,中村拓斗,上田真子,鈴木美帆,福原伸彦,伊藤由美子,手塚敦子,齋藤愛,坂堂美央子,廣村勝彦,津田弘之,水野公雄
第 142 回東海産科婦人科学会　2022 年 3 月　岐阜市（WEB）

管理方針に苦慮した両側胎児低形成異形成腎の一例
田中梨紗子,伊藤由美子,寺沢直浩,簑田章,告野絵里,中村侑実,正橋佳樹,中村拓斗,上田真子,鈴木美帆,福原伸彦,手塚敦子,齋藤愛,坂堂美央子,廣村勝彦,津田弘之,安藤智子,水野公雄
第 142 回東海産科婦人科学会　2022 年 3 月　岐阜市(WEB)

妊娠後期において双胎妊娠が母体腎機能に及ぼす影響～単胎妊娠との比較～
簑田章,津田弘之,寺沢直浩,田中梨紗子,告野絵里,中村侑実,正橋佳樹,中村拓斗,上田真子,鈴木美帆,福原伸彦,伊藤由美子,手塚敦子,齋藤愛,坂堂美央子,廣村勝彦,安藤智子,水野公雄
第 142 回東海産科婦人科学会　2022 年 3 月　岐阜市(WEB)

異なる経過をたどった胎児頻脈性不整脈の 3 症例
伊藤由美子,津田弘之,手塚敦子,齋藤愛,坂堂美央子,廣村勝彦,安藤智子,水野公雄
第 95 回日本超音波医学会学術集会　2022 年 5 月　名古屋市

分娩から 8 年後に子宮全摘を施行して胎盤遺残が判明した一例
長岡明日香,坂堂美央子,白倉知香,宗宮絢帆,競悦子,寺沢直浩,田中梨紗子,簑田章,荒木甫,黒柳雅文,正橋佳樹,中村拓斗,上田真子,鈴木美帆,福原伸彦,伊藤由美子,手塚敦子,齋藤愛,廣村勝彦,津田弘之,安藤智子,水野公雄
第 115 回愛知産婦人科学会学術講演会　2022 年 6 月　名古屋市

妊娠中に胸膜炎を発症し、全身性エリテマトーデス（SLE）の確定診断に至った一例
白倉知香,伊藤由美子,宗宮絢帆,長岡明日香,競悦子,寺沢直浩,田中梨紗子,簑田章,荒木甫,黒柳雅文,正橋佳樹,中村拓斗,上田真子,鈴木美帆,福原伸彦,手塚敦子,齋藤愛,坂堂美央子,廣村勝彦,津田弘之,安藤智子,水野公雄
第 115 回愛知産婦人科学会学術講演会　2022 年 6 月　名古屋市

NAC・IDS 症例の初回化学療法・維持療法について
坂堂美央子
Ovarian Cancer Web Seminar　2022 年 6 月　WEB

ここ最近当院で経験した印象深い症例
津田弘之
第 16 回愛知県産婦人科臨床フォーラム　2022 年 6 月　WEB

レルミナ錠 40mg 誰に使う？どう使う？
安藤智子
産婦人科医のためのワークライフマネジメントーパネルディスカッション 2022 年 6 月 WEB

極低出生体重児の暦 3 歳時神経発達と母親の妊娠前 BMI との関連性
大城誠[1],神原紀香[1],近藤真生[1],間宮野里花[1],藤城尚純[1],濱崎咲也子[1],田中亮[1],杉山裕一朗[1],浅田英之[1],中山淳[1],**津田弘之[2],手塚敦子[2],伊藤由美子**[2]
1:小児科 2:産婦人科
第 58 回日本周産期・新生児医学会学術集会 2022 年 7 月 横浜市(WEB)

母児共に GBS 菌血症を発症した症例
上田真菜[1],神原紀香[1],近藤真生[1],間宮野里花[1],藤城尚純[1],濱崎咲也子[1],田中亮[1],杉山裕一朗[1],浅田英之[1],中山淳[1],大城誠[1],**手塚敦子[2],伊藤由美子[2],津田弘之**[2],脇本寛子[3]
1:小児科 2:産婦人科 3:名古屋市立大学大学院看護学研究科
第 58 回日本周産期・新生児医学会学術集会 2022 年 7 月 横浜市(WEB)

帝王切開の術前検査で発見された肺癌合併妊娠の一例
田中梨紗子,手塚敦子,白倉知香,宗宮絢帆,長岡明日香,寺沢直浩,簑田章,正橋佳樹,中村拓斗,上田真子,鈴木美帆,福原伸彦,伊藤由美子,齋藤愛,坂堂美央子,廣村勝彦,津田弘之,安藤智子,水野公雄
第 74 回日本産科婦人科学会 2022 年 8 月 福岡市

子宮体部後壁漿膜下の嚢胞性腫瘤に生じた clear cell carcinoma の 1 例
熊澤秀亮[1],伊藤茂樹[1],加賀谷理紗[1],河合雄一[1],館靖[1],森雄司[1],鈴木啓史[1],**福原伸彦[2],廣村勝彦[2],水野公雄**[2],桐山理美[3],藤野雅彦[3]
1:放射線診断科 2:産婦人科 3:病理部
第 23 回 Japanese society for the advancement of women's imaging 2022 年 9 月 淡路市(WEB)

子宮頸部の mixed endometrial stromal and smooth muscle tumor の 1 例
伊藤茂樹[1],熊澤秀亮[1],加賀谷理紗[1],河合雄一[1],館靖[1],森雄司[1],鈴木啓史[1],**坂堂美央子[2],廣村勝彦**[2],桐山理美[3],藤野雅彦[3]
1:放射線診断科 2:産婦人科 3:病理部
第 23 回 Japanese society for the advancement of women's imaging 2022 年 9 月 淡路市(WEB)

腹腔鏡下卵巣腫瘍摘出術後に両側下腿コンパートメント症候群を発症した1例
正橋佳樹,安藤智子,寺沢直浩,簑田章,田中梨紗子,中村拓斗,上田真子,鈴木美帆,福原伸彦,伊藤由美子,手塚敦子,齋藤愛,坂堂美央子,廣村勝彦,津田弘之,水野公雄
第 62 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 2022 年 9 月 横浜市

子宮頸癌診療の実際と予防の重要性
水野公雄
中村区医師会講演 2022 年 9 月 名古屋市

医師労務負担軽減目的に呼吸器外科診療における術前手術説明ビデオ導入の試み
森正一[1],後藤まどか[1],市川靖久[1],坪内秀樹[1],川角佑太[1],内山美佳[1],加藤淳稔[2],**水野公雄**[3]
1:呼吸器外科 2:診療業務支援課 3:産婦人科
第 58 回日本赤十字社医学会総会 2022 年 10 月 旭川市

無症状で定期超音波検査中に急速に血腫が増大し常位胎盤早期剥離を発症した一例
白倉知香,中村拓斗,宗宮絢帆,長岡明日香,競悦子,寺沢直浩,田中梨紗子,簑田章,荒木甫,黒柳雅文,正橋佳樹,上田真子,鈴木美帆,福原伸彦,伊藤由美子,手塚敦子,齋藤愛,坂堂美央子,廣村勝彦,津田弘之,安藤智子,水野公雄
第 116 回愛知産婦人科学会学術講演会 2022 年 10 月 名古屋市

ペムブロリズマブに伴う続発性 副腎機能不全をきたした MSI-high 重複癌の一例
宗宮絢帆,坂堂美央子,白倉知香,長岡明日香,競悦子,寺沢直浩,田中梨紗子,簑田章,荒木甫,黒柳雅文,正橋佳樹,中村拓斗,上田真子,鈴木美帆,福原伸彦,伊藤由美子,手塚敦子,齋藤愛,廣村勝彦,津田弘之,安藤智子,水野公雄
第 116 回愛知産婦人科学会学術講演会 2022 年 10 月 名古屋市

BMI40 を超える高度肥満患者に対して腹腔鏡下子宮全摘を施行した 3 例
黒柳雅文,廣村勝彦,白倉知香,宗宮絢帆,長岡明日香,寺沢直浩,田中梨紗子,簑田章,荒木甫,正橋佳樹,中村拓斗,上田真子,鈴木美帆,福原伸彦,伊藤由美子,手塚敦子,齋藤愛,坂堂美央子,津田弘之,安藤智子,水野公雄
第 22 回東海産婦人科内視鏡手術研究会学術講演会 2022 年 10 月 名古屋市

頭蓋内大量出血をきたし 子宮内死亡に至った胎児から Xp22.33 の微細欠失を検出した 1 例
伊藤由美子,夫律子[1],**姜真以乃,手塚敦子,津田弘之**,松澤奈々[1],千代豪昭[1],松原洋一[1],中村貴子[1],町田めぐみ[1],上西功太郎[1],大橋浩康[2],武田真義[2],霜川修[2],**安藤智子**
1:クリフム出生前診断クリニック胎児診断センター・胎児脳センター 2:リッツメディカル株式会社
第 8 回日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会 2022 年 10 月 新潟市

ターナー症候群女性の健康管理と生殖の課題
安藤智子
第 24 回愛知小児内分泌カンファレンス 2022 年 10 月 WEB

当院における小児の妊孕性温存に対する多職種アプローチの変遷
齋藤愛,江口智子,安藤智子
第 67 回日本生殖医学会学術講演会 2022 年 11 月 横浜市

静脈血栓症リスク評価に関するシステム構築
近森清美[1],**水野公雄**[2]
1:看護部　2:産婦人科
第 17 回医療の質・安全学会学術集会　2022 年 11 月　神戸市

産褥期の貧血患者に対する人参養栄湯の貧血改善効果とうつ予防効果
山田千草[1],佐藤美月[1],向山直樹[1],**津田弘之**[2],成瀬徳彦[1]
1:薬剤部　2:産婦人科
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2022　2022 年 11 月　静岡市

当院の無痛分娩立ち上げについて
手塚敦子[1],**中村拓斗**[1],**伊藤由美子**[1],**津田弘之**[1],鈴木明日香[2],横田修一[3]
1:産婦人科　2:看護部　3:麻酔科
第 126 回産科麻酔科学会学術集会　2022 年 11 月　浜松市

多職種連携による術前一時中断薬再開確認～RPA（robotic process automation）導入による効率化～
櫛原秀之[1],近森清美[2],作間千夏[2],久保敦史[3],永井英雅[4],**水野公雄**[5],成瀬徳彦[1]
1:薬剤部　2:看護部　3:事務部　4:一般消化器外科　5:産婦人科
第 16 回日本医療マネジメント学会愛知県支部学術集会　2022 年 12 月　名古屋市

シャント不全を疑ったが、胸腔ー羊水腔シャントチューブを介して胎児胸腔内に羊水が逆流したと考えられる Pena-shokeir 症候群 1 型の一例
荒木甫,手塚敦子,黒柳雅文,正橋佳樹,中村拓斗,鈴木美帆,福原伸彦,伊藤由美子,津田弘之,安藤智子,水野公雄
第 19 回日本胎児治療学会　2022 年 12 月　大阪市

眼科
ビタミン A 欠乏による夜盲の治療後に interdigitation zone の伸長がみられた 1 例
野坂光司,冨田遼[1]
1:名古屋大学医学部附属病院眼科
第 76 回日本離床眼科学会　2022 年 10 月　東京都(WEB)

耳鼻咽喉科
化学療法休薬後も長期間 SD を維持した一例
鈴木淳志,寺田聡広
第 38 回東海頭頸部腫瘍研究会　2022 年 3 月　名古屋市

当院における頭頸部腫瘍診療
寺田聡広
耳鼻咽喉科病診連携セミナー　2022 年 5 月　名古屋市(WEB)

耳科手術と外来での耳処置、補聴器外来
柘植勇人
耳鼻咽喉科病診連携セミナー　2022 年 5 月　名古屋市(WEB)

高度一側性難聴で患側装用に満足されている音楽を職業とする症例
小澤亮太[1],**柘植　勇人**[1,2],**村上優美子**[1],**伊藤　潤平**[1],**鈴木淳志**[1],**寺田聡広**[1],曾根三千彦[2]
1:日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院　耳鼻咽喉科　2:名古屋大学大学院医学系研究科頭頸部・感覚器外科学　耳鼻咽喉科
第 123 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 総会・学術講演会　2022 年 5 月　神戸市

耳鳴治療で活用する補聴器　理論的背景と効果
柘植勇人
補聴器相談医更新講習会　2022 年 6 月　長久手市

耳鳴診療　当院における変遷と現在の方針
柘植勇人[1,2],**三宅杏季**[1],**加藤大介**[1],**薬師寺政美**[1],**加藤由記**[1],**伊藤潤平**[1],曾根三千彦[2]
1:日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院耳鼻咽喉科　2:名古屋大学大学院医学系研究科頭頸部・感覚器外科学　耳鼻咽喉科
第 7 回耳鳴・難聴研究会　2022 年 7 月　東京都

両側高音急墜型感音難聴に対する補聴器フィッティング
薬師寺政美,柘植勇人,三宅杏季,加藤大介,加藤由記
第 7 回耳鳴・難聴研究会　2022 年 7 月　東京都

補聴器臨床における音響性聴覚障害の予防
柘植勇人[1,2],**三宅杏季**[1],**加藤大介**[1],**薬師寺政美**[1],**加藤由記**[1],曾根三千彦[2]
1:日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院耳鼻咽喉科　2:名古屋大学大学院医学系研究科頭頸部・感覚器外科学　耳鼻咽喉科
第 67 回日本聴覚医学会　2022 年 10 月　山形市

耳鳴を有する両側高音急墜型難聴の補聴器フィッティング
薬師寺政美,柘植勇人,三宅杏季,加藤大介,加藤由記
第 67 回日本聴覚医学会　2022 年 10 月　山形県山形市

難聴者が補聴器を満足して使用するために
柘植勇人
補聴器フォーラム東海 2022「補聴器相談医更新講習会」「市民公開講座」　2022 年 11 月　名古屋市

高齢者難聴と補聴器、学会の取り組みについて
柘植勇人
補聴器販売者技能向上研修会　2022 年 12 月　名古屋市

麻酔科

一過性に左室収縮能低下を認めたアルコール関連高乳酸アシドーシスの 1 例
都築通孝[1],上田遼太[2],**森玲央那**[3],開正宏[4],中井悠二[4],西川大樹[5],田辺由紀子[6],花木芳洋[1]
1:救急部　2:消化器内科　3:麻酔科　4:臨床工学技術課　5:リハビリテーション科部　6:看護部
日本集中治療医学会第 6 回東海北陸支部学術集会　2022 年 6 月　名古屋市(WEB)

重症 COVID-19 肺炎の気管挿管・人工呼吸管理と高流量鼻カニュラ酸素療法または酸素マスクによる管理の比較
都築通孝[1],**森玲央那**[2],服部哲幸[3],開正宏[4],中井悠二[4],西川大樹[5],林衛[6],田辺由紀子[7],山北理恵[7],花木芳洋[1]
1:救急部　2:麻酔科　3:薬剤部　4:臨床工学技術課　5:リハビリテーション科部　6:栄養課　7:看護部
第 50 回日本救急医学会総会・学術集会　2022 年 10 月　東京都(WEB)

当院の無痛分娩立ち上げについて
手塚敦子[1],中村拓斗[1],伊藤由美子[1],津田弘之[1],鈴木明日香[2],**横田修一**[3]
1:産婦人科　2:看護部　3:麻酔科
第 126 回産科麻酔科学会学術集会　2022 年 11 月　浜松市

リハビリテーション科部(PT・OT・ST(Dr を除く))

中等症脳卒中患者の急性期日常生活動作に影響する因子とその特徴
武藤健人,永井将貴,長谷部光紀,藤井七虹,三谷祐史,中村和司
第 48 回日本赤十字リハビリテーション協会学術集会　2022 年 2 月　名古屋市(WEB)

心停止後症候群患者の高次脳機能障害と転帰
村瀬完太,犬飼晃見,田中まゆ,堀池瑞季,永縄優里菜,中野弘喜,水谷友紀,西川大樹,中山靖雄,都築通孝[1]
1:集中治療部
第 48 回日本赤十字リハビリテーション協会学術集会 2022 年 2 月　名古屋市(WEB)

化学療法施行後の悪性リンパ腫への運動療法の効果
小川綾太,中村和司,松永佑哉,小川祐美,中山靖唯,早川勝
第 48 回日本赤十字リハビリテーション協会学術集会 2022 年 2 月　名古屋市(WEB)

良好な結果が得られた月状骨脱臼の治療経験
奥田祐加,服部亜衣,西之園智子,洪淑貴[1]
1:手外科
第 48 回日本赤十字リハビリテーション協会学術集会 2022 年 2 月　名古屋市(WEB)

同種造血幹細胞移植前後の性差による筋力、身体機能の変化
小川祐美,森下喬允[1],**中村和司,松永佑哉,小川綾太,中山靖唯,早川勝**
1:血液内科
第 48 回日本赤十字リハビリテーション協会学術集会 2022 年 2 月　名古屋市(WEB)

脳卒中再発予防指導における多職種連携
井内豊子[1],**三谷祐史**[2]
1:看護部　2:リハビリテーション科
第 47 回日本脳卒中学会　2022 年 3 月　大阪市(WEB)

両側水平眼球運動制限と輻湊反射消失を併発した急性期橋出血症例への眼球運動療法の経験
三谷祐史,武藤健人,藤井七虹,神原直也
第 22 回日本神経理学療法学術大会　2022 年 4 月　大阪市

急性期脳梗塞患者に対し傾斜台を用いた立位練習を行ないバランス能力向上に至った一症例
松元大修,三谷祐史,武藤健人,藤井七虹
第 30 回愛知県理学療法学術大会　2022 年 4 月　名古屋市(WEB)

長期臥床後の離床と軽症脳梗塞発症後の運動負荷に苦慮した低心機能重症心不全の一例
桐山紗矢香,藍澤洋介,黒田真之[1]
1:循環器内科
第 30 回愛知県理学療法学術大会　2022 年 4 月　名古屋市(WEB)

大腿骨転子部骨折術後の除痛目的に経皮的電気神経刺激を使用した一例
坂本瑞希[1],打田健人[1],高木寛人[1],山川桂子[1],杉浦江美[1],石川将己[1],島本祐哉[2],山本英樹[2]
1:リハビリテーション科　2:整形外科
第 30 回愛知県理学療法学術大会　2022 年 4 月　名古屋市(WEB)

同種造血幹細胞移植前後の筋力、身体機能の経時的変化－性差に着目して－
小川祐美[1],森下喬允[2],**中村和司**[1],**松永佑哉**[1],**小川綾太**[1],**中山靖唯**[1],**早川勝**[1],小澤幸泰[2],西田徹也[2]
1:リハビリテーション科　2:血液内科
第 44 回日本造血・免疫細胞療法学会　総会 2022 年 5 月　横浜市(WEB)

心不全患者における還元型アルブミン比とフレイルカテゴリーとの関連：記述的研究
西川大樹[1],上山純[2],清水真也[3],**石丸曜**[1],芦川博信[4],足立拓史[4],神谷春雄[5],山田純生[6]
1:リハビリテーション科　2:名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻オミックス科学生体分子情報科学　3:藤田医科大学ばんたね病院　循環器内科　4:名古屋大学大学院医学系研究科　総合保健学専攻予防・リハビリテーション科学　5:日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院　循環器内科　6:愛知医科大学　循環器内科
第 28 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会　2022 年 6 月　宜野湾市(WEB)

一過性に左室収縮能低下を認めたアルコール関連高乳酸アシドーシスの 1 例
都築通孝[1],上田遼太[2],森玲央那[3],開正宏[4],中井悠二[4],**西川大樹**[5],田辺由紀子[6],花木芳洋[1]
1:救急部　2:消化器内科　3:麻酔科　4:臨床工学技術課　5:リハビリテーション科部　6:看護部
日本集中治療医学会第 6 回東海北陸支部学術集会　2022 年 6 月　名古屋市(WEB)

当院の摂食嚥下障害ケアチームの活動報告第二報　―言語聴覚士の立場から―
犬飼晃見[1],坂口真那美[2],高橋操[2],犬飼桂子[3],浅見真未[3],日比野朋美[3]
1:リハビリテーション科　2:看護部　3:歯科
第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会　2022 年 9 月　千葉市

作業療法士が体験する信念対立のエスカレーションの質的解明
安井茜,寺岡睦[1],京極真[1]
1:吉備国際大学大学院保健科学研究科
第 56 回日本作業療法学術集会　2022 年 9 月　京都市

急性期脳卒中患者における発症 1 週間後の 10m 歩行の可否は退院時屋外自立歩行と退院先に関連する
武藤健人,白土大成[1],南部一気[2],坂本勇斗[3],古谷直弘[4],**中村和司**,**三谷祐史**,**藤井七虹**,牧迫飛雄馬[1]
1:鹿児島大学大学院保健学研究科　2:西野病院　リハビリテーション科　3:杏林大学医学部付属病院　リハビリテーション室　4:東名厚木病院　リハビリテーション科
第 20 回日本神経理学療法学術大会　2022 年 10 月　大阪市

重症肺炎をはじめ様々な疾患を併発し、端座位で血圧と酸素化が著明に低下した一例
名和森太郎,**藍澤洋介**,**西川大樹**,**中村和司**,**山川桂子**,**中山靖唯**
第 38 回東海北陸理学療法学術大会　2022 年 10 月　名古屋市(WEB)

重症 COVID-19 肺炎の気管挿管・人工呼吸管理と高流量鼻カニュラ酸素療法または酸素マスクによる管理の比較
都築通孝[1],森玲央那[2],服部哲幸[3],開正宏[4],中井悠二[4],**西川大樹**[5],林衛[6],田辺由紀子[7],山北理恵[7],花木芳洋[1]
1:救急部　2:麻酔科　3:薬剤部　4:臨床工学技術課　5:リハビリテーション科部　6:栄養課　7:看護部
第 50 回日本救急医学会総会・学術集会　2022 年 10 月　東京都(WEB)

膝前十字靭帯再建術後 1 年時における膝蓋大腿関節軟骨損傷と膝機能評価の関連性
打田健人[1],高木寛人[2],**山川桂子**[1],**石川将己**[1],山本英樹[3]
1:リハビリテーション科　2:日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院　リハビリテーション科　3:整形外科
第 33 回日本臨床スポーツ医学会学術集会　2022 年 11 月　札幌市

当院における高齢心不全患者の認知機能についての調査
藍澤洋介[1],**西川大樹**[1],**松原修**[1],**名和森太郎**[1],**中山靖唯**[1],宮田紳治郎[2]
1:リハビリテーション科　2:循環器内科
第 49 回日本赤十字リハビリテーション協会学術集会 2022 年 11 月　前橋市

Association of redox state of human serum albumin with severity in patients with heart failure: a cross-sectional study
Nishikawa T, Shimizu S[1], Kamiya H[2], Ueyama J[3], Yamada S[4]
1: Department of Cardiology, Fujita Health University Bantane Hospital　2: Department of Cardiology, Japan Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital　3: Department of Biomolecular Sciences, Field of Omics Health Sciences, Nagoya University Graduate School of Medicine　4:Department of Cardiology, Aichi Medical University
9th Asian Preventive Cardiology & Cardiac Rehabilitation Conference　2022 年 11 月　Hong Kong (WEB)

放射線診断科部、放射線治療科部

非典型的な浸潤形式を呈した肝内胆管癌の 1 例
熊澤秀亮[1],**伊藤茂樹**[1],**河合雄一**[1],**館靖**[1],**森雄司**[1],**鈴木啓史**[1],高田莉央[2],藤野雅彦[2],荒川拓也[3]
1:放射線診断科　2:病理部　3:一般消化器外科
第 170 回日本医学放射線学会中部地方会　2022 年 2 月　WEB

EOB-MRI の肝細胞相で腫瘤周囲に広範な低信号域を呈した肝内胆管癌の 1 例
熊澤秀亮[1],**伊藤茂樹**[1],**加賀谷理紗**[1],**河合雄一**[1],**館靖**[1],**森雄司**[1],**鈴木啓史**[1],荒川拓也[2],高田莉央[3],藤野雅彦[3]
1:放射線診断科　2:一般消化器外科　3:病理部
第 35 回日本腹部放射線学会　2022 年 6 月　高知市(WEB)

IPMN 由来の浸潤癌と鑑別困難であった Follicular pancreatitis の 2 例
熊澤秀亮[1],**伊藤茂樹**[1],**加賀谷理紗**[1],**河合雄一**[1],**館靖**[1],**森雄司**[1],桐山理美[2],藤野雅彦[2],鈴木啓史[1],柴田耕治[3],三宅秀夫[3]
1:放射線診断科　2:病理部　3:一般消化器外科
第 35 回日本腹部放射線学会　2022 年 6 月　高知市(WEB)

子宮体部後壁漿膜下の嚢胞性腫瘤に生じた clear cell carcinoma の 1 例
熊澤秀亮[1],伊藤茂樹[1],加賀谷理紗[1],河合雄一[1],館靖[1],森雄司[1],鈴木啓史[1],福原伸彦[2],廣村勝彦[2],水野公雄[2],桐山理美[3],藤野雅彦[3]
1:放射線診断科　2:産婦人科　3:病理部
第 23 回 Japanese society for the advancement of women's imaging　2022 年 9 月　淡路市(WEB)

子宮頸部の mixed endometrial stromal and smooth muscle tumor の 1 例
伊藤茂樹[1],熊澤秀亮[1],加賀谷理紗[1],河合雄一[1],館靖[1],森雄司[1],鈴木啓史[1],坂堂美央子[2],廣村勝彦[2],桐山理美[3],藤野雅彦[3]
1:放射線診断科　2:産婦人科　3:病理部
第 23 回 Japanese society for the advancement of women's imaging　2022 年 9 月　淡路市(WEB)

歯科、歯科口腔外科

当科における過去 20 年間の口腔がん患者の臨床的検討
早川泰平,佐藤春樹,長縄憲亮,上田整,横山佐奈子,神谷雄二郎,大岩伊知郎
第 40 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会　2022 年 2 月　WEB

診断機器とその位置づけ
長縄憲亮
第 18 回日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院・地域歯科医師会病診連携システム学術セミナー　2022 年 2 月　名古屋市

口腔がん以外の口腔粘膜病変
早川泰平
第 18 回日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院・地域歯科医師会病診連携システム学術セミナー　2022 年 2 月　名古屋市

口腔潜在的悪性疾患・口腔癌の病態
佐藤春樹
第 18 回日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院・地域歯科医師会病診連携システム学術セミナー　2022 年 2 月　名古屋市

上顎洞の狭小化をきたす上顎骨嚢胞に対する摘出術の一工夫
上田整,佐藤春樹,花木俊介,神谷雄二郎,早川泰平,長縄憲亮,大岩伊知郎
第 47 回(公社)日本口腔外科学会中部支部学術集会　2022 年 5 月　名古屋市(WEB)

当科における口腔扁平上皮癌に対する肩甲舌骨筋上頸部郭清術の適応を検証する
佐藤春樹,長縄憲亮,早川泰平,上田整,大岩伊知郎
第 46 回日本頭頸部癌学会　2022 年 6 月　奈良市(WEB)

歯科治療時に生じた頸部気腫の感染から下降性縦隔炎に至った 1 例
神谷雄二郎,早川泰平,佐藤春樹,長縄憲亮,上田整,服部多市,花木俊介,大岩伊知郎
第 23 回日本口腔顎顔面外傷学会総会・学術大会　2022 年 7 月　東京都

Complex fractures of the mandible
SATO H
AOCMF Course - Management of Facial Trauma　2022 年 7 月　Nagoya, Japan

Condylar Fractures
SATO H
AOCMF Course - Management of Facial Trauma　2022 年 7 月　Nagoya, Japan

当院の摂食嚥下障害ケアチームの活動報告第二報　―言語聴覚士の立場から―
犬飼晃見[1],坂口真那美[2],高橋操[2],**犬飼桂子[3],浅見真未[3],日比野朋美[3]**
1:リハビリテーション科　2:看護部　3:歯科
第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会　2022 年 9 月　千葉市

口腔粘膜疾患
大岩伊知郎
大治町健康づくり教室　2022 年 9 月　あま市

下顎第二大臼歯および第三大臼歯の重積状埋伏歯症例
服部多市,長縄憲亮,佐藤春樹,早川泰平,上田整,神谷雄二郎,花木俊介,田中祐樹,大岩伊知郎
第 67 回(公社)日本口腔外科学会総会・学術大会　2022 年 11 月　千葉市(WEB)

口腔粘膜疾患の診かた～特に口腔潜在的悪性疾患と口腔癌の病態について～
佐藤春樹
愛知学院大学歯学部同窓会愛知県支部　令和 4 年度　歯科衛生士カムバック・フォローアップセミナー　2022 年 12 月　WEB

当科における口腔癌切除不能・再発例への対応
佐藤春樹
口腔がん WEB セミナー2022　2022 年 12 月　WEB

病理部

遺伝子パネル検査の基礎、病理検体の管理について
郡司昌治
コンパニオン診断セミナー IN IBARAKI 2022 2022 年 1 月 WEB

非典型的な浸潤形式を呈した肝内胆管癌の 1 例
熊澤秀亮[1],伊藤茂樹[1],河合雄一[1],館靖[1],森雄司[1],鈴木啓史[1],**高田莉央[2],藤野雅彦**[2],荒川拓也[3]
1:放射線診断科 2:病理部 3:一般消化器外科
第 170 回日本医学放射線学会中部地方会 2022 年 2 月 WEB

子宮がん・肺がん検診 ～HPV 併用検診・喀痰細胞診を考える～
郡司昌治
愛知県がん検診(細胞診)従事者講演会 2022 年 2 月 WEB

肺癌マルチ遺伝子検査におけるポイント
郡司昌治
肺癌遺伝子検査 Update セミナー 2022 年 2 月 WEB

WHO 2022 造血細胞腫瘍組織分類のポイント
伊藤雅文
第 22 回骨髄病理研究会 2022 年 3 月 WEB

治療に結び付く肺がん病理検体の取り扱いについて
郡司昌治
中外 e セミナー 2022 年 4 月 WEB

FFPE を用いた遺伝子検査のポイント
郡司昌治
令和4年度認定染色体遺伝子検査技師スキルアップ研修会 2022 年 5 月 WEB

ISO15189 取得のカギ －取得準備を楽しもう！－
郡司昌治,美濃島慎,田中知咲季,尾崎靖将,安村奈緒子,奥田勲[1],佐野道孝[1],
1:つくば i-laboratory 有限責任事業組合 ISO15189 支援センター
第 71 回日本医学検査学会 2022 年 5 月 大阪市(WEB)

骨髄標本における腫瘍の見方
伊藤雅文
第 1 回希少がん病理診断講習会 2022 年度 2022 年 6 月 WEB

リンパ節・骨髄・髄液
藤野雅彦
2022 年度東海連合会細胞診基礎講習会 2022 年 6 月 WEB

EOB-MRI の肝細胞相で腫瘤周囲に広範な低信号域を呈した肝内胆管癌の 1 例
熊澤秀亮[1],伊藤茂樹[1],加賀谷理紗[1],河合雄一[1],館靖[1],森雄司[1],鈴木啓史[1],荒川拓也[2],**高田莉央[3],藤野雅彦[3]**
1:放射線診断科 2:一般消化器外科 3:病理部
第 35 回日本腹部放射線学会 2022 年 6 月 高知市(WEB)

IPMN 由来の浸潤癌と鑑別困難であった Follicular pancreatitis の 2 例
熊澤秀亮[1],伊藤茂樹[1],加賀谷理紗[1],河合雄一[1],館靖[1],森雄司[1],**桐山理美[2],藤野雅彦[2]**,鈴木啓史[1],柴田耕治[3],三宅秀夫[3]
1:放射線診断科 2:病理部 3:一般消化器外科
第 35 回日本腹部放射線学会 2022 年 6 月 高知市(WEB)

FFPE 核酸精製プロトコルによる細胞診材料の核酸品質への影響
郡司昌治,田中知咲季,藤瀬佳穂,安村奈緒子,堀口亜矢子,伊藤雅文,吉川佳苗,村上秀樹
第 63 回日本臨床細胞学会総会(春期大会) 2022 年 6 月 東京都(WEB)

やってみて分かった！肺がん遺伝子検査実践お悩み解決セミナー
郡司昌治
やってみて分かった！肺がん遺伝子検査実践お悩み解決セミナー 2022 年 7 月 WEB

小児造血器腫瘍 WHO 分類について
伊藤雅文
第 17 回小児 AA・MDS web 講演会 2022 年 8 月 WEB

小児骨髄不全症の骨髄形態診断
濱麻人[1],岩淵英人[2],**伊藤雅文[3]**
1:小児科 2:静岡県立こども病院病理診断科 3:病理部
第 17 回小児 AA・MDS web 講演会 2022 年 8 月 WEB

子宮体部後壁漿膜下の嚢胞性腫瘤に生じた clear cell carcinoma の 1 例
熊澤秀亮[1],伊藤茂樹[1],加賀谷理紗[1],河合雄一[1],館靖[1],森雄司[1],鈴木啓史[1],福原伸彦[2],廣村勝彦[2],水野公雄[2],**桐山理美[3],藤野雅彦[3]**
1:放射線診断科 2:産婦人科 3:病理部
第 23 回 Japanese society for the advancement of women's imaging 2022 年 9 月 淡路市(WEB)

子宮頸部の mixed endometrial stromal and smooth muscle tumor の 1 例
伊藤茂樹[1],熊澤秀亮[1],加賀谷理紗[1],河合雄一[1],館靖[1],森雄司[1],鈴木啓史[1],坂堂美央子[2],廣村勝彦[2],**桐山理美[3],藤野雅彦**[3]
1:放射線診断科 2:産婦人科 3:病理部
第 23 回 Japanese society for the advancement of women's imaging 2022 年 9 月 淡路市(WEB)

胚細胞系列に SDHB 変異を伴うパラガングリオーマの 1 例
秋田直洋[1],大竹輝[1],上田真菜[1],水谷謙介[1],矢内里紗[1],北澤宏展[1],村瀬成彦[2],藤野雅彦[3],**吉田奈央[1],濱麻人[1]**
1:小児科 2:小児外科 3:病理診断科
第 81 回東海小児がん研究会 2022 年 9 月 WEB

コンパニオン診断における遺伝子検査の精度管理
郡司昌治
愛知県臨床検査技師会遺伝子検査研究班講演会 2022 年 10 月 WEB

胚細胞系列に SDHB 変異を伴うパラガングリオーマの 1 例
秋田直洋[1],大竹輝[1],上田真菜[1],水谷謙介[1],矢内里紗[1],北澤宏展[1],村瀬成彦[2],**藤野雅彦**[3],吉田奈央[1],濱麻人[1]
1:小児科 2:小児外科 3:病理診断科
第 64 回日本小児血液・がん学会学術集会 2022 年 11 月 東京

ISO15189 取得のカギ －取得準備を楽しもう！－
郡司昌治
令和 4 年度岐阜県臨床検査技師会研修会 2022 年 11 月 WEB

CML 診療における検査・病態の関わりについて
郡司昌治
CML Special recture 2022 年 11 月 WEB

ISO15189 に対応した遺伝子関連検査における精度管理
郡司昌治
令和 4 年度愛知県がん診療連携拠点病院等臨床検査技師会研修会 2022 年 11 月 WEB

バイオマーカー検査を見据えた切除検体の取り扱い
郡司昌治
AZ 肺がん病理セミナー 2022 年 12 月 WEB

救急部
心停止後症候群患者の高次脳機能障害と転帰
村瀬完太[1],犬飼晃見[1],田中まゆ[1],堀池瑞季[1],永縄優里菜[1],中野弘喜[1],水谷友紀[1],西川大樹[1],中山靖雄[1],**都築通孝**
1:リハビリテーション科部
第 48 回日本赤十字リハビリテーション協会学術集会 2022 年 2 月 名古屋市(WEB)

救急現場における DNAR 対応への準備
花木芳洋
第 25 回日本臨床救急医学会総会・学術集会 2022 年 5 月 大阪市(WEB)

一過性に左室収縮能低下を認めたアルコール関連高乳酸アシドーシスの 1 例
都築通孝[1],上田遼太[2],森玲央那[3],開正宏[4],中井悠二[4],西川大樹[5],田辺由紀子[6],**花木芳洋[1]**
1:救急部 2:消化器内科 3:麻酔科 4:臨床工学技術課 5:リハビリテーション科部 6:看護部
日本集中治療医学会第 6 回東海北陸支部学術集会 2022 年 6 月 名古屋市(WEB)

脳卒中患者における早期栄養介入管理の効果
林衛[1],和田健太郎[2],伴野広幸[1],**都築通孝**[3]
1:栄養課 2:脳神経外科 3:集中治療部
第 58 回日本赤十字社医学会総会 2022 年 10 月 旭川市

重症 COVID-19 肺炎の気管挿管・人工呼吸管理と高流量鼻カニュラ酸素療法または酸素マスクによる管理の比較
都築通孝[1],森玲央那[2],服部哲幸[3],開正宏[4],中井悠二[4],西川大樹[5],林衛[6],田辺由紀子[7],山北理恵[7],**花木芳洋**[1]
1:救急部 2:麻酔科 3:薬剤部 4:臨床工学技術課 5:リハビリテーション科部 6:栄養課 7:看護部
第 50 回日本救急医学会総会・学術集会 2022 年 10 月 東京都(WEB)

COPD に ARDS を合併し人工呼吸管理にて救命した 1 例
吉田齣,花木芳洋,都築通孝
第 25 回日本救急医学会総会・学術集会 2022 年 11 月 一宮市

尿生化学検査が対応に有用であった低ナトリウム血症を伴う III 度熱中症の 1 例
都築通孝,花木芳洋

第 25 回日本救急医学会総会・学術集会　2022 年 11 月　一宮市

健診部

純アルコール量パンフレットを用いた保健指導の効果検証

荒木綾子[1],村上らん[1],加納典子[1],鵜飼美由紀[1],**渡邊保子**

1:看護部

第 63 回日本人間ドック学会学術大会　2022 年 9 月　千葉市

薬剤部

重症 COVID-19 肺炎の気管挿管・人工呼吸管理と高流量鼻カニュラ酸素療法または酸素マスクによる管理の比較

都築通孝[1],森玲央那[2],**服部哲幸**[3],開正宏[4],中井悠二[4],西川大樹[5],林衛[6],田辺由紀子[7],山北理恵[7],花木芳洋[1]

1:救急部　2:麻酔科　3:薬剤部　4:臨床工学技術課　5:リハビリテーション科部　6:栄養課　7:看護部

第 50 回日本救急医学会総会・学術集会　2022 年 10 月　東京都(WEB)

新型コロナウイルスワクチン接種支援における病院薬剤師と保険薬局薬剤師の共同地域連携をした役割について

野村浩夫[1,2,4,5], 向山直樹[1], 成瀬徳彦[1], 水野恵司[1], 野村真理[2,4,5], 玉水誠[4], 深谷清次[4], 岩月進[5], 木村和哲[3], 横山俊彦[6], 水野公雄[7], 春田純一[8], 錦見尚道[9]

1:薬剤部　2:野村薬局　3:名古屋市立大学医学部附属病院　薬剤部　4:名古屋市薬剤師会　5:愛知県薬剤師会　6:呼吸器内科　7:産婦人科/副院長　8:消化器内科/副院長　9:血管外科/院長

日本薬学会第 142 年会　2022 年 3 月　WEB

在宅治療を目指し小児患者にベネトクラクスの投与に工夫をした一症例

小山佐知子[1], 向山直樹[1], 林博子[2], 北澤宏展[3], 吉田奈央[3], 濱麻人[3], **水野恵司**[1]

1:薬剤部　2:看護部　3:小児科

第 15 回日本緩和医療薬学会年会　2022 年 5 月　WEB

当院救急外来および初療室における中毒症例の患者背景調査

竹内晴美, 向山直樹

第 25 回日本臨床救急医学会総会・学術集会　2022 年 5 月　大阪市(WEB)

認知症における地域連携・包括ケアシステムの活用をした臨床代謝栄養(腎疾患)専門薬剤師取得者の活動報告

野村浩夫

第 37 回日本臨床栄養代謝学会学術集会　2022 年 5 月　横浜市(WEB)

入院外来支援における急性合併症(低血糖)に対する NST 専門薬剤師の挑戦

野村浩夫[1],山本侑佳[1],服部哲幸[1],櫛原朋恵[1],櫛原秀之[1],清田篤志[2],吉岡裕一郎[3],春田純一[4]

1:薬剤部　2:内分泌内科　3:一般消化器外科　4:消化器内科

第 16 回日本臨床栄養代謝学会中部支部学術集会　2022 年 8 月　富山市(WEB)

入院外来治療支援における糖尿病・抗血栓薬・抗がん剤などハイリスク薬に対する薬剤師の役割について

野村浩夫

第 32 回日本医療薬学会年会　2022 年 9 月　高崎市(WEB)

タゾバクタム/ピペラシリンの腎障害発現頻度とリスク因子に関する後方視的検討

向山直樹[1],伊藤亮太[2],**向山麻衣子[1],成瀬徳彦[1]**

1:薬剤部　2:感染制御部

第 32 回日本医療薬学会年会　2022 年 9 月　高崎市(WEB)

入院支援での術前中止薬忘れ防止の薬剤師業務の構築と評価

山田一尊,樋口直美,山本侑佳,石川惣一,野村浩夫,向山直樹,成瀬徳彦

第 58 回日本赤十字社医学会総会　2022 年 10 月　旭川市

小児 T 細胞性リンパ性白血病治療中に運動障害を発現した症例に対する薬剤因果関係の検討

小山佐知子[1],中尾静羽[1],向山直樹[1],北澤宏展[2],吉田奈央[2],田中雅大[2],濱麻人[2],**成瀬徳彦**[1]

1:薬剤部　2:小児科

第 49 回日本小児臨床薬理学会学術集会　2022 年 11 月　WEB

産褥期の貧血患者に対する人参養栄湯の貧血改善効果とうつ予防効果

山田千草[1],佐藤美月[1],向山直樹[1],津田弘之[2],**成瀬徳彦**[1]

1:薬剤部　2:産婦人科

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2022　2022 年 11 月　静岡市

多職種連携による術前一時中断薬再開確認～RPA(robotic process automation)導入による効率化～

櫛原秀之[1],近森清美[2],作間千夏[2],久保敦史[3],永井英雅[4],水野公雄[5],**成瀬徳彦[1]**

1:薬剤部　2:看護部　3:事務部　4:一般消化器外科　5:産婦人科

第 16 回日本医療マネジメント学会愛知県支部学術集会　2022 年 12 月　名古屋市

臨床工学技術課

循環補助装置の仕組みと構造

開正宏

日本集中治療医学会 ICU セミナーJSICM 看護教育委員会　2022 年 2 月　WEB

自己血回収装置の吸引装置はVAVD使用時に吸引源が喪失した際の予備吸引源として使用できるかの検証
西野遥平,蜂須賀章友,中井悠二,山口さよ子,近澤美雪,山鹿彰,開正宏
第44回日本体外循環技術医学会東海地方会 2022年2月 一宮市(WEB)

クローズドループ制御を行うASVや発展系であるINTELLiVENT-ASVによる人工呼吸器管理はタスクシフト・シェアにつながる シンポジウム形式
開正宏
HAMILTON Users Meeting in 中部 2022年2月 名古屋市(WEB)

多機能な血行動態モニタを使いこなしたい！ 講演
開正宏
臨床モニタ研究会東海北陸2022 2022年4月 WEB

人工呼吸管理のタスクシフト・シェアもNew Normalの時代 ―機械の得意は機械に任せる！― 講演
開正宏
第16回石川県臨床工学会 2022年5月 金沢市(WEB)

人工呼吸器の周辺機器にもコダワリを持ちたい 講演
開正宏
第29回東京都臨床工学会 2022年6月 東京都

内視鏡MICSを開始して12年が過ぎました 経験してきたこと取り組んでいることをお伝えしたい 講演
開正宏
東海北陸MICS体外循環webセミナー 2022年6月 WEB

植込みデバイス患者のMRI撮像に対する当院の取り組み―電子カルテの院内グループメールを用いた見落としのない運用―
大塚規博,瀧本さち,兼浦未帆,飯島洸,開正宏
第18回愛知県臨床工学技士会学術大会 2022年6月 名古屋市

一過性に左室収縮能低下を認めたアルコール関連高乳酸アシドーシスの1例
都築通孝[1],上田遼太[2],森玲央那[3],**開正宏[4],中井悠二**[4],西川大樹[5],田辺由紀子[6],花木芳洋[1]
1:救急部 2:消化器内科 3:麻酔科 4:臨床工学技術課 5:リハビリテーション科部 6:看護部
日本集中治療医学会第6回東海北陸支部学術集会 2022年6月 名古屋市(WEB)

NIRS(近赤外線分光法)の知識と活用方法 講演
開正宏
Nakanihon Hemodynamic Seminar 2022年7月 名古屋市

大腿静脈一本脱血による低侵襲心臓手術 パネルディスカッション
蜂須賀章友[1],細羽創宇[2],伊藤敏明[2],**開正宏**[1]
1:臨床工学科 2:心臓血管外科
第6回日本低侵襲心臓手術学会 2022年7月 福島市

人工心肺中におけるマイクロバブルを測定して分かったこと
西野遥平,蜂須賀章友,中井悠二,奈良さよ子,白鳥頌紘,山鹿彰,開正宏
第28回東海胸部人工臓器カンファレンス 2022年7月 豊明市(WEB)

心臓手術周術期や補助循環にNO療法を用いる 講演
開正宏[1],伊藤敏明[2]
1:臨床工学科 2:心臓血管外科
NO Seminar 2022年7月 名古屋市

災害時における自施設NICUの多職種連携
落合友彌
日本新生児看護学会中部地方会 第2回OYAKO井学習会 WEB

循環補助装置の仕組みと構造 セミナー
開正宏
日本集中治療医学会 ICUセミナーJSICM看護教育委員会 2022年9月 WEB

V-A ECMOの管理上の問題点・管理の実際 講演
開正宏
第6回東海補助循環の会 2022年9月 名古屋市(WEB)

MICSにおける心筋保護法を安全の観点から考える―初回時のみModhified delNidoにした経過も含めて― シンポジウム
開正宏
第3回日本心筋保護研究会学術大会 2022年9月 東京都(WEB)

重症COVID-19肺炎の気管挿管・人工呼吸管理と高流量鼻カニュラ酸素療法または酸素マスクによる管理の比較
都築通孝[1],森玲央那[2],服部哲幸[3],**開正宏[4],中井悠二**[4],西川大樹[5],林衛[6],田辺由紀子[7],山北理恵[7],花木芳洋[1]
1:救急部 2:麻酔科 3:薬剤部 4:臨床工学技術課 5:リハビリテーション科部 6:栄養課 7:看護部

第 50 回日本救急医学会総会・学術集会　2022 年 10 月　東京都(WEB)

「臨床工学技士の業務拡大追加に伴う厚生労働大臣指定による研修」の受講に伴う医師からのタスクシフト/シェアについて　本社企画セッション
開正宏
第 58 回日本赤十字社医学会総会　2022 年 10 月　旭川市

医療安全終わりなき戦い　想定外の出来事を想定内にするための医療安全に役立つシンポジウム-(Part4)
開正宏
第 58 回日本赤十字社医学会総会　2022 年 10 月　旭川市

植込みデバイス交換時に製品番号が重複し遠隔導入が延期された一事例
兼浦未帆,瀧本さち,大塚規博,堂園大輔,開正宏,山鹿彰
第 58 回日本赤十字社医学会総会　2022 年 10 月　旭川市

MICS 特有の体外循環にまつわるトラブルとその対応方法を共有する　パネルディスカッション
開正宏[1],細羽創宇[2],伊藤敏明[2]
1:臨床工学科　2:心臓血管外科
第 75 回日本胸部外科学会定期学術集会　2022 年 10 月　横浜市(WEB)

MACT の活動とアラーム対応　講義および 1 日講師
開正宏
長野県看護協会主催　多職種合同研修　2022 年 10 月　松本市

完全内視鏡下心臓手術での内視鏡保持業務を経験して
白鳥頌紘,蜂須賀章友,奈良さよ子,中井悠二,落合友彌,西野遥平,山本綾馬,開正宏
第 22 回中部臨床工学会　2022 年 10 月　名古屋市

臨床工学技士からみた中部の医工連携
蜂須賀章友
第 22 回中部臨床工学会　2022 年 10 月　名古屋市

人工呼吸器のモードを学ぶ　講義
中井悠二
第 32 回日本呼吸ケアリハビリテーション学会第 9 回呼吸ケアスキルアップセミナー　2022 年 11 月　WEB

血液併用心筋保護を再考する　基礎セッション
蜂須賀章友
第 47 回日本体外循環技術医学会学術大会　2022 年 11 月　福岡市(WEB)

右腋窩小切開アプローチによる MICS-AVR は体外循環方法にも工夫がいる　シンポジウム
開正宏
第 47 回日本体外循環技術医学会学術大会　2022 年 11 月　福岡市(WEB)

論文を査読する側・される側―「学術刊行誌の作り方」も「査読の仕方」も教科書はない―　学術セッション
開正宏
第 47 回日本体外循環技術医学会学術大会　2022 年 11 月　福岡市(WEB)

「ASV(intellivent を含む)を ICU で使い倒す」　講演
開正宏
福岡県臨床工学技士会令和 4 年度第 3 回集中治療共催 WEB セミナー　2022 年 12 月　WEB

生体情報モニタ送信機の管理について　パネルディスカッション
山鹿彰
第 12 回日本赤十字社臨床工学技士会中部ブロック研修会　2022 年 12 月　富山市

栄養課

管理栄養士による,食餌性腸閉塞症例本邦報告 105 例の検討
荒川登紀子[1],**伴野広幸**[1],湯浅典博[2]
1:栄養課　2:一般消化器外科
第 23 回・第 24 回　日本病態栄養学会年次学術集会　2022 年 1 月　京都市(WEB)

必要栄養量を大幅に上回る栄養投与により,褥瘡・栄養状態が改善した 1 例
荒川登紀子[1],菱田雅之[2]
1:栄養課　2:形成外科
第 17 回日本褥瘡学会中部地方会年次学術集会　2022 年 6 月　名古屋市

Recent Initiatives in Acute Hospitals in Japan
Banno H
8th Asian Congress of Dietetics　2022 年 8 月　Yokohama, Japan(WEB)

管理栄養士の病棟業務と医師・看護師の業務支援効果の検討
伴野広幸[1],林衛[1],鈴木克麻[2],藤原太樹[3],金井一人[4],武祥子[5],田口佳和[6],石川史明[5],畠山桂吾[7],阿部克幸[3],山邊志都子[5],原純也[2]
1:日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院　栄養課　2:武蔵野赤十字病院　栄養課　3:前橋赤十字病院　栄養課　4:飯山赤十字病院　栄養課　5:日本赤十字社医療センター栄養課　6:長岡赤十字病院　栄養課　7:日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院　栄養課
第 58 回日本赤十字社医学会総会　2022 年 10 月　旭川市

脳卒中患者における早期栄養介入管理の効果
林衛[1],和田健太郎[2],**伴野広幸**[1],都築通孝[3]
1:栄養課　2:脳神経外科　3:集中治療部
第 58 回日本赤十字社医学会総会　2022 年 10 月　旭川市

重症 COVID-19 肺炎の気管挿管・人工呼吸管理と高流量鼻カニュラ酸素療法または酸素マスクによる管理の比較
都築通孝[1],森玲央那[2],服部哲幸[3],開正宏[4],中井悠二[4],西川大樹[5],**林衛**[6],田辺由紀子[7],山北理恵[7],花木芳洋[1]
1:救急部　2:麻酔科　3:薬剤部　4:臨床工学技術課　5:リハビリテーション科部　6:栄養課　7:看護部
第 50 回日本救急医学会総会・学術集会　2022 年 10 月　東京都(WEB)

検査部、輸血部

Spectra Optia による末梢血幹細胞採取に おけるドナー 負担の 検討- AS104 と比較して-
山田雄一郎,村上和代,檜本和美,池口美代子,二村亜子,古賀一輝,郡司昌治,湯浅典博,小澤幸泰
第 44 回　日本造血・免疫細胞療法学会総会　2022 年 5 月　横浜市

看護部

脳卒中再発予防指導における多職種連携
井内豊子[1],三谷祐史[2]
1:看護部　2:リハビリテーション科
第 47 回日本脳卒中学会　2022 年 3 月　大阪市(WEB)

在宅治療を目指し小児患者にベネトクラクスの投与に工夫をした一症例
小山佐知子[1], 向山直樹[1], **林博子[2]**, 北澤宏展[3], 吉田奈央[3], 濱麻人[3], 水野恵司[1]
1:薬剤部　2:看護部　3:小児科
第 15 回日本緩和医療薬学会年会　2022 年 5 月　WEB

一過性に左室収縮能低下を認めたアルコール関連高乳酸アシドーシスの 1 例
都築通孝[1],上田遼太[2],森玲央那[3],開正宏[4],中井悠二[4],西川大樹[5],**田辺由紀子**[6],花木芳洋[1]
1:救急部　2:消化器内科　3:麻酔科　4:臨床工学技術課　5:リハビリテーション科部　6:看護部
日本集中治療医学会第 6 回東海北陸支部学術集会　2022 年 6 月　名古屋市(WEB)

主任看護師が就任後に役割認識が変化し成長につながったと捉える看護管理経験
大島和美,森田恵美子[1],宇城令[1],賀沢弥貴[1],
1:愛知県立大学大学院看護学研究科
第 26 回日本看護管理学会学術集会　2022 年 8 月　福岡市

純アルコール量パンフレットを用いた保健指導の効果検証
荒木綾子,村上らん,加納典子,鵜飼美由紀,渡邉保子[1]
1:健診部
第 63 回日本人間ドック学会学術大会　2022 年 9 月　千葉市

当院の摂食嚥下障害ケアチームの活動報告第二報　―言語聴覚士の立場から―
犬飼晃見[1],**坂口真那美[2],高橋操**[2],犬飼桂子[3],浅見真未[3],日比野朋美[3]
1:リハビリテーション科　2:看護部　3:歯科
第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会　2022 年 9 月　千葉市

COVID-19 流行中の助産師によるオンラインでの妊婦への支援
小池美有,牛島佳代[1],大原良子[1]
1:愛知県立大学看護学部
第 63 回日本母性衛生学会総会・学術集会　2022 年 9 月　神戸市

重症 COVID-19 肺炎の気管挿管・人工呼吸管理と高流量鼻カニュラ酸素療法または酸素マスクによる管理の比較
都築通孝[1],森玲央那[2],服部哲幸[3],開正宏[4],中井悠二[4],西川大樹[5],林衛[6],**田辺由紀子[7],山北理恵[7]**,花木芳洋[1]
1:救急部　2:麻酔科　3:薬剤部　4:臨床工学技術課　5:リハビリテーション科部　6:栄養課　7:看護部
第 50 回日本救急医学会総会・学術集会　2022 年 10 月　東京都(WEB)

周術期におけるフットポンプの継続使用システムの有用性
近森清美
第 58 回日本赤十字社医学会総会　2022 年 10 月　旭川市

共有化した患者情報に基づいた入退院支援の連携-PFM の看護実践報告-
作間千夏,加藤美也子,榎本伸一,花木芳洋
第 58 回日本赤十字社医学会総会　2022 年 10 月　旭川市

当院における RRS（院内迅速対応システム）の 24 時間体制への再構築
柚木さよ
第 58 回日本赤十字社医学会総会　2022 年 10 月　旭川市

「救急搬送患者・家族の意思決定支援」−実践した看護を可視化する取り組み−
中村剛士,大鐘隆宏
第 58 回日本赤十字社医学会総会　2022 年 10 月　旭川市

術後後悔しないためのセルフケア援助～瘢痕形成予防に取り組んで～
藤井風花,伊藤真粧美,青山昌子,糸山久恵
第 58 回日本赤十字社医学会総会　2022 年 10 月　旭川市

静脈血栓症リスク評価に関するシステム構築
近森清美 [1],水野公雄 [2]
1:看護部　2:産婦人科
第 17 回医療の質・安全学会学術集会　2022 年 11 月　神戸市

当院の無痛分娩立ち上げについて
手塚敦子 [1],中村拓斗 [1],伊藤由美子 [1],津田弘之 [1],**鈴木明日香** [2],横田修一 [3]
1:産婦人科　2:看護部　3:麻酔科
第 126 回産科麻酔科学会学術集会　2022 年 11 月　浜松市

術前患者に皮膚水分率測定器を使用した手術室看護師のスキンテアリスクアセスメントが予防対策に及ぼす影響
二宮結花
第 36 回日本手術看護学会年次大会　2022 年 11 月　名古屋市

新生児領域におけるタスク・シフト/シェアの課題
平岩美緒
第 31 回日本新生児看護学会学術集会　2022 年 11 月　横浜市

多職種連携による術前一時中断薬再開確認～RPA（robotic process automation）導入による効率化～
櫛原秀之 [1],**近森清美** [2],**作間千夏** [2],久保敦史 [3],永井英雅 [4],水野公雄 [5],成瀬徳彦 [1]
1:薬剤部　2:看護部　3:事務部　4:一般消化器外科　5:産婦人科
第 16 回日本医療マネジメント学会愛知県支部学術集会　2022 年 12 月　名古屋市

COVID-19 の経験がもたらした看護の力～次世代看護職へのメッセージ～
大島和美,岡田恵子 [1],髙井亜希 [2]
1:名古屋市中保健センター保健予防課長　2:藤田医科大学病院副看護部長
第 38 回愛知県看護学会　2022 年 12 月　名古屋市

Ⅱ．業　　績

４．学術講演等記録

令和４年１月～令和４年 12 月

４．学術講演等記録

令和４年　講習会・講演会・研修会等

日　付	種類・テーマ	講　師	主　催
1/11	令和３年度医療安全講演会「侵襲的処置に対する鎮静　～患者に安全な鎮静環境を院内で構築するために～」	ひだか病院 麻酔科部長 羽場政法	医療安全推進室
1/31	総合医局学術講演会 「COVID-19アップデート」	藤田医科大学病院 感染症科 土井洋平	総合医局
2/14	NSTとは　～栄養管理手順について～	内分泌内科副部長 清田篤志 栄養課長職務代理 伴野広幸	栄養サポートチーム
6/18	第10回　ICLS指導者講習　Work Shop		医事業務管理課 救命救急業務係
7/1 ～7/29	〈E-ラーニング〉 令和４年度第１回 医療安全研修会	一般・消化器外科第二部長 永井英雅 集中治療部長 都築通孝	医療安全推進室
7/1 ～7/29	〈E-ラーニング〉 令和４年度第１回 感染対策研修会	感染制御部長 伊藤亮太	感染対策委員会
7/13	BLSインストラクター養成講座	副院長 花木芳洋、救急部	救急部、医事業務管理課
7/14	医療廃棄物研修会		医療廃棄物管理委員会
7/14	AED講習会	副院長 花木芳洋、看護師、コメディカル他	医事業務管理課 救命救急業務係
7/21	AED実技講習会	副院長 花木芳洋、看護師、コメディカル他	医事業務管理課 救命救急業務係
8/31	第１回排尿ケア研修会		排尿ケアチーム
8/31	令和４年度　安全衛生教育講演会	外部講師	安全衛生委員会 メンタルヘルス相談室
10/11	緩和ケア地域学術講演会「誰のための、何のためのACPなのか？」	慶應義塾大学医学部 衛生学公衆衛生教室 一般社団法人 コミュニティヘルス研究機構 山岸暁美	
11/4 ～11/30	〈E-ラーニング〉 令和４年度第２回 医療安全研修会	東６階病棟 看護師 山北利恵 検査部 課長 西山秀樹	医療安全推進室
11/4 ～11/30	〈E-ラーニング〉 令和４年度第２回 感染対策研修会	検査部 臨床検査技師 服部拓哉	感染対策委員会
11/29	総合医局学術講演会「救急診療の仕組み及びコロナ禍での当院の救急医療の現状」	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 第一救急科部長 兼 救命救急センター長 稲田眞治	総合医局
11/30	第２回排尿ケア研修会		排尿ケアチーム
12/9	令和４年度保険診療委員会講演会	保険診療委員会 委員長 尾﨑信暁	保険診療委員会

令和４年　その他

日　付	種類・テーマ	講　師	主　催
2/26	第87回　ICLSなかむら	副院長 花木芳洋、救急部長 都築通孝 救急認定看護師他	医事業務管理課 救命救急業務係
4/23	第88回　ICLSなかむら	副院長 花木芳洋、救急部長 都築通孝 救急認定看護師他	医事業務管理課 救命救急業務係
4/24	第89回　ICLSなかむら	副院長 花木芳洋、救急部長 都築通孝 救急認定看護師他	医事業務管理課 救命救急業務係
4/27～	<E-ラーニング> NST勉強会「NSTとは」「栄養管理手順について」		栄養サポートチーム
5/9	令和４年度第１回NST勉強会「栄養評価法について」		栄養サポートチーム
6/2	令和４年度褥瘡勉強会「スキンケアナースの役割」「褥瘡診療予防計画書の記入法」		褥瘡対策チーム
6/15 ～7/30	<E-ラーニング> 令和４年度第１回褥瘡勉強会「褥瘡評価DESIGN-R®2020について」「褥瘡計画書改訂　記入変更について」		褥瘡対策チーム
6/19	第90回　ICLSなかむら	副院長 花木芳洋、救急部長 都築通孝 救急認定看護師他	医事業務管理課 救命救急業務係
6/21	第１回RST勉強会　酸素療法の基本とデバイス		呼吸器・モニター管理チーム
7/11	令和４年度第２回NST勉強会 「静脈栄養法について」		栄養サポートチーム
7/11 ～8/31	<E-ラーニング> 令和４年度第２回褥瘡勉強会「褥瘡と間違えやすい皮膚疾患・下腿潰瘍」「褥瘡に使用する薬剤について」「スキンテア・MDRPUの予防法」		褥瘡対策チーム
7/12	第２回RST勉強会　人工呼吸器の基本	第一呼吸器内科部長 横山俊彦	呼吸器・モニター管理チーム
7/28	令和４年度　緩和ケアチームACP勉強会 「もしバナゲームをしてみませんか？」		緩和ケアチーム 緩和ケア運営委員会
8/9	第３回RST勉強会　人工呼吸器の構造（NKV-500）、人工呼吸器グラフィックモニタ	臨床工学技術課 中井悠二 医療技術部 技師長 開正宏	呼吸器・モニター管理チーム
8/26	令和４年度　緩和ケアチームACP勉強会 「もしバナゲームをしてみませんか？」		緩和ケアチーム 緩和ケア運営委員会
8/29	令和４年度　緩和ケアチームACP勉強会 「もしバナゲームをしてみませんか？」		緩和ケアチーム 緩和ケア運営委員会
9/1 ～10/20	<E-ラーニング> 令和４年度第３回褥瘡勉強会「褥瘡と栄養について」 「創傷処置（D3以上の深い褥瘡・スキンテア・MDRPU）」		褥瘡対策チーム
9/12	令和４年度第３回NST勉強会「経腸栄養のトラブル対策について」		栄養サポートチーム
9/13	第４回RST勉強会　呼吸音の聴取について、人工呼吸器のトラブルシューティング	慢性呼吸疾患看護認定看護師 山北利恵 医療技術部 技師長 開正宏	呼吸器・モニター管理チーム
9/14	令和４年度　緩和ケアチームACP勉強会 「もしバナゲームをしてみませんか？」		緩和ケアチーム 緩和ケア運営委員会
9/18	第91回　ICLSなかむら	副院長 花木芳洋、救急部長 都築通孝 救急認定看護師他	救命救急業務係
9/29	第１回認知症の基礎講座		認知症ケアチーム
9/30	令和４年度　緩和ケアチームACP勉強会 「もしバナゲームをしてみませんか？」		緩和ケアチーム 緩和ケア運営委員会
10/17	令和４年度第４回NST勉強会「創傷治癒と栄養について」		栄養サポートチーム
10/18	第５回RST勉強会　人工呼吸器装着中の看護、VAP予防と口腔ケア		呼吸器・モニター管理チーム

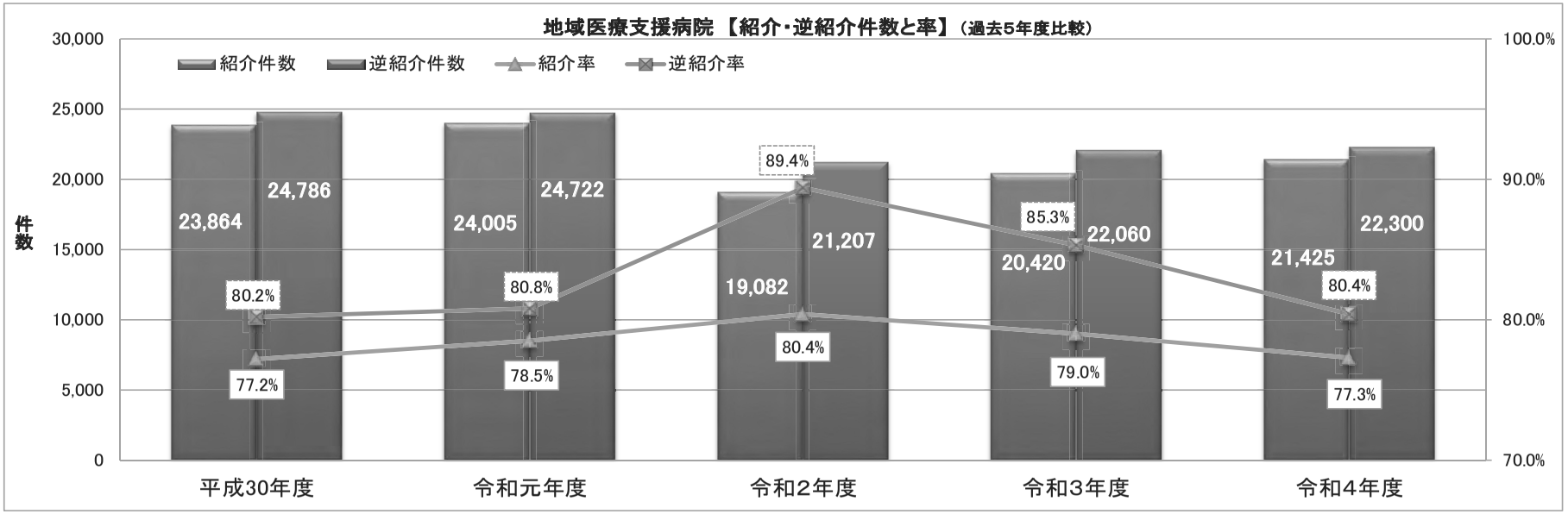
日　付	種類・テーマ	講　師	主　催
10/21 ～11/30	〈E-ラーニング〉 令和４年度第４回褥瘡勉強会「創傷被覆剤選択について」「エアマットレスからの離床」「在宅に向けての社会的資源」		褥瘡対策チーム
10/27	第２回認知症の基礎講座		認知症ケアチーム
10/28	令和４年度　緩和ケアチームACP勉強会 「もしバナゲームをしてみませんか？」		緩和ケアチーム 緩和ケア運営委員会
11/1	第６回RST勉強会　呼吸リハビリ	理学療法士/呼吸療法認定士 中村和司・西川大樹	呼吸器・モニター管理チーム
11/14	令和４年度第５回NST勉強会「がん悪液質について」		栄養サポートチーム
11/19	第92回　ICLSなかむら	副院長 花木芳洋、救急部長 都築通孝 救急認定看護師他	救命救急業務係
12/6	第７回RST勉強会　NPPVとV60＊講義 （マスクフィッティング・操作方法など）		呼吸器・モニター管理チーム
12/15	第３回認知症の基礎講座	総合診療科 宮川慶	認知症ケアチーム

※　部署名・役職等は開催当時のもの

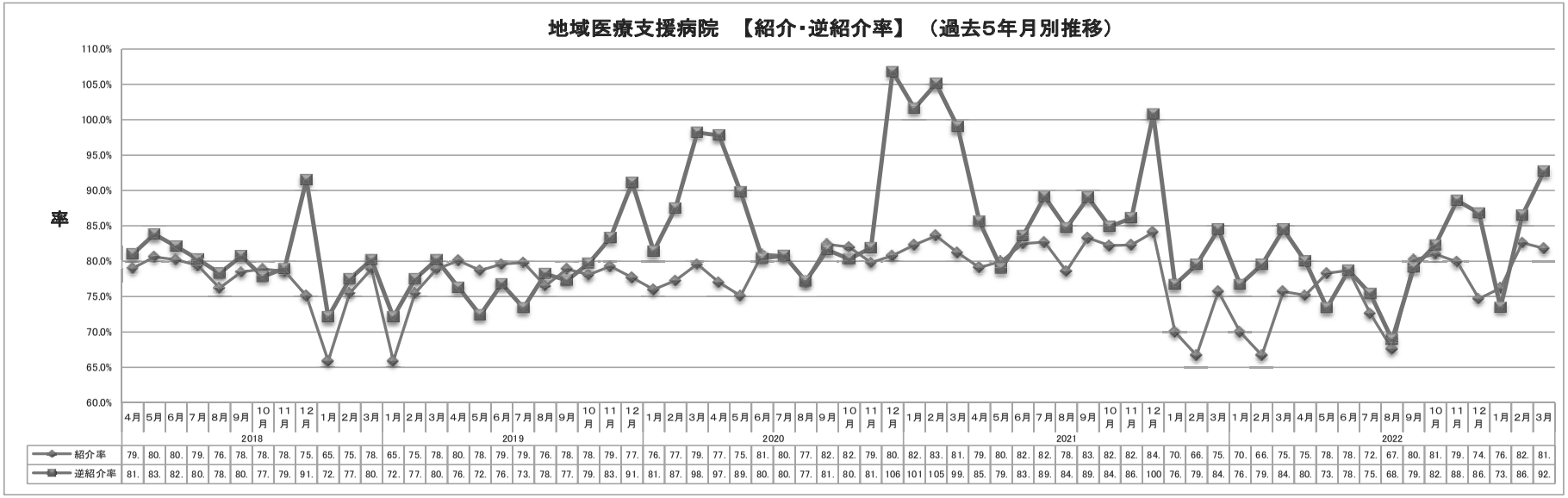
Ⅲ. 医 療 社 会 事 業 部

１．地域医療連携室

（１）地域医療支援病院【紹介・逆紹介件数と率（年度別推移）】

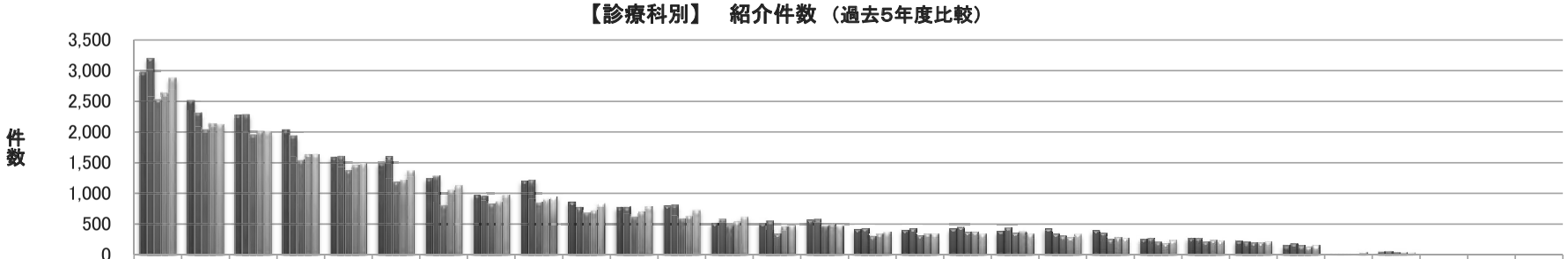


（２）地域医療支援病院【紹介率・逆紹介率（年度月別推移）】



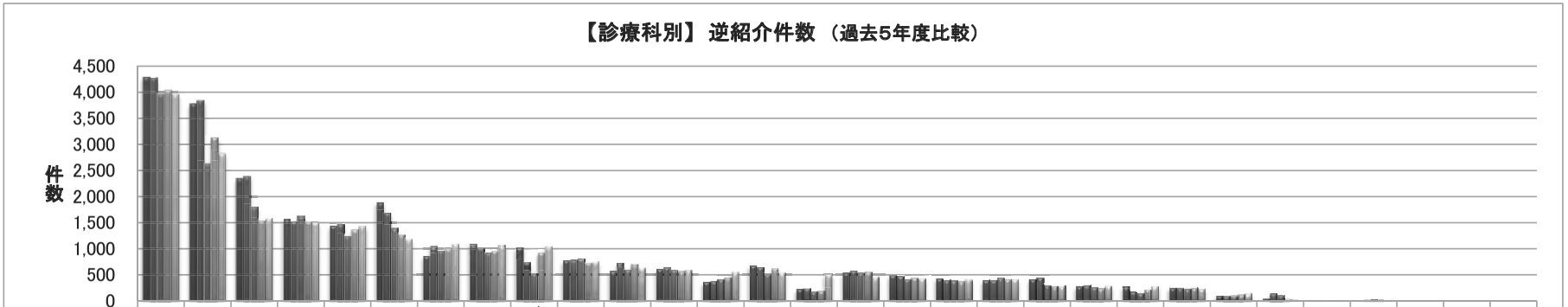
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
紹介率	79.	80.	80.	79.	76.	78.	78.	78.	75.	65.	75.	78.	65.	75.	78.	80.	78.	79.	79.	76.	78.	78.	79.	77.	76.	77.	79.	77.	75.	81.	80.	77.	82.	82.	79.	80.	82.	83.	81.	79.	80.	82.	82.	78.	83.	82.	82.	84.	70.	66.	75.	70.	66.	75.	75.	78.	78.	72.	67.	80.	81.	79.	74.	76.	82.	81.
逆紹介率	81.	83.	82.	80.	78.	80.	77.	79.	91.	72.	77.	80.	72.	77.	80.	76.	72.	76.	73.	78.	77.	79.	83.	91.	81.	87.	98.	97.	89.	80.	80.	77.	81.	80.	81.	106	101	105	99.	85.	79.	83.	89.	84.	89.	84.	86.	100	76.	79.	84.	76.	79.	84.	80.	73.	78.	75.	68.	79.	82.	88.	86.	73.	86.	92.

（３）【診療科別】紹介件数（過去５年度比較）



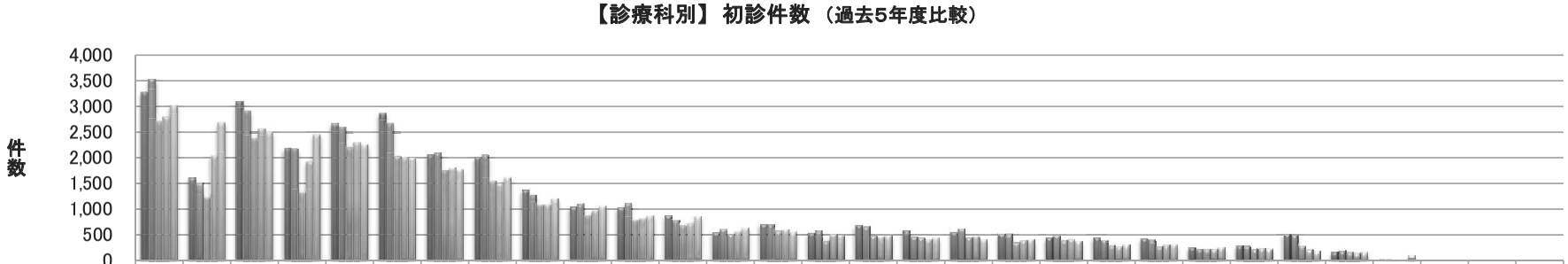
	歯科口腔外科	消化器内科	産婦人科	整形外科	循環器内科	耳鼻咽喉科	小児科	脳神経内科	呼吸器内科	放射線科	泌尿器科	皮膚科	乳腺外科	女性泌尿器科	内分泌内科	一般消化器外科	脳神経外科	血液内科	形成外科	眼科	血管外科	腎臓内科	小児外科	心臓血管外科	呼吸器外科	総合診療科	内　科	精神科	化学療法内科	リハビリ科
H30年度	2,973	2,518	2,278	2,037	1,599	1,498	1,247	978	1,207	867	777	802	520	512	578	418	413	425	389	427	397	256	279	234	158	14	60	3	0	0
R元年度	3,198	2,306	2,283	1,936	1,612	1,601	1,284	960	1,221	781	785	813	581	552	586	436	432	454	447	345	361	276	278	213	191	17	56	0	0	0
R2年度	2,527	2,038	1,958	1,548	1,377	1,195	811	836	857	681	624	590	477	343	475	307	312	368	352	308	254	208	222	203	155	14	40	2	0	0
R3年度	2,638	2,134	2,014	1,643	1,471	1,226	1,054	872	910	727	705	635	545	467	508	343	343	381	388	287	282	197	246	210	142	5	44	3	0	0
R4年度	2,882	2,123	2,006	1,643	1,496	1,371	1,129	978	949	846	783	733	620	476	471	370	341	337	337	337	278	239	229	217	158	42	33	1	0	0

（４）【診療科別】逆紹介件数（過去５年度比較）



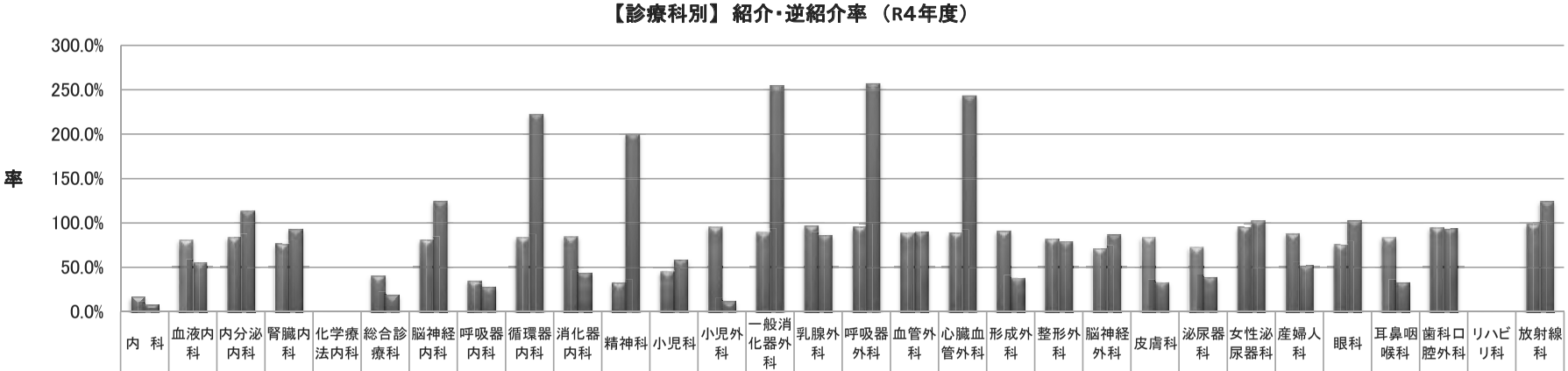
	循環器内科	歯科口腔外科	整形外科	脳神経内科	小児科	産婦人科	消化器内科	放射線科	一般消化器外科	呼吸器内科	内分泌内科	心臓血管外科	乳腺外科	耳鼻咽喉科	女性泌尿器科	眼科	呼吸器外科	脳神経外科	泌尿器科	腎臓内科	皮膚科	血管外科	血液内科	形成外科	小児外科	総合診療科	内　科	精神科	化学療法内科	リハビリ科
H30年度	4,286	3,784	2,349	1,570	1,439	1,896	857	1,086	1,022	773	570	614	364	678	222	537	492	436	405	416	284	272	257	96	44	17	18	2	0	0
R元年度	4,264	3,841	2,389	1,525	1,471	1,688	1,048	1,017	739	785	725	647	379	646	237	580	472	401	396	447	309	185	249	96	145	12	26	3	0	0
R2年度	3,964	2,632	1,809	1,633	1,237	1,408	964	925	529	816	598	596	421	504	176	546	409	387	439	297	269	147	234	105	117	7	31	7	0	0
R3年度	4,045	3,127	1,543	1,526	1,367	1,273	1,002	965	924	732	707	574	450	618	197	557	443	377	414	281	247	222	256	130	39	7	29	8	0	0
R4年度	3,962	2,837	1,583	1,501	1,433	1,185	1,092	1,066	1,042	754	639	594	554	540	512	456	424	417	410	291	288	280	229	139	28	20	16	6	2	0

（５）【診療科別】初診件数（過去５年度比較）



	歯科口腔外科	呼吸器内科	消化器内科	小児科	産婦人科	整形外科	循環器内科	耳鼻咽喉科	脳神経内科	泌尿器科	皮膚科	放射線科	乳腺外科	内分泌内科	女性泌尿器科	脳神経外科	眼科	血液内科	一般消化器外科	形成外科	腎臓内科	血管外科	心臓血管外科	小児外科	内科	呼吸器外科	総合診療科	精神科	化学療法内科	リハビリ科
H30年度	3,281	1,609	3,096	2,194	2,669	2,867	2,064	2,013	1,376	1,053	1,038	873	544	714	539	691	590	561	520	445	438	433	251	295	513	176	24	7	1	0
R元年度	3,529	1,517	2,913	2,174	2,595	2,672	2,096	2,061	1,278	1,113	1,122	789	614	710	590	666	462	621	526	485	396	404	221	289	499	199	22	2	0	0
R2年度	2,709	1,230	2,377	1,323	2,218	2,037	1,748	1,553	1,084	873	791	685	511	586	380	484	442	440	354	388	300	282	220	233	284	167	17	3	2	0
R3年度	2,801	2,051	2,565	1,938	2,295	2,013	1,817	1,488	1,094	986	828	729	573	601	511	455	406	468	391	415	269	308	217	250	221	147	5	4	0	0
R4年度	3,023	2,686	2,506	2,453	2,263	2,001	1,782	1,629	1,199	1,067	871	857	640	559	498	479	443	413	409	368	311	310	244	238	190	165	103	3	0	0

（６）【診療科別】紹介・逆紹介率（Ｒ４年度）

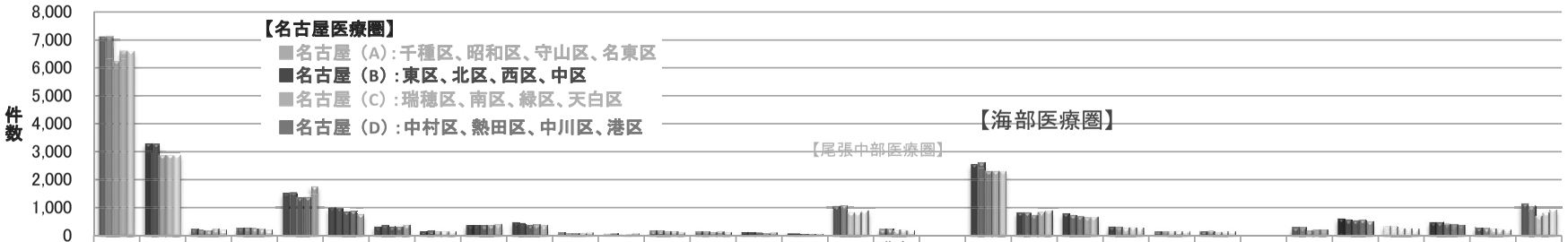


	内科	血液内科	内分泌内科	腎臓内科	化学療法内科	総合診療科	脳神経内科	呼吸器内科	循環器内科	消化器内科	精神科	小児科	小児外科	一般消化器外科	乳腺外科	呼吸器外科	血管外科	心臓血管外科	形成外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	女性泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	歯科口腔外科	リハビリ科	放射線科
紹介率	17.3%	81.5%	84.2%	76.8%	0.0%	40.7%	81.5%	35.3%	83.9%	84.7%	33.3%	46.0%	96.2%	90.4%	96.8%	95.7%	89.6%	88.9%	91.5%	82.1%	71.1%	84.1%	73.3%	95.5%	88.6%	76.0%	84.1%	95.3%	0.0%	98.7%
逆紹介率	8.4%	55.4%	114.3%	93.5%	0.0%	19.4%	125.1%	28.0%	222.3%	43.5%	200.0%	58.4%	11.7%	254.7%	86.5%	256.9%	90.3%	243.4%	37.7%	79.1%	87.0%	33.0%	38.4%	102.8%	52.3%	102.9%	33.1%	93.8%	0.0%	124.3%

（７）【地域、医療圏別】２次医療圏別紹介元動向（過去５年度比較）

	中村区	中川区	熱田区	港区	西区	中区	北区	東区	千種区	昭和区	名東区	守山区	南区	天白区	瑞穂区	緑区	清須市	北名古屋市	豊山町	あま市	大治町	津島市	蟹江町	愛西市	弥富市	飛島村	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西東三河	県外
H30年度	7,398	3,478	222	172	1,423	1,174	358	226	315	205	95	49	148	76	95	90	915	245	3	2,504	963	754	311	177	130	8	143	490	224	271	240	962
R元年度	7,436	3,392	231	186	1,511	1,172	398	225	275	183	95	43	125	77	78	99	995	248	2	2,568	968	784	317	142	128	8	132	491	227	268	227	974
R2年度	5,951	2,800	182	170	1,146	1,027	338	226	233	134	62	26	89	71	67	50	688	194	2	2,038	755	631	253	103	146	5	96	403	162	230	213	591
R3年度	6,593	2,903	176	155	1,285	963	261	201	251	161	76	36	96	62	76	61	699	234	2	2,135	895	702	302	115	108	1	101	464	210	225	195	676
R4年度	6,944	3,115	222	161	1,342	988	252	203	281	187	91	46	105	72	70	53	801	215	1	2,312	863	672	264	137	140	6	108	458	183	200	185	748

（８）【地域、医療圏別】２次医療圏別逆紹介先動向（過去５年度比較）



	中村区	中川区	熱田区	港区	西区	中区	北区	東区	千種区	昭和区	名東区	守山区	南区	瑞穂区	緑区	天白区	清須市	北名古屋市	豊山町	あま市	大治町	津島市	蟹江町	弥富市	愛西市	飛島村	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西東三河	県外
H30年度	7,117	3,285	239	261	1,527	994	332	166	354	479	116	64	185	153	147	86	1,074	234	5	2,545	827	787	327	143	167	10	295	613	329	479	298	1,148
R元年度	7,130	3,289	209	290	1,546	969	379	171	364	427	95	73	179	144	134	79	1,093	245	7	2,627	834	747	315	144	175	5	297	574	339	490	279	1,073
R2年度	6,215	2,864	189	262	1,363	853	319	148	364	382	98	43	150	118	102	71	813	203	4	2,309	726	680	289	142	120	6	183	529	257	430	257	718
R3年度	6,614	2,865	253	239	1,383	891	329	157	372	397	97	53	149	146	92	68	812	206	5	2,313	841	650	301	169	144	2	212	576	272	403	228	821
R4年度	6,579	2,873	211	210	1,759	756	379	151	413	364	106	77	136	118	103	66	875	190	7	2,312	878	665	263	165	148	4	222	506	228	379	222	935

（９）令和４年度医療機器等の共同利用の実績

１　共同利用の実績
共同利用を行った医療機関延べ数（令和４年４月～令和５年３月）
特殊検査実績　１

検　査　項　目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内視鏡（上部消化管）	10	4	10	4	4	10	6	8	3	2	9	5	75
脳波	0	1	0	0	0	3	0	2	1	0	1	2	10
ＭＲ（頭頸部）	35	26	30	31	21	26	26	25	26	19	28	23	316
ＭＲ（躯幹）	11	11	18	9	19	6	12	11	16	6	12	10	141
ＭＲ（四肢）	11	2	5	4	3	4	2	2	4	1	2	5	45
ＣＴ（頭頸部）	5	1	6	1	4	2	3	5	3	2	5	2	39
ＣＴ（躯幹）	33	33	48	32	40	34	44	43	25	27	40	48	447
ＣＴ（四肢）	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
６４列マルチスライスＣＴ	5	6	5	7	5	4	12	2	6	2	3	7	64
ＰＥＴ－ＣＴ	4	2	3	3	8	0	4	1	3	4	5	6	43
シンチグラム	1	0	1	1	1	0	1	1	2	2	0	1	11
放射線治療	3	0	6	2	1	0	4	4	0	1	3	4	28
合　　計	118	86	132	94	107	89	115	104	89	66	108	113	1,221

開設者と直接関係のない医療機関延べ数（令和４年４月～令和５年３月）
特殊検査実績　２

検　査　項　目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内視鏡（上部消化管）	10	4	10	4	4	10	6	8	3	2	9	5	75
脳波	0	1	0	0	0	3	0	2	1	0	1	2	10
ＭＲ（頭頸部）	35	26	30	31	21	26	26	25	26	19	28	23	316
ＭＲ（躯幹）	11	11	18	9	19	6	12	11	16	6	12	10	141
ＭＲ（四肢）	11	2	5	4	3	4	2	2	4	1	2	5	45
ＣＴ（頭頸部）	5	1	6	1	4	2	3	5	3	2	5	2	39
ＣＴ（躯幹）	33	33	48	32	40	34	44	43	25	27	40	48	447
ＣＴ（四肢）	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
６４列マルチスライスＣＴ	5	6	5	7	5	4	12	2	6	2	3	7	64
ＰＥＴ－ＣＴ	4	2	3	3	8	0	4	1	3	4	5	6	43
シンチグラム	1	0	1	1	1	0	1	1	2	2	0	1	11
放射線治療	3	0	6	2	1	0	4	4	0	1	3	4	28
合　　計	118	86	132	94	107	89	115	104	89	66	108	113	1,221

２　共同利用実績（開放型病床）
共同利用による病床利用率（令和４年４月～令和５年３月）

区　　分	開放病床		利用した医師数	共同指導回数	利用率
	新入院患者数	入院患者延人数			
4月	5	28	5	0	18.7%
5月	1	2	1	0	1.3%
6月	1	9	1	0	6.0%
7月	1	9	1	0	5.8%
8月	3	11	3	0	7.1%
9月	2	16	2	0	10.7%
10月	3	23	3	0	14.8%
11月	0	3	0	0	2.0%
12月	2	13	2	0	8.4%
1月	1	2	1	0	1.3%
2月	4	29	4	0	20.7%
3月	0	0	0	0	0.0%
年間合計・年間病床利用率	23	145	23	0	7.9%
月平均	1.9	12.1	1.9	0.0	

(10) 病診連携システム学術セミナー開催状況

①医科病診連携システム学術セミナー

回　数	開　催　日　：　会　場	開　催　内　容	講師等
第　1　回	平成11年10月23日(土) 午後3時～午後4時30分 日本赤十字愛知女子短期大学 4階階段教室	狭心症をめぐって	座長：循環器科部長　大野　三良 内科側から循環器科副部長　神谷　春雄 外科側から心臓外科副部長　伊藤　敏明
第　2　回	平成12年6月24日(土) 午後2時30分～午後4時30分 名古屋第一赤十字病院 古川講堂	内視鏡　ｕｐ－ｔｏ－ｄａｔｅ 内視鏡的止血処置と内視鏡手術	司会：第二消化器科部長　日下部　篤彦 内視鏡による異物除去 消化器科医師　佐久間　晶子 主として上部消化管 第一消化器科副部長　春田　純一 主として下部消化管及び胆道系 第二消化器科副部長　山口　丈夫 診療所医師の立場から 竹田内科胃腸科クリニック　竹田　信彦　先生
第　3　回	平成13年9月29日(土) 午後3時～午後5時 名古屋第一赤十字病院 古川講堂	内視鏡　ｕｐ－ｔｏ－ｄａｔｅ 外科系各科における今日の内視鏡治療	外科、呼吸器外科、整形外科、耳鼻咽喉科、 泌尿器科、産婦人科、脳神経外科 各科から主にＶｉｄｅを中心に発表 開業医における内視鏡検査の実情 奥村胃腸科外科院長　奥村　恪郎　先生
第　4　回	平成14年9月21日(土) 午後3時～午後5時 名古屋第一赤十字病院 古川講堂	1　Ｂｒａｉｎ　ａｔｔａｃｋの時代に診療の現場から 2　診断・超音波診断の有用性 ・ＳＰＥＣＴの有用性 3　治療・外科的治療の現状 ・脳動脈瘤、脳出血の治療、 4　閉塞性脳血管障害の治療 ・リハビリテーションの効果 5　・エビデンスに基づく二次予防	司会：神経内科部長　真野　和夫 脳神経外科部長　稲尾　意秀 診断・超音波診断の有用性：神経内科　中野　智伸 ＳＰＥＣＴの有用性：神経内科　山下　史国 脳動脈の治療：脳神経外科　西沢　俊久 脳出血の治療：脳神経外科副部長　池田　浩司 閉塞性脳血管障害：脳神経外科　壁谷　隆介 リハビリテーションの効果： 鵜飼ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病院副院長　鄭　統圭　先生 神経内科副部長　後藤　洋二
第　5　回	平成15年10月25日(土) 午後3時～午後5時 名古屋第一赤十字病院 古川講堂	糖尿病 より良い全身管理を目ざして 1　診療所の立場から 2　糖尿病網膜症の実態、 内科医に期待したいこと 3　糖尿病性腎症の自然暦、現況と腎症管理の基本的視点 糖尿病性腎症以外の腎疾患をどう疑うか 4　冠動脈疾患の視点から見た糖尿病と その予防 5　末梢血管病変から見た糖尿病とその予防 6　まとめ	司会：第三内科部長　山守　育雄 糖研会Ｒ＆Ｋクリニック鬼頭内科 院長　鬼頭　柳三　先生 眼科医師　鈴木　俊光 第二内科部長代理　市田　静憲 第一循環器科副部長　佐野　宏明 第一外科副部長　山本　清人 第三内科部長　山守　育雄
第　6　回	平成16年10月23日(土) 午後3時～午後5時 名古屋第一赤十字病院 古川講堂	高血圧症-合併症を防ぐには- 1　家庭医からみた高血圧症 2　高血圧と腎障害 3　高血圧と脳血管障害 4　高血圧と心臓病 5　まとめ	司会：副院長　大野　三良 藤田内科小児科医院 院長　藤田　淳士　先生 第二内科部長　市田　静憲 脳神経外科副部長　加藤　恭三 第一循環器科副部長　佐野　宏明 副院長　大野　三良
第　7　回	平成17年10月29日(土) 午後3時～午後5時 名古屋第一赤十字病院 古川講堂	「めまい」について 1　「メニエール病とその注意点」 2　耳鼻科医の立場から 3　循環器科医の立場から 4　神経内科医の立場から 5　脳神経外科医の立場から 副題「脳腫瘍と椎骨動脈解離」 6　精神科医の立場から	司会：第一神経内科部長　真野　和夫 吉川耳鼻咽喉科 院長　吉川　兼人　先生 名古屋第一赤十字病院 耳鼻咽喉科医師　古橋　篤 名古屋第一赤十字病院 第二循環器科副部長　牧野　光恭 名古屋第一赤十字病院 第二神経内科部長　後藤　洋二 名古屋第一赤十字病院 脳神経外科副部長　池田　浩司 名古屋第一赤十字病院 精神科部長　中西　雅夫

回　　数	開　催　日　：　会　場	開　催　内　容	講師等
第　8　回	平成18年10月21日(土)	「プライマリー･ケアで診る家庭医に必要な 小児救急の知識」	座長：第四小児科部長　羽田野　爲夫
	午後3時～午後5時	1　開業医から診た小児救急の問題点について	フジノ内科 藤野　均　先生
	名古屋第一赤十字病院	2　名古屋第一赤十字病院小児科の立場から	
	内ヶ島講堂	(1)発熱の対処、紹介、入院の目安	名古屋第一赤十字病院 小児科医長　丸山　幸一
		(2)嘔吐、下痢などの脱水のCare、入院 回避のコツ	名古屋第一赤十字病院 第四小児科部長　羽田野　爲夫
		(3)喘鳴、気道感染などの対処	名古屋第一赤十字病院 第一小児科副部長　月舘　千寿子
		3　名古屋第一赤十字病院皮膚科の立場から「小児期発疹のあれこれ」	名古屋第一赤十字病院 皮膚科部長　安藤　浩一
		4　勤務医から診療所へ、診療所から勤務医へ	名古屋第一赤十字病院 第四小児科部長　羽田野　爲夫
第　9　回	平成19年10月20日(土)	平成20年度開始の特定健診に臨んで	
	午後6時30分～午後8時	座長講演 「特定健診に臨んで」	名古屋第一赤十字病院 副院長　大野　三良
	ヒルトン名古屋　5階「扇の間」	基調講演 「当院での特定健診・特定保健指導」	名古屋第一赤十字病院 健診部長　野村　史郎
		特別講演 1）「開業医から考える特定健診とは」	細川外科クリニック 院長　細川　秀一　先生
		特別講演 2）「特定健診・特定保険指導とNPOのかかわり」	愛知県医師会　健診・保険事業理事 水上クリニック院長　水上　哲秀　先生
第　10　回	平成20年7月12日(土)	【在宅医療に向けて】 Ⅰ）診療所側から	座長：名古屋第一赤十字病院 副院長　酒井　秀造
	午後5時～午後7時	講演1 「在宅医療の病診連携における問題点」	(医)心月会　じょうど医院 院長　森　光春　先生
	名古屋ルーセントタワー16階	講演2 「診療所からみた在宅医療のための病診連携」	(医)古山医院 院長　古山　明夫　先生
		Ⅱ）病院側から	
		講演1 「在宅における胃瘻管理」	名古屋第一赤十字病院 消化器内科　山田　恵一
		講演2 「在宅における酸素療法」	名古屋第一赤十字病院 呼吸器科部長　野村　史郎
		講演3 「在宅における排尿管理」	名古屋第一赤十字病院 泌尿器科部長　瀬　達良
		講演4 「がん性疼痛･緩和ケア」	名古屋第一赤十字病院 緩和ｹｱ科部長　北折　健次郎
第　11　回	平成21年7月11日(土)	～日常臨床におけるうつ病対策～	座長：名古屋第一赤十字病院 副院長　大野　三良
	午後5時～午後7時	講演Ⅰ 「見逃しやすいうつ病患者とその対応」	中村公園メンタルクリニック 院長　佐藤　信幸　先生
	名古屋ルーセントタワー16階	講演Ⅱ 「うつ病の早期発見と治療」	名古屋大学名誉教授・愛知淑徳大学教授 (医)北林会　北林病院　名誉院長　太田　龍朗　先生
第　12　回	平成22年7月10日(土)	「投薬禁忌の注意点」　と 「がんのクリティカルパス」	
	午後5時～午後7時	講演Ⅰ	座長：名古屋第一赤十字病院 副院長　大野　三良
	名鉄グランドホテル11階	「併用注意、禁忌薬剤について」 ～各診療科からのコメントを含めて～	名古屋第一赤十字病院 薬剤部　教育研修課長　池田　義明
		講演Ⅱ 診療所側から	座長：名古屋第一赤十字病院 第二循環器内科部長　神谷　春雄
		「がん地域連携クリティカルパスにおける 開業医の役割」	（医）順英会　太田なごやかクリニック 院長　太田　英正　先生
		病院側から	
		1)　「作成から運用と進捗状況について」	名古屋第一赤十字病院 呼吸器内科部長　野村　史郎
		2)　「胃癌・大腸癌の地域連携クリティカルパスについて」	名古屋第一赤十字病院 第二一般・消化器外科部長　竹内　英司
		3)　「乳癌地域連携パスの運用について」	名古屋第一赤十字病院 乳腺・内分泌外科部長　後藤　康友
第　13　回	平成23年7月9日(土)	～東日本大震災における医療活動と支援～	座長：名古屋第一赤十字病院 救命救急センター長兼医療社会事業部長　花木　芳洋
	午後5時～午後7時	講演Ⅰ 「医師会JMAT活動を通じて見えたもの」	名古屋市医師会中村区支部 副会長　細川　秀一　先生
	名鉄グランドホテル11階	講演Ⅱ 「東日本大震災(･大津波)：被災地の砦として」	石巻赤十字病院 院長　飯沼　一宇　先生

回　　数	開　催　日　：　会　場	開　催　内　容	講師等
第　14　回	平成24年7月21日(土)	～かかりつけ医と病院医師が相互に期待すること　～	座長：名古屋第一赤十字病院 医療社会事業部長　花木　芳洋
	午後5時～午後7時	講演Ⅰ「診療所で診る腰痛、関節痛、しびれ ～専門医への紹介のタイミング～　」	名古屋市中村区医師会 副会長　谷　能之　先生
	名古屋観光ホテル2階	講演Ⅱ「慢性腰痛について」	名古屋第一赤十字病院 リハビリテーション科部長　井上　英則
		講演Ⅲ「四肢のしびれをどう診るか。 神経内科の立場から」	名古屋第一赤十字病院 副院長兼神経内科部長　真野　和夫
第　15　回	平成25年7月13日(土)	～認知症診療について～	座長：名古屋第一赤十字病院 副院長兼医療社会事業部長　稲尾　意秀
	午後4時～午後5時30分	講演Ⅰ「中村区医師会の認知症疾患への 取り組みと地域連携」	中村区医師会会長 (医)古山医院院長　古山　明夫　先生
	名古屋第一赤十字病院 バースセンター棟4階　演習室1	講演Ⅱ「認知症の診断と治療について」	名古屋第一赤十字病院 副院長兼神経内科部長　真野　和夫
第　16　回	平成26年7月12日（土）	地域連携による糖尿病診断と治療について	座長：名古屋第一赤十字病院 副院長兼医療社会事業部長　稲尾　意秀
	午後4時～午後5時30分	講演Ⅰ　中村区糖尿病研究会のこれまでの取り組み	名古屋市中村区医師会副会長 谷内科院長　谷　能之　先生
	名古屋観光ホテル3階	講演Ⅱ　糖尿病性腎症はいつ紹介すべきか	名古屋第一赤十字病院 腎臓内科医長　遠藤　信英
		講演Ⅲ　糖尿病　―最近のトピックス―	名古屋第一赤十字病院 内分泌内科部長　尾崎　信暁
第　17　回	平成27年7月25日（土）	病院から在宅へ -在宅医療・介護連携の発展に向けて-	座長：名古屋第一赤十字病院 副院長兼医療社会事業部長　稲尾　意秀
	午後4時～午後5時30分	講演Ⅰ「地域包括ケアシステムを踏まえた 中村区在宅医療・介護連 携」	中村区医師会会長 (医)古山医院院長　古山　明夫　先生
	名古屋観光ホテル3階	講演Ⅱ「糖尿病診療における病診連携」	名古屋第一赤十字病院 内分泌内科部長　尾崎　信暁
		講演Ⅲ「摂食嚥下障害の評価と口腔ケア」	名古屋第一赤十字病院 歯科部長　大岩　伊知郎
		講演Ⅳ「廃用症候群に対する在宅機能訓練」	名古屋第一赤十字病院 整形外科部長　大澤　良充
第　18　回	平成28年７月２３日（土）	１．医療事故調査制度の開始にあたって	座長：名古屋第一赤十字病院 医療安全推進チーム委員長兼第二産婦人科部長　水野　公雄
	午後４時30分～午後6時	講演Ⅰ「医療事故調査制度の現況について」	愛知県医師会理事 (医)細川外科クリニック　細川　秀一　先生
※「なかむら学術セミナー」に名称変更	名古屋観光ホテル2階	２．心原性脳塞栓症の救急治療と予防	座長：名古屋第一赤十字病院 第一循環器内科部長　神谷　春雄
		講演Ⅱ「心房細動の根治治療を目指して」	名古屋第一赤十字病院 第二循環器内科部長　柴田　義久
		講演Ⅲ「脳塞栓症の急性期血管内治療について」	名古屋第一赤十字病院 脳卒中科副部長　岡本　剛
第　19　回	平成29年7月29日（土）	消化器系疾患について	座長：名古屋第一赤十字病院 第一消化器内科部長　春田　純一
	午後４時３０分～午後６時	講演Ⅰ「名古屋市における胃がん検診（内視鏡検査）について	名古屋市中村区医師会副会長 いいだクリニック　飯田　昌幸　先生
なかむら学術 セミナー	名古屋観光ホテル2階	講演Ⅱ「当院における緊急内視鏡診療の現況 －上部消化管出血を中心に－」	名古屋第一赤十字病院 第一消化器内科部長　春田　純一
		講演Ⅲ「肝疾患のup to date －Ｂ、Ｃ型肝炎について－」	名古屋第一赤十字病院 第一消化器内科副部長　土居崎　正雄
第　20　回	平成３０年７月２８日（土）	多剤耐性に注意した抗菌剤の使い方	座長：名古屋第一赤十字病院 副院長兼第一呼吸器内科部長　野村　史郎
	午後４時３０分～午後６時	講演Ⅰ「抗微生物薬適正使用に関する診療所のアンケート調査結果について」	名古屋市中村区医師会会長 佐々木医院院長　佐々木　國夫　先生
なかむら学術 セミナー	名古屋観光ホテル2階	講演Ⅱ「薬剤耐性アクションプランから抗菌薬の適正使用へ」	名古屋第一赤十字病院 副院長兼第一呼吸器内科部長　野村　史郎
		講演Ⅲ「小児外来診療における抗菌薬の適正使用の推進」	名古屋第一赤十字病院 第二小児科副部長　吉田　奈央
		講演Ⅳ「ASTにおける薬剤師の関わり」	名古屋第一赤十字病院 救急病棟業務係長（薬剤部）　向山　直樹
第　21　回	令和元年７月２７日（土）	不眠症の適性診療	座長：名古屋第一赤十字病院 精神保健支援センター長　舟橋　龍秀
	午後４時３０分～午後６時	講演Ⅰ「診療所における不眠症治療のヒント」	名古屋市中村区医師会 とわたり内科・心療内科院長　唐渡　雅行　先生
なかむら学術 セミナー	名古屋観光ホテル2階	講演Ⅱ「病棟での睡眠剤使用の安全性について」	名古屋第一赤十字病院 薬剤部副部長　水野　恵司
		講演Ⅲ「不眠と不安の患者に対応する ～睡眠・覚醒障害オーバービュー～」	愛知医科大学 名誉教授　塩見　利明先生
令和2年度は新型コロナウイルス感染症防止対策のため、未開催			

回　　数	開　催　日　：　会　場	開　催　内　容	講師等
第　22　回 なかむら学術 セミナー	令和３年７月３１日（土） 午後４時３０分～午後６時 名古屋観光ホテル2階	感染症蔓延下における診療 講演Ⅰ「診療所では～ファーストタッチから診断・研究まで～」 講演Ⅱ「遺伝子検査精度の現状と問題点」 講演Ⅲ「感染症診療の実際」 講演Ⅳ「感染症が医療機関経営に与える影響と対策」	座長：日赤名古屋第一病院 副院長兼医療社会事業部長　花木　芳洋 名古屋市中村区医師会 髙田内科クリニック院長　髙田　統夫　先生 日赤名古屋第一病院 検査部技師長　郡司　昌治 日赤名古屋第一病院 第一呼吸器内科部長　横山　俊彦 国際ライフサイエンス（株）　椎名秀一様
第　23　回 なかむら学術 セミナー	令和４年８月６日（土） 午後４時３０分～午後６時 名古屋観光ホテル2階	心不全について 講演Ⅰ「マイトラクリップによる心不全治療」 講演Ⅱ「リードレスペースメーカーについて」 講演Ⅲ「かかりつけ医にできる心不全治療：連携を軸に考えながら」	座長：日赤名古屋第一病院 副院長兼医療社会事業部長　花木　芳洋 日赤名古屋第一病院 心臓血管外科第一部副部長　細羽　創宇 日赤名古屋第一病院　第二循環器内科部副部長 兼集中治療部副部長　森下　佳洋 名古屋市中村区医師会 クリニックかけはし　副院長　鬼頭　哲太郎先生

②歯科病診連携システム学術セミナー

回　　数	開　催　日　：　会　場	開　催　内　容	講師等
第　1　回	平成10年2月23日（木） 午後3時～午後5時30分 名古屋第一赤十字病院 古川講堂	1）歯科診療所における救急蘇生 2）救急薬品の使用法について 3）実技指導 気道確保・人工呼吸・注射	座長：名古屋第一赤十字病院 口腔外科部長　下郷　和雄 演者：名古屋第一赤十字病院 口腔外科副部長　大岩　伊知郎 実技指導者：名古屋第一赤十字病院 口腔外科部長　下郷　和雄 口腔外科副部長　大岩　伊知郎
第　2　回	平成14年2月28日（木） 午後3時～午後6時30分 名古屋第一赤十字病院 古川講堂	1）最近の口腔外科診療 2）循環器疾患と歯科治療 3）糖尿病と歯周疾患	座長：名古屋第一赤十字病院 口腔外科部長　下郷　和雄 演者：名古屋第一赤十字病院 口腔外科副部長　大岩　伊知郎 演者：名古屋第一赤十字病院 循環器科部長　大野　三良 演者：名古屋第一赤十字病院 第三内科部長　山守　育雄
第　3　回	平成17年7月14日（木） 午後4時～午後5時30分 名古屋第一赤十字病院 古川講堂	「ウイルス性肝炎の診断と治療の進歩」	座長：名古屋第一赤十字病院 歯科口腔外科副部長　梅村　昌宏 演者：名古屋第一赤十字病院 第一消化器科部長　春田　純一
第　4　回	平成18年5月25日（木） 午後5時～午後6時30分 名古屋第一赤十字病院 内ヶ島講堂	「名古屋第一赤十字病院口腔外科における顔面外傷の取り組み」	座長：名古屋第一赤十字病院 歯科部長　大岩　伊知郎 講師：名古屋第一赤十字病院 歯科口腔外科部長　梅村　昌宏
第　5　回	平成19年10月25日（木） 午後5時～午後7時30分 名古屋第一赤十字病院 内ヶ島講堂	講演Ⅰ「ｲﾝﾌﾟﾗﾝﾄの長期症例について」 講演Ⅱ「口腔癌の早期診断に向けて」	座長：名古屋第一赤十字病院 歯科口腔外科部長　梅村　昌宏 演者：興福歯科医院 院長　西田　尚　先生 演者：名古屋第一赤十字病院 歯科部長　大岩　伊知郎
第　6　回	平成20年11月13日（木） 午後6時～午後7時 名古屋第一赤十字病院 内ヶ島講堂	演題Ⅰ　「BP製剤使用に関する一般歯科医院での問題点」 演題Ⅱ　「骨粗鬆症」 演題Ⅲ　「ﾋﾞｽﾌｫｽﾌｫﾈｰﾄ製剤と顎骨壊死」	座長：名古屋第一赤十字病院 歯科部長　大岩　伊知郎 演者：中村区歯科医師会副会長 加藤歯科 院長 加藤　善久先生 演者：名古屋第一赤十字病院 第一整形外科部長　大澤　良充 演者：名古屋第一赤十字病院 歯科口腔外科副部長　藤原　成祥
第　7　回	平成21年10月15日（木） 午後5時～午後6時30分 名古屋第一赤十字病院 内ヶ島講堂	講演Ⅰ「菌性感染症における経口抗菌薬使用とその注意点」 講演Ⅱ「わかりやすい糖尿病の診断と治療について～歯科治療上の注意点～」	座長：名古屋第一赤十字病院 副院長　大野　三良 講師：名古屋第一赤十字病院 薬剤部教育研修課長職務代理　池田　義明 講師：名古屋第一赤十字病院 内分泌内科部長　山守　育雄
第　8　回	平成23年2月3日（木） 午後5時～午後6時30分 名古屋第一赤十字病院 内ヶ島講堂	講演Ⅰ「歯科口腔外科での小手術におけるトピックス　抗凝固療法中/BP製剤服用中患者における観血的手術の際の注意点」 講演Ⅱ「歯科口腔外科での小手術の実際」	座長：名古屋第一赤十字病院 歯科部長　大岩　伊知郎 演者：名古屋第一赤十字病院 歯科口腔外科副部長　藤原　成祥 演者：名古屋第一赤十字病院 歯科口腔外科　佐藤　春樹

回　　数	開　催　日　：　会　場	開　催　内　容	講師等
第 9 回	平成24年2月9日（木） 午後5時～午後6時 名古屋第一赤十字病院 内ヶ島講堂	講演Ⅰ「院内感染対策上、注意すべき病原体最近の話題」 講演Ⅱ「手術時（中央手術室・外来）の感染対策環境」	座長：名古屋第一赤十字病院 医療社会事業部長　花木　芳洋 演者：名古屋第一赤十字病院 感染管理看護師長　高坂　久美子 演者：名古屋第一赤十字病院 歯科部長　大岩　伊知郎
第 10 回	平成24年7月12日（木） 午後5時30分～午後6時30分 名古屋第一赤十字病院 内ヶ島講堂	講演Ⅰ　『がんの薬物療法とその有害事象、合併症について』 講演Ⅱ　『化学療法、放射線療法を行う患者の口腔機能管理について』	座長：名古屋第一赤十字病院 歯科部長　大岩　伊知郎 演者:名古屋第一赤十字病院 化学療法内科部長代理　河田　健司 演者：名古屋第一赤十字病院 歯科口腔外科副部長　藤原　成祥
第 11 回	平成25年9月5日（木 ） 午後5時30分～午後6時30分 名古屋第一赤十字病院 内ヶ島講堂	講演Ⅰ「ICUでの口腔管理」 講演Ⅱ「NIDCR　Dental　Provider's Oncology　Pocket　Guideについて」	座長：名古屋第一赤十字病院 歯科部長　大岩　伊知郎 演者:名古屋第一赤十字病院 看護師長　　秋江　百合子 演者：名古屋第一赤十字病院 歯科医長　　佐久間　英規
第 12 回	平成27年1月22日（木） 午後5時30分～午後6時30分 名古屋第一赤十字病院 ﾊﾞｰｽｾﾝﾀｰ棟　演習室１	講演Ⅰ「脳卒中後の摂食嚥下リハビリテーション 」 講演Ⅱ「脳梗塞の病態と治療 」	座長：名古屋第一赤十字病院 歯科部長　大岩　伊知郎 演者:名古屋第一赤十字病院 ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科　言語聴覚士　犬飼　晃見 演者：名古屋第一赤十字病院 脳卒中科部長　後藤　洋二
第 13 回	平成28年2月25日（木） 午後5時00分～午後6時00分 名古屋第一赤十字病院 ﾊﾞｰｽｾﾝﾀｰ棟　演習室１	講演Ⅰ「中村区在宅医療・介護連携推進のための中村区医師会の取り組み 」 講演Ⅱ「消化器がんの化学療法ー歯科・口腔外科との連携が重要な理由ー」	座長：名古屋第一赤十字病院 歯科部長　大岩　伊知郎 演者:名古屋市中村区医師会 会長　古山　明夫　先生 演者：名古屋第一赤十字病院 化学療法内科副部長　長瀬　通隆
第 14 回	平成29年2月9日（木） 午後5時00分～午後6時00分 名古屋第一赤十字病院 ﾊﾞｰｽｾﾝﾀｰ棟　演習室１	講演Ⅰ「周術期口腔機能管理について」 講演Ⅱ「心臓手術における歯性感染の重要性ー特に心臓弁膜症手術に関してー」	座長：名古屋第一赤十字病院 歯科部長　大岩　伊知郎 演者:渡辺歯科医院 院長　渡辺　治　先生 演者：名古屋第一赤十字病院 第二心臓血管外科部長　前川　厚生
第 15 回	平成30年2月8日（木） 午後6時00分～午後7時00分 名古屋第一赤十字病院 ﾊﾞｰｽｾﾝﾀｰ棟　演習室１	講演Ⅰ「病院と歯科診療所の連携について」 講演Ⅱ「歯科臨床医に必要な口腔がん検診の知識」	座長：名古屋第一赤十字病院 歯科部長　大岩　伊知郎 演者:一般社団法人愛知県歯科医師会 会長　内堀　典保　先生 演者：愛知学院大学歯学部 顎顔面外科学講座教授　長尾　徹　先生
第 16 回	平成31年2月14日（木） 午後6時00分～午後7時00分 名古屋第一赤十字病院 ﾊﾞｰｽｾﾝﾀｰ棟　演習室１	講演Ⅰ「口腔がん診療ガイドラインについて」 講演Ⅱ「口腔がん手術の実際（動画解説）」	座長：名古屋市中村区歯科医師会 副会長　加藤　善久先生 演者:名古屋第一赤十字病院 歯科口腔外科副部長　佐藤　春樹 演者：愛知学院大学歯学部 歯科部長　大岩　伊知郎

回　　数	開　催　日　：　会　場	開　催　内　容	講師等
第 17 回	令和元年2月13日（木） 午後6時00分～午後7時00分 名古屋第一赤十字病院 ﾊﾞｰｽｾﾝﾀｰ棟　演習室１	講演Ⅰ「認知症について」 講演Ⅱ「高齢化医療の多職種連携」	座長:名古屋第一赤十字病院 歯科口腔外科副部長　佐藤　春樹 演者:名古屋第一赤十字病院 第一神経内科部長兼脳卒中科部長　後藤　洋二 演者：西春日井歯科医師会 会長　田中　勝巳　先生
令和2年度は新型コロナウイルス感染症防止対策のため、未開催			
第 18 回	令和4年2月24日（木） 午後6時00分～午後7時00分 日赤名古屋第一病院 ﾊﾞｰｽｾﾝﾀｰ棟　演習室１	講演Ⅰ「診断機器とその位置づけ」 講演Ⅱ「口腔がん以外の口腔粘膜疾患」 講演Ⅲ「口腔粘膜前癌病変、口腔がんの病態」	座長:日赤名古屋第一病院 歯科部長　大岩　伊知郎 日赤名古屋第一病院　歯科口腔外科 医長　長縄　憲亮 日赤名古屋第一病院　歯科口腔外科 歯科医師　早川　泰平 日赤名古屋第一病院　歯科口腔外科 副部長　佐藤　春樹
第 19 回	令和5年1月26日（木） 午後6時00分～午後7時00分 日赤名古屋第一病院 ﾊﾞｰｽｾﾝﾀｰ棟　演習室１	「口腔がん検診　－今後の課題を考える－」 講演Ⅰ「名古屋市歯科医師会での現状」 講演Ⅱ「海部郡大治町での現状」 講演Ⅲ「口腔がん検診の今後について」	座長:日赤名古屋第一病院 歯科口腔外科部長　佐藤　春樹 中村区歯科医師会 副会長　岩塚　長門　先生 海部歯科医師会 幹事　浅井　司　先生 日赤名古屋第一病院 歯科部長　大岩　伊知郎

③日本赤十字愛知医療センター　病診連携セミナー

回　　数	開　催　日　：　会　場	開　催　内　容	講師等
やごと・なかむら 病診連携 セミナー	令和4年5月11日（水） 午後6時00分～午後7時30分 日赤名古屋第二病院 （WEB配信）	一般講演「救急外来における院内トリアージの取り組み」 一般講演「当院における循環器救急について」 特別講演「名古屋市における救急活動～コロナ禍での対策と現状～」	座長：日赤名古屋第二病院 副院長　関行雄 日赤名古屋第二病院 救急外来看護師　須賀麻由里 座長：日赤名古屋第二病院 第一循環器内科部長　海野一雅 日赤名古屋第二病院　第一救急科部長 兼救命救急センター長　稲田眞治 座長：日赤名古屋第二病院 副院長　関行雄 名古屋市消防局　救急部　主幹 （救急業務企画）石倉孝幸先生
なかむら・やごと 病診連携 セミナー	令和4年12月14日（水） 午後6時00分～午後7時30分 日赤名古屋第一病院 （WEB配信）	一般講演「静脈穿刺に伴う疼痛発生時における神経障害対応システムについて～ルート確保時のトラブル回避の取組み～」 特別講演「医院内で発生するトラブルと事前事後の対応法」	座長：日赤名古屋第一病院 副院長　水野公雄 日赤名古屋第一病院 乳腺外科第二部長　角田伸行 座長：日赤名古屋第一病院 副院長　水野公雄 北浜法律事務所・外国法共同事業 医師・弁護士　長谷部圭司先生

（11）令和４年度地域医療研修プログラム実績

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考
令和4年4月18日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・日赤名古屋第一病院合同カンファランス 参加対象：医師 東棟2階　会議室 1,2	研修会・症例検討会 演者：日赤名古屋第一病院（形成外科） 部長　菱田　雅之
令和4年5月16日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・日赤名古屋第一病院合同カンファランス 参加対象：医師 東棟2階　会議室 1,2	研修会・症例検討会 演者：日赤名古屋第一病院（一般消化器外科） 部長　吉岡　裕一郎はじめ3名
令和4年6月20日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・日赤名古屋第一病院合同カンファランス 参加対象：医師 東棟2階　会議室 1,2	研修会・症例検討会 演者：日赤名古屋第一病院（循環器内科） 足立　健太郎
令和4年7月25日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・日赤名古屋第一病院合同カンファランス 参加対象：医師 東棟2階　会議室 1,2	研修会・症例検討会 演者：日赤名古屋第一病院（呼吸器内科外科） 副部長　伊藤　亮太はじめ3名
令和4年9月26日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・日赤名古屋第一病院合同カンファランス 参加対象：医師 東棟2階　会議室 1,2	研修会・症例検討会 演者：日赤名古屋第一病院（腎臓内科） 横江　優貴
令和4年10月17日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・日赤名古屋第一病院合同カンファランス 参加対象：医師 東棟2階　会議室 1,2	研修会・症例検討会 演者：日赤名古屋第一病院(血液内科) 部長　西田　徹也
令和4年11月21日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・日赤名古屋第一病院合同カンファランス 参加対象：医師 東棟2階　会議室 1,2	研修会・症例検討会 演者：日赤名古屋第一病院(消化器内科) 吉岡　直輝
令和4年12月19日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・日赤名古屋第一病院合同カンファランス 参加対象：医師 東棟2階　会議室 1,2	研修会・症例検討会 演者：日赤名古屋第一病院(泌尿器科) 副部長　鈴木　省治
令和5年1月16日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・日赤名古屋第一病院合同カンファランス 参加対象：医師 東棟2階　会議室 1,2	脳神経内科・内分泌内科研修会・症例検討会 演者：日赤名古屋第一病院 部長　後藤　洋二・副部長　清田　篤志
令和5年2月20日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・日赤名古屋第一病院合同カンファランス 参加対象：医師 東棟2階　会議室 1,2	研修会・症例検討会 演者：日赤名古屋第一病院（乳腺外科） 部長　角田　伸行
令和5年3月20日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・日赤名古屋第一病院合同カンファランス 参加対象：医師 東棟2階　会議室 1,2	研修会・症例検討会 演者：日赤名古屋第一病院（整形外科） 部長　洪　淑貴
令和4年6月30日	木	14:30 ～ 15:30	令和4年度第1回地域医療連携における感染対策についてのカンファレンス 参加対象：医師（中村区開業医ほか）	演者：日赤名古屋第一病院 感染制御部長　伊藤　亮太ほか
令和4年9月29日	木	14:30 ～ 15:00	令和4年度第2回地域医療連携における感染対策についてのカンファレンス 参加対象：医師（中村区開業医ほか）	演者：日赤名古屋第一病院 感染制御部長　伊藤　亮太ほか

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考
令和5年1月26日	木	14:30 ～ 15:30	令和4年度第3回地域医療連携における感染対策についてのカンファレンス 参加対象：医師（中村区開業医ほか）	演者：日赤名古屋第一病院 感染制御部長　伊藤　亮太ほか
令和5年3月16日	木	14:30 ～ 15:30	令和4年度第4回地域医療連携における感染対策についてのカンファレンス 参加対象：医師（中村区開業医ほか）	演者：日赤名古屋第一病院 感染制御部長　伊藤　亮太ほか
令和4年7月28日	木	19:00 ～ 21:00	中村日赤地域医療連携セミナー 参加対象：薬剤師 日赤名古屋第一病院	①病院薬剤師による糖尿病患者に対する薬学的介入 演者：日赤名古屋第一病院 薬剤部：石川　惣一 ②薬剤管理サマリーなど実績報告 演者：日赤名古屋第一病院 薬剤部：野村　祐司 ③地域連携における施設間情報連絡書について 豊臣調剤薬局 渡邉　慶剛
令和4年11月24日	木	19:00 ～ 20:45	中村日赤地域医療連携セミナー 参加対象：薬剤師 日赤名古屋第一病院	①病院薬剤師による心不全患者に対する薬学的介入 演者：日赤名古屋第一病院 薬剤部：桑原　匠平 がん患者に対する服薬フォローの実践 株式会社アインファーマシーズ 田中　美幸
令和5年3月23日	木	19:00 ～ 20:45	中村日赤地域医療連携セミナー 参加対象：薬剤師 日赤名古屋第一病院	①病院薬剤師による脳神経内科患者に対する薬学的介入 演者：日赤名古屋第一病院 薬剤部：家城　瞭 日々の業務を地域につなげよう ～地域包括ケアシステムと地域連携薬局～ たんぽぽ薬局中村日赤店 細川雅生先生
令和4年8月27日	土	8:30 ～ 17:00	日赤名古屋第一病院　緩和ケア研修会	演者：日赤名古屋第一病院 緩和ケア科　河合奈津子医師ほか
令和4年10月11日	木	18:30 ～ 19:30	地域医療連携学術講演会（緩和ケア） 参加対象：医療従事者 日赤名古屋第一病院　東棟2階　内ヶ島講堂	①緩和ケアチームにおける睡眠薬の使い方 演者：日赤名古屋第一病院 緩和ケア科　副部長　河合　奈津子 ②誰のための、なんのためのACPなのか？ 演者：慶應義塾大学医学部 衛生学公衆衛生教室：山岸　暁美
令和4年4月27日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室	講師：日赤名古屋第一病院 第一呼吸器内科部長　横山俊彦

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考
令和4年5月25日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室	講師：日赤名古屋第一病院 第一呼吸器内科部長　横山俊彦
令和4年6月22日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室	講師：日赤名古屋第一病院 第一呼吸器内科部長　横山俊彦
令和4年7月27日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室	講師：日赤名古屋第一病院 第一呼吸器内科部長　横山俊彦
令和4年8月24日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室	講師：日赤名古屋第一病院 第一呼吸器内科部長　横山俊彦
令和4年9月28日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室	講師：日赤名古屋第一病院 第一呼吸器内科部長　横山俊彦
令和4年10月26日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室	講師：日赤名古屋第一病院 第一呼吸器内科部長　横山俊彦
令和4年11月30日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室	講師：日赤名古屋第一病院 第一呼吸器内科部長　横山俊彦
令和4年12月28日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室	講師：日赤名古屋第一病院 第一呼吸器内科部長　横山俊彦
令和5年1月25日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室	講師：日赤名古屋第一病院 第一呼吸器内科部長　横山俊彦
令和5年2月22日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室	講師：日赤名古屋第一病院 第一呼吸器内科部長　横山俊彦
令和5年3月22日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室	講師：日赤名古屋第一病院 第一呼吸器内科部長　横山俊彦
令和4年5月27日	金	15:00 ～ 16:00	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、胃癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室	講師：日赤名古屋第一病院 副院長兼第一消化器内科部長　春田　純一
令和4年7月22日	金	15:00 ～ 16:00	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、胃癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室	講師：日赤名古屋第一病院 副院長兼第一消化器内科部長　春田　純一

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考
令和4年9月30日	金	15:00 ～ 16:00	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、胃癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室	講師：日赤名古屋第一病院 副院長兼第一消化器内科部長　春田　純一
令和4年11月25日	金	15:00 ～ 16:00	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、胃癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室	講師：日赤名古屋第一病院 副院長兼第一消化器内科部長　春田　純一
令和5年1月27日	金	15:00 ～ 16:00	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、胃癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室	講師：日赤名古屋第一病院 副院長兼第一消化器内科部長　春田　純一
令和5年3月24日	金	15:00 ～ 16:00	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、胃癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室	講師：日赤名古屋第一病院 副院長兼第一消化器内科部長　春田　純一
令和4年4月23日	土	8:30 ～ 18:30	第88回ICLSなかむら講習会 参加対象：医療従事者 日赤名古屋第一病院　内ヶ島講堂	講師：名古屋第一赤十字病院 花木　芳洋　副院長ほか
令和4年4月24日	日	8:30 ～ 18:30	第89回ICLSなかむら講習会 参加対象：医療従事者 日赤名古屋第一病院　内ヶ島講堂	講師：名古屋第一赤十字病院 花木　芳洋　副院長ほか
令和4年6月18日	土	9:20 ～ 17:10	第10回ICLS指導者講習 参加対象者：医療従事者 日赤名古屋第一病院　内ヶ島講堂	講師：名古屋第一赤十字病院 花木　芳洋　副院長ほか
令和4年6月19日	日	8:30 ～ 18:30	第90回ICLSなかむら講習会 参加対象者：医療従事者 日赤名古屋第一病院　内ヶ島講堂	講師：名古屋第一赤十字病院 花木　芳洋　副院長ほか
令和4年9月18日	日	8:30 ～ 18:30	第91回ICLSなかむら講習会 参加対象者：医療従事者 日赤名古屋第一病院　内ヶ島講堂	講師：名古屋第一赤十字病院 花木　芳洋　副院長ほか
令和4年11月19日	土	8:30 ～ 18:30	第92回ICLSなかむら講習会 参加対象者：医療従事者 日赤名古屋第一病院　内ヶ島講堂	講師：名古屋第一赤十字病院 花木　芳洋　副院長ほか
令和5年2月26日	日	8:30 ～ 18:30	第93回ICLSなかむら講習会 参加対象者：医療従事者 日赤名古屋第一病院　内ヶ島講堂	講師：名古屋第一赤十字病院 花木　芳洋　副院長ほか
令和4年4月19日	火	19:00 ～ 20:00	中外eセミナー on ling cancer in Aichi 参加対象者：愛知県内　呼吸器内科医、外科、病理医 中外製薬株式会社 東海・北陸統括支店	治療に結び付く肺がん病理献体の取り扱いについて 演者：日赤名古屋第一病院 検査部：郡司　昌治
令和4年4月23日	土	14:50 ～ 16:00	中村区薬剤師会web講演会 参加対象者:主に中村区薬剤師会在籍の薬剤師 第一三共株式会社 名古屋第三営業所	脳梗塞の薬物治療について 演者：日赤名古屋第一病院 脳神経内科：後藤　洋二

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考
令和4年5月12日	木	19:00 ～ 20:40	耳鼻咽喉科病診連携セミナー 参加対象者: サノフィ株式会社	当院における頭頸部腫瘍診療 演者:日赤名古屋第一病院 耳鼻咽喉科:寺田　聡広
令和4年5月14日	土	16:00 ～ 17:00	アクテムラ適正使用セミナー 参加対象者:中村区、中川区、海部エリアの病院、開業医 中外製薬株式会社 東海・北陸統括支店	リウマチ医から見た呼吸器疾患合併リウマチ患者の治療戦略 演者:日赤名古屋第一病院 関節外科リウマチ科:祖父江　康司
令和4年5月14日	土	14:00 ～ 16:00	あいち新生児フォーラム 参加対象者:医師及び薬剤師 アストラゼネカ株式会社 呼吸器・免疫事業部	入院例からみたRSウイルス感染の流行時期と重症度 演者:日赤名古屋第一病院 小児科:大城　誠
令和4年5月19日	木	19:00 ～ 20:10	OAB　Management for Outpatient 参加対象者:病院勤務医師、開業医 グラクソ・スミスクライン株式会社	OAB治療の新たな選択肢　ボツリヌス療法の導入と位置づけ 演者:日赤名古屋第一病院 女性泌尿器科:加藤　久美子
令和4年5月26日	木	18:00 ～ 19:20	不眠症診療webセミナー 参加対象者:主に不眠症の診断、治療に携わっている医師、看護師、薬剤師 エーザイ株式会社	転倒転落リスクに配慮した論理的睡眠マネジメント～良い睡眠でせん妄リスクを減らす～ 演者:日赤名古屋第一病院 総合診療科:宮川　慶
令和4年5月26日	木	19:30 ～ 21:00	名古屋心臓弁膜症　小規模講演会 参加対象者: エドワーズライフサイエンス株式会社 名古屋支店　THV事業部　中日本営業部	～大動脈弁狭窄症における治療選択肢の拡大～ 演者:日赤名古屋第一病院 循環器内科:柴田　義久 心臓血管外科:澤木　完成
令和4年5月28日	土	12:00 ～ 13:00	第70回日本輸血・細胞治療学会学術総会　共催セミナー12 参加対象者:日本輸血・細胞治療学会会員 JCRファーマ株式会社 営業本部　マーケティング部	間葉系幹細胞治療の現状-調製法と治療成績- 演者:日赤名古屋第一病院 血液内科:小澤　幸泰
令和4年6月14日	火	19:00 ～ 19:50	薬剤師のための乳癌講座Online 参加対象者: ファイザー株式会社	ホルモン受容体陽性進行・再発乳がんに対する治療について 演者:日赤名古屋第一病院 乳腺外科:後藤　康友
令和4年6月14日	火	19:00 ～ 20:30	Ovarian Cancer Web Seminar 参加対象者:医師、薬剤師 武田薬品工業株式会社	演者:日赤名古屋第一病院 産婦人科:坂東　美央子
令和4年6月15日	水	20:00 ～ 21:00	中村区医師会講演会 参加対象者:愛知県内医師 サノフィ株式会社	演者:日赤名古屋第一病院 呼吸器内科:高納　崇 演者:日赤名古屋第一病院 皮膚科:吉川　真人
令和4年6月17日	金	19:00 ～ 20:30	東海小児神経webフォーラム 参加対象者:東海エリア内小児科医師 ノバルティスファーマ株式会社 オンコロジー事業本部　固形腫瘍領域事業部	神経内科医からみた小児期発症てんかん患者の成人科移行の現状と課題 演者:日赤名古屋第一病院 脳神経内科:本田　大祐

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考
令和4年6月23日	木	14:00 ～ 15:30	中川区薬剤師会学術講演会 参加対象者：医師、医師以外の医療従事者 アッヴィ合同会社	有効性・安全性をふまえてJAK阻害剤の使いどころ～病薬連携について～ 演者：日赤名古屋第一病院 リハビリテーション部：石川　尚人
令和4年6月23日	土	20:00 ～ 21:00	第4回Asahi　osteoporosis　Forum 参加対象者：主に骨粗鬆症の診断・治療に携わっている医師 旭化成ファーマ株式会社	演者：日赤名古屋第一病院 脊椎脊髄外科部：八木　秀樹
令和4年6月25日	土	14:00 ～ 15:30	中村区薬剤師会学術講演会 参加対象者：中村区　薬剤師 キッセイ薬品工業株式会社	当院における炎症性腸炎疾患治療の現況 演者：日赤名古屋第一病院 消化器内科部：藤吉　俊尚
令和4年6月29日	水	19:00 ～ 20:15	金鯱地域医療連携セミナー 参加対象者： エーザイ株式会社	高齢者睡眠マネジメントの重要性と対処法～睡眠とせん妄のかかわり～ 演者：日赤名古屋第一病院 総合診療科：宮川　慶
令和4年6月30日	木	19:00 ～ 20:10	名古屋西エリアパーキンソン病治療webセミナー 参加対象者： 協和キリン株式会社	演者：日赤名古屋第一病院 脳神経内科：渡邉　はづき
令和4年7月4日	月	19:00 ～ 19:30	スキリージ3周年記念エリア5日連続webセミナーDay1 参加対象者：医師、医師以外の医療従事者 アッヴィ合同会社	乾癬治療におけるスキリージのポジショニング～当施設での使用経験を踏まえて～ 演者：日赤名古屋第一病院 皮膚科：吉川　真人
令和4年7月7日	木	19:30 ～ 21:00	甲状腺癌　クリニカルカンファランスセミナー 参加対象者： エーザイ株式会社	演者：日赤名古屋第一病院 内分泌内科：白川　晶
令和4年7月8日	金	19:00 ～ 20:30	2022　AMLExpert Seminar in　Nagoya 参加対象者：医師、医師以外の医療従事者 アッヴィ合同会社	演者：日赤名古屋第一病院 血液内科：後藤　辰徳
令和4年7月24日	日	11:10 ～ 12:00	日本集中治療医学界東海北陸支部「第2回臨床工学セミナー」 参加対象者：臨床工学技師、看護師、理学療法師 一般社団法人　日本集中治療医学会	Covid-19重症患者から学んだ人工呼吸管理 演者：日赤名古屋第一病院 集中治療部：都築　通孝
令和4年7月26日	火	19:00 ～ 20:00	名古屋骨粗鬆症トライアングルの会 参加対象者：骨粗鬆症の診断・治療に携わっている医師及びコメディカル 旭化成ファーマ株式会社	演者：日赤名古屋第一病院 関節外科リウマチ科：祖父江　康司
令和4年8月3日	水	19:00 ～ 20:10	骨粗鬆症Seminar　in　Nagoya 参加対象者： アムジェン株式会社 スペシャリティケア事業本部	骨粗鬆症治療～二次骨折予防の医療連携～ 演者：日赤名古屋第一病院 関節外科リウマチ科：祖父江　康司
令和4年8月26日	金	18:30 ～ 20:00	第17回　小児AA・MDS　Web講演会 参加対象者： 協和キリン株式会社 名古屋支店	演者：日赤名古屋第一病院 病理部：伊藤　雅文 小児科：濱　麻人

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考
令和4年9月1日	木	19:00 ～ 20:00	RA診療フォーラム 参加対象者：主に関節リウマチの診断、治療に携わっている医師、薬剤師、看護師 エーザイ株式会社 イムノロジー事業本部	コロナ禍におけるRA患者の身体機能の変化 演者：日赤名古屋第一病院 関節外科リウマチ科：祖父江　康司
令和4年9月15日	木	19:00 ～ 20:15	爪白癬を考える会in名城 参加対象者： エーザイ株式会社 地域連携東海本部　名古屋1統括部	当院における爪白癬治療の現状 演者：日赤名古屋第一病院 皮膚科：大見　修也
令和4年9月22日	木	19:00 ～ 20:30	令和4年　第1回なかむらにっせき口腔外科・海部歯科医師会　地域連携研修会 参加対象者：	口腔がん検診 演者：日赤名古屋第一病院 歯科口腔外科：大岩　伊知郎
令和4年9月29日	木	19:50 ～ 21:00	中村区医師会講演会～HPVワクチンについて考える～ 参加対象者 MSD株式会社	子宮頸がん診療の実際と予防の重要性 演者：日赤名古屋第一病院 産婦人科：水野　公雄
令和4年9月29日	木	19:00 ～ 20:00	関節リウマチ講演会～病診連携を考える～ 参加対象者：医師 田辺三菱製薬株式会社	当院における関節リウマチ診療～ロコモ・フレイルを診る重要性～ 演者：日赤名古屋第一病院 整形外科：祖父江　康司
令和4年10月7日	金	19:20 ～ 20:40	患者中心の医療を考える会~Patient-centered clinical method~ 参加対象者：医師、薬剤師 田辺三菱製薬株式会社	糖尿病患者さんのやる気を引き出す～動機づけ面接を学ぶ～ 演者：日赤名古屋第一病院 内分泌内科：尾﨑　信暁
令和4年10月8日	土	17:00 ～ 19:00	臨床セミナー 参加対象者： MSD株式会社	高齢・認知機能低下患者の不眠の理由とは？　理屈で迫るマネジメント 演者：日赤名古屋第一病院 総合診療科：宮川　慶
令和4年10月22日	土	17:00 ～ 19:30	第24回愛知小児内分泌カンファレンス 参加対象者： ノボノルディスクファーマ株式会社	ターナー症候群女性の健康管理と生殖の課題 演者：日赤名古屋第一病院 産婦人科：安藤　智子
令和4年10月27日	木	19:00 ～ 20:30	不眠症診療webセミナー 参加対象者： エーザイ株式会社	転倒転落リスクに配慮した論理的睡眠マネジメント～良い睡眠でせん妄リスクを減らす～ 演者：日赤名古屋第一病院 総合診療科：宮川　慶
令和4年10月27日	木	18:30 ～ 20:00	第13回名古屋血液eセミナー 参加対象者：東海地区における血液内科医 中外製薬株式会社	B-ALL診療の実際 演者：日赤名古屋第一病院 血液内科：森下　喬允
令和4年11月11日	金	19:00 ～ 21:00	第一回名古屋胆膵研究会 参加対象者： 株式会社メディコスヒラタ	学会には出せない症例提示 演者：日赤名古屋第一病院 消化器内科：上田　遼太
令和4年11月14日	月	19:00 ～ 20:40	Hemato-Onchology Web Seminar 参加対象者：医師、医師以外の医療従事者 アッヴィ合同会社	Unfit　AML治療について 演者：日赤名古屋第一病院 血液内科：土門　洋祐
令和4年11月16日	水	18:10 ～ 19:30	あいちシナジス講演会 参加対象者：医師及び薬剤師 アストラゼネカ株式会社	演者：日赤名古屋第一病院 小児科：大城　誠

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考
令和4年11月16日	日	18:30 ～ 19:40	睡眠マネジメントセミナーin中村 参加対象者: エーザイ株式会社	病棟の負担を減らす睡眠マネジメント 演者:日赤名古屋第一病院 総合診療科:宮川　慶
令和4年11月26日	土	14:45 ～ 16:00	中村区薬剤師会講演会 参加対象者:田辺三菱製薬株式会社	糖尿病治療薬の使い方 演者:日赤名古屋第一病院 内分泌内科:清田　篤志
令和4年11月29日	火	19:00 ～ 20:00	乳がんWEBin西名古屋 参加対象者: 協和キリン株式会社	演者:日赤名古屋第一病院 薬剤部:末松　菜月
令和4年12月2日	金	19:15 ～ 21:00	West Aichi CRC Conference 参加対象者: メルクバイオファーマ株式会社	S状結腸癌腹腔鏡下切除術のアプローチ 演者:日赤名古屋第一病院 一般消化器外科:荒川　拓也
令和4年12月2日	金	19:00 ～ 20:00	株式会社ヤクルト　社内学術研修会 参加対象者: 株式会社ヤクルト	演者:日赤名古屋第一病院 血液内科:後藤　辰徳 血液内科:小澤　幸泰
令和4年12月3日	土	17:00 ～ 18:00	第4回骨粗鬆症治療オンラインセミナー 参加対象者:主に骨粗鬆症の診断・治療に携わっている医師及びコメディカル 旭化成ファーマ株式会社	演者:日赤名古屋第一病院 整形外科:井上　英則
令和4年12月4日	日	10:00 ～ 16:00	歯科衛生士カムバック・フォローアップセミナー 参加対象者: 愛知学院大学歯学部同窓会	口腔粘膜疾患の診かた～特に口腔潜在的悪性疾患と口腔癌の病態について～ 演者:日赤名古屋第一病院 歯科口腔外科:佐藤　春樹
令和4年12月6日	火	19:00 ～ 20:20	愛知県　Hemophilia Update Seminar 参加対象者:血友病診療に携わる医師、メディカルスタッフ サノフィ株式会社	演者:日赤名古屋第一病院 小児科:濱　麻人
令和4年12月14日	水	19:00 ～ 20:25	関節リウマチ医療連携セミナーin名古屋西部 参加対象者: エーザイ株式会社	当院における関節リウマチ診療の現状 演者:日赤名古屋第一病院 整形外科:祖父江　康司
令和4年12月20日	火	18:30 ～ 19:30	AZ　肺がん病理セミナー～周術期バイオマーカー検査を再考する～ 参加対象者:医師及び薬剤師 アストラゼネカ株式会社	演者:日赤名古屋第一病院 検査部:郡司　昌治
令和4年12月22日	木	20:00 ～ 21:00	第5回　Aichi Osteporosis Forum 参加対象者:主に骨粗鬆症の診断・治療に携わっている医師 旭化成ファーマ株式会社	演者:日赤名古屋第一病院 整形外科:祖父江　康司
令和4年12月22日	木	19:00 ～ 20:10	口腔がんwebセミナー2022 参加対象者: MSD株式会社	演者:日赤名古屋第一病院 歯科口腔外科:佐藤　春樹
令和5年1月27日	金	19:00 ～ 20:40	Parkinson's Disease Conference 参加対象者:医師 エーザイ名古屋CD	演者:日赤名古屋第一病院 脳神経内科:渡邉はづき

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考
令和5年1月28日	土	14:00 ～ 16:00	中村区薬剤師会学術講演会 参加対象者：中村区　薬剤師 キッセイ薬品工業株式会社	女性泌尿器科疾患について 演者：日赤名古屋第一病院 女性泌尿器科：加藤　久美子
令和5年2月4日	土	16:30 ～ 18:00	西名古屋耳鼻咽喉科懇話会 大鵬薬品工業（株）	演者：日赤名古屋第一病院 耳鼻咽喉科：小澤亮太
令和5年2月5日	日	13:00 ～ 17:00	あいち・くすりフォーラム　妊娠と授乳中のくすりと母と子の健康 参加対象者：妊娠・授乳サポート薬剤師 愛知県薬剤師会	演者：日赤名古屋第一病院 産婦人科：安藤　智子
令和5年2月8日	水	10:00 ～ 16:00	認知症高齢者ケアの実際 参加対象者： 愛知県看護協会	演者：日赤名古屋第一病院 西12A病棟看護師：杉浦　朋子
令和5年2月11日	土	15:00 ～ 17:00	第4回臨床病理コンセンサス研究会 参加対象者：病理医・臨床医 中外製薬株式会社	演者：日赤名古屋第一病院 検査部：郡司　昌治
令和5年2月14日	火	19:00 ～ 20:10	小児てんかん診療セミナー 参加対象者： エーザイ株式会社	演者：日赤名古屋第一病院 小児科：竹内智哉
令和5年2月15日	水	19:45 ～ 21:00	中村区医師会研修会 参加対象者：医師 アッビイ合同会社	演者：日赤名古屋第一病院 整形外科：祖父江　康司
令和5年2月18日	土	19:45 ～ 21:00	リウマチ膠原病研究会 参加対象者：医師 旭化成ファーマ株式会社	演者：日赤名古屋第一病院 腎臓内科：横江優貴
令和5年2月18日	土	14:00 ～ 17:00	第2回HAMILTON　User's Meeting in 中部 参加対象者：医師 日本光電工業（株）	演者：日赤名古屋第一病院 救急部：都築通孝
令和5年2月20日	月	19:00 ～ 20:10	AML　Expert　Web　Meeting 参加対象者：医療従事者 アッビイ合同会社	演者：日赤名古屋第一病院 血液内科：後藤辰徳
令和5年3月3日	金	19:00 ～ 20:00	Moderate UC Conference 参加対象者：医師 キッセイ薬品工業株式会社	演者：日赤名古屋第一病院 消化器内科：藤吉俊尚
令和5年3月11日	土	19:45 ～ 21:00	中村区医師会研修会 参加対象者：薬剤師 田辺三菱製薬株式会社	演者：日赤名古屋第一病院 整形外科：祖父江　康司
令和5年3月10日	金	18:30 ～ 19:50	経口抗がん剤薬薬連携セミナー 参加対象者：薬剤師 エーザイ・ジャパン	演者：日赤名古屋第一病院 薬剤部：櫛原秀之

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考
令和5年3月16日	木	19:00 ～ 20:25	Endometrial Cancer Seminar 参加対象者：医師 エーザイ株式会社	演者：日赤名古屋第一病院 産婦人科：水野　公雄
令和5年3月16日	木	19:00 ～ 20:25	昭和区医師会学術講演会 参加対象者：医師 MSD株式会社	演者：日赤名古屋第一病院 総合診療科：宮川慶
令和5年3月23日	木	19:00 ～ 20:25	不眠症セミナー 参加対象者：医師 MSD株式会社	演者：日赤名古屋第一病院 総合診療科：宮川慶
令和5年3月31日	金	18:50 ～ 20:00	名古屋西部クローン病研究会 参加対象者：医療従事者 アッビイ合同会社	演者：日赤名古屋第一病院 消化器内科：丸川高弘

２．医療社会事業課

（１）令和４年度年間援助件数

1. 取り扱い件数

月実件数		5,011
継続実件数		284
新規実件数	入院	3,110
	外来	1,617

2. 新規ケースの紹介経路

区分	件数
医師	1,650
看護職	440
リハビリ職	3
その他院内職員	132
本人	462
家族・親戚縁者	340
院外関係機関	86
近隣者・知人	9
医療チーム	1,570
援助者	35
合計	4,727

3. 社会的背景

区分	件数
独居	790
経済困窮	98
家族疎遠・身寄りなし	148
ハイリスク妊産婦	19
精神疾患	59
認知症	815
家庭内暴力・虐待	43
自殺企図	4
無保険	17
身元不明	2
ホームレス	6
外国人	8

4. 援助内容

区分	実件数	延件数
受診・受療	1,262	2,596
経済的問題	299	878
制度活用	1,550	3,068
入院療養生活	167	390
退院支援	2,260	17,493
在宅療養・介護	460	1,507
医療者との関係	32	42
家族関係	38	61
日常生活	425	613
就労・就学	100	281
身元保証・権利擁護	98	482
死後対応	94	285
その他	50	76
合計	6,835	27,772

5. 援助方法

方法		実件数
面談	本人	6,000
	家族	3,101
	友人・知人	68
電話	本人	782
	家族	7,059
	友人・知人	208
訪問	家庭	13
	その他	13
同行・同伴・代行		61
連絡調整・院内		18,050
院外：面会		281
院外：電話		23,729
院外：文書他　メール他		6,343
カンファレンス(院内職種のみ)		141
カンファレンス(院外職種含む)		56
合同カンファレンス(院内職種のみ)		16
合同カンファレンス(院外職種含む)		310

6. チーム医療

チーム名	症例数
退院支援チーム	15,948
認知症ケアチーム	763
倫理コンサルテーションチーム	2
緩和ケア受入検討	297
虐待対策チーム	30
患者サポートチーム	197
その他	121

（２）令和４年度科別援助件数

		受診・受療	経済的問題	制度活用	入院療養生活	退院支援	在宅療養・介護	医療者との関係	家族関係	日常生活	就労・就学	身元保証・権利擁護	死後の対応	その他	小計	合計	新規退院支援実件数（再掲）
内科	入院														0	15	
	通院	4		4			3	2		1				1	15		
血液内科	入院	24	22	195	20	686	10	2	1	5		3	11		979	1,478	78
	通院	155	8	151	5	29	81	4	5	23	24	4	9	1	499		
内分泌内科	入院	7	31	5	11	332	1						5	2	394	456	38
	通院	15	4	15		2	11	1		2		4	8		62		
腎臓内科	入院		3	103	10	959							3	1	1,079	1,252	108
	通院	4	1	137		19	6						6		173		
脳神経内科	入院	39	63	98	32	3,119	15				4	6	11	2	3,389	3,810	313
	通院	97	19	146	1	24	75		1	12	26	13	1	6	421		
循環器内科	入院	3	66	106	36	1,164	11	1	2	1		8	8	1	1,407	1,572	121
	通院	41	18	37	2	14	30	2				3	18		165		
呼吸器内科	入院	37	53	113	49	1,846	19	1	10	3		21	6	1	2,159	2,850	209
	通院	127	23	216	4	78	178	1	5	19	2	1	27	10	691		
消化器内科	入院	36	87	110	47	1,879	25	2	2	4		9	27		2,228	2,986	208
	通院	228	53	186	7	43	115	4	2	39	12	4	62	3	758		
一般消化器外科	入院	205	23	130	31	1,021	29	1	4	76	5	1	8	1	1,535	1,979	102
	通院	189	18	58	1	37	106		3	26	3		2	1	444		
心臓血管外科	入院	5	16	172	17	183	16	2				1	1	1	414	473	31
	通院	10	3	32			9	1	1	2	1				59		
血管外科	入院			17	3	86									106	127	11
	通院	13		6			2								21		
呼吸器外科	入院	7	2	6	6	129	1	2		4	1		1		159	256	16
	通院	43	1	29		7	2	1		12			2		97		
小児外科	入院	2		6		4									12	43	1
	通院			3		1	27								31		
整形外科	入院	2	32	35	19	2,990	2	2	1			1	2	1	3,087	3,264	367
	通院	41	22	55	3	18	12	2		3	5	1	11	4	177		
形成外科	入院					19									19	21	2
	通院	1										1			2		
脳神経外科	入院	14	48	35	23	1,294	4		1	5	18	12	3		1,457	1,583	139
	通院	35	4	19	9	23	6		1	8		15		6	126		
乳腺外科	入院	422	10	17	4	110	16			195	13	5	1		793	1,300	21
	通院	295	14	82	2	3	36			51	17		3	4	507		
小児科	入院	13	14	183	16	498	27	5	1	6	77	133		9	982	1,952	71
	通院	125	18	144	2	17	410		2	38	53	150		11	970		
皮膚科	入院			11		109							1		121	201	9
	通院	7	6	35		1	23			2		6			80		
泌尿器科	入院	9	18	62	4	368	5			4					470	646	56
	通院	76	3	40	6	15	30			6					176		
女性泌尿器科	入院														0	9	
	通院	6					3								9		
産婦人科	入院	31	59	41	9	110	40		4	8	2	22	3	3	332	747	18
	通院	139	86	38	3	6	49	5	6	23	8	45	1	6	415		
眼科	入院														0	27	
	通院	6		7			11					3			27		
耳鼻咽喉科	入院	6	23	65	7	167	2			8	2				280	392	23
	通院	8	2	75		9	13			4			1		112		
歯科口腔外科	入院		2	5		45	1								53	84	5
	通院	15		3	1		11			1					31		
総合診療科	入院														0	1	
	通院			1											1		
精神科	入院														0	17	
	通院	4		1			1		6	1	1	3			17		
放射線科	入院														0	0	
	通院														0		
化学療法内科	入院			2											2	5	
	通院	2		1											3		
救急科	入院		1	4		27				1			10		43	102	6
	通院	10	1	10						6		4	27	1	59		
その他	入院														0	0	
	通院														0		
小計	入院	862	573	1,521	344	17,145	224	18	26	320	122	222	101	22	21,500		1953
	通院	1,696	304	1,531	46	346	1,250	23	32	279	152	257	178	54	6,148		
合計		2,558	877	3,052	390	17,491	1,474	41	58	599	274	479	279	76		27,648	

（３）令和４年度がん相談支援センター援助件数

1. 相談者の状況

	相談形式				相談者続柄						
	面接	電話	FAX	その他	本人	本人と付添	家族親戚のみ	知人・友人のみ	医療福祉関係者（院内）	医療福祉関係者（院外）	不明
院内患者	3,054	1,630	103	40	1,885	698	1,548	19	152	523	2
院外患者	9	161	239	6	41	1	57	1	8	307	0
計	3,063	1,791	342	46	1,926	699	1,605	20	160	830	2

2. 現在の治療状況

診断なし	95
治療前	560
治療中	2,746
治療後	181
経過観察中	500
緩和ケア	1,127
不明	17
死亡	10
その他	6
計	5,242

3. がんの状況

初発	2,940
再発・転移	2,198
その他	37
不明	67
計	5,242

4. 対応内容

傾聴・語りの促進・支援的対応	1,081
助言　提案	430
情報提供	2,467
自施設受診の説明	24
他施設受診の説明	511
自施設他部門への連携	119
他施設への連携	581
ピアサポート機能の紹介	0
苦情・要望への対応	12
判断不明	0
その他	17
計	5,242

5. 相談内容

	眼 脳 神経	耳鼻 咽喉 口腔	胃	食道	大腸	小腸 肛門	肝 胆	膵	肺	縦隔 心臓	乳房	卵巣 膣 外陰部	子宮	精巣	前立腺	腎 尿管 膀胱	甲状腺	副腎	リンパ 血液 ATL	リンパ 血液 その他	皮膚	骨 軟部 組織	後腹膜 腹膜	中皮腫	原発 不明	診断 無し	その他	計
がんの治療-手術			12		21						78		4			1				1			1					118
がんの治療-放射線治療							1		1		9				1					2								14
がんの治療-薬物療法			8	2	9	1	1	2	12		144		3				1			16	2	1						202
がんの治療-免疫療法																												0
がんの治療-免疫療法（薬物）								1																				1
がんの治療-ゲノム医療	5	4	7		23		12	8	13	4	14	4	2		11	13							7		4		1	132
がんの治療-その他			2	1	2			2	7		8		2							8			1					33
がんの検査					2				1		6									1			1				1	12
症状・副作用・後遺症-妊孕性・生殖機能																												0
症状・副作用・後遺症-アピアランス					2			1	2		30	5	11							6			2					59
症状・副作用・後遺症-晩期合併症											1																	1
症状・副作用・後遺症-長期フォローアップ																				1								1
症状・副作用・後遺症-その他		2	1		5				3		19		4							4								38
セカンドオピニオン（一般）	3	1	1	1	1		1	1	4		3	2	2			1			1	4								26
セカンドオピニオン（受入）	1	2	5		8		7	1	11		22	2	7		3	8	1		2	81		1						162
セカンドオピニオン（他へ紹介）	13	1	12	20	10		43	39	28		33	22	10		25	6	1			11								274

治療実績																												0
臨床治験・先進医療									1														1					2
受診方法・入院	2	1	6	1	11		6	2	16		16	1			3	1				12	2	2	1	1				84
転院	46	45	55	21	121	10	44	37	150		35	24	27		27	39				101		13	7	1	9	5		817
医療機関の紹介	1		41		75	1			17		296																	431
がん予防・検診											1																	1
在宅医療	27	21	62	8	93	1	56	67	122	2	64	17	23		18	22			7	112		2	2	1			1	728
ホスピス・緩和ケア	11	9	16	9	43	10	18	26	71		16	11	15		6	12			1	16	5	1	3		2			301
食事・服薬・入浴・運動・外出等	14	25	34	20	61	4	23	21	124	1	37	12	6		4	9	7		1	49		1	2	5	1			461
介護・看護・養育-介護	3	1	4		11				10			2	1			2				1				1				36
介護・看護・養育-看護	3	9			2			2	6							13				4		7						46
介護・看護・養育-養育											1												1					2
社会生活-就労									1		7		1				1	3		7								20
社会生活-治療と仕事の両立											10		3							6							1	20
社会生活-就学・就園	14																			27								41
社会生活-学業・学校生活	2																			1								3
医療費・生活費・社会保障制度-介護保険	1	5	8	1	10	1	3	4	18		4	1	1		1	1			1	10					2			72
医療費・生活費・社会保障制度-傷病手当		5	3	1	24				5		10		3			6				21							1	79
医療費・生活費・社会保障制度-その他	25	49	36	10	70	2	28	13	137	3	84	12	15		21	28	2	1	1	180		1	4	3				725
補完代替療法																												0
生きがい・価値観								1	4		3		1			1	1			4		2						17
不安・精神的苦痛		3	6	3	13		12	6	22		66	13	6		2	3	2			32		2						191
告知				2			1	1			1																	5
医療者との関係・コミュニケーション				2	4		1		2		8	1			1					6								25
患者-家族間の関係・コミュニケーション	4		3	2	1		1		3		1				1	4				3								23
友人・知人・職場の人間関係・コミュニケーション																												0
患者・家族会（ピア情報）																												0
グリーフケア		1	2					1	2		1									1								8
不明													1		3													4
その他	1	5	1	1	4		1		9		1		1							2	1							27
計	176	189	325	105	626	30	259	236	802	10	#####	129	149	0	127	170	16	4	14	730	10	33	33	12	18	5	5	5,242

国立がん研究センターがん対策情報センターが提示している相談支援センター相談記録に沿って集計しています。

相談援助内容と件数計上の説明

相談援助の内容と件数の計上については下記の通りである。

① 受診・受療

クライエントが適切な医療を受けることができるよう、クライエントや家族に行う受診時の情報提供や調整、医師等へ患者の心理・社会的背景や問題の情報提供を行う、あるいは、社会的背景を含め、自院の入院診療機能を利用するための、いわゆる転院・入院の受け入れに係る支援を実施した場合、ここに計上する。受診・受療に関する不安解消のための援助や、医師等から依頼のあった治療拒否のクライエントに対する援助もこの項目に計上する。
尚、単なる受診科案内業務等は計上しない。また、転院・入院の受け入れに係る業務において、クライエント及びその家族等に関わることなく、情報の収集、これに係る院内協議等を実施した場合は、チーム医療に計上し、ここには計上しない。
在宅療養中のクライエントに対する訪問診療・訪問看護等の相談・調整については、⑥在宅療養生活に計上し、ここでは計上しない。

② 経済的問題

入院・入院外を問わず、クライエントが医療費・生活費に困窮している場合に、社会保障関係法を活用し問題解決に向けた援助や具体的調整を行った、あるいは医療費支払方法に関する相談を行った場合に計上する。特に経済的問題を抱えているとは判断できないクライエントに対し社会保障関係法を活用する場合は③制度活用に計上しここには計上しない。

③ 制度活用

②に計上する経済的な問題解決のための制度活用以外、特に経済的問題はないが、社会保障関係法を紹介・活用する等の場合はこれに計上する。

④ 入院療養生活

クライエントが医療費・生活費に困窮している場合、保険・福祉関係法を活用し、問題解決に向けた援助や具体的調整を行う。
金銭管理等困難者について、地域福祉権利擁護事業・成年後見人等制度の利用をはかるとともに、必要者には事務管理等の援助を実施する。

⑤ 退院支援（在宅・転院・施設入所）

退院支援に係る支援を実施した場合に計上する。

⑥ 在宅療養生活

在宅（自宅を含めた居宅を示す、居住系施設入所中を含む）療養を行っているクライエントに対する介護関連の相談、在宅療養生活に対する心理・社会的援助を行った場合に計上する。外来通院中のクライエントの施設入所・入院相談もこの項目に計上する（入院中の場合は⑤退院支援に計上する）。

⑦ 医療者との関係

クライエントと医療者との関係調整を行った場合に計上する。医療対話促進に代表されるメディエーションマインドをもった支援、あるいは医療事故及びカルテ開示等も含む。

⑧ 家族関係

クライエントの傷病が起因となり表面化あるいは顕在化した家族関係の悪化、家族機能の低下がクライエントの治療継続を困難にしている場合の家族関係の調整を指す。クライエントの今後の治療方針を決める際に、家族間で意見統一ができない、家族に相談ができないことが原因でクライエントが悩んでいる場合等が想定される。クライエントが介護・育児等行っており、これがクライエントの治療継続に係る問題になる等の場合は、⑨日常生活（家事・育児・介護等）を選択し、この項目に含めない。

⑨ 日常生活（家事・育児・介護・社会活動等）

前記、⑥在宅療養・介護に該当しない、クライエントが行っている家事・育児・介護・社会活動等に対し、傷病に起因する問題への支援を実施した場合に計上する。

⑩ 就労・就学

クライエント自身の職業選択，就職問題などの相談をはじめ、職場における人間関係や環境等の調整等クライエントの社会復帰を目的とする就労に関する援助、クライエントに適した就園・就学の確保、復学等に関する相談援助、療養中の教育の確保や学校での人間関係の調整を含む就学に関する支援を実施した場合に計上する。

⑪ 身元保証・権利擁護

入院・入所等にあたり求められる身元保証への対応、あるいは高齢者権利擁護事業・成年後見人制度等に代表される判断能力が低下した場合でも適切な自己決定や選択ができるための支援、金銭管理・財産保全等に係る支援を実施した場合に計上する。

⑫ 死後対応

グリーフケアの実施、あるいは、親族疎遠・身元不詳等による埋火葬等に係る支援等を実施した場合に計上する。本項目は、支援が死後に行われたことから一律にここに計上するものではなく、行った援助に従い、適切な援助項目に計上することに留意する。

⑬ その他

上記①～⑫に該当しない場合、施設の実情にあわせて計上する。

編 集 後 記

このたび「令和４年病院年報」を編集・発行いたしました。

令和４年、ウクライナでの人道危機は多くの人々に衝撃を与えました。一方国内では、新型コロナウイルス感染症との共存を「ウィズコロナ」として受け止める姿勢が広がりを見せ、一定の感染対策の下で対面形式・非対面形式を上手く使い分けながら、コロナ前を取り戻そうとする動きが徐々に活発になっていきました。

当院でも 11 月に、３年ぶりとなる「中村日赤ふれ愛まつり」を無事開催することができました。しかしながら、運営や業績が完全に元どおりとなるには、引き続き時間や努力を要するものと思われます。

令和４年を振り返るとき、この病院年報がお役に立ちましたら幸甚です。

令和４年　病院年報

発行日	令和６年３月
発行者	日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院 院長　錦見　尚道 名古屋市中村区道下町３丁目 35 番地 TEL　(052)481-5111
編集者	広報活動委員会
委員長	井 上　英 則　整形外科部
副委員長	小　出　実　総務課
委員	津 田　弘 之　産婦人科部
	横 山　俊 彦　呼吸器内科部
	渡 部　亨 平　薬剤部
	水 野　剛 希　放射線診断科部
	前 岡　悦 子　検査部
	坂 口　真 那 美　看護部
	阿 部　由 希 野　看護部
	寺 山　知 子　看護部
	辛 島　禎 史　地域医療連携課
	渡　邉　淳　総務課
	柿 原　佑 紀　人事課
	小 林　穂 高　医事業務管理課
	森 田　洋 充　入院業務課
写真班	田 代　侑 子　薬剤部
	山 﨑　絵 莉　放射線治療科部
	安 井　元 規　診療情報管理課
幹事	河 合　美 和　総務課
所轄副院長	山 口　丈 夫
印刷・製本所	相羽印刷株式会社 名古屋市守山区瀬古一丁目 241 番地

病院年報　令和四年

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院